

豊田市高齢者等実態調査結果報告書
(令和4年度)

令和5年3月
豊田市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査方針	1
3 調査方法	1
4 集計・分析にあたって	3
5 調査結果のまとめ<概要版より>	4
第2章 高齢者アンケート	21
1 回答者の属性	21
2 日常生活について	25
3 社会参加について	44
4 生きがいや楽しみについて	60
5 住まいや医療・看護について	63
6 高齢者福祉等について	66
第3章 要支援認定者・事業対象者アンケート	73
1 回答者の属性	73
2 日常生活について	80
3 社会参加について	91
4 生きがいや楽しみについて	104
5 高齢者福祉等について	107
第4章 要介護認定者アンケート	114
1 回答者の属性	114
2 施設での生活について	124
3 在宅での生活について	127
4 主な介護者について	129
5 高齢者福祉等について	137
第5章 事業者アンケート	141
1 法人について	141
2 運営について	147
3 介護職員の人材について	151
4 業務の効率化・生産性向上について	163
5 地域での活動について	167
6 高齢者福祉等について	172
第6章 ケアマネジャーアンケート	175

1 回答者の法人について	175
2 回答者の属性について	176
3 業務やケアプランについて	178
4 高齢者福祉等について	196
5 情報通信技術の活用について	198
第7章 統計データ・既存調査	200
1 人口と世帯	200
2 関連アンケート調査	201
第8章 調査票	206

第1章 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度に策定する「第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）」（以下「第9期計画」といいます。）に、市民及び関係機関の意見を反映させるとともに、高齢者を取り巻く状況について基礎資料を得るため、各種調査を行いました。

2 調査方針

□ 調査項目設定の方針

第8期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の重点施策の進捗及び前回調査からの経年変化を確認するために、前回の調査項目を基本とした内容にしました。第9期計画において、新たに検討が必要と思われる視点については、項目を追加しました。

□ 調査の設問数

回答者の方の負担に配慮し、豊田市が実施した各種調査結果の活用等により設問を厳選し、設問数をなるべく少なく設定しました。

3 調査方法

高齢者や認定者など当事者、ケアマネジャーや事業者など関係機関にアンケート調査を行うとともに、統計データ・既存の市のアンケート調査などの活用を図りました。

主な調査内容は次の通りです。

○アンケート調査

・調査対象（R4.9.1現在）

高齢者	65歳以上（要支援等・要介護と認定されていない）の人
要支援・事業対象者	要支援と認定されている人、及び、介護予防・生活支援サービス事業対象者
要介護認定者	要介護と認定されている人
事業者	市内の介護サービス事業者（法人単位）
ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー （73事業所に2枚配布）

* 高齢者、要支援・事業対象者、要介護認定者は、対象者から無作為抽出

* 事業者は全法人、ケアマネジャーは全居宅介護支援事業所に配布

・調査方法等

各アンケート共通	郵送配布・郵送回収（事業者及びケアマネジャー調査は、一部WEB 回答あり） 調査基準日 令和4年9月1日 令和4年9～10月に実施
----------	---

・主な設問

高齢者	属性、日常生活、社会参加、生きがいや楽しみ、住まいや医療・看護、高齢者福祉
要支援・事業対象者	属性、日常生活、社会参加、生きがいや楽しみ、高齢者福祉
要介護認定者	属性、施設での生活、在宅での生活、主な介護者、高齢者福祉
事業者	法人について、運営、介護職員の人材、業務の効率化・生産性向上、地域での活動、高齢者福祉
ケアマネジャー	法人・回答者の属性、業務やケアプラン、多職種連携・研修、高齢者福祉、情報通信技術の活用

・回収結果

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
高齢者	3,000	2,259	75.3%	2,259	75.3%
要支援・事業対象者	2,000	1,416	70.8%	1,362	68.1%
要介護認定者	2,000	1,256	62.8%	1,242	62.1%
事業者	171	133	77.8%	132	77.2%
ケアマネジャー	75 事業所	112	-	112	-

* Webを通じた回答は、事業者 44、ケアマネジャー16

4 集計・分析にあたって

- 回答の比率は、その設問に該当する回答者数を基数（n）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- 回答率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても、比率の合計が100%にならない場合があります。
- 本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- 各クロス集計には、年齢、性別、居住地域、世帯状況等について無回答があります。
- 居住地域は、下図の通り8つの日常生活圏域ごとに集計しています。

・ 豊田市の日常生活圏域



5 調査結果のまとめ<概要版より>

当概要版には、第8期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で設定した「総合指標（当市の高齢者福祉全般の取組状況をはかるために設定）」や「成果指標（第8期計画の重点施策の取組状況をはかるために設定）」に関連する調査結果を中心に掲載しています。

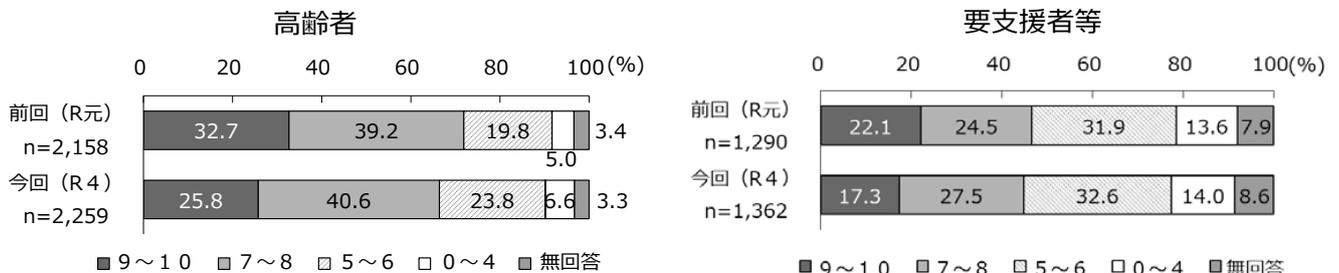
1. 総合指標の状況 ① 幸せ感

総合指標①

指標	計画策定時	目指す方向	調査結果	
幸せ感が高い高齢者（7点以上）の割合	71.9% (2019年度)	↗	66.4%	↘
幸せ感が高い要支援者・事業対象者（7点以上）の割合	46.6% (2019年度)	↗	44.8%	→

幸せ感が高い高齢者は減少、要支援者は前回と同傾向

●● 幸せ感（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点） ●●



※ グラフの「高齢者」「要支援者等」等は1ページの「調査対象」のことを指します。（以降のページも同様）

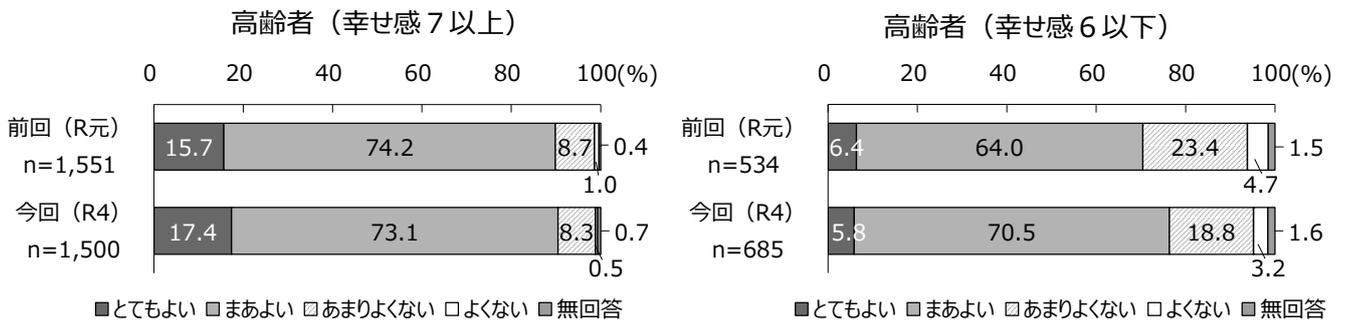
1. 総合指標の状況 ① 幸せ感

前回の豊田市高齢者等実態調査（2019年度）の結果から、幸せ感には「健康」「外出」「知人等との会話」「会・グループ活動」が影響していることが判明した。

そこで、この4要素を幸せ感が7以上と6以下に分けて前回と今回の調査結果を比較する。

**前回と比較して、全体的に健康状態は大きく変化していない。
 幸せ感が高い人の方が健康状態は良くなる傾向は変わらず、前回と今回を比較すると、幸せ感の違いによる健康状態の傾向が変わっていない。**

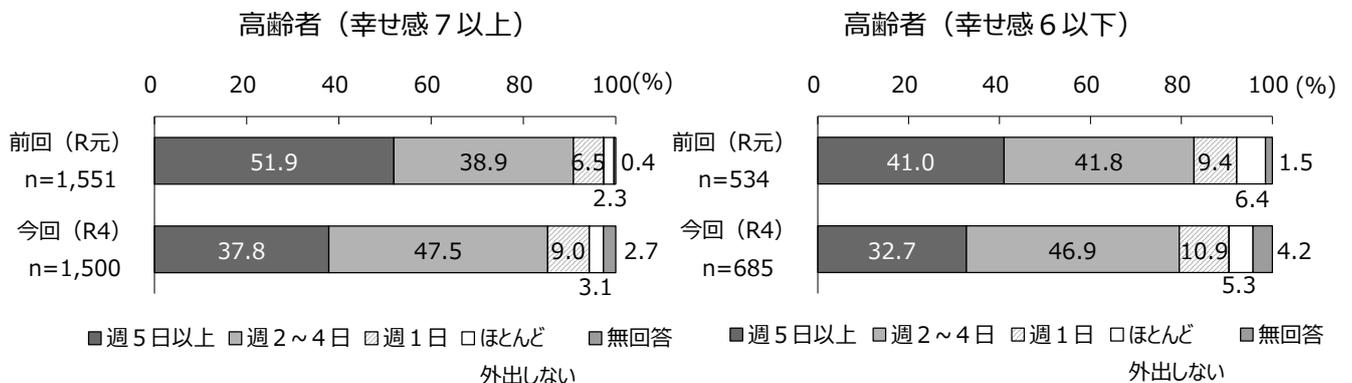
●● 健康状態と幸せ感（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点） ●●



1. 総合指標の状況 ① 幸せ感

**前回と比較して、全体的に外出の頻度は少なくなっている。
 幸せ感が高い人の方が外出頻度が高くなる傾向は変わらないが、前回と今回を比較すると、幸せ感の違いによる外出頻度の差が小さくなっている。**

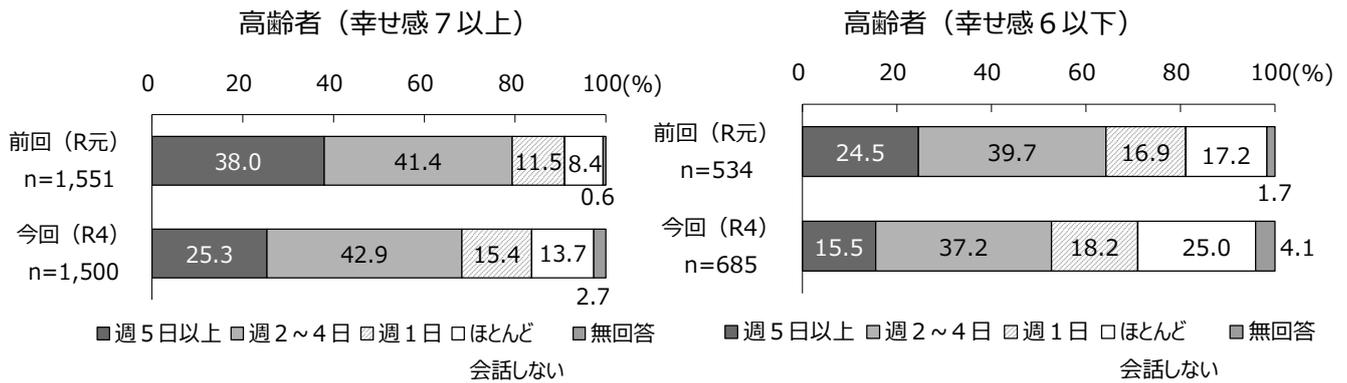
●● 外出の頻度と幸せ感（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点） ●●



1. 総合指標の状況 ① 幸せ感

前回と比較して、全体的に会話の頻度は少なくなっている。
 幸せ感が高い人の方が会話の頻度が高くなる傾向は変わらず、前回と今回を比較すると、幸せ感の違いによる会話の頻度の傾向が変わっていない。

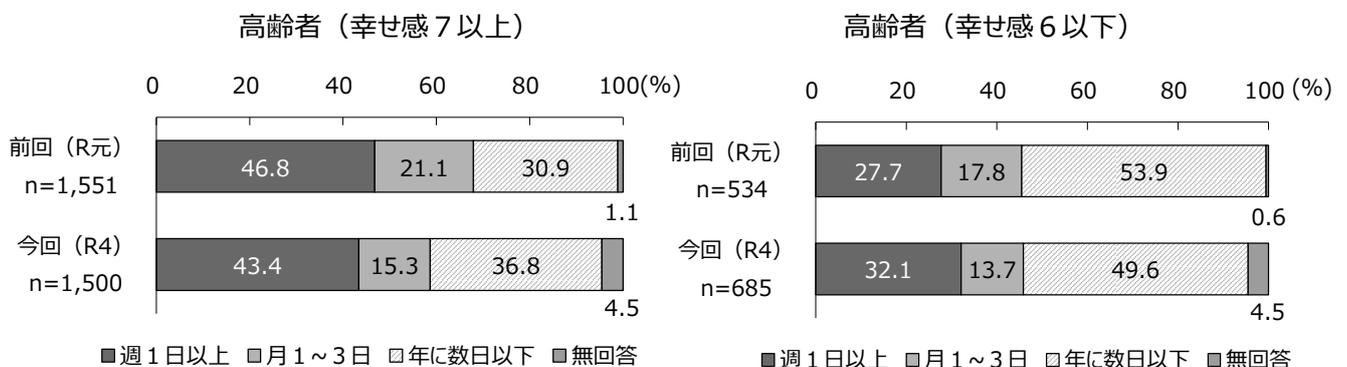
●● 知人・友人等との会話と幸せ感（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点） ●●



1. 総合指標の状況 ① 幸せ感

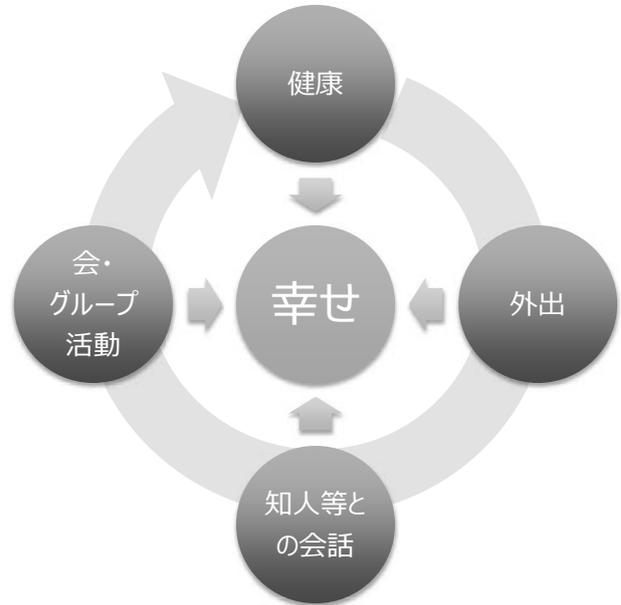
前回と比較して、全体的に社会参加の頻度は、少なくなっている。
 幸せ感が高い人の方が社会参加の頻度が高いが、前回と今回では、幸せ感の違いによる社会参加の頻度の差が小さくなっている。

●● 会・グループ活動（社会参加）の頻度と幸せ感（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点） ●●



1. 総合指標の状況 ① 幸せ感

前回と比較すると「外出」及び外出に関係が深いと思われる「知人等との会話」「会・グループ活動」において、幸せ感の違いによる差異が若干縮小しているが、前回同様に幸せ感には4つの要素が重要である傾向がみられた。



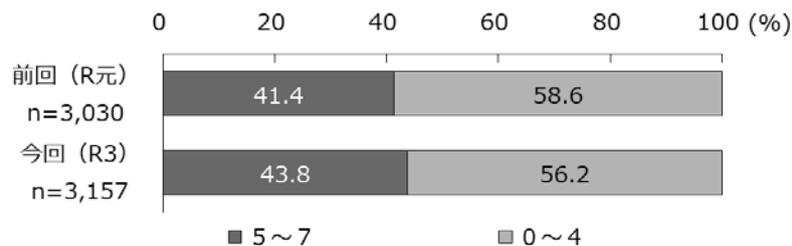
1. 総合指標の状況 ② 高齢者が安心して暮らすことのできるまち

総合指標②

指標	計画策定時	目指す方向	調査結果	
高齢者が安心して暮らすことのできるまちとして満足している市民の割合	41.4% (2019年度)	➔	43.8%	➔

2021年度市民意識調査の結果

高齢者が安心して暮らすことのできるまちとしての満足度がやや増加

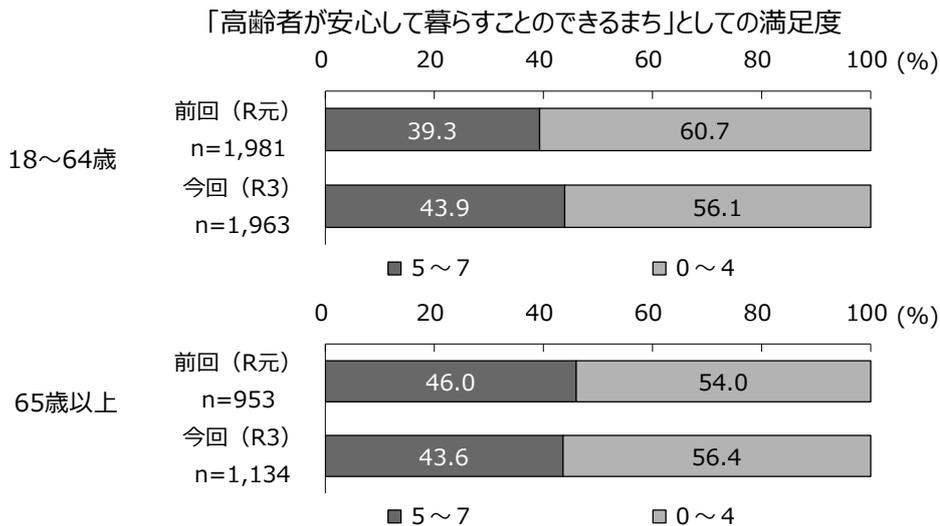


「第22回市民意識調査結果（令和元年度）」
「第23回市民意識調査結果（令和3年度）」（豊田市）を加工して作成

1. 総合指標の状況 ②高齢者が安心して暮らすことのできるまち

現役世代（18～64歳）と高齢者（65歳以上）の満足度を比較すると、高齢者が前回とほぼ変わらないのに対して、現役世代が前回から上昇し、世代間で差がなくなっている。

●● 世代別満足度（満足度が「高い」を7、「低い」を1） ●●

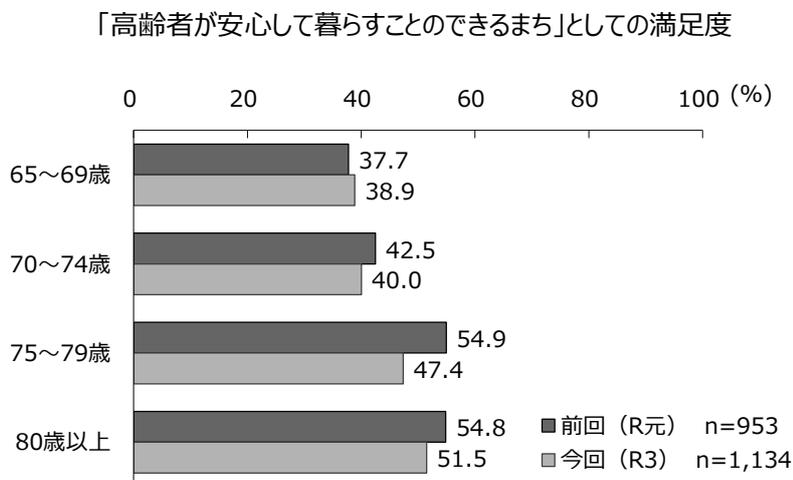


「第22回市民意識調査結果（令和元年度）」「第23回市民意識調査結果（令和3年度）」（豊田市）を加工して作成

1. 総合指標の状況 ②高齢者が安心して暮らすことのできるまち

70歳以上で満足度が下がっている。

●● 高齢者の年齢別満足度（満足度が「高い」を7、「低い」を1として、5～7の割合） ●●



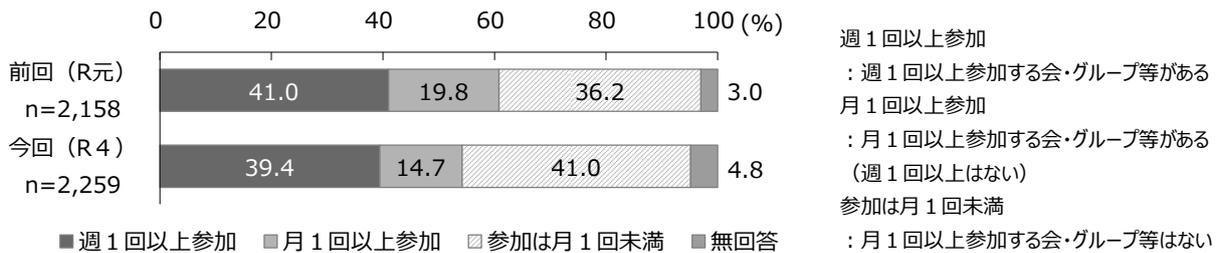
「第22回市民意識調査結果（令和元年度）」
「第23回市民意識調査結果（令和3年度）」（豊田市）を加工して作成

2. 成果指標の状況 重点施策①介護予防・健康づくりに通じる社会参加

成果指標①

指標	計画策定時	目指す方向	調査結果	
会・グループへ月1回以上参加している高齢者の割合	60.8% (2019年度)	▲	54.1%	▼

高齢者の「月1回以上参加している」がやや減少

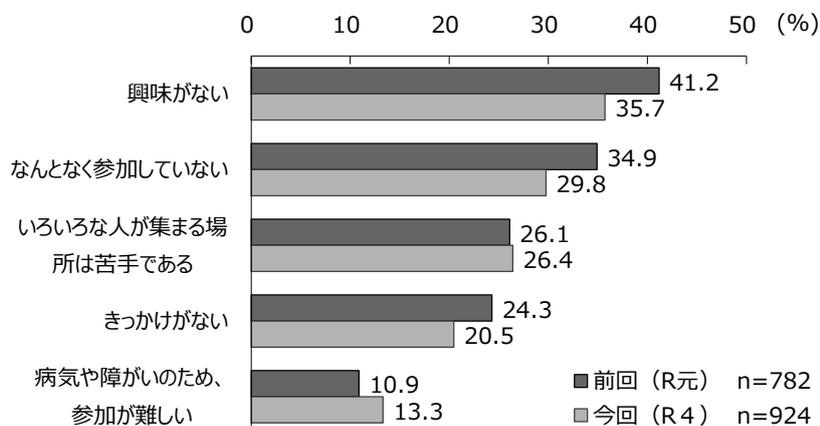


- ・多頻度（週に1回以上）に活動する高齢者の割合は、前回からあまり変化がないが、次に活動頻度が多い人（月に1回以上）が減り、その分が、全体の参加割合低下に影響している。
- ・コロナの影響が考えられるが、会・グループの活動に熱心な人はあまり影響を受けず、それよりも緩やかに活動している人の行動に大きく影響した可能性がある。

2. 成果指標の状況 重点施策①介護予防・健康づくりに通じる社会参加

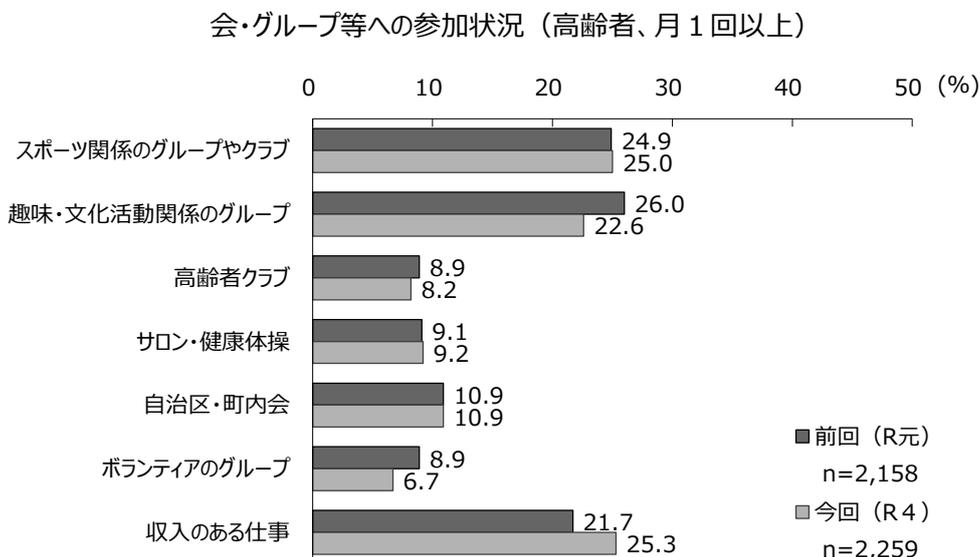
あまり参加していない人（月に1回未満の人）が、活動に参加しない理由の内、「興味がない」「なんとなく参加していない」「きっかけがない」は、前回から割合が低下している。しかし、「いろいろな人が集まる場所は苦手である」は、前回から割合がほぼ変わっていない。

会・グループ等に参加していない理由（高齢者、上位5項目） *複数回答あり



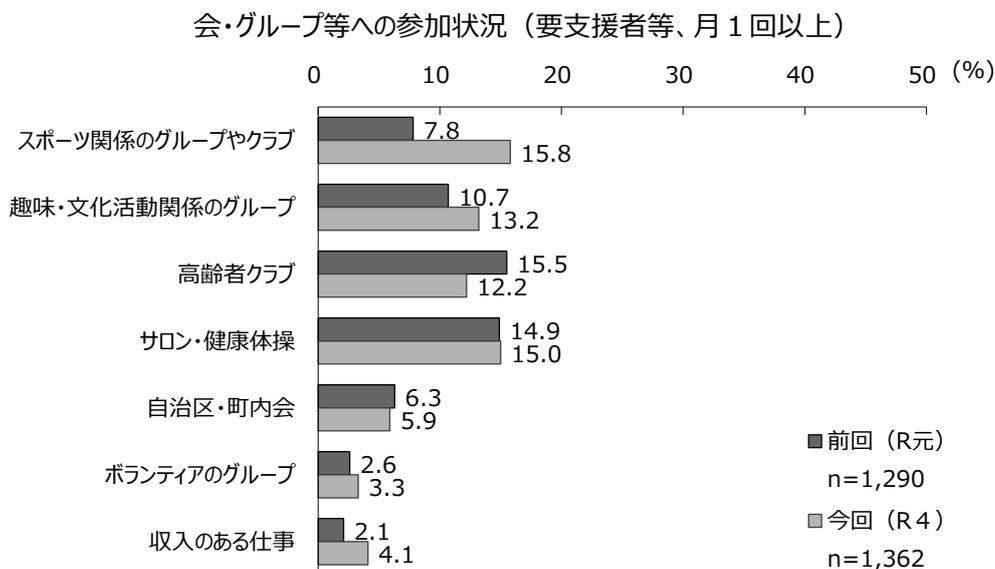
2. 成果指標の状況 重点施策①介護予防・健康づくりに通じる社会参加

高齢者では「収入のある仕事」の割合が増加、「趣味・文化活動関係」「ボランティアのグループ」は減少



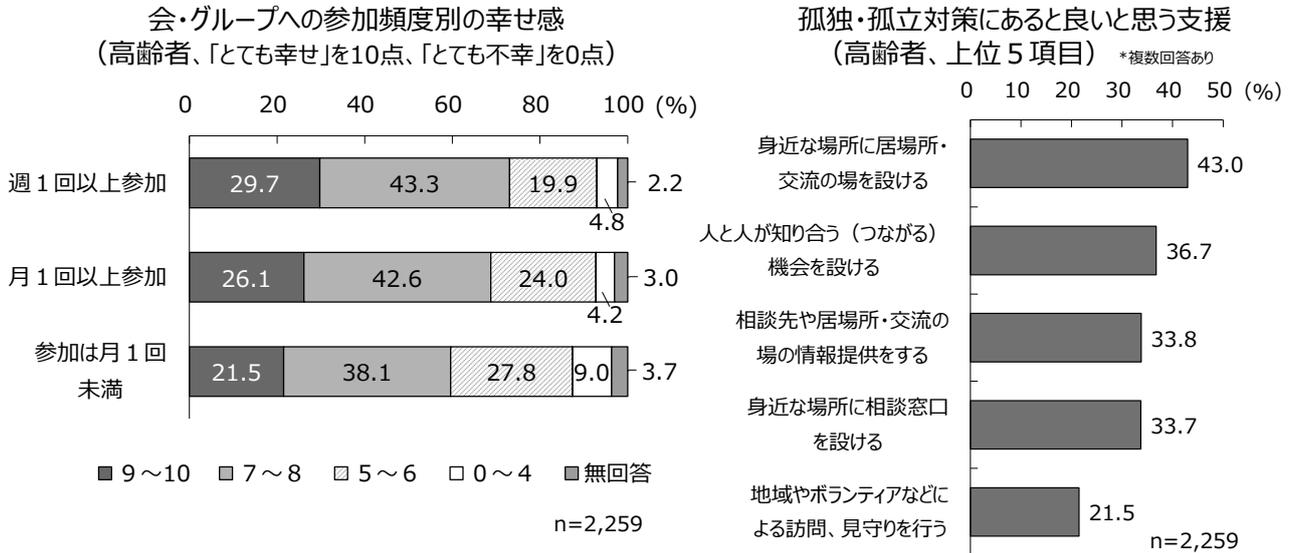
2. 成果指標の状況 重点施策①介護予防・健康づくりに通じる社会参加

要支援者等では「スポーツ関係のグループやクラブ」の割合が増加、「高齢者クラブ」は減少



2. 成果指標の状況 重点施策①介護予防・健康づくりに通じる社会参加

社会参加（会・グループへの参加）の頻度が高い人ほど、幸せ感が高い。
孤独・孤立対策としても、社会参加が求められている。

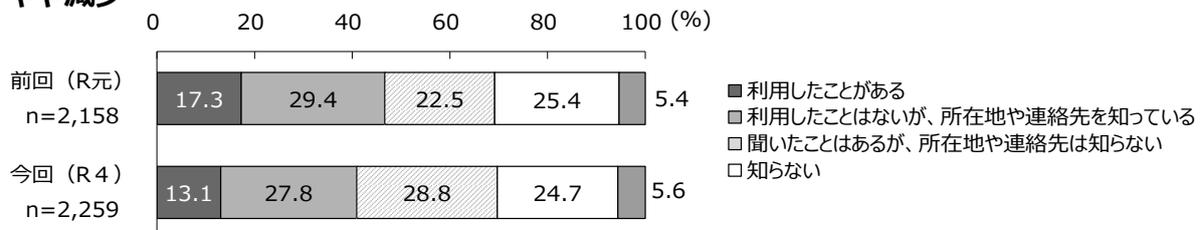


2. 成果指標の状況 重点施策②地域共生を支える体制整備

成果指標②

指標	計画策定時	目指す方向	調査結果	
高齢者の介護や福祉の総合相談窓口(地域包括支援センター)の認知度	46.7% (2019年度)	↗	40.9%	↘

「利用したことがある」、「利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている」の割合がやや減少

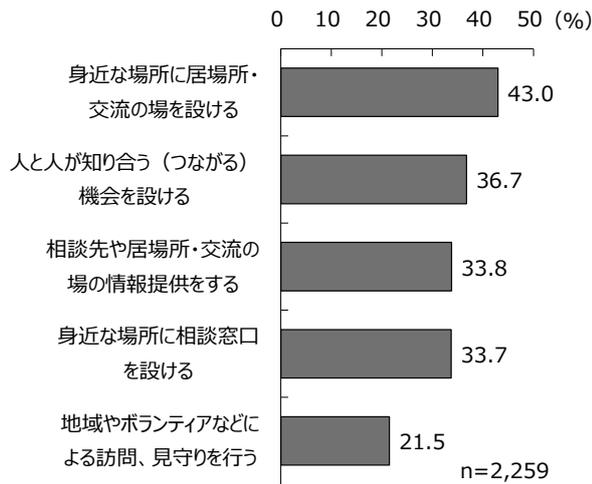


- ・新型コロナウイルスのまん延により、高齢者が集まる機会が著しく減少し、地域包括支援センターの周知を図る機会が失われたことが影響したと考えられる。
- ・一方で「聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない」は増加し、「知らない」は減少しており、季刊誌の配布や回覧による周知など地道な取組が効果を挙げていることが伺われる。

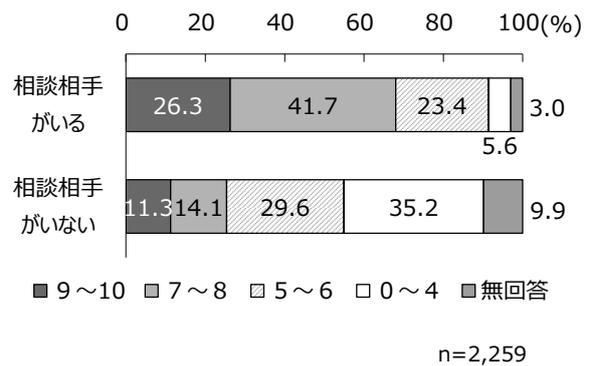
2. 成果指標の状況 重点施策②地域共生を支える体制整備

**孤独・孤立対策には、身近な場所に人につながる場や相談窓口を設けることが重要
相談相手がいる人は、相談相手がない人より幸せ感が高い。**

孤独・孤立対策にあると良いと思う支援
(高齢者、上位5項目) *複数回答あり



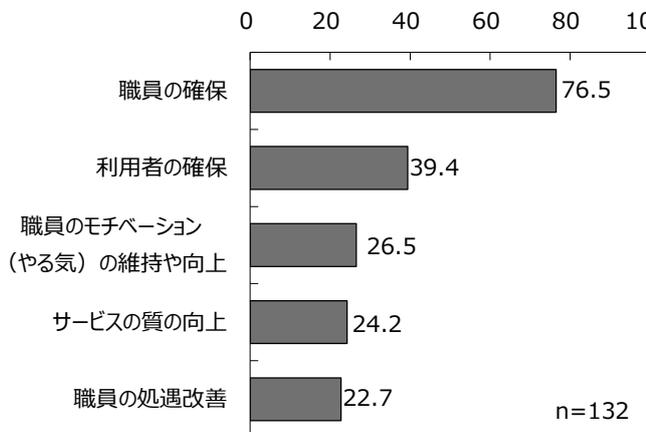
相談相手の有無と幸せ感
(高齢者、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点)



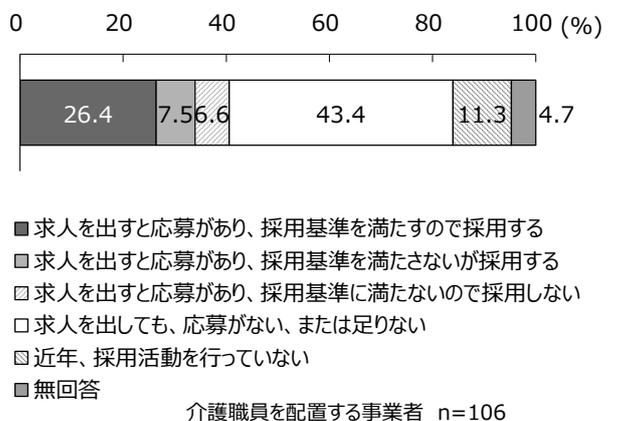
2. 成果指標の状況 重点施策②地域共生を支える体制整備

**介護サービス事業者の一番の課題は「職員の確保」
事業者の半数近くが、「求人を出しても、応募がない、または足りない」**

運営上の課題 (事業者、上位5項目) *複数回答あり



採用活動の結果 (事業者)

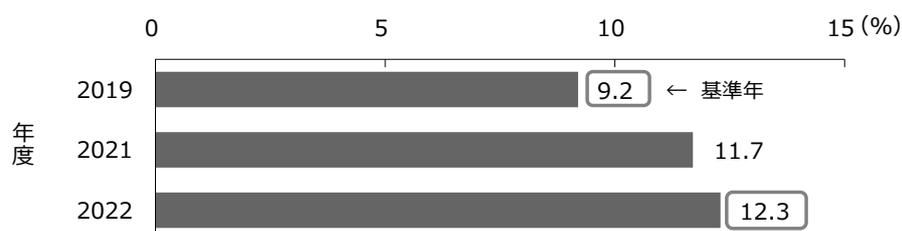


2. 成果指標の状況 重点施策③ 社会全体で取り組む認知症支援

成果指標③

指標	計画策定時	目指す方向	調査結果	
認知症を理解し、協力している市民の割合	9.2% (2019年度)	↗	12.3% (2022年12月)	↗

認知症を理解し、協力している市民の割合が増加している。



※認知症の理解とともに、協力している市民の割合は、全市人口に対する以下の事業の合計参加者数（登録者数）から算出している。

- ・徘徊高齢者等の早期発見の取組「かえるメールとよた」
- ・認知症の人や家族の応援者を増やす「認知症サポーター養成講座」
- ・チームオレンジ等の参画など認知症サポーターの活動支援「認知症サポーターステップアップ講座」

2. 成果指標の状況 重点施策③ 社会全体で取り組む認知症支援

成果指標③ 認知症を理解し、協力している市民の割合（内訳）

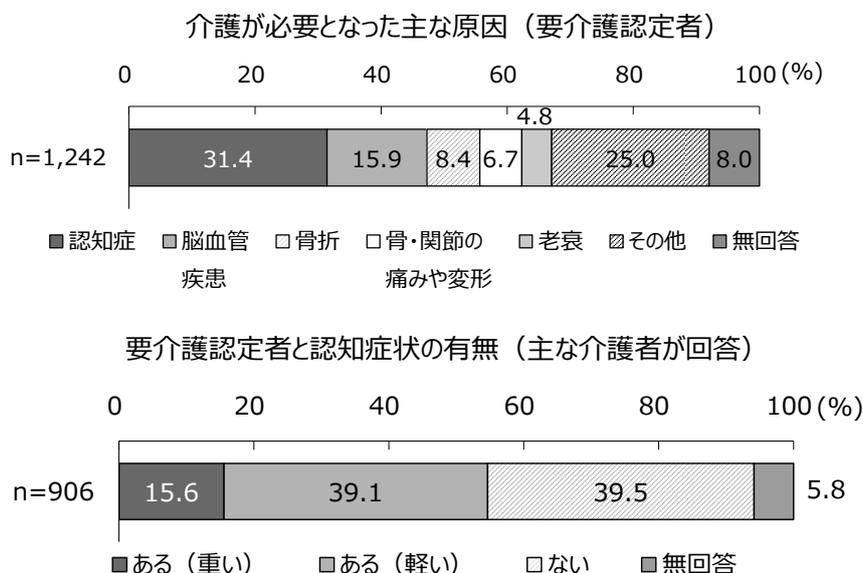
- ・事業内訳として「かえるメールとよた」「認知症サポーター養成講座」の登録者・受講者は顕著な増加がみられたものの、「認知症サポーターステップアップ講座」については、緩やかな増加傾向にある。
- ・コロナの流行により開催方法の見直しを図ったものの、集合開催が中心の「認知症サポーターステップアップ講座」については、コロナが大きく影響した可能性がある。

	2019年度 (基準年)	2021年度	2022年度 (2022年12月時点)
かえるメールとよた登録者	8,300	10,964	11,355
認知症サポーター養成講座受講者	30,310	35,955	37,695
認知症サポーターステップアップ講座受講者	1,814	2,048	2,162

単位：人（累計）

2. 成果指標の状況 重点施策③社会全体で取り組む認知症支援

介護が必要となった主な原因は、「認知症」が最も多い。
要介護認定者の過半数で何らかの認知症がある。



2. 成果指標の状況 重点施策③社会全体で取り組む認知症支援

重度の認知症がある人は、認知症状への対応、介護者の時間がないことが負担

特に大変な介護内容（要介護認定者の主な介護者が回答） *主な項目、複数回答あり

【認知症状の有無別】

	(%)	認知症状への対応	日中の排泄	服薬	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	自分（介護者）の時間がないこと
全体		27.0	18.5	31.0	27.9	24.8
認知症状がある（重い）		56.0	30.5	40.4	27.0	38.3
認知症状がある（軽い）		34.7	14.1	42.1	37.9	25.7
認知症状がない		11.7	20.9	19.6	22.6	22.3

n=906

2. 成果指標の状況 重点施策③社会全体で取り組む認知症支援

市民・専門職共通で、施設等への入所を考えるのは、認知症等による問題行動が多くなったときが上位

在宅での介護を断念し施設等へ入所する原因（主な項目） *要介護者は主な介護者が回答、複数回答あり

(%)	高齢者 n=2,259	要支援者等 n=1,362	要介護者 n=906	事業者 n=132	ケアマネ n=112
認知症等による問題行動が多くなったとき	62.8	40.3	53.3	77.3	81.3
排せつ（の介護）が難しくなったとき	47.5	41.0	49.1	47.7	48.2
複雑な医療の処置が必要になったとき	46.4	30.1	34.1	32.6	31.3
夜間の介護負担が大きくなったとき	37.8	22.7	38.4	51.5	66.1
食べること（の介護）が難しくなったとき	30.2	29.6	25.9	12.1	17.9

2. 成果指標の状況 重点施策③社会全体で取り組む認知症支援

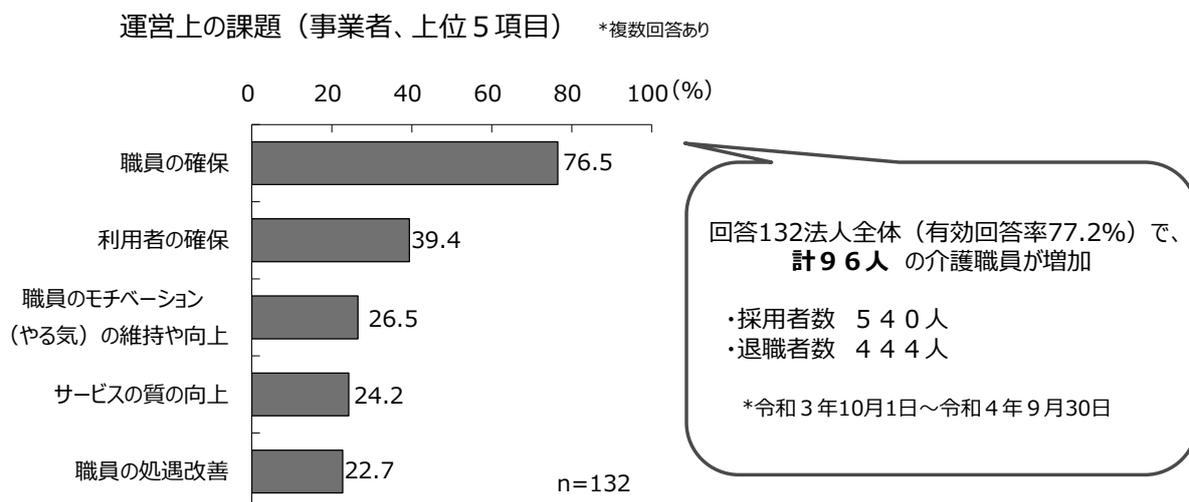
「家族相談」「早期発見」「住民の理解」が上位
事業者・ケアマネは「仕事やボランティア活動（社会参加）」も上位

認知症の人が安心して暮らしていくために取り組むべきこと（主な項目） *複数回答あり

(%)	高齢者 n=2,259	要支援者等 n=1,362	要介護者 n=1,242	事業者 n=132	ケアマネ n=112
認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる	60.8	41.7	50.2	55.3	44.6
認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる	48.4	30.7	35.7	25.8	26.8
認知症について、住民の理解を深める	43.6	32.6	36.2	53.8	52.7
認知症の早期発見の重要性についてPRする	30.5	22.3	24.3	23.5	16.1
お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店を増やす	16.2	12.2	15.1	15.9	28.6
認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる	12.6	8.1	10.2	40.9	46.4

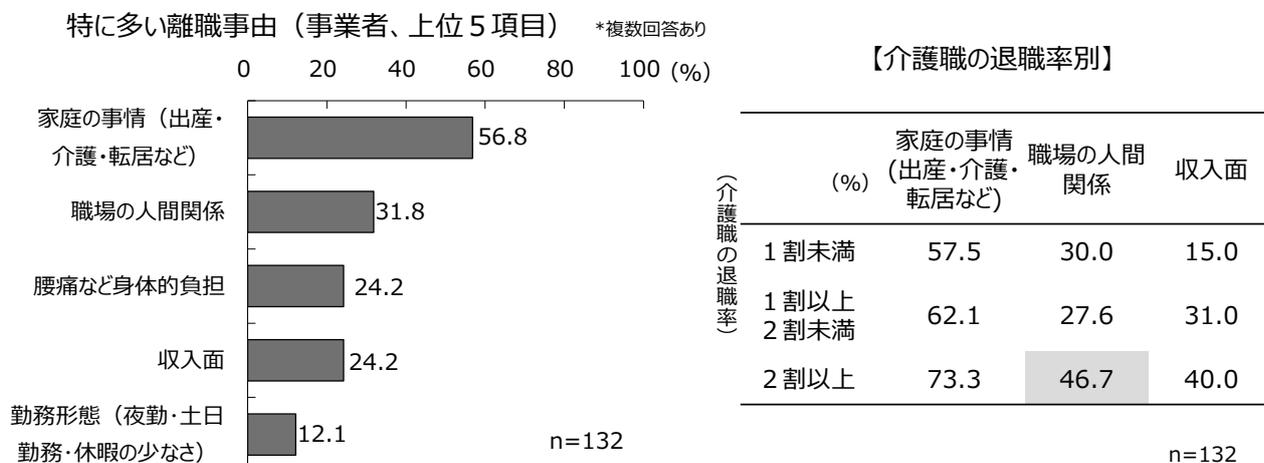
3. 介護人材等に関する調査結果 ①介護サービス事業者の課題

「職員の確保」と「利用者の確保」が課題



3. 介護人材等に関する調査結果 ②主な離職理由

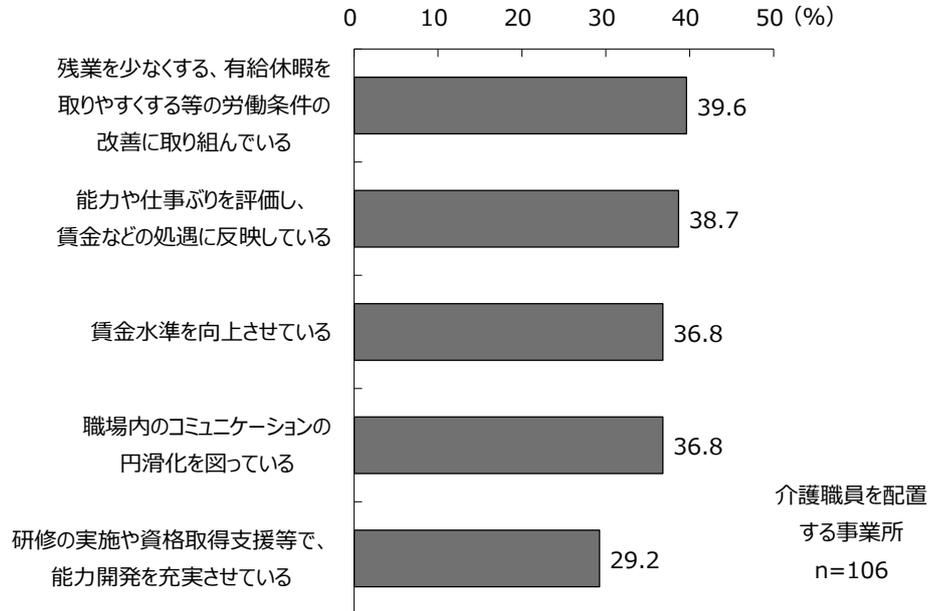
「職場の人間関係」「収入面」などが主な理由 離職率の高い事業者は、特に「職場の人間関係」が課題



3. 介護人材等に関する調査結果 ③職員の採用・育成・定着に向けて

「労働条件の改善」「処遇改善」「コミュニケーションの円滑化」などに取り組む。

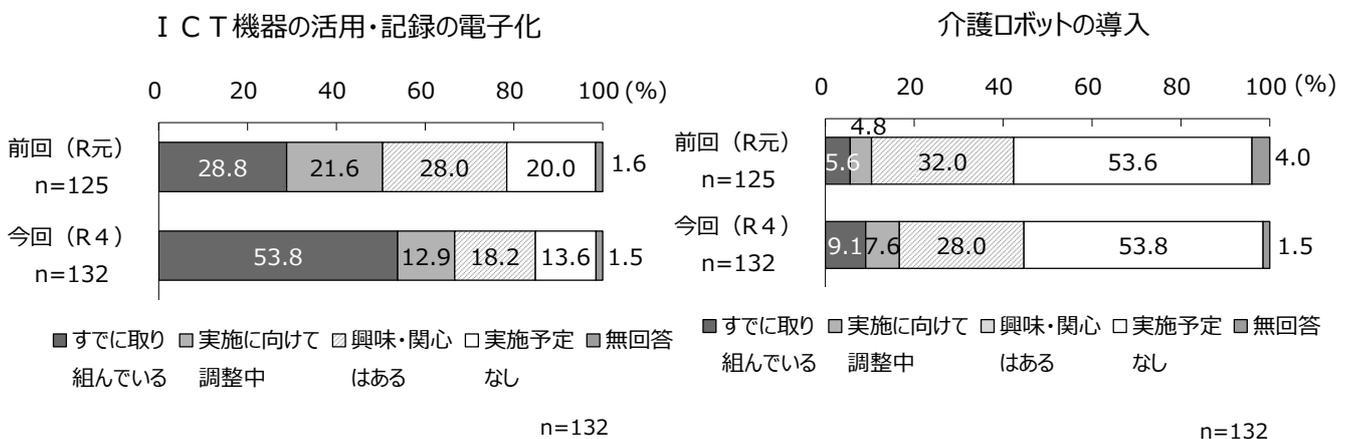
介護職員の採用、育成、定着のために力を入れている方策（事業者、上位5項目） *複数回答あり



3. 介護人材等に関する調査結果 ④職場改善の取組状況

職場改善の取組として、ICT機器の活用・記録の電子化が大きく進んだ。介護ロボットは「すでに取り組んでいる」「実施に向けて調整中」の割合が増加。

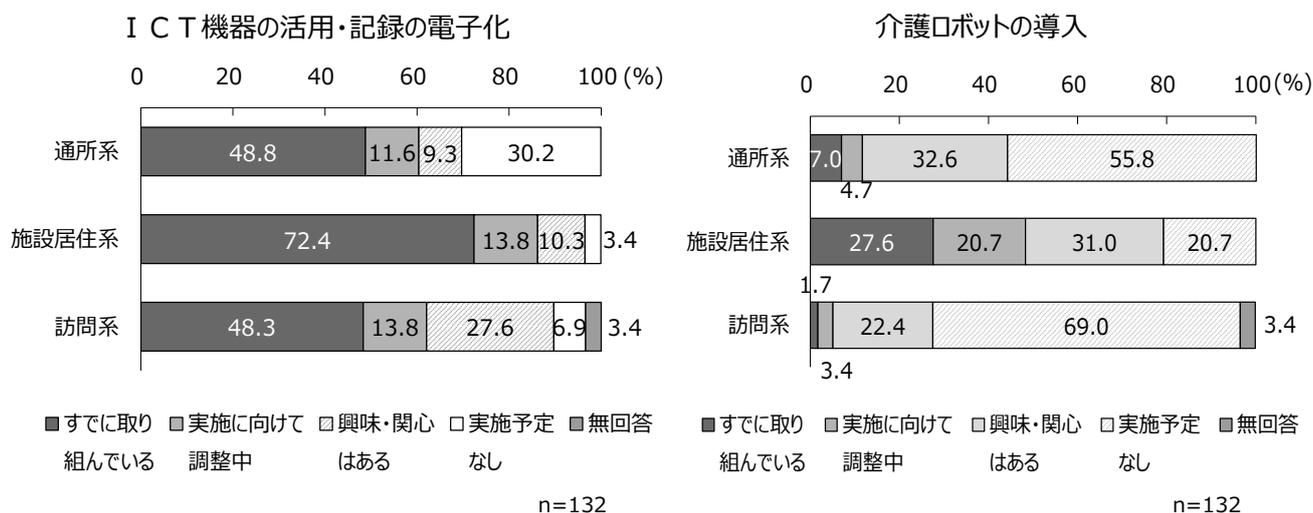
職場改善の取組状況（事業者）



3. 介護人材等に関する調査結果 ④職場改善の取組状況

事業タイプごとの取組状況として、施設居住系で特にICT機器と介護ロボットの活用割合が高い。

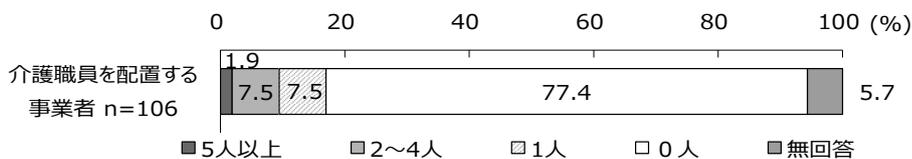
職場改善の取組状況（事業者）



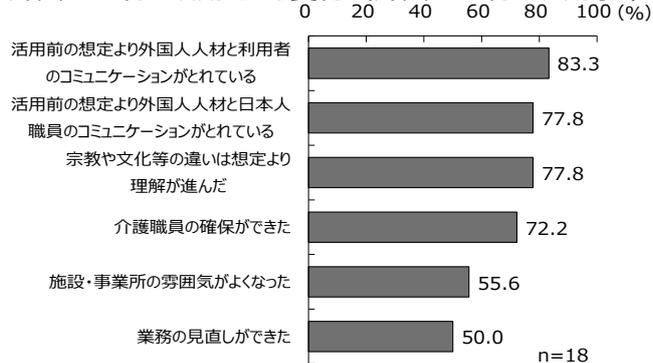
3. 介護人材等に関する調査結果 ⑤外国人人材の活用

市内の18の事業者で外国人人材を活用。外国人人材の活用をきっかけに職場の雰囲気改善、業務の見直しを図る事業者も

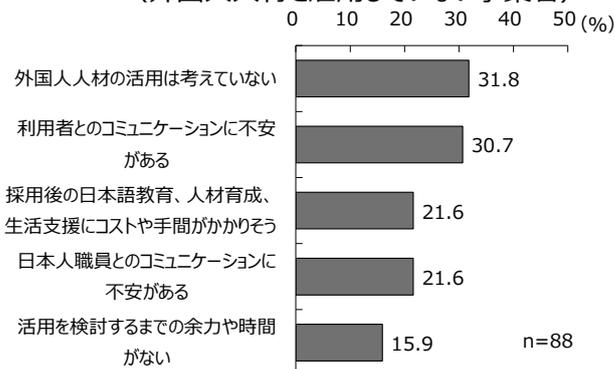
外国人人材の雇用状況（事業者）



外国人人材の活用による変化（外国人人材の雇用事業者）

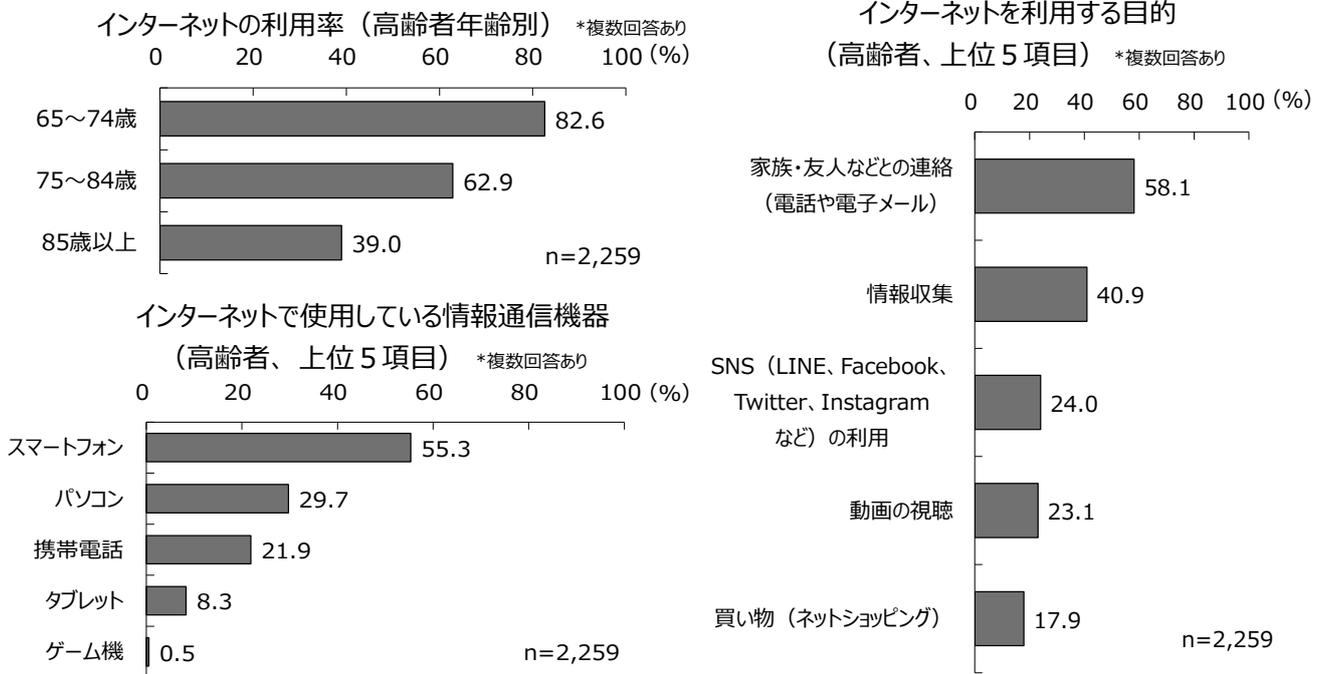


外国人人材の活用の不安（外国人人材を雇用していない事業者）



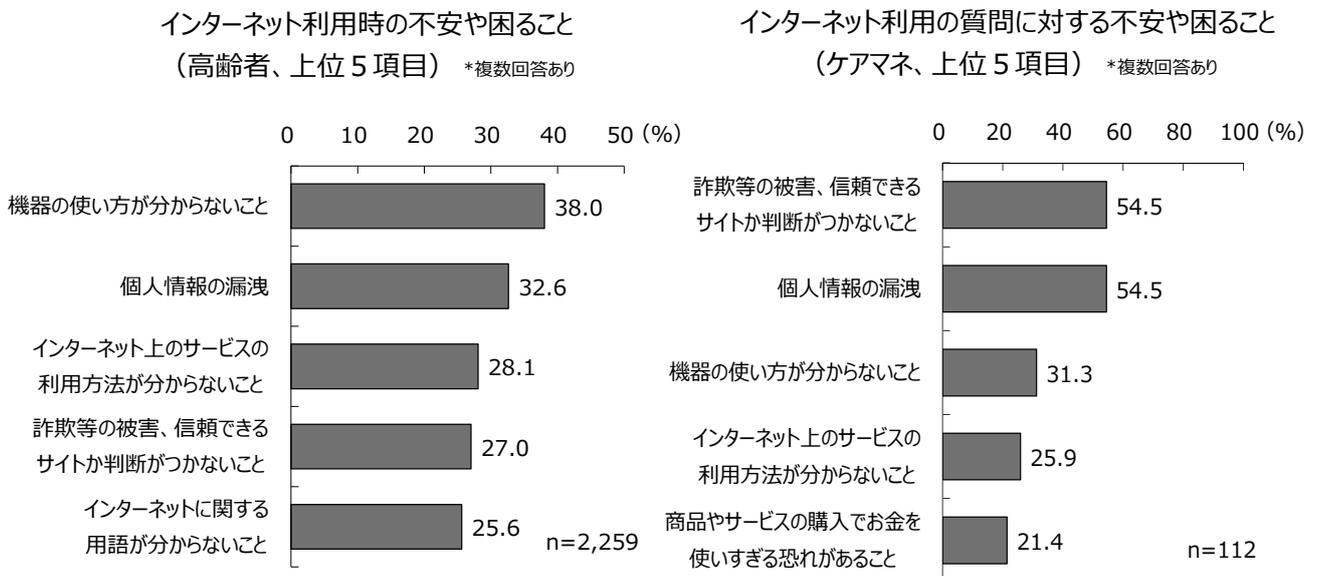
4. その他の調査結果 ① ICT インターネットの利用状況

スマホ、パソコンなどを通じて、インターネットを利用する高齢者は7割超
 家族・友人などとの連絡や情報収集に利用



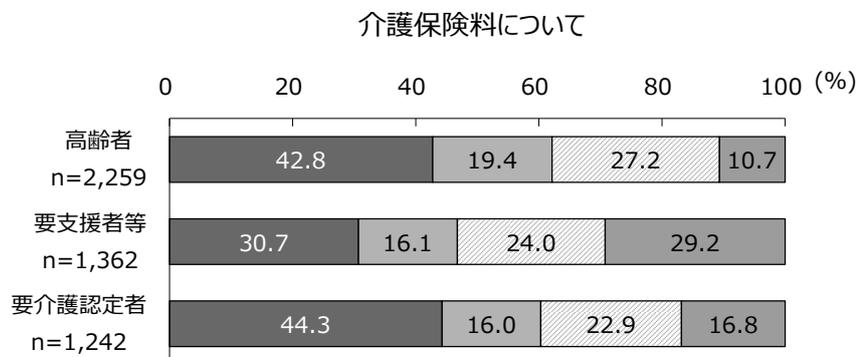
4. その他の調査結果 ① ICT インターネット利用の不安や困ること

機器の使い方、サービスの利用方法、詐欺や個人情報の漏洩防止が課題



4. その他の調査結果 ②介護保険料

現在のサービス水準を維持するために保険料負担の増加はやむをえないとの回答が多い。



- ① 高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
- ② ①に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい
- ③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい
- ④ 無回答

5. まとめ

・調査結果を前回と比較すると、結果が低下したものもあったが、前回（2019年度）は新型コロナウイルス発生前の調査であり、今回調査の結果には、新型コロナウイルスや社会経済状況の変化も影響したと思われる。

・第8期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、重点的に取り組んできた「社会参加」「体制整備」「認知症支援」は、計画のめざす姿である「おもいやりのまち ～安心して自分らしく生きられる 支え合いのまちづくり～」につながる重要な要素であることが、今回調査の結果にも表れた。

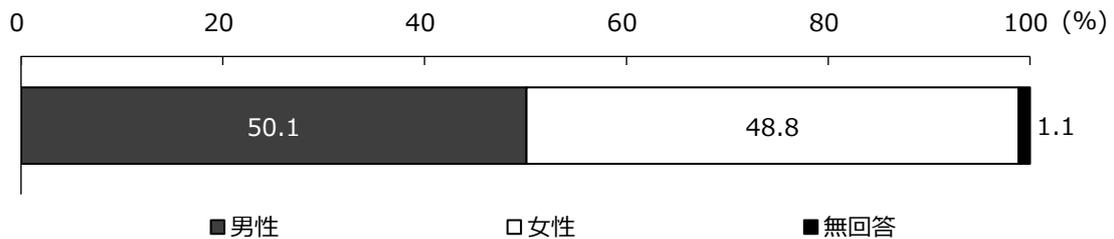
第2章 高齢者アンケート

1 回答者の属性

(1) 性別

n=2,259

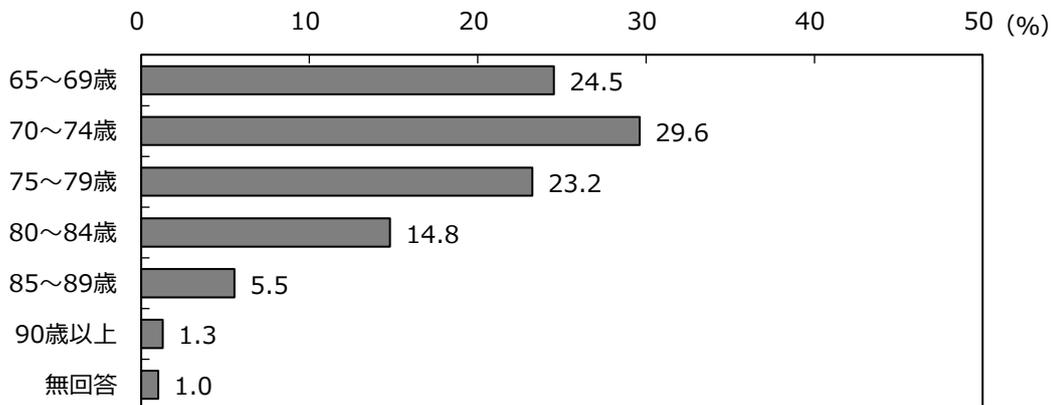
回答者は、「男性」が 50.1%、「女性」48.8%となっています。



(2) 年齢

n=2,259

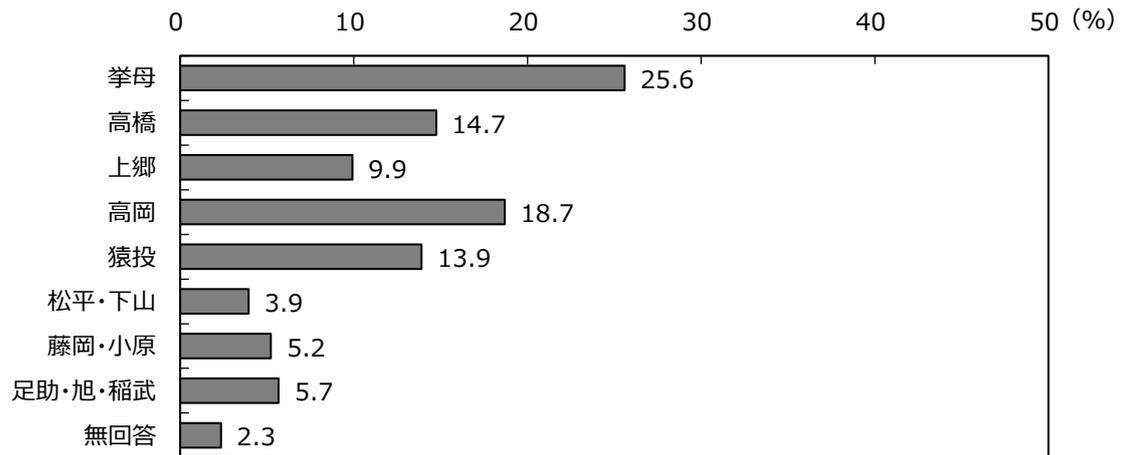
「70～74歳」が 29.6%と最も高く、次いで「65～69歳」が 24.5%、「75～79歳」が 23.2%となっています。



(3) 居住地

n=2,259

「拳母」が 25.6%と最も高く、次いで「高岡」が 18.7%、「高橋」が 14.7%、「猿投」が 13.9%となっています。

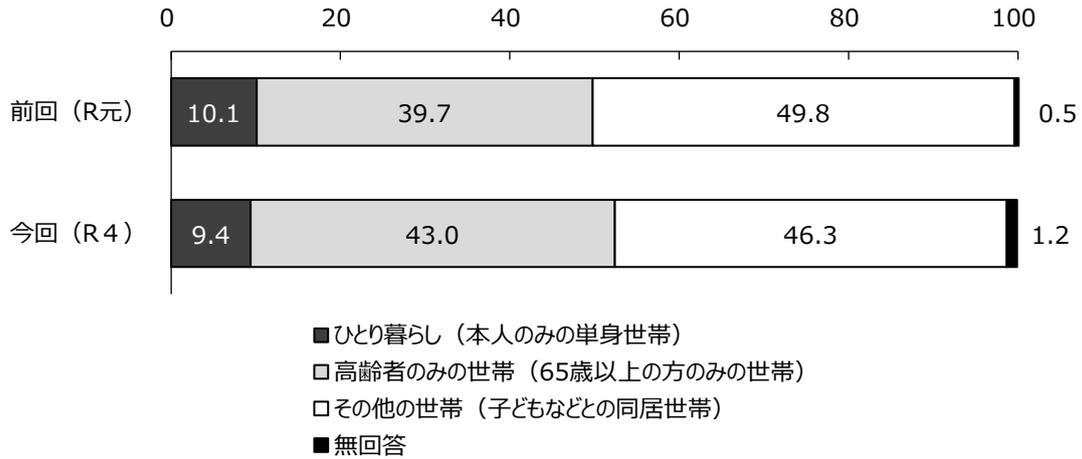


(4) 世帯

n=2,259

「高齢者のみの世帯（65歳以上の方のみの世帯）」が43.0%と前回より増加しています。

年齢別でみると、85歳以上で「その他の世帯」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

年 齢	n	ひとり暮らし (本人のみの単身世帯)	高齢者のみの世帯 (65歳以上の方のみの世帯)	その他の世帯 (子どもなどとの同居世帯)	無回答	
年 齢	65～74歳	1,223	8.8	44.7	46.2	0.2
	75～84歳	859	10.9	44.5	44.1	0.5
	85歳以上	154	7.1	26.6	64.9	1.3
日 常 生 活 圏 域	拳母	578	11.4	43.9	44.5	0.2
	高橋	333	9.9	44.1	45.0	0.9
	上郷	224	8.9	38.4	52.2	0.4
	高岡	422	8.3	43.1	48.1	0.5
	猿投	314	8.0	45.9	45.9	0.3
	松平・下山	89	13.5	39.3	47.2	0.0
	藤岡・小原	118	5.9	44.1	50.0	0.0
	足助・旭・稲武	128	7.8	45.3	46.1	0.8

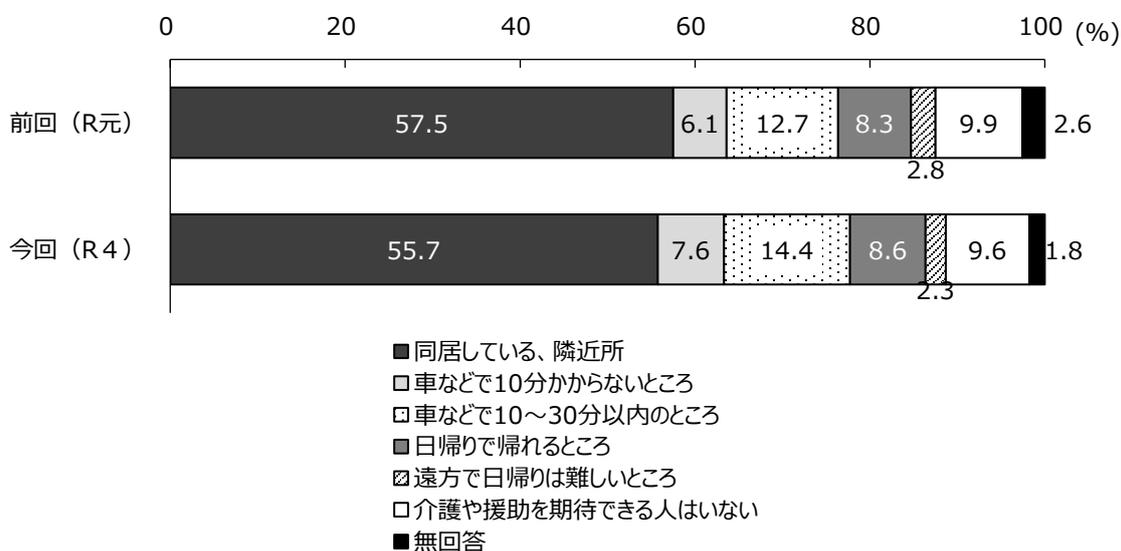
(5) 介護や援助をしてくれる家族等の居住地

■ あなたに介護が必要になった時に、主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。(○は1つ)

n=2,259

「同居している、隣近所」が 55.7%と最も高くなっています。

年齢別で見ると、85 歳以上で「同居している、隣近所」の割合が他の年代と比べて高くなっています。日常生活圏域別では、松平・下山、藤岡・小原、足助・旭・稲武で「日帰りで帰るところ」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	同居している、隣近所	車などで10分以内のところ	車などで10～30分以内のところ	日帰りで帰るところ	遠方で日帰りは難しいところ	介護や援助を期待できる人はいない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	55.6	7.7	14.0	9.2	2.5	10.2	0.9
	75～84歳	859	54.2	8.0	16.3	8.4	2.4	9.8	0.8
	85歳以上	154	71.4	5.2	9.7	7.1	0.6	3.9	1.9
日常生活圏域	拳母	578	55.2	9.3	16.3	6.9	1.6	9.7	1.0
	高橋	333	54.4	11.1	15.3	7.5	3.3	7.8	0.6
	上郷	224	60.7	9.4	12.1	4.5	1.8	11.6	0.0
	高岡	422	59.2	7.6	14.9	7.6	0.9	8.5	1.2
	猿投	314	55.7	5.7	14.6	7.6	5.1	10.2	1.0
	松平・下山	89	53.9	3.4	15.7	14.6	2.2	9.0	1.1
	藤岡・小原	118	58.5	3.4	8.5	19.5	1.7	7.6	0.8
足助・旭・稲武	128	53.9	1.6	11.7	18.8	3.1	8.6	2.3	

2 日常生活について

(1) 日常生活や運動

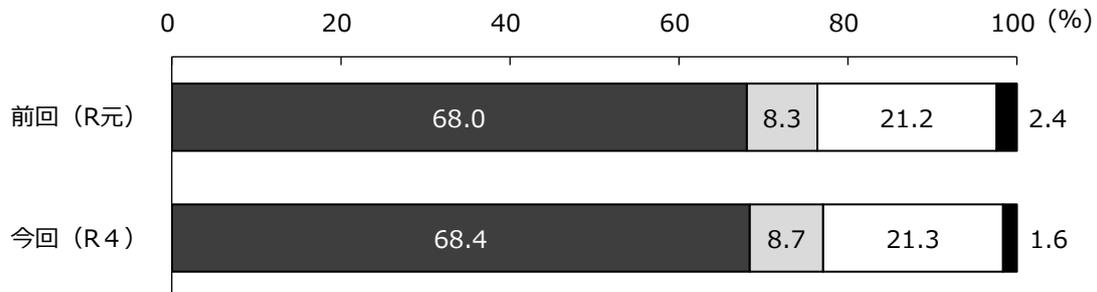
■ 日常生活や運動についてはいかがですか。(それぞれ1つずつ○)

n=2,259

①日常生活等で、階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている」が 68.4%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

年齢別で見ると、85歳以上で「手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない」の割合が他と比べて高くなっています。性別で見ると、女性で「手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない」の割合が他と比べて高くなっています。



- 手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている
- 手すりや壁などを使わなくても、階段を昇ることはできるが、階段を昇る機会がない
- 手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない
- 無回答

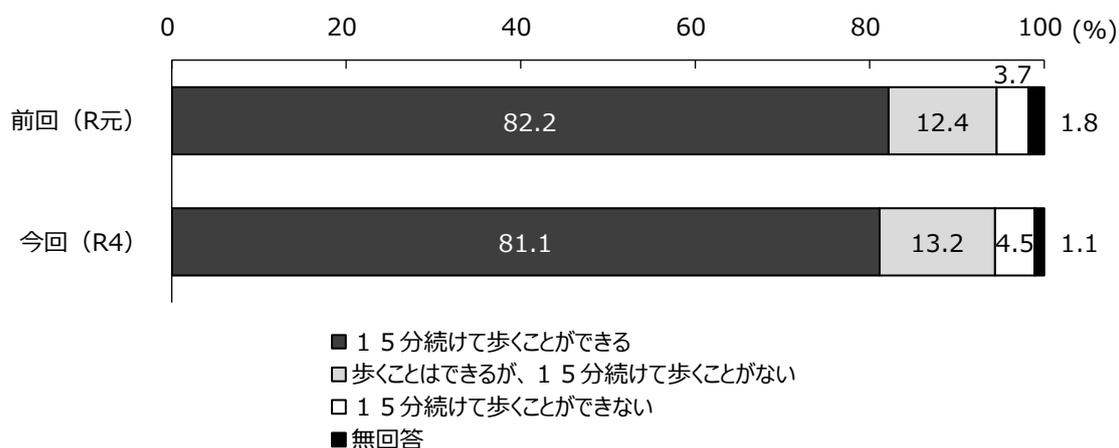
単位：%

	年齢	n	手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている	手すりや壁などを使わなくても、階段を昇ることはできるが、階段を昇る機会がない	手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない	無回答
年	65～74歳	1,223	79.4	7.2	13.2	0.2
	75～84歳	859	60.3	10.4	27.5	1.9
	85歳以上	154	35.7	12.3	51.9	0.0
性別	男性	1,132	72.9	9.1	17.5	0.5
	女性	1,102	65.3	8.3	25.2	1.1

② 15分位続けて歩いていますか

「15分続けて歩くことができる」が81.1%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

年齢別でみると、85歳以上で「歩くことはできるが、15分続けて歩くことがない」「15分続けて歩くことがない」の割合が他と比べて高くなっています。



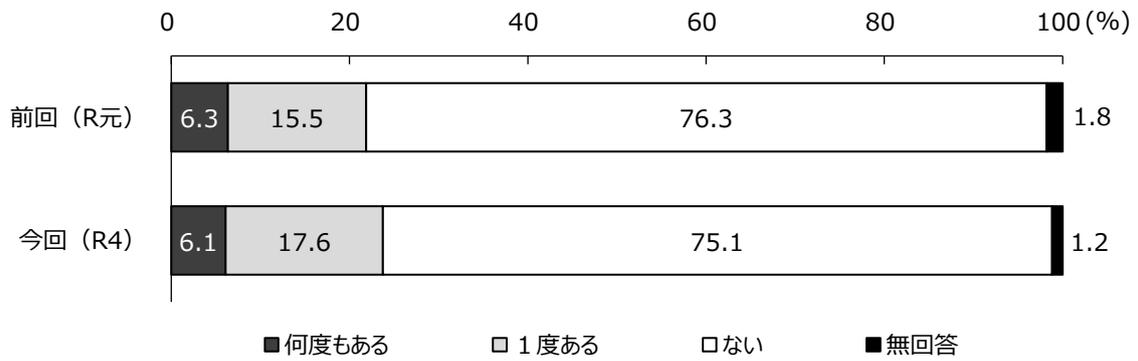
単位：%

		n	15分 続けて歩 くことが できる	歩くこ とはでき るが、15 分続けて 歩くこと がない	15分 続けて歩 くことが できない	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	85.4	12.5	1.8	0.2
	75～84歳	859	80.3	13.5	5.8	0.3
	85歳以上	154	61.0	19.5	19.5	0.0
性 別	男性	1,132	81.4	14.2	4.2	0.2
	女性	1,102	82.3	12.4	4.9	0.4

③過去1年間に転んだ経験がありますか

「1度ある」が17.6%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

年齢別で見ると、85歳以上で「何度もある」「1度ある」の割合が他と比べて高くなっています。性別で見ると、女性で「ない」の割合が他と比べて低くなっています。



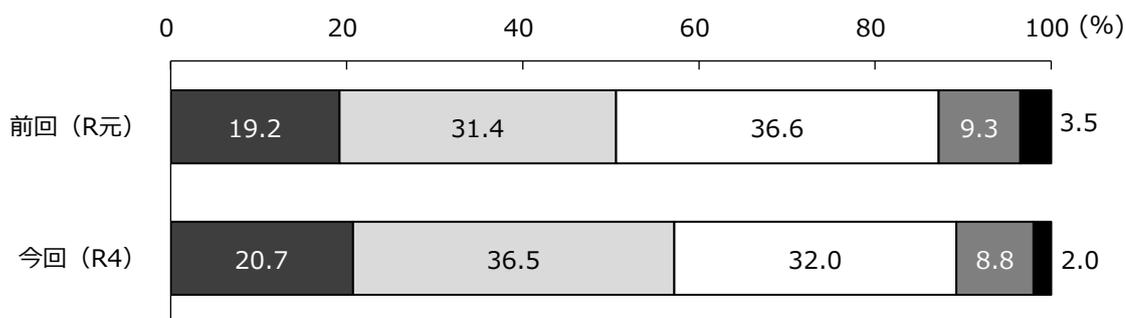
単位: %

		n	何度もある	1度ある	ない	無回答
年齢	65~74歳	1,223	4.7	14.8	80.3	0.2
	75~84歳	859	7.1	20.0	72.4	0.5
	85歳以上	154	13.0	27.3	59.1	0.6
性別	男性	1,132	5.6	15.5	78.6	0.3
	女性	1,102	6.8	20.0	72.9	0.4

④歯の数と入れ歯の利用状況

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 36.5%と、前回より増加しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が他と比べて高くなっています。



- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 無回答

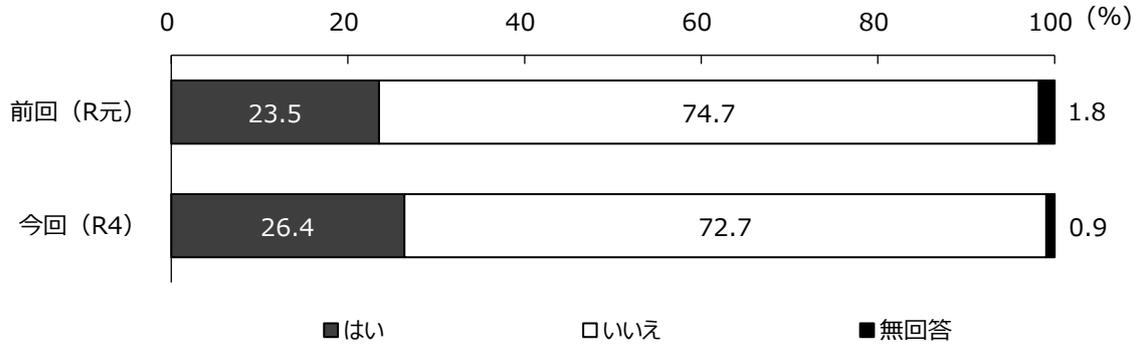
単位：%

	n	自分の歯の数と入れ歯の利用状況 (%)				無回答	
		20本以上、かつ入れ歯を利用	20本以上、入れ歯の利用なし	19本以下、かつ入れ歯を利用	19本以下、入れ歯の利用なし		
年齢	65～74歳	1,223	20.0	44.0	25.4	9.9	0.7
	75～84歳	859	22.7	30.4	38.0	7.5	1.5
	85歳以上	154	16.2	15.6	56.5	8.4	3.2
性別	男性	1,132	22.3	34.7	32.6	9.6	0.8
	女性	1,102	19.4	38.9	32.0	8.1	1.5

⑤お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が26.4%で、前回よりやや増加しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



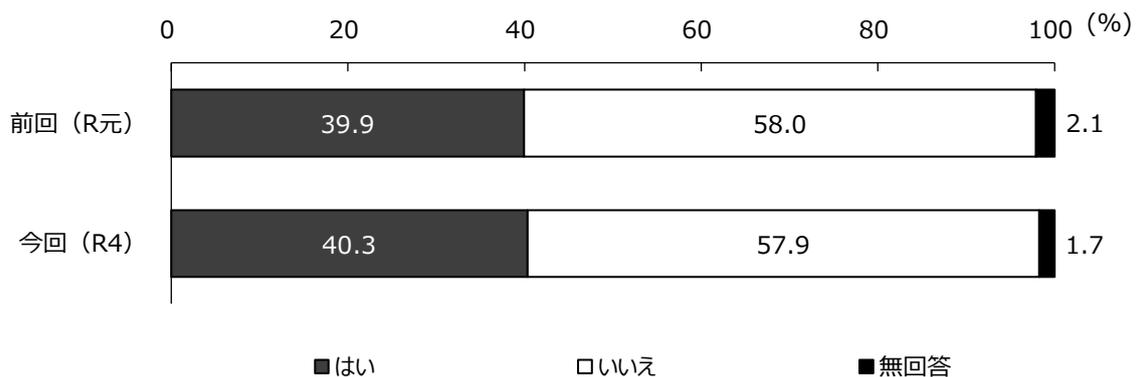
単位：%

		n	はい	いいえ	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	22.5	77.4	0.1
	75～84歳	859	30.3	69.6	0.1
	85歳以上	154	39.0	61.0	0.0
性 別	男性	1,132	27.9	72.0	0.1
	女性	1,102	25.1	74.8	0.1

⑥物忘れが多いと感じますか

「はい」が40.3%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



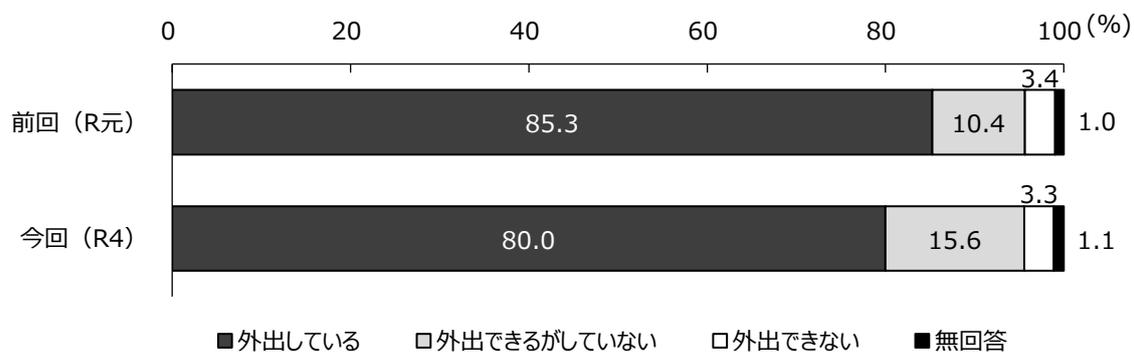
単位：%

		n	はい	いいえ	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	35.2	64.3	0.5
	75～84歳	859	46.2	52.3	1.5
	85歳以上	154	52.6	46.8	0.6
性 別	男性	1,132	41.3	57.9	0.9
	女性	1,102	39.8	59.3	0.9

⑦バス・電車を使って1人で外出していますか

「外出できるがしていない」が15.6%と、前回と比べて増加しています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「外出できるがしていない」「外出できない」の割合が高くなっています。性別で見ると、女性で「外出している」の割合が他と比べて低くなっています。



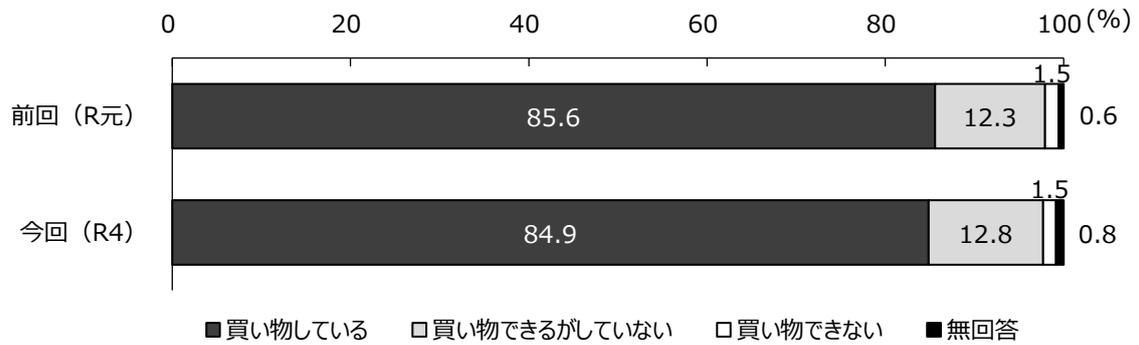
単位：%

		n	外出している	外出できるがしていない	外出できない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	85.5	12.6	1.0	0.9
	75～84歳	859	76.6	17.9	4.5	0.9
	85歳以上	154	58.4	24.0	14.3	3.2
性別	男性	1,132	83.0	13.7	2.4	1.0
	女性	1,102	77.7	17.2	4.0	1.2

⑧自分で食品・日用品の買い物をしていますか

「買い物している」が84.9%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「買い物している」の割合が低くなっています。性別で見ると、男性は「買い物できるがしていない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	買い物している	買い物できるがしていない	買い物できない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	89.6	8.9	0.6	0.9
	75～84歳	859	81.0	17.1	1.2	0.7
	85歳以上	154	68.8	20.8	9.7	0.6
性別	男性	1,132	77.1	20.7	1.4	0.8
	女性	1,102	93.0	4.8	1.4	0.8

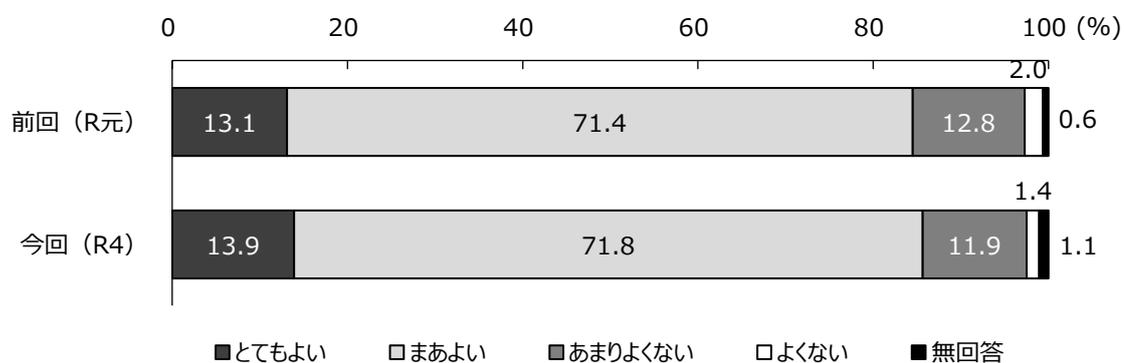
(2) 健康状態

■ あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

n=2,259

「まあよい」が 71.8%、「とてもよい」が 13.9%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

年齢別でみると、85 歳以上で「あまりよくない」の割合が他と比べて高くなっています。幸せ感別でみると、0～4 は「あまりよくない」「よくない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	17.3	73.6	7.0	1.2	0.9
	75～84歳	859	10.6	70.9	15.9	1.5	1.0
	85歳以上	154	6.5	65.6	23.4	2.6	1.9
性別	男性	1,132	14.0	71.2	12.0	1.8	1.0
	女性	1,102	13.9	72.9	11.1	1.1	1.1
幸せ感	9～10	582	27.5	64.8	6.5	0.3	0.9
	7～8	918	11.0	78.3	9.5	0.7	0.5
	5～6	537	6.7	74.7	15.6	1.3	1.7
	0～4	148	2.7	55.4	30.4	10.1	1.4

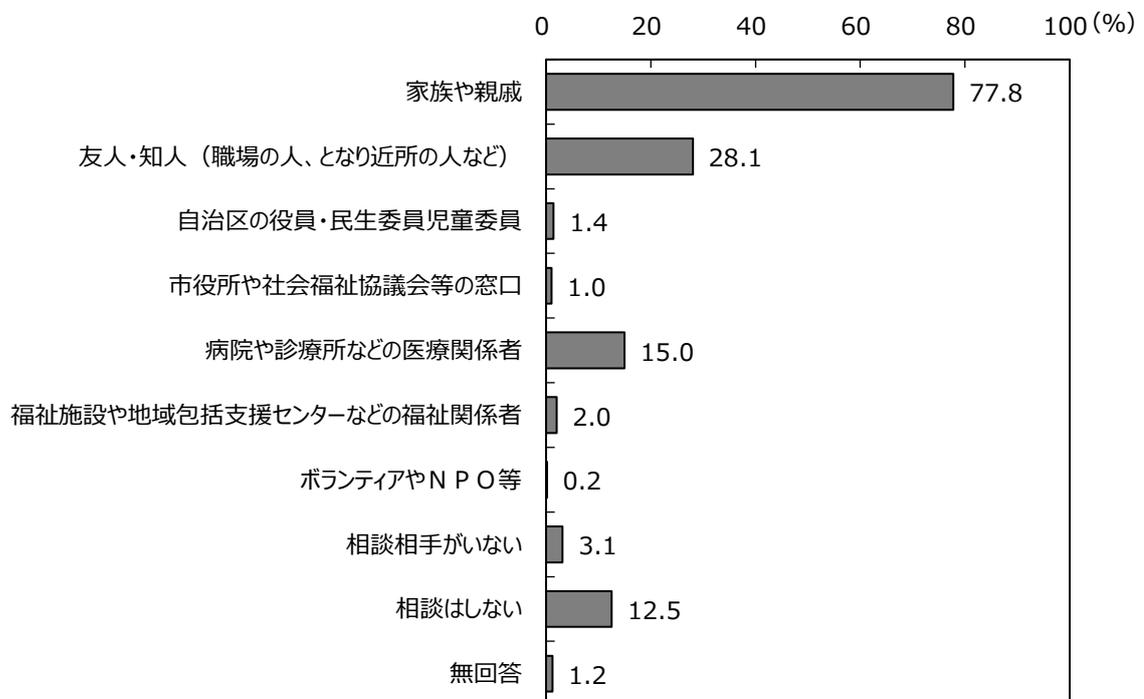
(3) 生活上の悩みや不安の相談先

- あなたは、生活上の悩みや不安を、主に誰（どこ）に相談していますか。
（あてはまるものすべてに○）

n=2,259

「家族や親戚」が 77.8%と最も高く、次いで「友人・知人（職場の人、となり近所の人など）」が 28.1%、「病院や診療所などの医療関係者」が 15.0%となっています。なお、「相談はしない」が 12.5%となっています。

性別・年齢別で見ると、65～74 歳と女性は「友人・知人」の割合が他と比べて高くなっています。幸せ感別では、0～4 で「相談相手がない」「相談はしない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

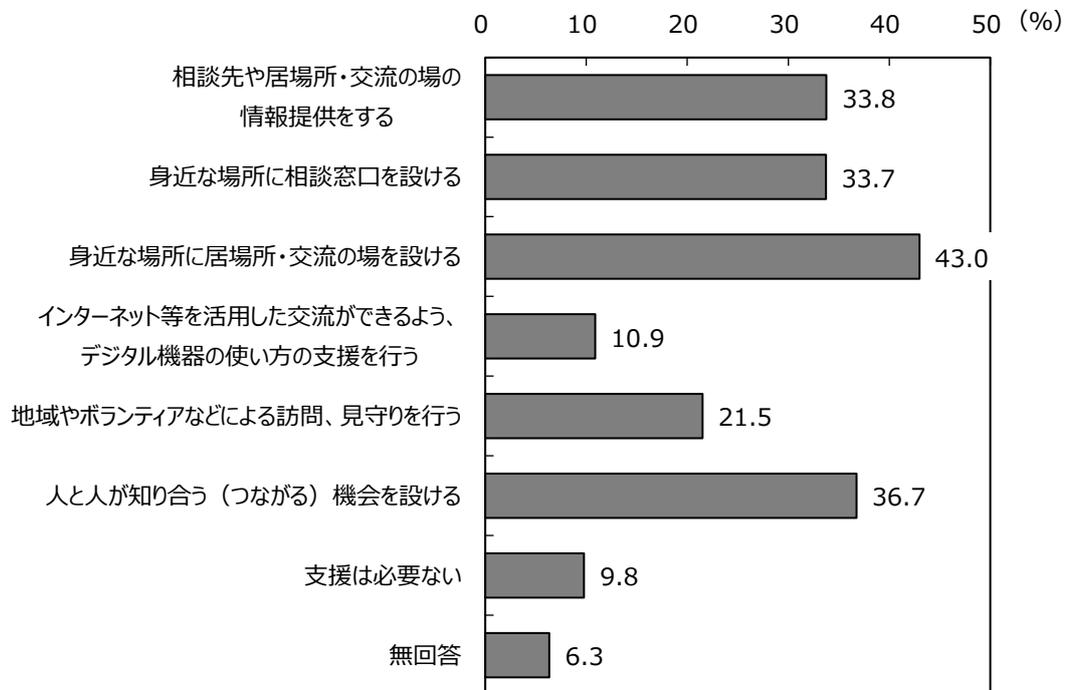
		n	家族や 親戚	友人・知 人（職 場の人、 となり近 所の人 など）	自治区 の役員・ 民生委 員児童 委員	市役所 や社会 福祉協 議会等 の窓口	病院や 診療所 などの医 療関係 者	福祉施 設や地 域包括 支援セン ターなど の福祉 関係者	ボランティ アやN P O等	相談相 手がいな い	相談はし ない	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	77.4	32.3	1.1	1.2	12.3	1.3	0.2	3.1	13.4	1.0
	75～84歳	859	77.2	24.4	1.6	0.6	17.2	2.9	0.2	3.0	11.9	1.5
	85歳以上	154	84.4	14.9	1.9	1.9	23.4	2.6	0.0	3.2	8.4	0.6
性 別	男性	1,132	74.7	20.1	1.7	1.3	17.1	2.1	0.4	3.9	16.3	1.4
	女性	1,102	81.0	36.4	1.1	0.7	12.7	1.9	0.0	2.2	8.5	0.9
幸 せ 感	9～10	582	81.1	26.1	1.4	0.9	12.2	1.2	0.3	1.4	14.1	1.0
	7～8	918	83.8	32.6	1.4	0.8	16.6	2.4	0.1	1.1	8.1	0.8
	5～6	537	71.9	24.8	1.7	1.3	15.6	1.3	0.0	3.9	15.5	1.9
	0～4	148	55.4	18.9	1.4	2.7	15.5	5.4	0.0	16.9	21.6	1.4

(4) 孤独・孤立対策にあると良いと思う支援

■ 近年、職場や家庭、地域で人々の関わり合い支え合う機会が減少してきており、孤独・孤立の問題が顕在化してきています。孤独・孤立対策としてどのような支援があると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

n=2,259

「身近な場所に居場所・交流の場を設ける」が 43.0%と最も高く、次いで「人と人が知り合う（つながる）機会を設ける」が 36.7%、「相談先や居場所・交流の場の情報提供をする」が 33.8%、「身近な場所に相談窓口を設ける」が 33.7%となっています。



単位：%

		n	相談先 や居場 所・交流 の場の情 報提供 をする	身近な 場所に 相談窓 口を設け る	身近な 場所に 居場所・ 交流の 場を設け る	インター ネット等 を活用し た交流が できるよ う、デジ タル機器 の使い方 の支援を 行う	地域や ボランテ アなどに よる訪 問、見 守りを行 う	人と人が 知り合う (つなが る) 機 会を設け る	支援は 必要な い	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	37.4	34.0	45.4	13.9	22.6	38.3	10.0	4.2
	75～84歳	859	29.9	34.7	41.8	8.0	20.3	36.2	9.2	7.3
	85歳以上	154	27.3	26.6	29.9	3.9	16.9	26.6	11.0	16.2
外 出 頻 度	ほとんど外出しない	95	24.2	26.3	26.3	3.2	21.1	25.3	13.7	11.6
	週1日	215	22.8	33.5	38.6	7.0	16.3	34.4	11.2	9.8
	週2～4日	1,056	34.8	34.7	43.6	11.0	21.5	36.3	8.0	6.7
世 帯	週5日以上	814	36.6	34.4	45.9	12.7	24.0	40.0	10.9	3.4
	ひとり暮らし	213	27.7	37.1	33.3	9.4	20.7	26.3	13.6	8.9
	高齢者のみの世帯	971	34.0	34.3	45.0	11.5	21.6	38.3	9.2	4.9
	その他の世帯	1,047	34.9	32.7	43.2	10.7	21.3	37.4	9.6	6.7

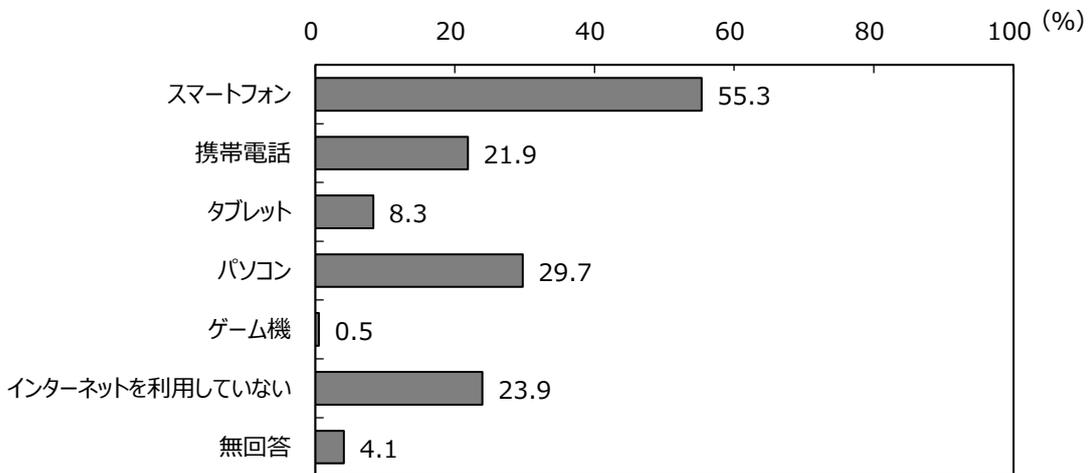
(5) インターネットで使用している情報通信機器

■ あなたがインターネットを利用するために使用する情報通信機器は何ですか。(○は3つまで)

n=2,259

「スマートフォン」が55.3%と最も高く、次いで「パソコン」が29.7%となっています。「インターネットを利用していない」は23.9%です。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「インターネットを利用していない」「携帯電話(スマートフォンを除く)」の割合が高くなっています。性別では、男性は「パソコン」の割合が女性と比べて高くなっています。



単位：%

		n	スマートフォン	携帯電話 (スマートフォンを除く)	タブレット	パソコン	ゲーム機	インターネットを利用していない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	71.0	14.6	11.6	38.3	0.6	15.7	1.7
	75～84歳	859	41.1	29.3	5.0	21.9	0.3	31.3	5.8
	85歳以上	154	14.3	34.4	1.3	7.8	1.3	48.7	12.3
性別	男性	1,132	56.5	21.7	9.5	45.3	0.4	21.1	2.7
	女性	1,102	54.8	21.5	7.2	14.2	0.6	26.8	5.2

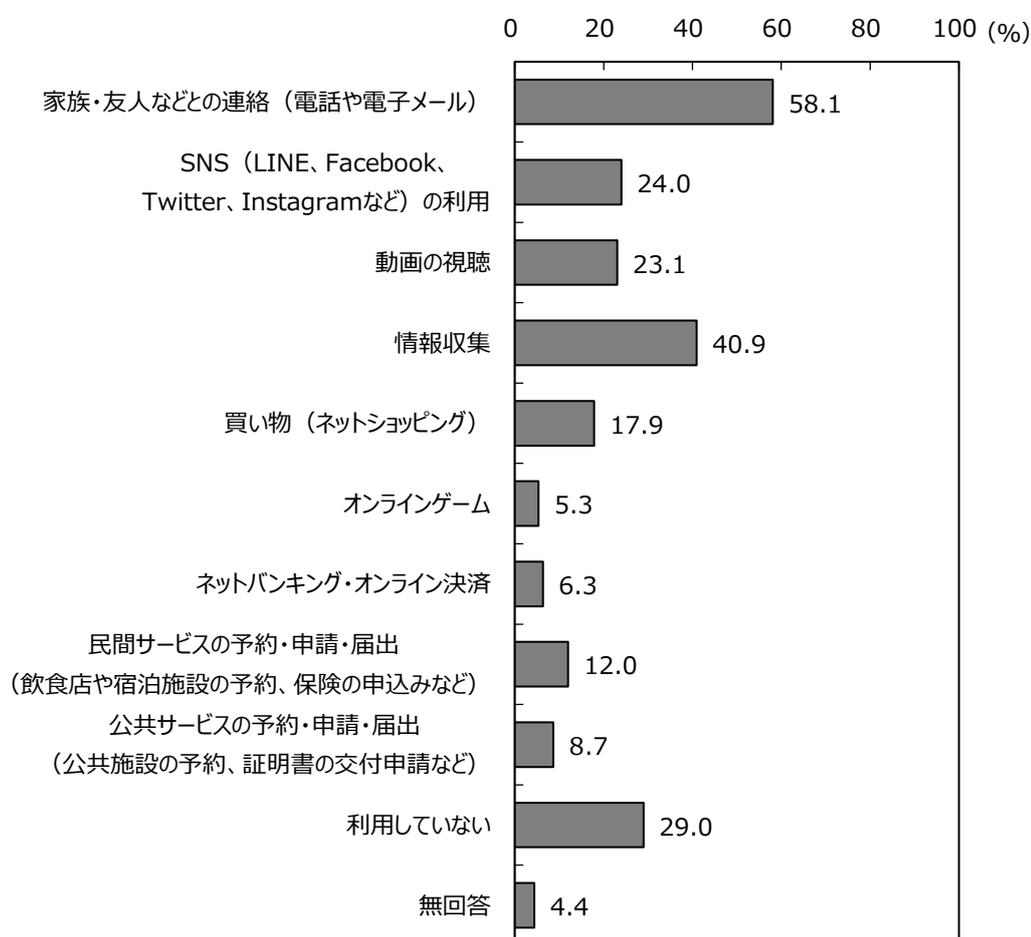
(6) インターネットを利用する目的

- あなたはインターネットを何に利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

n=2,259

「家族・友人などとの連絡（電話や電子メール）」が58.1%と最も高く、次いで「情報収集」が40.9%です。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれて「家族・友人などとの連絡」「情報収集」など総じて割合が高くなっています。性別では、男性で「情報収集」の割合が他と比べて高くなっています。幸せ度別では0～4で「利用していない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	家族・友人などの連絡 (電話や電子メール)	SNSの利用	動画の視聴	情報収集	買い物 (ネットショッピング)	オンラインゲーム	ネットバンキング・オンライン決済	民間サービスの予約・申請・届出 (飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込みなど)	公共サービスの予約・申請・届出 (公共施設の予約、証明書の交付申請など)
年齢	65～74歳	1,223	69.4	32.9	33.1	54.5	25.6	7.4	9.9	18.2	12.3
	75～84歳	859	47.8	15.3	12.7	27.8	8.7	3.3	2.3	5.1	4.5
	85歳以上	154	27.9	3.2	2.6	8.4	8.4	0.6	0.6	0.6	2.6
性別	男性	1,132	57.7	24.4	26.2	49.8	23.0	5.1	9.1	16.9	12.5
	女性	1,102	59.0	23.8	20.1	32.3	12.8	5.6	3.5	7.0	4.8
幸せ感	9～10	582	63.2	24.2	24.4	42.1	19.1	6.9	7.0	13.4	10.5
	7～8	918	63.0	28.4	25.9	46.5	20.6	5.3	7.1	13.7	9.9
	5～6	537	50.8	18.6	19.7	35.0	14.2	4.1	4.7	9.5	6.3
	0～4	148	38.5	20.9	16.9	29.1	14.9	4.1	6.8	8.1	5.4

単位：%

		n	利用していない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	18.3	2.0
	75～84歳	859	38.6	6.4
	85歳以上	154	59.7	11.0
性別	男性	1,132	26.6	3.0
	女性	1,102	31.3	5.5
幸せ感	9～10	582	23.9	4.8
	7～8	918	24.7	3.5
	5～6	537	36.1	4.5
	0～4	148	46.6	5.4

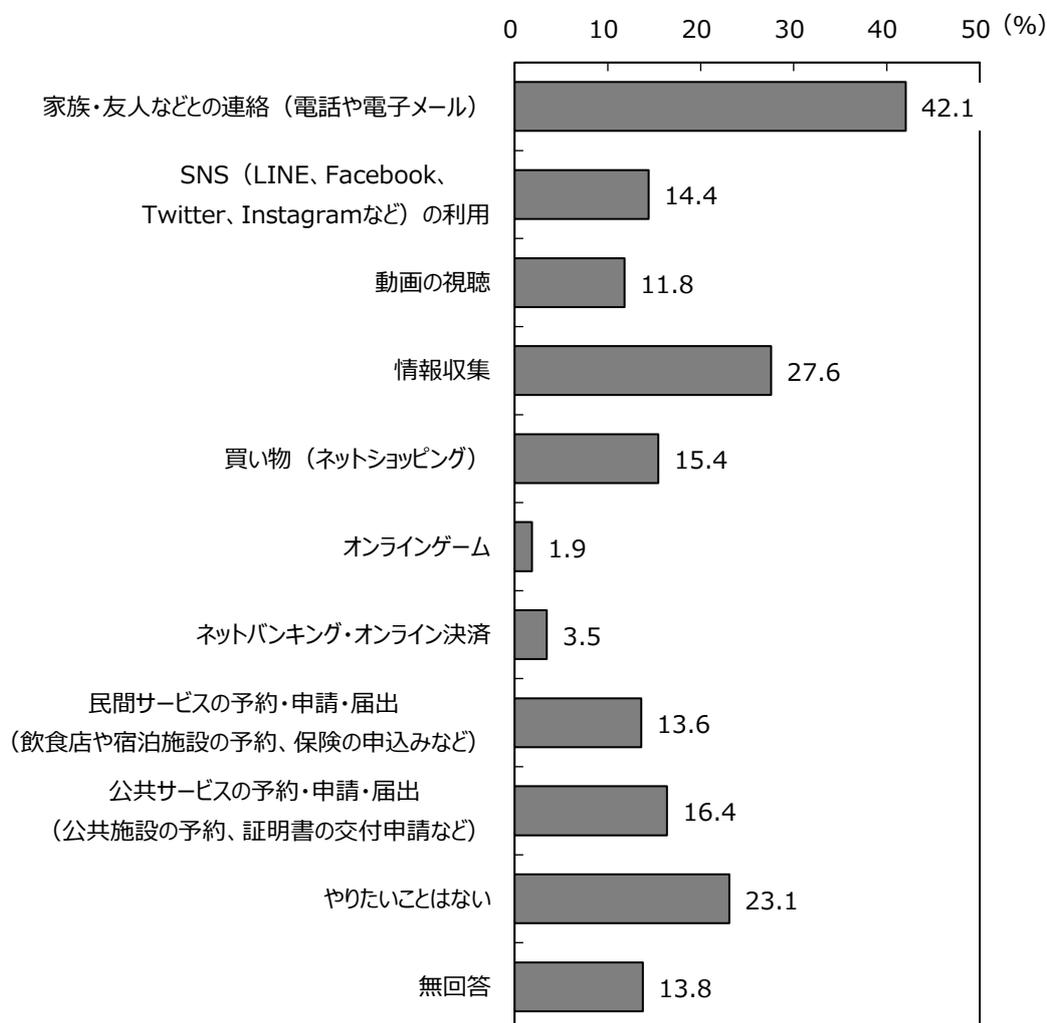
(7) これからインターネットを利用してやってみたいこと

■ あなたが、インターネットを利用して、これからやりたいことは何ですか。(○は3つまで)

n=2,259

「家族・友人などとの連絡（電話や電子メール）」が42.1%と最も高く、次いで「情報収集」が27.6%です。「やりたいことはない」は23.1%となっています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれて「情報収集」「買い物（ネットショッピング）」「公共サービスの予約・申請・届出（公共施設の予約、証明書の交付申請など）」の割合が高くなっています。性別では、男性で「情報収集」の割合が他と比べて高くなっています。



第2章 高齢者アンケート

単位：％

		n	家族・友人などの連絡 (電話や電子メール)	SNSの利用	動画の視聴	情報収集	買い物(ネットショッピング)	オンラインゲーム	ネットバンキング・オンライン決済	民間サービスの予約・申請・届出 (飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込みなど)	公共サービスの予約・申請・届出 (公共施設の予約、証明書の交付申請など)
年齢	65～74歳	1,223	44.1	17.7	15.0	32.4	19.1	2.4	5.0	17.4	20.1
	75～84歳	859	40.4	11.9	8.8	23.9	12.5	1.5	2.0	10.2	13.6
	85歳以上	154	37.0	1.3	4.5	13.0	5.2	0.0	0.0	3.9	3.9
性別	男性	1,132	40.9	14.5	12.0	31.7	16.3	1.7	4.3	16.2	19.1
	女性	1,102	43.5	14.3	11.8	23.8	14.9	2.1	2.6	11.3	13.9

単位：％

		n	やりたいことはない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	17.5	10.4
	75～84歳	859	27.4	17.6
	85歳以上	154	40.9	18.8
性別	男性	1,132	23.2	11.5
	女性	1,102	22.3	16.1

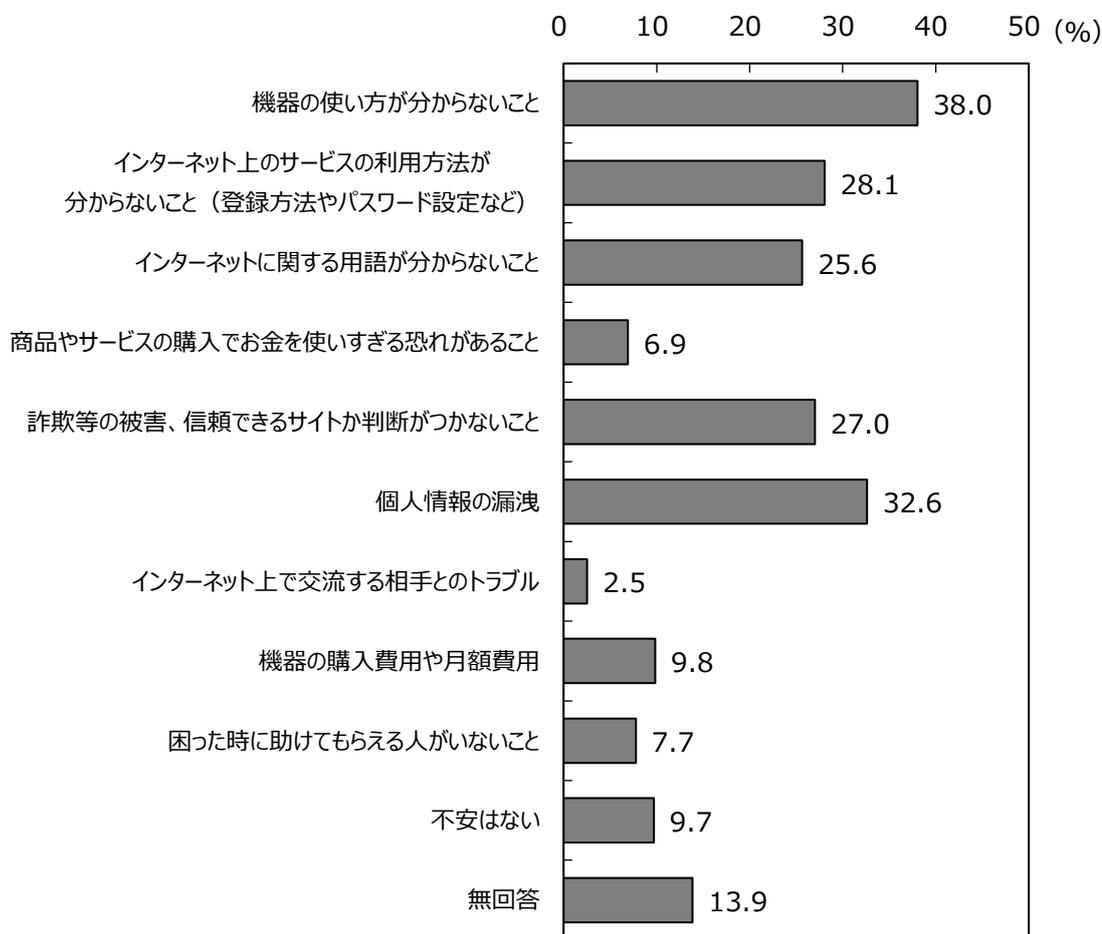
(8) インターネット利用時の不安や困ること

- あなたがインターネットの利用にあたって不安なことや困ることは何ですか。(○は3つまで)

n=2,259

「機器の使い方が分からないこと」が 38.0%と最も高く、次いで「個人情報の漏洩」が 32.6%、「インターネット上のサービスの利用方法が分からないこと（登録方法やパスワード設定など）」が 28.1%、「詐欺等の被害、信頼できるサイトか判断がつかないこと」が 27.0%、「インターネットに関する用語が分からないこと」が 25.6%となっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「個人情報の漏洩」「詐欺等の被害、信頼できるサイトか判断がつかないこと」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	機器の 使い方が 分からないこと	インター ネット上 のサービス の利用 方法が 分からないこと (登録 方法やパ スワード 設定など)	インター ネットに 関する用 語が分か らないこ と	商品や サービス の購入で お金を使 いすぎる 恐れがあ ること	詐欺等 の被害、 信頼でき るサイト か判断が つかない こと	個人情 報の漏 洩	インター ネット上 で交流す る相手と のトラブ ル	機器の 購入費 用や月 額費用	困った時 に助けて もらえる 人がいな いこと
年 齢	65～74歳	1,223	33.3	30.3	26.1	7.5	34.8	44.1	3.5	11.5	8.9
	75～84歳	859	43.9	27.4	26.4	6.8	19.9	21.5	1.5	8.7	6.4
	85歳以上	154	42.2	18.2	18.8	3.2	5.8	5.2	0.6	2.6	5.2
性 別	男性	1,132	34.7	26.6	23.9	8.1	29.5	34.4	3.0	12.5	8.9
	女性	1,102	41.4	30.1	27.8	5.7	24.6	31.1	2.1	7.1	6.4

単位：%

		n	不安は ない	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	8.4	8.0
	75～84歳	859	10.2	19.1
	85歳以上	154	16.9	29.2
性 別	男性	1,132	12.2	10.5
	女性	1,102	7.2	16.9

3 社会参加について

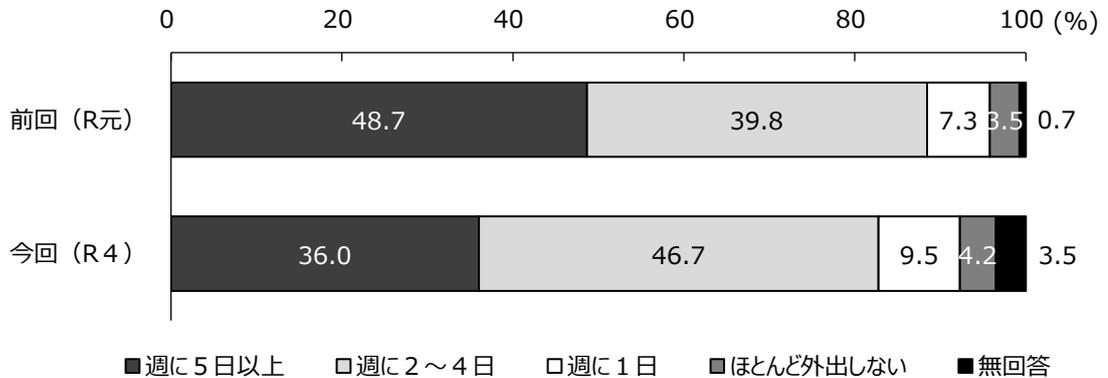
(1) 外出する頻度

■ 1週間に何日、外出していますか。(○は1つ)

n=2,259

「週5日以上」が36.0%で、前回と比べて減少しています。

年齢別でみると、85歳以上で「ほとんど外出しない」「週1日」の割合が他と比べて高くなっています。性別でみると、男性は「週5日以上」の割合が他と比べて高くなっています。健康別では、よくないで「ほとんど外出しない」の割合が他と比べて高くなっています。幸せ感別では、幸せ感が低い人は外出頻度がやや少ない傾向がみられます。



単位：%

		n	週に5日以上	週に2~4日	週に1日	ほとんど会話しない	無回答
年 齢	65~74歳	1,223	26.7	39.7	15.5	15.7	2.5
	75~84歳	859	17.1	43.8	16.2	18.6	4.3
	85歳以上	154	17.5	33.1	17.5	24.0	7.8
性 別	男性	1,132	23.4	37.8	15.4	19.8	3.6
	女性	1,102	21.4	43.9	16.3	14.8	3.5
健 康	とてもよい	314	38.9	42.0	8.9	7.3	2.9
	まあよい	1,621	21.5	42.0	16.6	16.5	3.3
	あまりよくない	268	10.4	32.5	20.1	33.6	3.4
	よくない	32	3.1	18.8	18.8	40.6	18.8
幸 せ 感	9~10	582	31.1	41.4	12.4	11.9	3.3
	7~8	918	21.7	43.9	17.3	14.8	2.3
	5~6	537	16.9	39.7	19.2	20.7	3.5
	0~4	148	10.1	28.4	14.9	40.5	6.1

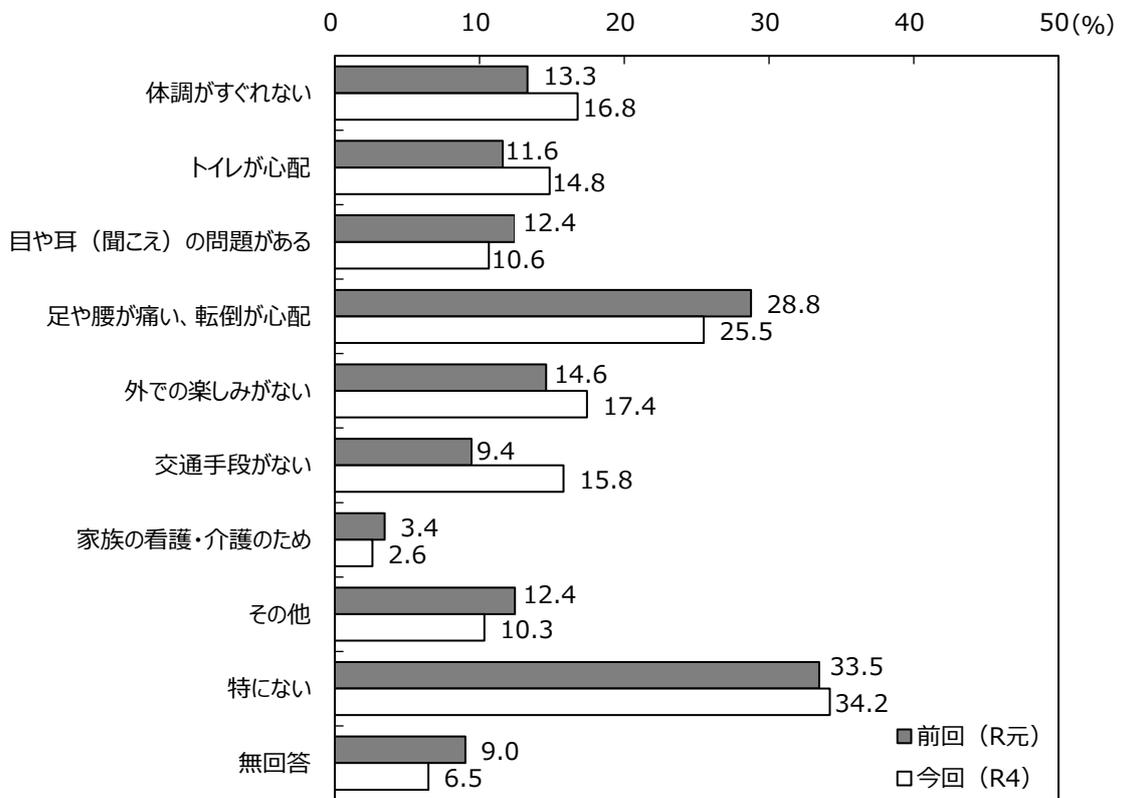
(2) 外出を控えている理由

【外出頻度を「週に1回」「ほとんど外出しない」と回答した方対象】
 ■ 外出を控えている理由がありますか。(○は3つまで)

「週に1回」「ほとんど外出しない」と答えた方のみ n=310

「特にない」が34.2%と最も高く、次いで「足や腰が痛い、転倒が心配」が25.5%となっています。前回と比べて、「体調がすぐれない」「トイレが心配」「交通手段がない」がやや増加しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「足や腰が痛い、転倒が心配」「トイレが心配」の割合が高くなっています。性別では、男性は「特にない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	体調がすぐれない	トイレが心配	目や耳(聞こえ)の問題がある	足や腰が痛い、転倒が心配	外での楽しみがない	交通手段がない	家族の看護・介護のため	その他	特にない	無回答
年齢	65～74歳	93	11.8	9.7	3.2	15.1	14.0	5.4	4.3	19.4	46.2	4.3
	75～84歳	144	18.1	13.9	11.8	23.6	19.4	19.4	1.4	8.3	33.3	7.6
	85歳以上	68	20.6	25.0	17.6	41.2	16.2	22.1	1.5	2.9	22.1	7.4
性別	男性	145	17.9	14.5	9.7	20.0	20.7	13.1	2.8	8.3	41.4	4.8
	女性	157	15.9	14.6	11.5	28.7	14.6	17.2	2.5	12.7	29.3	8.3

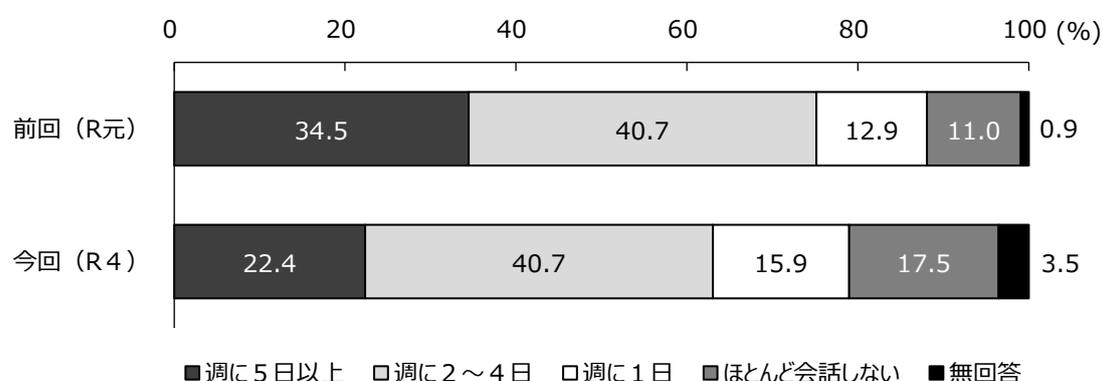
(3) 知人・友人・近所の人と話す頻度

- 1週間に、知人・友人・近所の人（家族以外）とどのくらい話しますか。
（○は1つ）

n=2,259

「週に5日以上」が22.4%で、前回と比べて減少しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「ほとんど会話しない」の割合が他と比べてやや高くなっています。健康別では、あまりよくない・よくないで「ほとんど会話しない」の割合が他と比べてやや高くなっています。幸せ感別では、幸せ感が低い人は「ほとんど会話しない」など会話の頻度が少ない傾向がみられます。



単位：%

		n	週に5日以上	週に2~4日	週に1日	ほとんど会話しない	無回答
年 齢	65~74歳	1,223	26.7	39.7	15.5	15.7	2.5
	75~84歳	859	17.1	43.8	16.2	18.6	4.3
	85歳以上	154	17.5	33.1	17.5	24.0	7.8
性 別	男性	1,132	23.4	37.8	15.4	19.8	3.6
	女性	1,102	21.4	43.9	16.3	14.8	3.5
健 康	とてもよい	314	38.9	42.0	8.9	7.3	2.9
	まあよい	1,621	21.5	42.0	16.6	16.5	3.3
	あまりよくない	268	10.4	32.5	20.1	33.6	3.4
	よくない	32	3.1	18.8	18.8	40.6	18.8
幸 せ 感	9~10	582	31.1	41.4	12.4	11.9	3.3
	7~8	918	21.7	43.9	17.3	14.8	2.3
	5~6	537	16.9	39.7	19.2	20.7	3.5
	0~4	148	10.1	28.4	14.9	40.5	6.1

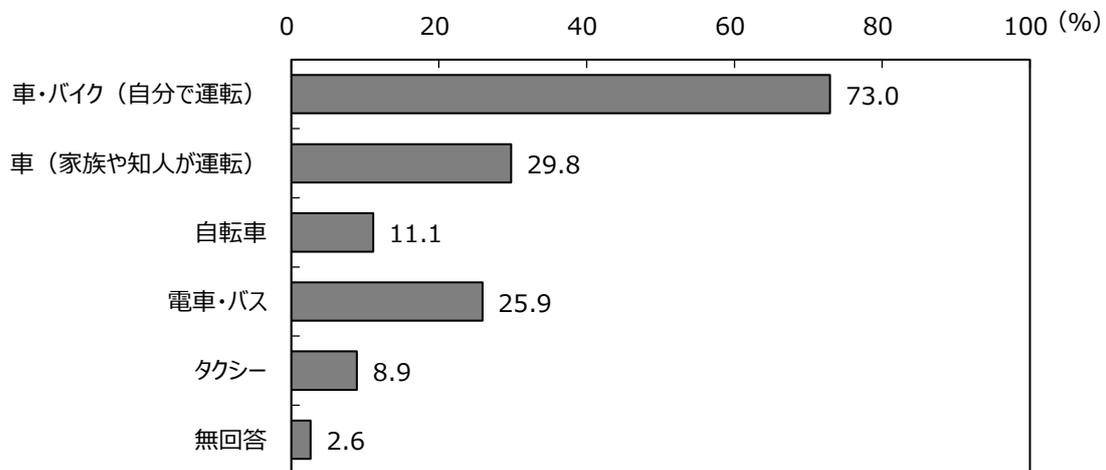
(4) 自宅から歩いて行けない場所への移動方法

■ 自宅から歩いていけない場所に、どのような方法で行きますか。(○は3つまで)

n=2,259

「車・バイク（自分で運転）」が 73.0%と最も高く、次いで「車（家族や知人が運転）」が 29.8%、「電車・バス」が 25.9%となっています。

年齢別・性別でみると、85歳以上と女性で「車（家族や知人が運転）」の割合が他と比べて高くなっています。健康別では、あまりよくない・よくないで「車（家族や知人が運転）」、よくないで「タクシー」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	車・バイク (自分で運 転)	車(家 族や知 人が運 転)	自転車	電車・バ ス	タクシー	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	81.4	25.0	11.2	28.0	7.4	2.0
	75～84歳	859	67.9	32.2	10.9	24.6	9.2	3.3
	85歳以上	154	37.0	53.2	9.7	18.8	19.5	3.9
性 別	男性	1,132	82.2	20.7	12.3	23.9	7.1	2.8
	女性	1,102	64.0	38.9	9.7	28.5	10.7	2.5
健 康	とてもよい	314	81.8	20.1	14.3	26.8	7.6	2.2
	まあよい	1,621	74.8	29.7	11.1	26.3	7.8	2.3
	あまりよくない	268	57.1	40.3	8.2	23.1	13.4	3.4
	よくない	32	28.1	43.8	0.0	25.0	37.5	9.4

(5) 会・グループ等への参加状況

■ 以下の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ最も近いものに1つずつ○)

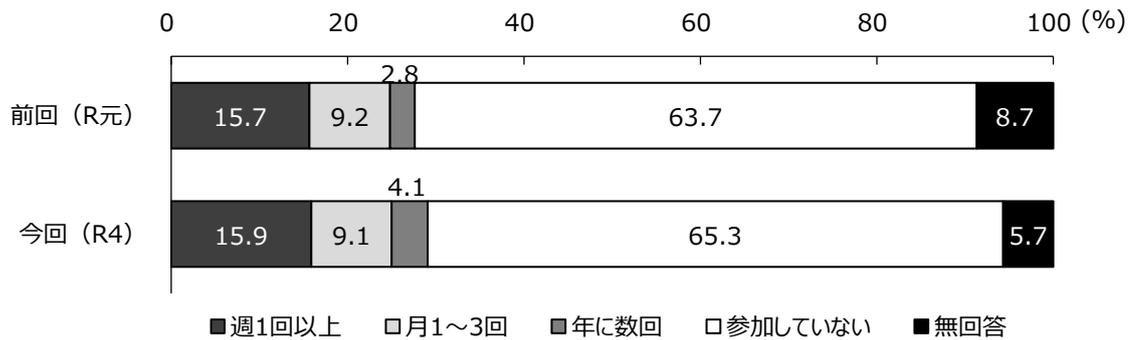
n=2,259

収入のある仕事については「週1回以上」、自治区・町内会は「年に数回」が前回と比べ増加しています。

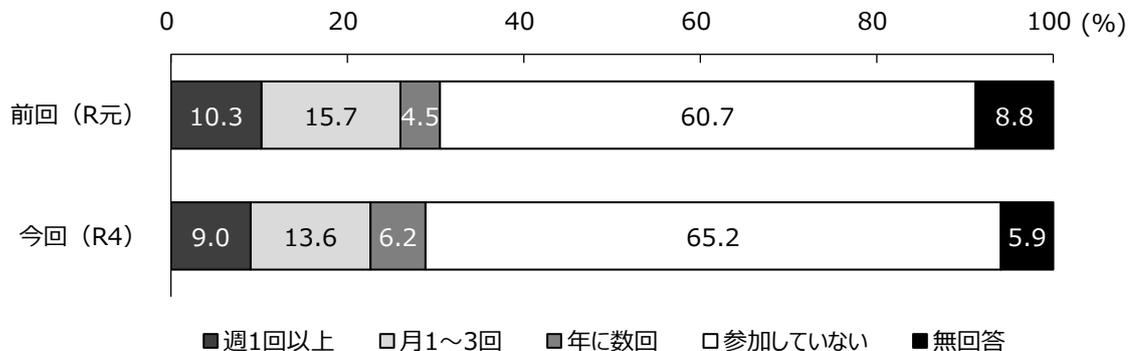
スポーツ関係のグループやクラブ、サロン・健康体操について、「週1回以上」「月1～3回」など参加状況に大きな変化はみられません。

趣味・文化活動関係のグループについては、「週1回以上」「月1～3回」など参加がやや減少しています。

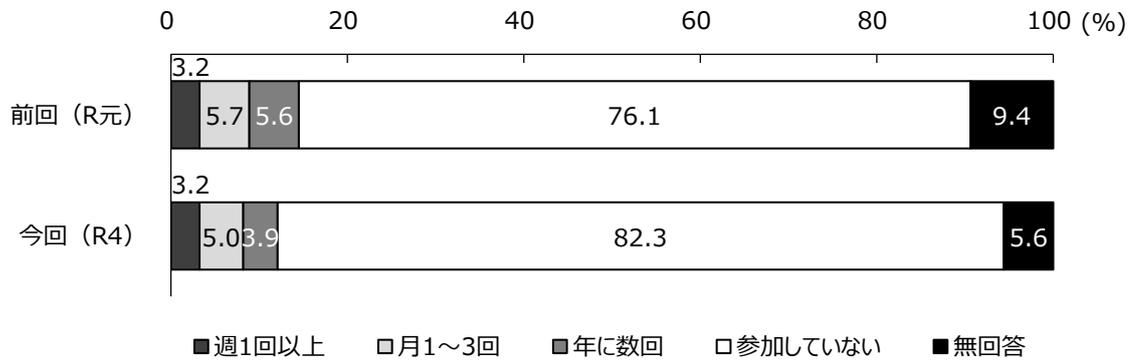
○スポーツ関係のグループやクラブ



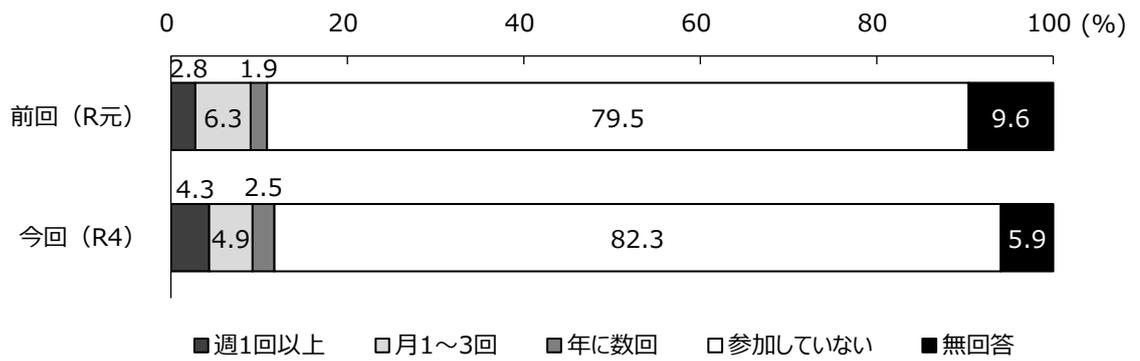
○趣味・文化活動関係のグループ



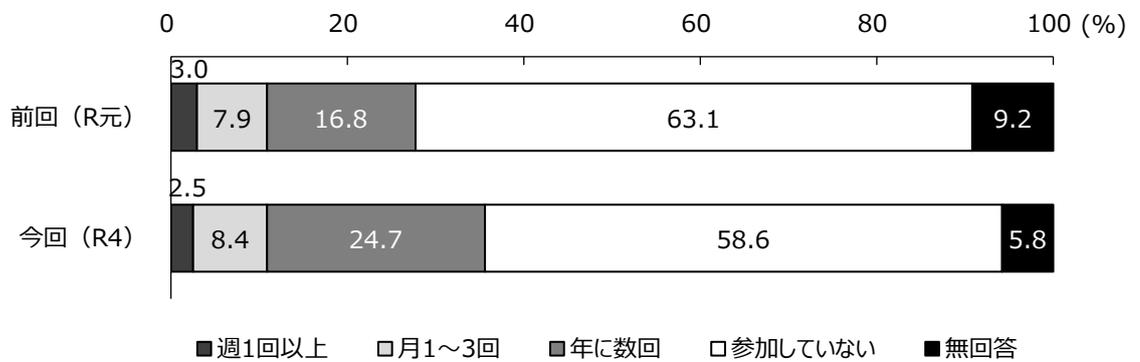
○高齢者クラブ



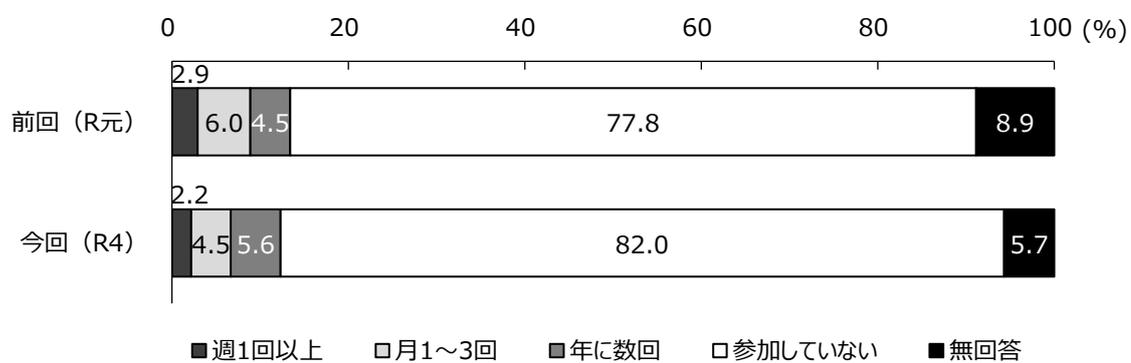
○サロン・健康体操



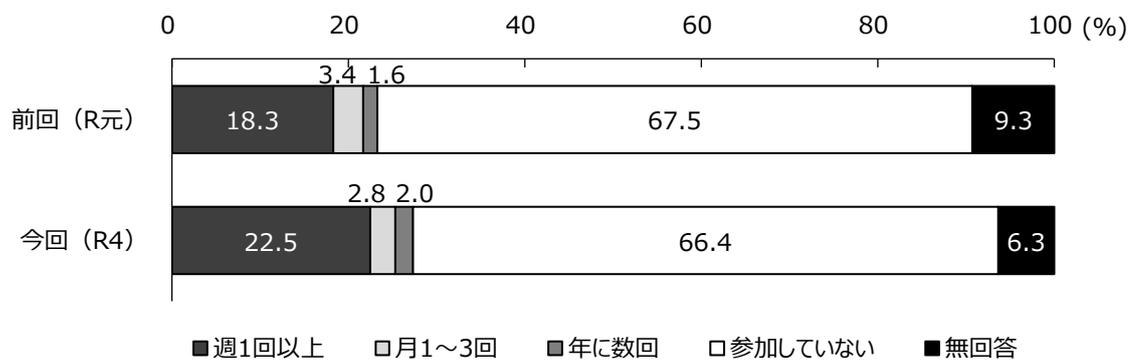
○自治区・町内会



○ボランティアのグループ



○収入のある仕事



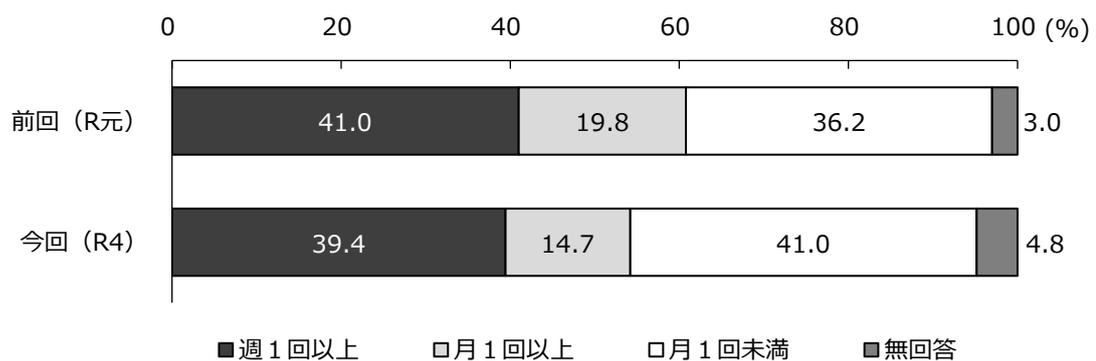
年齢別で月1回以上の割合をみると、65～74歳で「収入のある仕事」の割合が他と比べて高くなっています。性別では、男性は「収入のある仕事」「自治区・町内会」、女性は「趣味・文化活動関係のグループ」「高齢者クラブ」「サロン・健康体操」の割合が他と比べてやや高くなっています。日常生活圏域別では、高橋で「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味・文化活動関係のグループ」などの割合が他と比べて高くなっています。

○ 「月1回以上」の割合

		n	単位：%						
			スポーツ関係のグループやクラブ	趣味・文化活動関係のグループ	高齢者クラブ	サロン・健康体操（地域ふれあいサロン・元気アップ教室を含む）	自治区・町内会	ボランティアのグループ	収入のある仕事
年齢	65～74歳	1,223	24.4	20.9	3.4	6.6	11.2	6.5	36.0
	75～84歳	859	27.2	25.6	13.2	12.2	10.4	7.0	13.7
	85歳以上	154	17.5	19.5	16.9	12.3	10.4	4.5	7.8
性別	男性	1,132	22.3	18.2	9.4	4.9	15.0	7.6	29.3
	女性	1,102	28.0	27.1	27.1	13.6	6.4	5.4	21.6
日常生活圏域	拳母	578	25.8	25.1	8.0	7.6	9.2	6.2	25.1
	高橋	333	33.0	30.3	9.6	13.2	12.6	7.5	19.5
	上郷	224	23.2	21.4	7.6	8.9	9.8	7.1	29.9
	高岡	422	23.2	20.9	7.6	9.5	7.6	7.3	21.3
	猿投	314	25.5	21.0	9.6	8.3	14.3	5.4	24.8
	松平・下山	89	20.2	18.0	6.7	7.9	9.0	2.2	37.1
	藤岡・小原	118	20.3	17.8	2.5	8.5	15.3	5.9	33.9
足助・旭・稲武	128	18.0	11.7	9.4	9.4	15.6	7.0	35.9	

「スポーツ関係のグループやクラブ」から「収入のある仕事」の7つの社会参加の項目の統合指標を作成し、集計したところ、「週1回以上（参加する項目がある）」が39.4%となっています。前回と比べると「月1回未満」が増加しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「月1回未満」の割合が高くなっています。幸せ感別でみると、幸せ感別では、幸せ感が低い人は社会参加の頻度が少ない傾向がみられます。



単位：%

		n	週に1回以上	月に1回以上	月に1回未満	無回答
年齢	65～74歳	1,223	46.8	14.6	34.4	4.3
	75～84歳	859	32.2	15.3	47.0	5.5
	85歳以上	154	24.0	12.3	59.1	4.5
性別	男性	1,132	40.6	14.9	40.5	4.0
	女性	1,102	38.7	14.3	41.4	5.5
幸せ感	9～10	582	45.5	14.9	34.2	5.3
	7～8	918	42.0	15.5	38.5	4.0
	5～6	537	33.0	14.9	47.9	4.3
	0～4	148	29.1	9.5	56.1	5.4

(6) 会・グループ等に参加していない理由

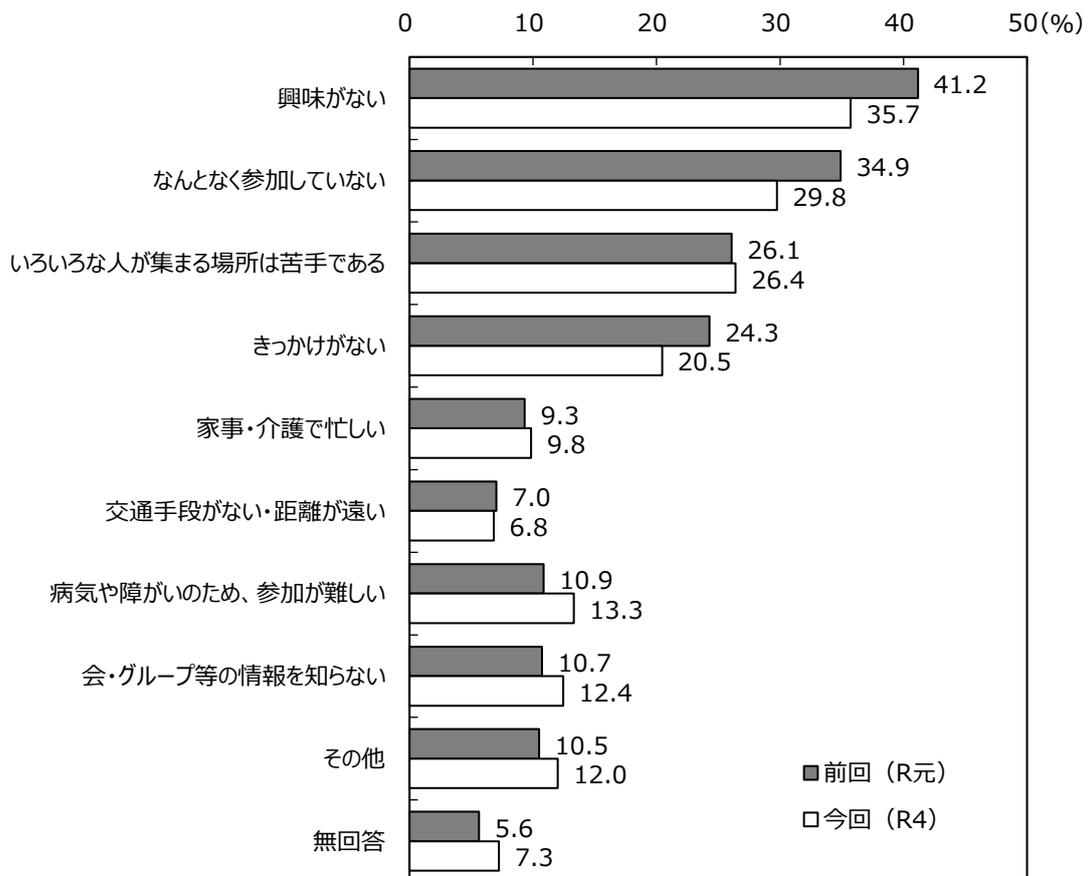
【会・グループ参加について「週1回以上」「月1～3回」に「○が1つもない」方対象】
 ■ 会・グループ等にあまり参加していない理由をお聞かせください。(○は3つまで)

「週1回以上」「月1～3回」に○が1つもない方のみ n=924

「興味がない」が 35.7%と最も高く、次いで「なんとなく参加していない」が 29.8%、「いろいろな人が集まる場所は苦手である」が 26.4%となっています。

前回と比べると、「興味がない」「なんとなく参加していない」「きっかけがない」が減少しています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「いろいろな人が集まる場所は苦手である」の割合が高くなっています。性別では、男性で「興味がない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	興味が ない	なんと なく参加 してない	いろい ろな人 が集ま る場所 は苦手 である	きっか けがな い	家事・介 護で忙 しい	交通手 段がな い・距 離が遠 い	病気や 障がい のため 、参加 が難し い	会・グ ループ 等の情 報を 知らない	その他	無回答
年 齢	65～74歳	421	38.7	30.4	31.8	19.7	11.6	5.2	10.9	12.6	10.2	5.7
	75～84歳	402	34.6	31.6	23.6	22.9	8.5	7.5	13.9	12.4	13.2	7.0
	85歳以上	91	25.3	19.8	12.1	15.4	7.7	11.0	20.9	12.1	15.4	14.3
性 別	男性	458	39.5	33.0	22.9	22.9	5.9	4.4	13.1	15.3	12.4	8.3
	女性	455	31.6	27.0	29.9	18.5	14.1	9.0	13.2	9.5	11.6	5.9

(7) 外出回数の変化

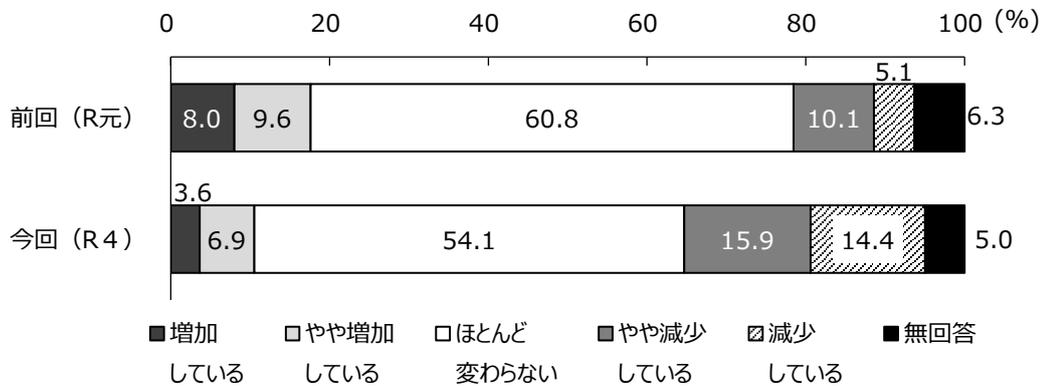
■ 外出などの回数について、この1年間でどのように変化していますか(それぞれ1つずつ○)

n=2,259

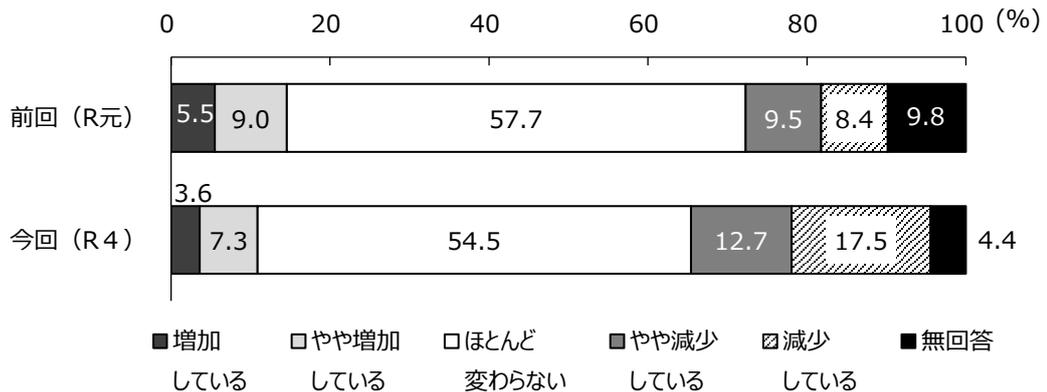
「減少している」の割合をみると、外出で 14.4%、家族以外の知人・友人等との会話で 17.5%、会・グループ等への参加状況について 23.5%と、前回より増加しています。

年齢別で「減少している」の割合をみると、大きな違いはみられませんが、85 歳以上で「家族以外の知人・友人等との会話」がやや高くなっています。

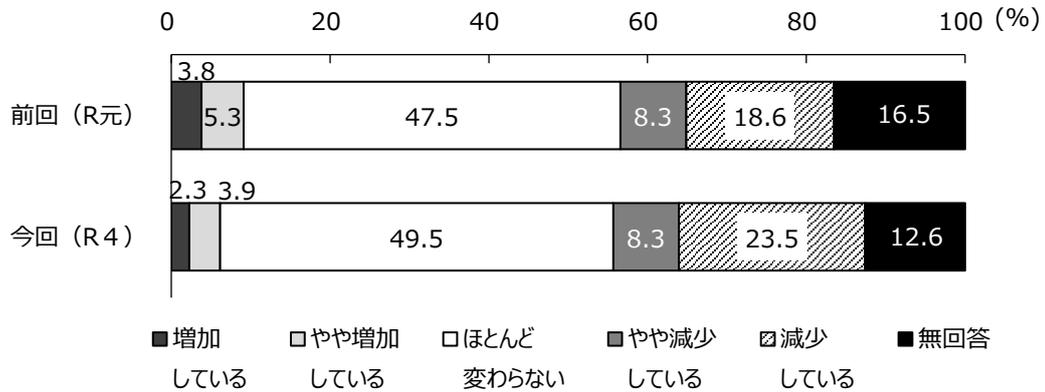
○外出



○家族以外の知人・友人等との会話



○会・グループ等への参加



○外出

単位：%

		n	増加している	やや増加している	ほとんど変わらない	やや減少している	減少している	無回答
年齢	65～74歳	1,223	4.3	7.6	57.1	14.4	12.6	4.0
	75～84歳	859	2.6	6.3	52.3	17.8	15.8	5.2
	85歳以上	154	3.2	3.2	46.1	16.9	21.4	9.1
性別	男性	1,132	3.9	6.4	59.1	14.5	11.9	4.2
	女性	1,102	3.3	7.4	49.8	17.2	17.0	5.4

○家族以外の知人・友人等との会話

単位：%

		n	増加している	やや増加している	ほとんど変わらない	やや減少している	減少している	無回答
年齢	65～74歳	1,223	3.9	8.1	56.3	12.0	15.8	3.8
	75～84歳	859	3.3	6.5	53.7	13.0	18.9	4.7
	85歳以上	154	1.9	5.8	45.5	15.6	25.3	5.8
性別	男性	1,132	2.9	6.5	58.7	10.9	16.9	4.2
	女性	1,102	4.2	8.3	50.5	14.5	18.2	4.4

○会・グループ等への参加

単位：%

		n	増加している	やや増加している	ほとんど変わらない	やや減少している	減少している	無回答
年齢	65～74歳	1,223	2.5	4.8	51.8	7.8	22.6	10.3
	75～84歳	859	2.0	2.8	48.5	8.4	24.4	13.9
	85歳以上	154	1.3	2.6	37.0	11.0	26.0	22.1
性別	男性	1,132	1.9	3.8	55.7	7.8	21.2	9.7
	女性	1,102	2.6	4.0	43.5	8.7	26.0	15.2

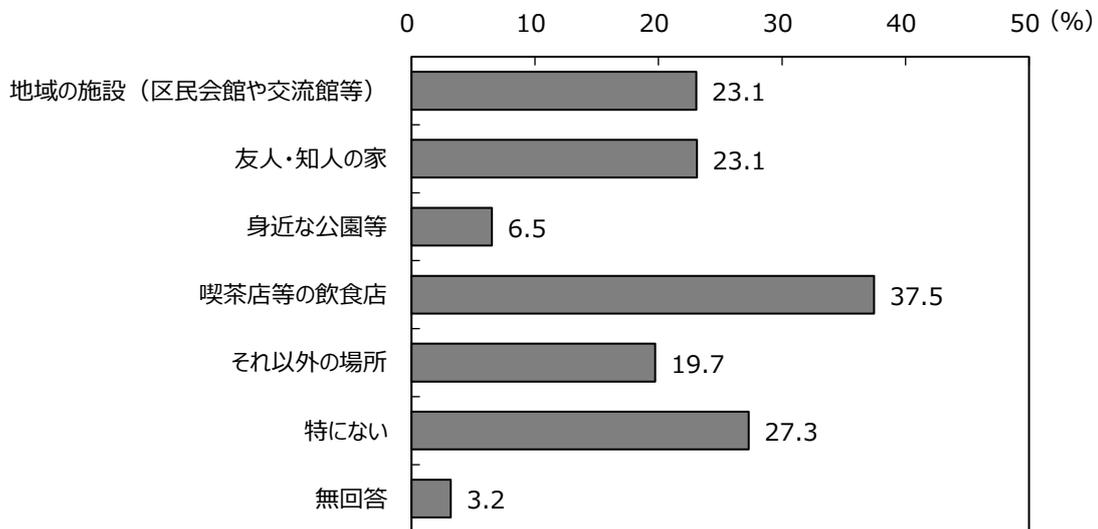
(8) 自宅以外で友人や知人と身近に集える場所

■ あなたにとって自宅以外で友人や知人と「身近に集える場所」は、どのような場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

n=2,259

「喫茶店等の飲食店」が 37.5%と最も高く、次いで「特にない」が 27.3%、「友人・知人の家」が 23.1%、「地域の施設（区民会館や交流館等）」が 23.1%となっています。

年齢別でみると、85歳以上で「特にない」の割合が他と比べて高くなっています。性別では、男性は「特にない」、女性は「友人・知人の家」「喫茶店等の飲食店」が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	地域の施設 (区民会館や交流館等)	友人・知人の家	身近な公園等	喫茶店等の飲食店	それ以外の場所	特にない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	20.0	26.2	5.6	41.0	22.2	24.9	2.5
	75～84歳	859	27.8	19.7	7.7	35.3	17.6	28.3	3.5
	85歳以上	154	20.8	17.5	7.1	21.4	13.0	39.6	7.1
性別	男性	1,132	23.8	16.3	8.2	29.1	23.3	32.5	3.0
	女性	1,102	22.3	30.1	4.8	46.2	16.2	21.7	3.3

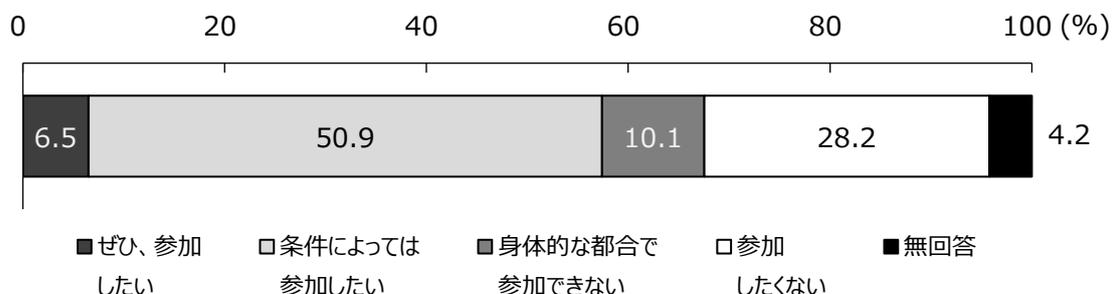
(9) 地域活動への参加意向

■ 身近な地域では、自治区をはじめとしたさまざまな地域活動があります。あなたは今後、地域活動に参加したい（続けたい）と思いますか。（○は1つ）
 ※ここでは、「地域活動」を自治区の活動、高齢者クラブ、地域の行事の手伝い等の身近な地域での、主に地縁による活動とします。

n=2,259

「条件によっては参加したい」が 50.9%と最も高く、次いで「参加したくない」が 28.2%です。

年齢別で見ると、85 歳以上で「条件によっては参加したい」の割合が他と比べて低くなっています。



単位：%

		n	ぜひ、参加したい	条件によっては参加したい	身体的な都合で参加できない	参加したくない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	5.2	56.3	5.7	29.6	3.3
	75～84歳	859	8.0	47.5	14.1	26.0	4.4
	85歳以上	154	7.1	29.9	22.1	30.5	10.4
性別	男性	1,132	6.9	52.2	10.2	27.1	3.5
	女性	1,102	5.9	50.0	9.8	29.5	4.8

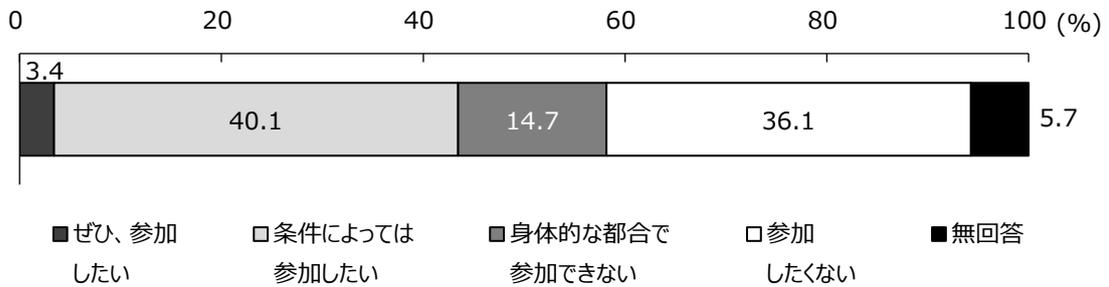
(10) ボランティア・市民活動やNPO活動への参加意向

■ あなたは、今後、ボランティア・市民活動やNPO活動に参加したい（続けたい）と思いますか。（○は1つ）
 ※ここでは、前問の「地域活動」以外の社会的な課題の解決等に向けた、自発的な活動を「ボランティア・市民活動やNPO活動」とします。

n=2,259

「条件によっては参加したい」が40.1%、「参加したくない」が36.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「条件によっては参加したい」の割合が減少しています。性別では、男性で「条件によっては参加したい」の割合が他と比べてやや高くなっています。



単位：%

	年齢	n	参加意向				無回答
			ぜひ、参加したい	条件によっては参加したい	身体的な都合で参加できない	参加したくない	
年	65～74歳	1,223	4.1	45.9	8.2	37.7	4.2
	75～84歳	859	2.7	34.8	21.3	34.7	6.5
	85歳以上	154	1.3	24.7	27.9	33.1	13.0
性別	男性	1,132	4.0	44.0	14.2	33.7	4.1
	女性	1,102	2.7	36.3	14.9	38.7	7.4

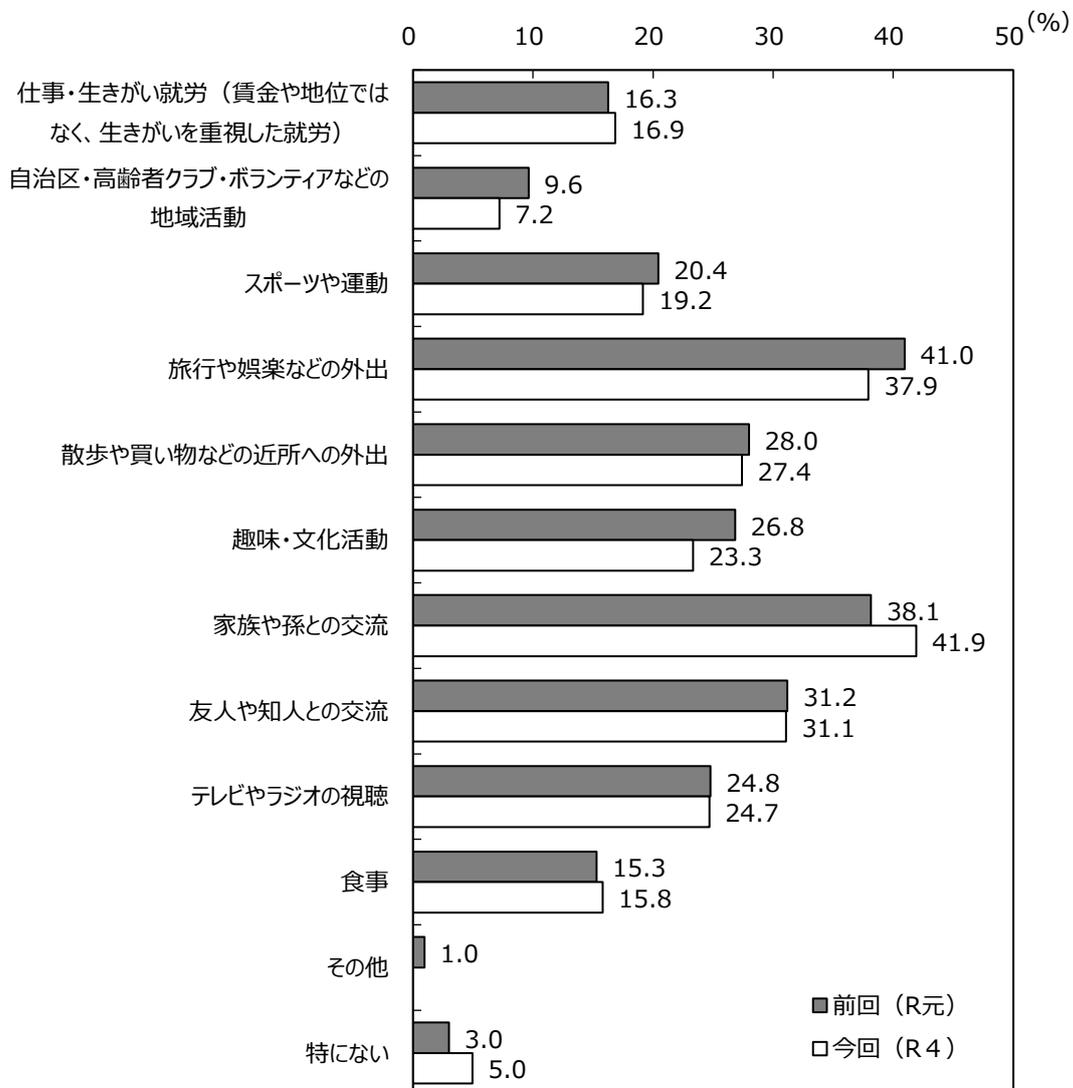
4 生きがいや楽しみについて

(1) 生きがいや楽しみ

■ あなたが、生きがいや楽しみを感じるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

n=2,259

「家族や孫との交流」(41.9%)、「旅行や娯楽などの外出」(37.9%)、「友人や知人との交流」(31.1%)、「散歩や買い物などの近所への外出」(27.4%)など交流や外出に関することが上位となっています。前回と比べて、「旅行や娯楽などの外出」「趣味・文化活動」が減少しています。



年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「散歩や買い物などの近所への外出」「テレビやラジオの視聴」の割合が高くなり、「スポーツや運動」「旅行や娯楽などの外出」の割合が低くなっています。性別では、女性は「散歩や買い物などの近所への外出」「家族や孫との交流」「友人や知人との交流」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	仕事・生 きがい就 労（賃 金や地 位ではな く、生き がいを重 視した就 労）	自治区・ 高齢者 クラブ・ポ ランティア などの地 域活動	スポー ツ や運動	旅行や 娯楽など の外出	散歩や 買い物 などの近 所への外 出	趣味・文 化活動	家族や 孫との交 流	友人や 知人との 交流	テレビや ラジオの 視聴
年 齢	65～74歳	1,223	21.2	5.8	21.4	45.1	24.5	24.9	44.2	31.2	20.3
	75～84歳	859	11.6	8.8	18.3	32.5	29.8	22.6	39.3	32.2	29.3
	85歳以上	154	12.3	7.1	6.5	13.0	36.4	16.2	40.3	23.4	32.5
性 別	男性	1,132	20.4	8.7	21.1	39.8	21.6	24.6	37.1	24.2	25.4
	女性	1,102	13.2	5.4	17.3	36.1	33.5	22.2	47.1	38.2	23.9

単位：%

		n	食事	特にな い	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	14.4	4.5	2.4
	75～84歳	859	17.1	5.0	3.5
	85歳以上	154	20.1	7.8	5.2
性 別	男性	1,132	15.0	6.0	3.4
	女性	1,102	16.6	3.7	2.5

(2) 現在の幸せ感

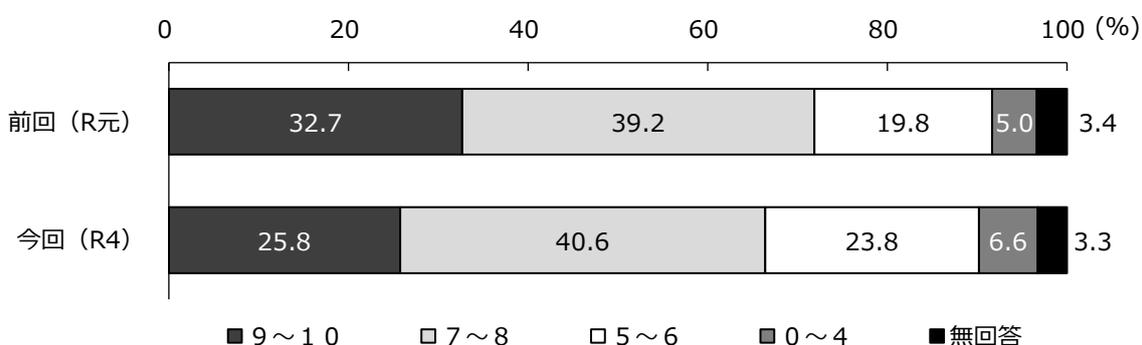
■ あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

※とても不幸を0点、とても幸せを10点として、ご記入ください。

n=2,259

「7～8」が40.6%と最も高く、次いで「9～10」が25.8%、「5～6」が23.8%となっています。前回と比べると「9～10」が減少してします。

性別でみると、女性は「9～10」の割合が他と比べてやや高くなっています。また、健康がとてもよい人は「9～10」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	9～10	7～8	5～6	0～4	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	24.8	42.4	23.2	7.1	2.5
	75～84歳	859	26.1	40.4	23.9	5.9	3.7
	85歳以上	154	31.8	30.5	26.6	4.5	6.5
性 別	男性	1,132	22.5	39.7	26.3	8.1	3.4
	女性	1,102	28.9	41.9	21.1	4.8	3.2
健 康	とてもよい	314	51.0	32.2	11.5	1.3	4.1
	まあよい	1,621	23.3	44.4	24.7	5.1	2.6
	あまりよくない	268	14.2	32.5	31.3	16.8	5.2
	よくない	32	6.3	18.8	21.9	46.9	6.3

5 住まいや医療・看護について

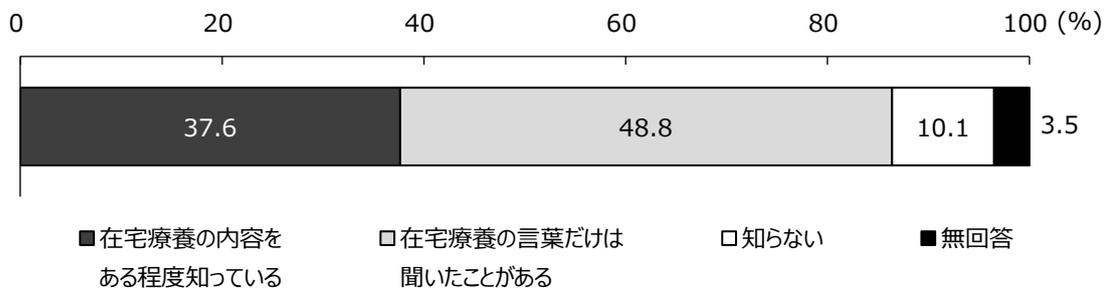
(1) 在宅療養の認知度

■ あなたは、在宅療養について知っていますか。(○は1つ)
 ※在宅療養とは、住み慣れた自宅等で、訪問診療や訪問看護、訪問介護などの様々な医療・介護サービスを受けながら日常生活を送ることです。

n=2,259

「在宅療養の言葉だけは聞いたことがある」が48.8%と最も高く、次いで「在宅療養の内容をある程度知っている」が37.6%となっています。

性別でみると、女性は「在宅療養の内容をある程度知っている」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	在宅療養の内容をある程度知っている	在宅療養の言葉だけは聞いたことがある	知らない	無回答
年齢	65～74歳	1,223	38.9	49.6	9.7	1.8
	75～84歳	859	35.9	49.0	10.4	4.8
	85歳以上	154	37.0	42.9	10.4	9.7
性別	男性	1,132	33.1	50.0	13.1	3.8
	女性	1,102	42.2	47.8	6.9	3.1

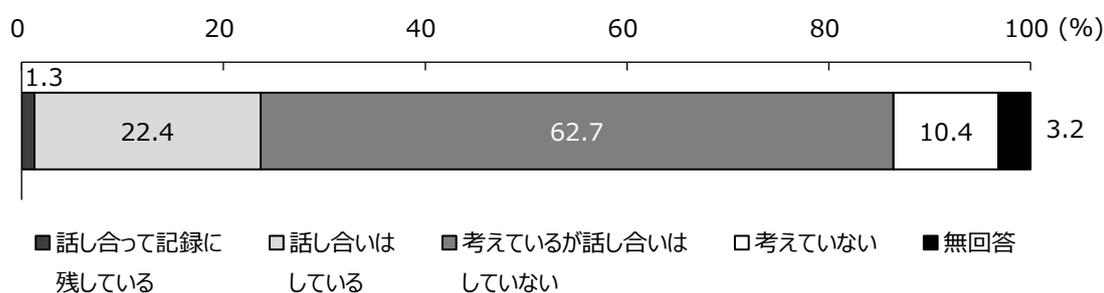
(2) 今後の生活等について考えたり、子どもや家族との話し合いの有無

■ あなたは、万一、病気（長期療養や看取り段階）などを抱えたことを想定して、今後の生活等について考えたり、子どもや家族等と話し合っていますか。（○は1つ）

n=2,259

「考えているが話し合いはしていない」が 62.7%と最も高く、次いで「話し合いはしている」が 22.4%です。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「話し合いはしている」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	話し合っ	話し合い	考えてい	考えてい	無回答
			て記録に	はしてい	るが話し	ない	
			残してい	る	合いはし		
年 齢	65～74歳	1,223	1.1	19.1	65.0	12.6	2.1
	75～84歳	859	1.3	25.3	61.6	7.9	4.0
	85歳以上	154	1.9	31.2	52.6	7.1	7.1
性 別	男性	1,132	0.9	21.6	60.0	13.9	3.7
	女性	1,102	1.6	23.2	65.7	6.9	2.5

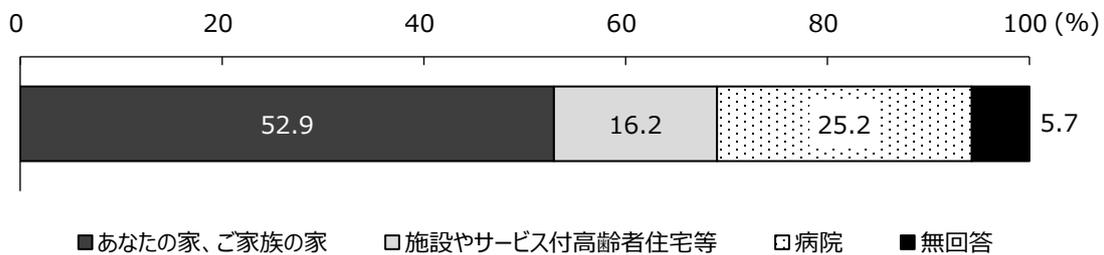
(3) 人生の最期を迎えたい場

■ あなたは、万一、病気（長期療養や看取り段階）などを抱えたことを想定して、人生の最期はどこで迎えたいと考えますか。（○は1つ）

n=2,259

「あなたの家、ご家族の家」が 52.9%と最も高く、次いで「病院」が 25.2%、「施設やサービス付高齢者住宅等」が 16.2%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「あなたの家、ご家族の家」の割合が高くなっています。性別では、男性で「あなたの家、ご家族の家」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	あなたの家、ご家族の家	施設やサービス付高齢者住宅等	病院	無回答
年齢	65～74歳	1,223	49.6	19.6	25.6	5.2
	75～84歳	859	55.9	12.5	25.1	6.5
	85歳以上	154	62.3	8.4	23.4	5.8
性別	男性	1,132	58.1	13.4	22.6	5.8
	女性	1,102	47.5	19.0	28.1	5.4

6 高齢者福祉等について

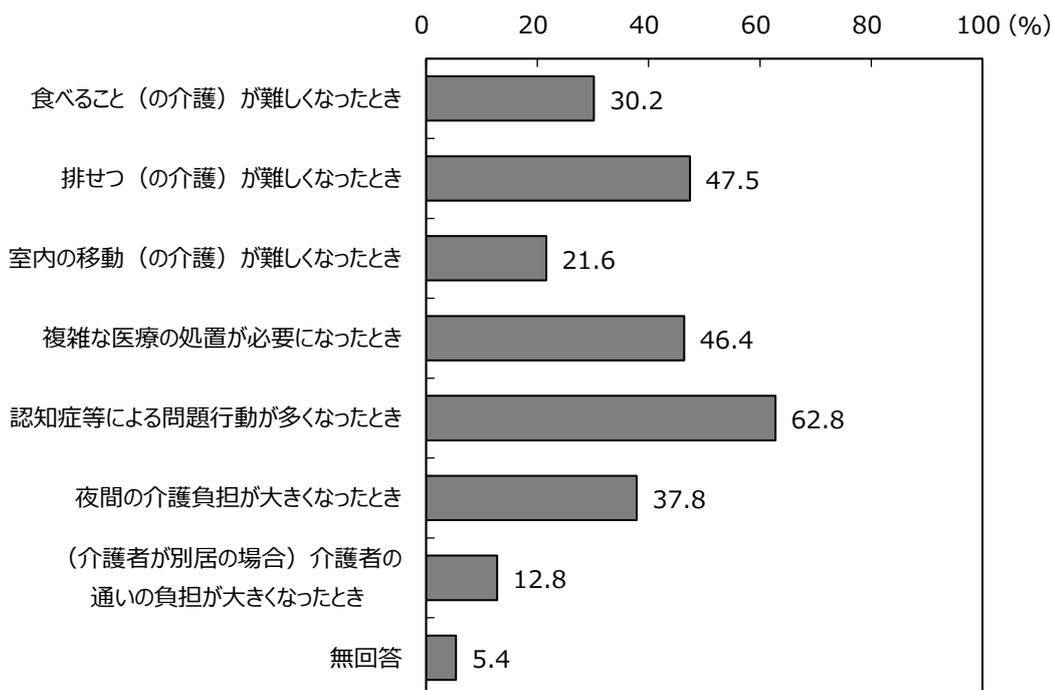
(1) 在宅での介護を断念し施設等へ入所する理由

- ご本人や家族等が特に、どのようなことで在宅での介護を断念し、施設等へ入所を考えることになるとお思いますか。(○は3つまで)

n=2,259

「認知症等による問題行動が多くなったとき」が 62.8%と最も高く、次いで「排せつ（の介護）が難しくなったとき」が 47.5%、「複雑な医療の処置が必要になったとき」が 46.4%、「夜間の介護負担が大きくなったとき」が 37.8%となっています。

年齢別で見ると、年齢が下がるにつれて「認知症等による問題行動が多くなったとき」の割合が高くなっています。性別では女性で「認知症等による問題行動が多くなったとき」の割合が男性と比べ高くなっています。



単位：%

		n	食ること（の介護）が難しくなったとき	排せつ（の介護）が難しくなったとき	室内の移動（の介護）が難しくなったとき	複雑な医療の処置が必要になったとき	認知症等による問題行動が多くなったとき	夜間の介護負担が大きくなったとき	（介護者が別居の場合）介護者の通いの負担が大きくなったとき	無回答
年齢	65～74歳	1,223	27.8	48.1	21.3	46.9	69.3	40.4	14.4	3.4
	75～84歳	859	32.1	47.5	22.7	47.0	57.0	35.4	11.6	6.8
	85歳以上	154	35.7	41.6	17.5	39.6	46.1	32.5	8.4	12.3
性別	男性	1,132	33.9	50.2	24.8	43.2	56.8	36.4	8.7	6.0
	女性	1,102	26.1	44.8	18.3	49.8	69.5	39.6	17.2	4.4

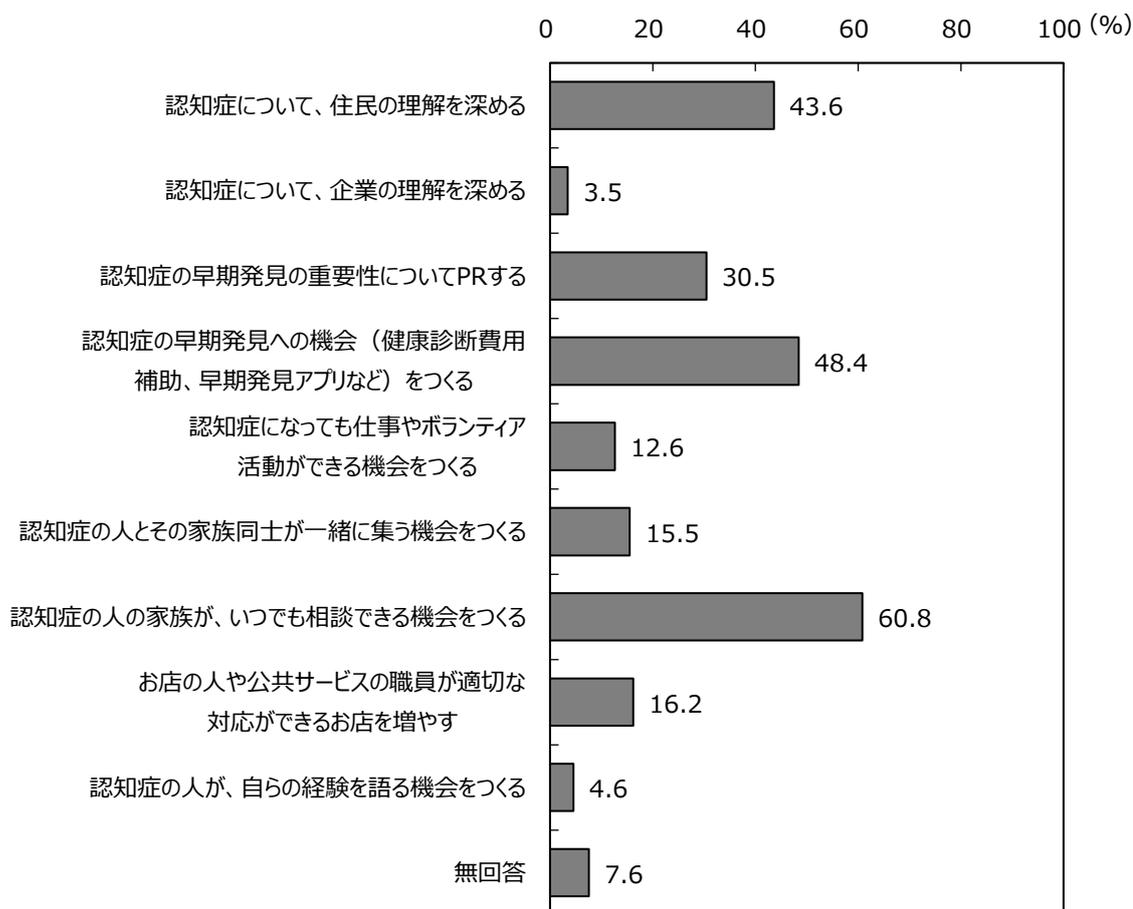
(2) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために

- 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

n=2,259

「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」が 60.8%と最も高く、次いで「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が 48.4%、「認知症について、住民の理解を深める」が 43.6%、「認知症の早期発見の重要性について PR する」が 30.5%となっています。

年齢別でみると、年齢が下がるにつれて「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	認知症について、住民の理解を深める	認知症について、企業の理解を深める	認知症の早期発見の重要性についてPRする	認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる	認知症になってからも仕事やボランティア活動ができる機会をつくる	認知症の人と家族が一緒に集う機会をつくる	認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる	お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店（認証店など）を増やす	認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる	無回答
年齢	65～74歳	1,223	42.2	4.5	28.5	50.9	15.4	15.1	64.3	17.6	3.8	5.1
	75～84歳	859	45.6	2.3	32.4	47.4	8.7	17.1	58.8	16.4	4.7	9.2
	85歳以上	154	42.9	1.3	34.4	36.4	13.6	9.1	44.2	5.8	10.4	18.2

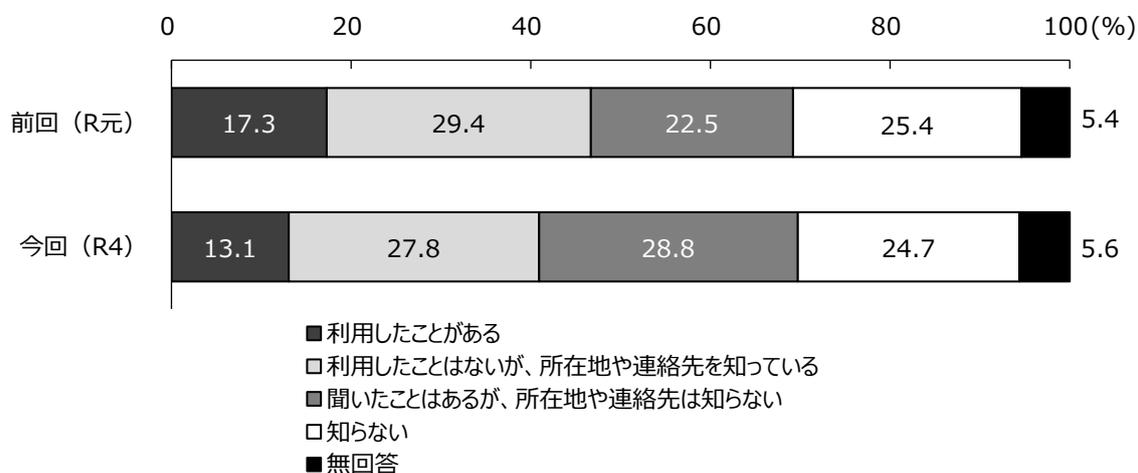
(3) 地域包括支援センターの認知度

■ あなたのお住まいの地域で、高齢者の介護や福祉の相談窓口（地域包括支援センター）をご存知ですか。（○は1つ）

n=2,259

「利用したことがある」が 13.1%と、前回と比べて減少しています。一方、「聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない」は 28.8%で前回と比べて増加しています。

年齢別で「利用したことがある」「利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている」の合計をみると、大きな違いはみられません。



単位：%

年 齢	年齢	n	利用したことがある	利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている	聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない	知らない	無回答
年 齢	65～74歳	1,223	16.0	24.4	29.6	26.5	3.5
	75～84歳	859	10.1	31.2	29.2	22.4	7.1
	85歳以上	154	7.8	37.0	22.1	20.8	12.3

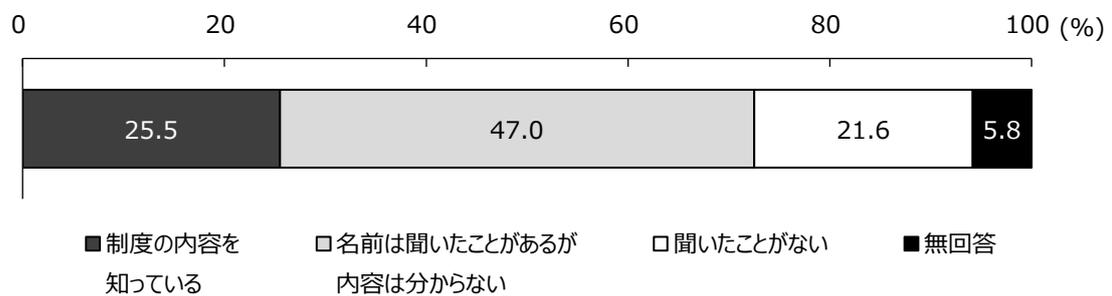
(4) 成年後見制度の認知度

■ あなたは、成年後見制度をご存知ですか。(○は1つ)

n=2,259

「名前は聞いたことがあるが内容は分からない」が47.0%、「聞いたことがない」が21.6%となっています。

年齢別でみると、年齢が下がるにつれて「制度の内容を知っている」の割合が高くなっています。



単位：%

年齢	n	認知度			
		制度の内容を知っている	名前は聞いたことがあるが内容は分からない	聞いたことがない	無回答
65～74歳	1,223	28.0	46.7	21.3	4.0
75～84歳	859	23.6	48.1	21.0	7.3
85歳以上	154	16.2	46.8	26.6	10.4

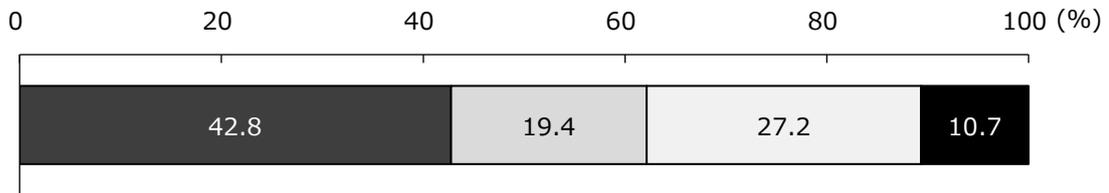
(5) 今後の介護保険料について

■ 介護保険料は、全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか。(○は1つ)

n=2,259

「①高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない」が42.8%と最も高く、次いで「③施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい」が27.2%です。

年齢別でみると、すべての年代で「①高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない」が最も高くなっています。



- ① 高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
- ② ①に加え、保険料が高くなっていいので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい
- ③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい
- ④ 無回答

単位：%

		n	① 高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない	② ①に加え、保険料が高くなっていいので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい	③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい	④ 無回答
年齢	65～74歳	1,223	45.6	21.0	24.4	8.9
	75～84歳	859	38.5	18.7	30.7	12.0
	85歳以上	154	45.5	11.0	27.3	16.2

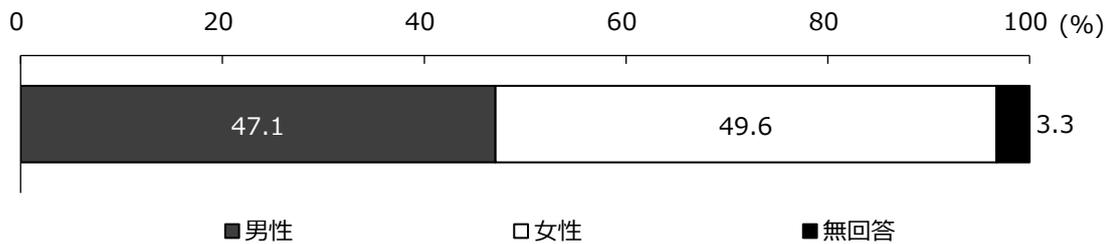
第3章 要支援認定者・事業対象者アンケート

1 回答者の属性

(1) 性別

n=1,362

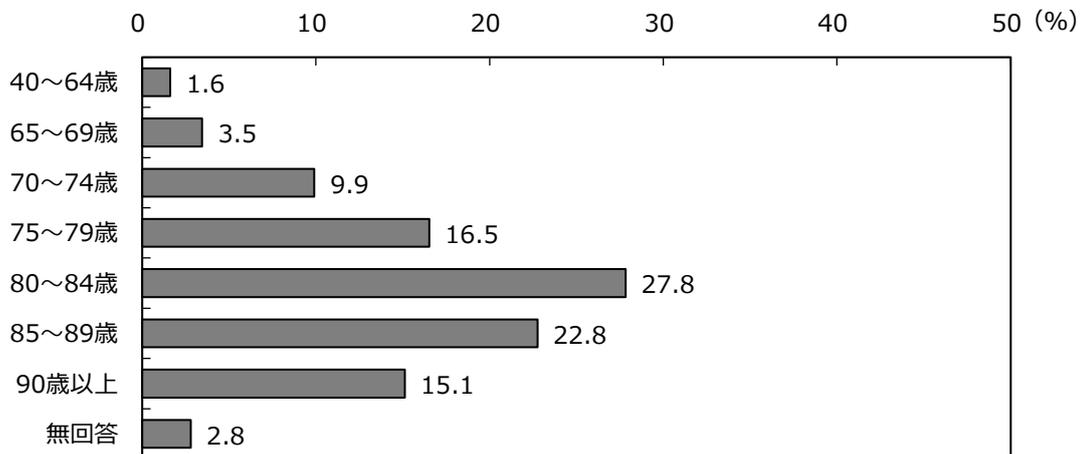
回答者は、「女性」が49.6%、「男性」が47.1%です。



(2) 年齢

n=1,362

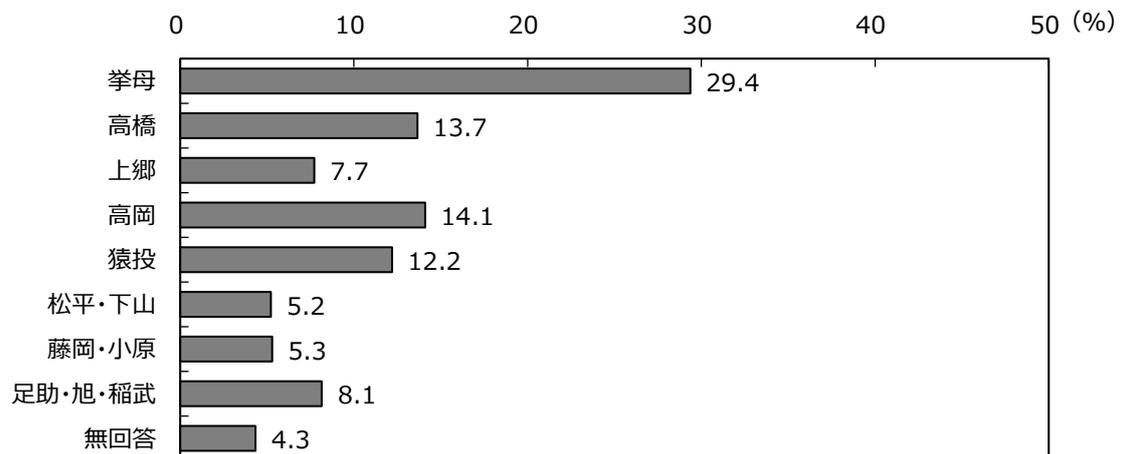
「80～84歳」が27.8%と最も高く、次いで「85～89歳」が22.8%です。



(3) 居住地

n=1,362

「拳母」が 29.4%と最も高く、次いで「高岡」が 14.1%、「高橋」が 13.7%、「猿投」が 12.2%となっています。

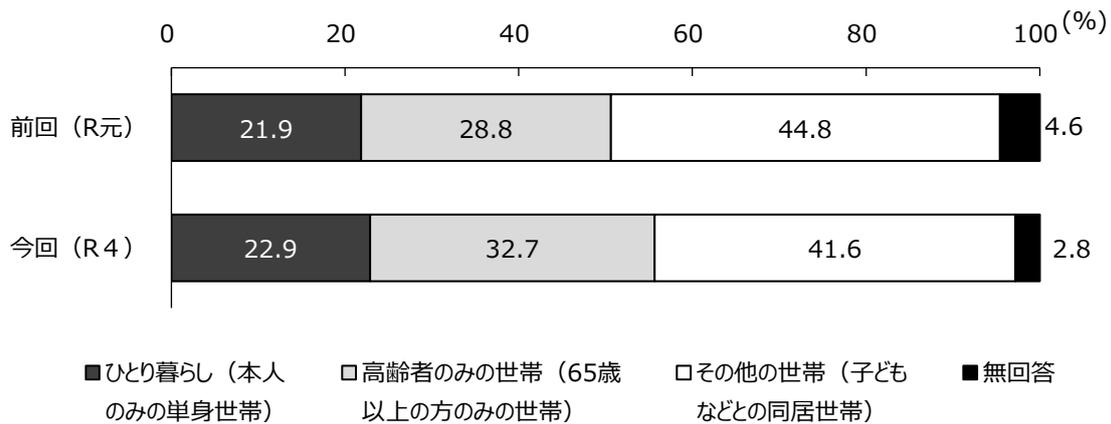


(4) 世帯

n=1,362

「その他の世帯（子どもなどの同居世帯）」が41.6%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯（65歳以上の方のみの世帯）」が32.7%、「ひとり暮らし（本人のみの単身世帯）」が22.9%となっています。前回と比べると、「高齢者のみの世帯（65歳以上の方のみの世帯）」の割合がやや増加しています。

認定等別・年齢・日常生活圏域別でも、大きな違いはみられません。



単位：%

		n	ひとり暮らし (本人のみの単身世帯)	高齢者のみの世帯 (65歳以上の方のみの世帯)	その他の世帯 (子どもなどの同居世帯)	無回答
認定等	事業対象者	160	27.5	29.4	43.1	0.0
	要支援1	518	23.7	34.9	40.3	1.0
	要支援2	523	21.4	33.1	44.9	0.6
年齢	40～64歳	22	13.6	40.9	45.5	0.0
	65～74歳	182	27.5	35.7	36.3	0.5
	75～84歳	604	23.2	36.1	40.4	0.3
	85歳以上	516	22.7	29.3	47.3	0.8
日常生活圏域	拳母	400	25.3	34.0	39.8	1.0
	高橋	186	26.3	29.0	42.5	2.2
	上郷	105	22.9	36.2	41.0	0.0
	高岡	192	17.7	33.3	48.4	0.5
	猿投	166	19.9	32.5	47.6	0.0
	松平・下山	71	21.1	36.6	42.3	0.0
	藤岡・小原	72	22.2	30.6	45.8	1.4
	足助・旭・稲武	111	25.2	38.7	35.1	0.9

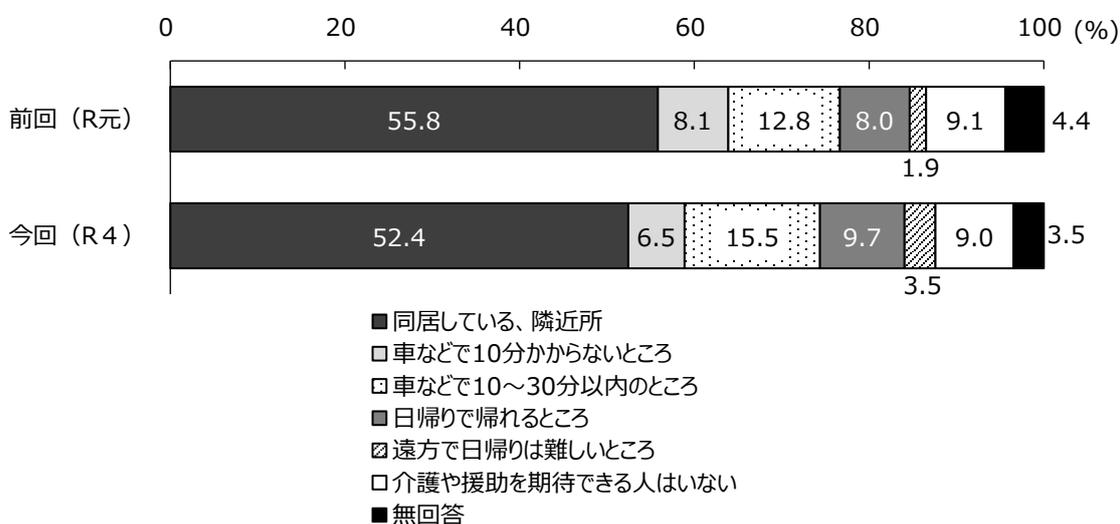
(5) 介護が必要となった場合、主な介護者の居住地

■ あなたに（介護が必要になった時に）、主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。（○は1つ）

n=1,362

「同居している、隣近所」が 52.4%と最も高くなっています。なお、「日帰りで帰れるところ」は9.7%、「介護や援助を期待できる人はいない」は9.0%です。前回と比べて、「同居している、隣近所」がやや減少しています。

認定等別では、事業対象者で「日帰りで帰れるところ」「介護や援助を期待できる人はいない」の割合が、他と比べてやや高くなっています。



単位：%

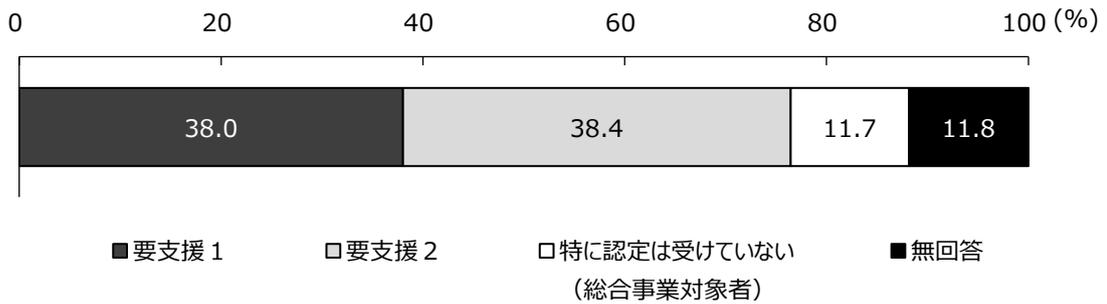
	認定等	n	同居して	車などで	車などで	日帰りで	遠方で	介護や	無回答
			いる、隣	10分か	10～30	帰れると	日帰りは	援助を	
			近所	からない	分以内	ところ	難しいと	期待でき	
			ところ	ところ	のところ	ころ	ころ	る人はい	
								ない	
認定等	事業対象者	160	46.3	6.3	16.3	15.0	4.4	11.9	0.0
	要支援1	518	52.1	5.4	18.7	11.6	3.7	7.1	1.4
	要支援2	523	59.1	7.6	13.0	7.1	2.5	9.6	1.1
年齢	40～64歳	22	59.1	4.5	4.5	18.2	4.5	9.1	0.0
	65～74歳	182	51.6	4.9	17.0	8.2	2.7	13.7	1.6
	75～84歳	604	49.3	7.6	17.4	9.1	3.6	11.6	1.3
	85歳以上	516	59.3	5.8	13.8	11.2	3.7	4.8	1.4
日常生活圏域	拳母	400	51.0	8.5	16.8	8.8	2.8	9.5	2.8
	高橋	186	43.0	11.3	20.4	7.5	6.5	9.7	1.6
	上郷	105	54.3	6.7	14.3	8.6	2.9	12.4	1.0
	高岡	192	58.3	7.8	15.1	6.8	3.1	8.3	0.5
	猿投	166	63.3	2.4	10.8	9.0	4.2	9.6	0.6
	松平・下山	71	62.0	2.8	14.1	11.3	0.0	9.9	0.0
	藤岡・小原	72	61.1	1.4	15.3	15.3	4.2	2.8	0.0
足助・旭・稲武	111	49.5	3.6	14.4	23.4	4.5	3.6	0.9	

(6) 要支援・要介護認定状況

■ 要支援・要介護認定の状況について、お教えてください。(○は1つ)

n=1,362

「要支援2」が 38.4%、「要支援1」が 38.0%、「特に認定は受けていない（総合事業対象者）」が 11.7%となっています。



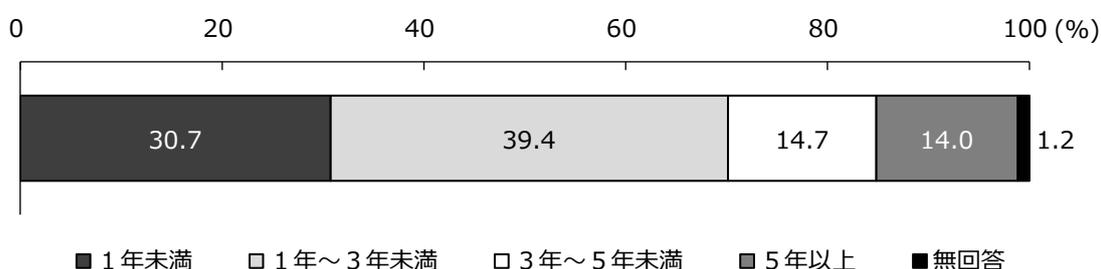
(7) 認定を受けてからの期間

■ 初めて要支援・要介護認定を受けてから、どのくらいの期間になりますか。(○は1つ)

要支援認定を受けている方のみ n=1,041

「1年～3年未満」が 39.4%と最も高く、次いで「1年未満」が 30.7%です。なお、「5年以上」は 14.0%です。

認定等別では、要支援1で「1年未満」の割合がやや高くなっています。年齢別では、40～64歳と75～84歳で「1年未満」の割合がやや高くなっています。



単位：%

		n	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年以上	無回答
認定	要支援1	518	34.7	41.5	12.7	10.0	1.0
	要支援2	523	26.8	37.3	16.6	18.0	1.3
年齢	40～64歳	19	36.8	26.3	15.8	21.1	0.0
	65～74歳	148	22.3	48.0	14.2	14.2	1.4
	75～84歳	463	34.8	39.7	12.7	12.3	0.4
	85歳以上	405	29.1	36.5	17.0	15.3	2.0

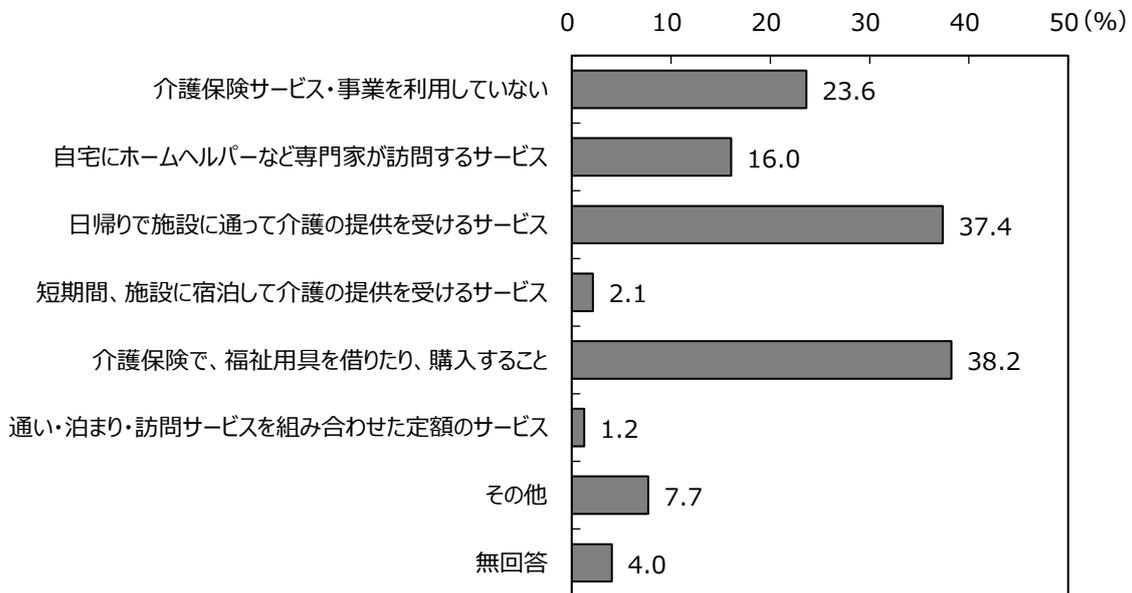
(8) 利用している介護保険サービス・事業

■ どのような介護保険サービス・事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

要支援認定を受けている方のみ n=1,041

「介護保険で、福祉用具を借りたり、購入すること」が 38.2%、「日帰りで施設に通って介護の提供を受けるサービス」が 37.4%となっています。また、「介護保険サービス・事業を利用していない」は 23.6%です。

認定等別でみると、要支援2で「介護保険で、福祉用具を借りたり、購入すること」の割合が要介護1と比べて高くなっています。



単位: %

認定	年齢	n	介護保険サービス・事業を利用していない	自宅にホームヘルパーなど専門家が訪問するサービス (訪問介護、訪問看護など)	日帰りで施設に通って介護の提供を受けるサービス (デイサービス、デイケアなど)	短期間、施設に宿泊して介護の提供を受けるサービス (ショートステイ)	介護保険で、福祉用具を借りたり、購入すること	通い・泊まり・訪問サービスを組み合わせた定額のサービス	その他	無回答
			要支援1	518	28.2	11.0	33.0	1.2	28.2	0.8
要支援2	523	19.1	21.0	41.7	3.1	48.2	1.7	6.9	2.7	
年齢	40~64歳	19	21.1	21.1	31.6	0.0	31.6	0.0	21.1	0.0
	65~74歳	148	25.7	18.9	32.4	1.4	37.8	0.7	10.8	4.7
	75~84歳	463	26.8	15.6	37.4	1.1	36.3	1.5	6.7	4.5
	85歳以上	405	19.5	14.8	39.5	3.7	41.5	1.2	7.2	3.5

2 日常生活について

(1) 日常生活や運動

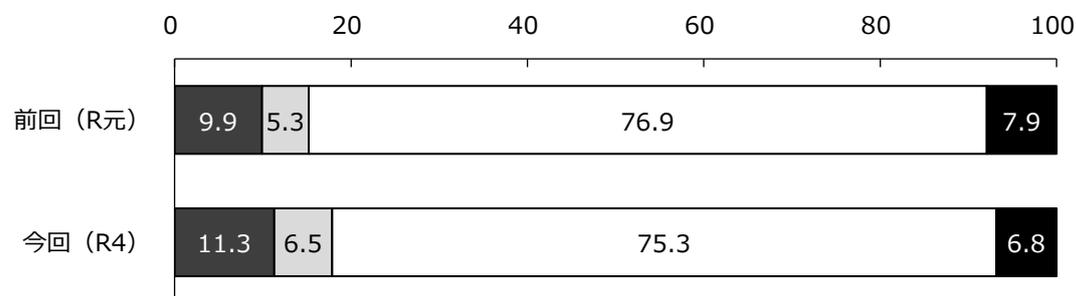
■ 日常生活や運動についてはいかがですか。(それぞれ○は1つ)

n=1,362

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない」が 75.3%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

認定等別では、事業対象者で「手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている」の割合が他と比べて高くなっています。



- 手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている
- 手すりや壁などを使わなくても、階段を昇ることができるが、階段を昇る機会がない
- 手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない
- 無回答

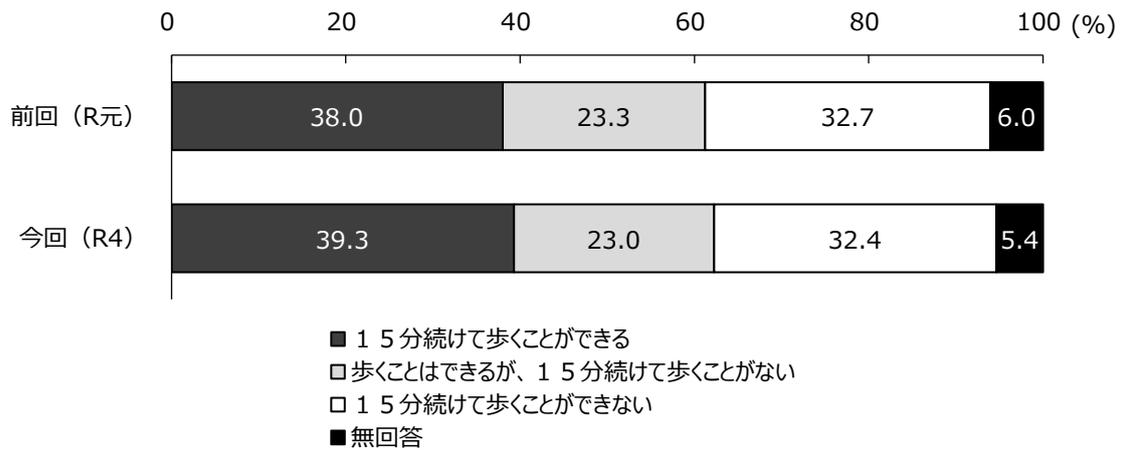
単位：%

		n	手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている	手すりや壁などを使わなくても、階段を昇ることができるが、階段を昇る機会がない	手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない	無回答
認定等	事業対象者	160	29.4	15.6	49.4	5.6
	要支援1	518	12.4	6.4	76.3	5.0
	要支援2	523	4.2	3.3	86.0	6.5
年齢	40～64歳	22	22.7	9.1	68.2	0.0
	65～74歳	182	15.4	7.1	73.1	4.4
	75～84歳	604	12.7	6.1	74.7	6.5
	85歳以上	516	7.4	6.6	78.1	7.9

② 15分位続けて歩いていますか

「15分続けて歩くことができない」が32.4%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

認定等別で見ると、要支援2で「15分続けて歩くことができない」の割合が他と比べて高くなっています。



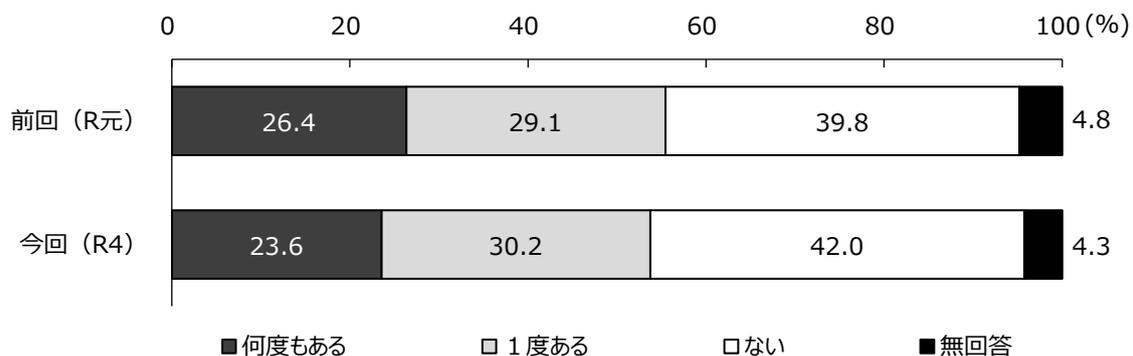
単位：%

		n	15分 続けて歩 くことが できる	歩くこ とはでき るが、15 分続けて 歩くこと がない	15分 続けて歩 くことが できない	無回答
認 定 等	事業対象者	160	57.5	28.1	11.3	3.1
	要支援1	518	44.4	22.4	28.2	5.0
	要支援2	523	27.7	22.8	43.8	5.7
年 齢	40～64歳	22	45.5	27.3	27.3	0.0
	65～74歳	182	46.2	27.5	22.5	3.8
	75～84歳	604	40.1	23.3	31.6	5.0
	85歳以上	516	35.1	21.7	37.0	6.2

③過去1年間に転んだ経験がありますか

「何度もある」は23.6%で、前回と比べてやや減少しています。

認定等別・年齢別で見ると、要支援2と40～64歳で「何度もある」の割合が他と比べて高くなっています。



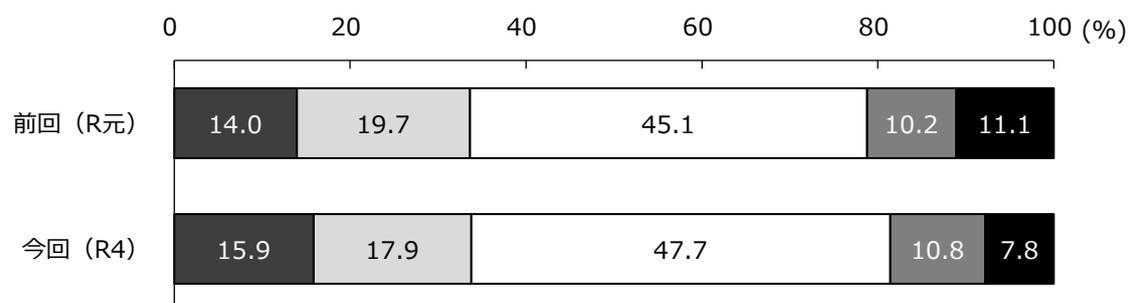
単位：%

		n	何度もある	1度ある	ない	無回答
認定等	事業対象者	160	15.6	21.3	60.0	3.1
	要支援1	518	19.9	33.0	43.1	4.1
	要支援2	523	31.2	30.2	34.4	4.2
年齢	40～64歳	22	40.9	27.3	31.8	0.0
	65～74歳	182	24.7	26.9	45.1	3.3
	75～84歳	604	21.7	31.0	43.4	4.0
	85歳以上	516	25.2	30.2	39.9	4.7

④歯の数と入れ歯の利用状況

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が47.7%と最も高くなっています。

年齢別でみると、年齢が下がるにつれて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。



- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 無回答

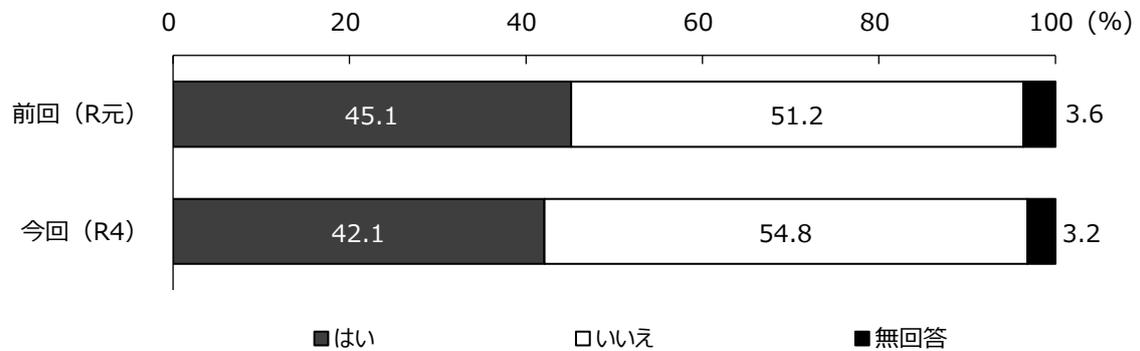
単位：%

認定等	事業対象者	n	自分の歯の数と入れ歯の利用状況 (%)				無回答 (%)
			20本以上、かつ入れ歯を利用	20本以上、入れ歯の利用なし	19本以下、かつ入れ歯を利用	19本以下、入れ歯の利用なし	
認定等	事業対象者	160	22.5	20.0	44.4	8.8	4.4
	要支援1	518	16.2	17.2	48.8	10.8	6.9
	要支援2	523	13.4	20.5	47.2	12.0	6.9
年齢	40～64歳	22	0.0	40.9	27.3	27.3	4.5
	65～74歳	182	12.6	30.2	34.6	18.7	3.8
	75～84歳	604	18.0	17.5	48.3	8.4	7.6
	85歳以上	516	14.3	13.8	52.9	9.9	9.1

⑤お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が 42.1%で、前回と比べて減少しています。

認定等別でみると、要支援 2 で「はい」の割合が他と比べてやや高くなっています。



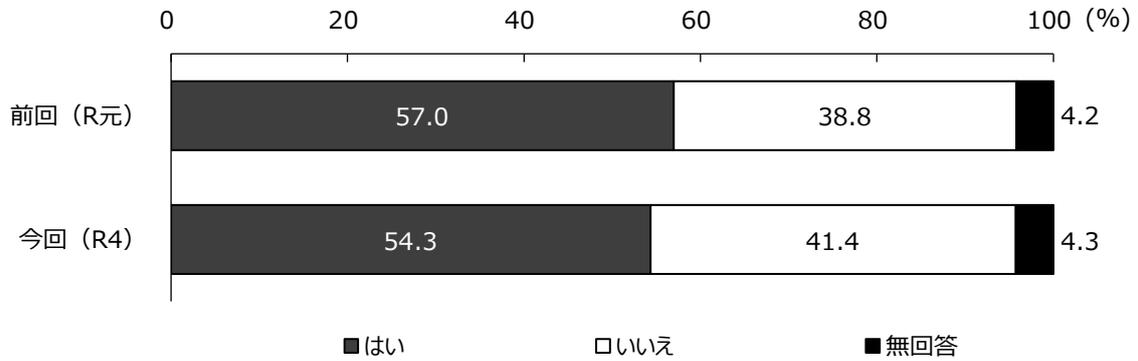
単位：%

		n	はい	いいえ	無回答
認定等	事業対象者	160	30.6	68.1	1.3
	要支援 1	518	42.5	54.4	3.1
	要支援 2	523	46.3	50.5	3.3
年齢	40～64歳	22	31.8	68.2	0.0
	65～74歳	182	38.5	59.9	1.6
	75～84歳	604	43.2	53.6	3.1
	85歳以上	516	42.4	53.9	3.7

⑥物忘れが多いと感じますか

「はい」が54.3%、「いいえ」が41.4%です。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。



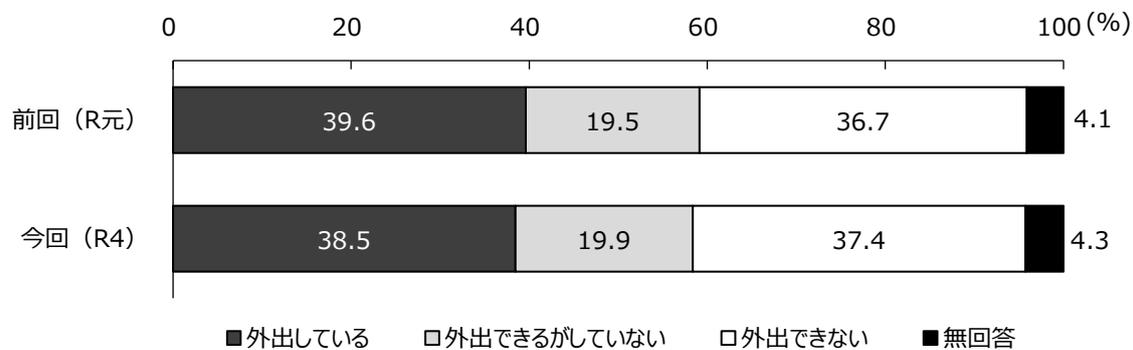
単位：%

		n	はい	いいえ	無回答
認定等	事業対象者	160	52.5	46.3	1.3
	要支援1	518	58.1	38.0	3.9
	要支援2	523	50.7	45.5	3.8
年齢	40～64歳	22	31.8	68.2	0.0
	65～74歳	182	43.4	54.4	2.2
	75～84歳	604	54.5	41.4	4.1
	85歳以上	516	58.7	36.2	5.0

⑦バス・電車を使って1人で外出していますか

「外出している」が38.5%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

認定等別でみると、要支援2で「外出できない」の割合が他と比べて高くなっています。



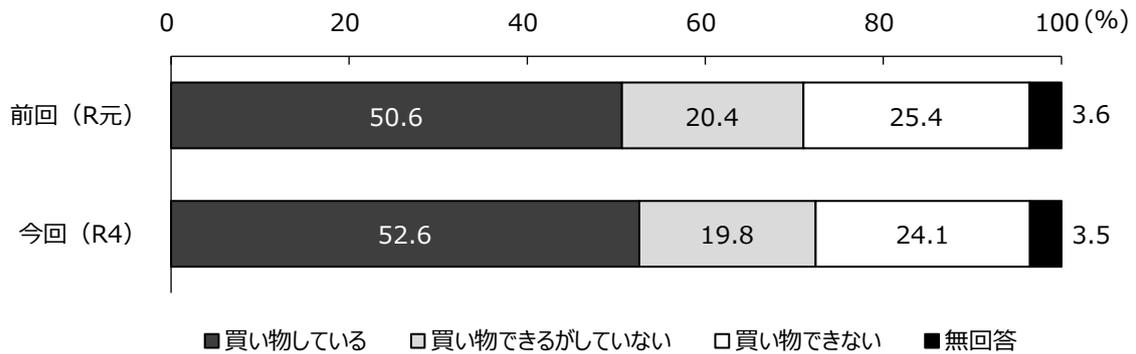
単位：%

		n	外出している	外出できるがしてない	外出できない	無回答
認定等	事業対象者	160	57.5	29.4	11.3	1.9
	要支援1	518	40.7	22.0	33.0	4.2
	要支援2	523	28.5	15.3	52.8	3.4
年齢	40～64歳	22	59.1	4.5	36.4	0.0
	65～74歳	182	46.7	23.6	28.0	1.6
	75～84歳	604	41.6	20.4	33.6	4.5
	85歳以上	516	30.8	18.8	45.7	4.7

⑧自分で食品・日用品の買い物をしていますか

「買い物できない」が 24.1%、「買い物できるがしていない」が 19.8%で、前回と比べて大きな変化はみられません。

認定等別でみると、要支援2で「買い物できない」の割合が他と比べて高くなっています。年齢別でみると、概ね年齢が上がるにつれて「買い物している」の割合が低くなっています。



単位：%

		n	買い物している	買い物できるがしていない	買い物できない	無回答
認定等	事業対象者	160	72.5	20.6	5.0	1.9
	要支援1	518	58.5	20.3	17.8	3.5
	要支援2	523	40.3	19.3	37.1	3.3
年齢	40～64歳	22	63.6	18.2	18.2	0.0
	65～74歳	182	64.3	12.1	22.0	1.6
	75～84歳	604	57.3	18.9	20.2	3.6
	85歳以上	516	43.2	23.6	29.5	3.7

(2) 現在の健康状態

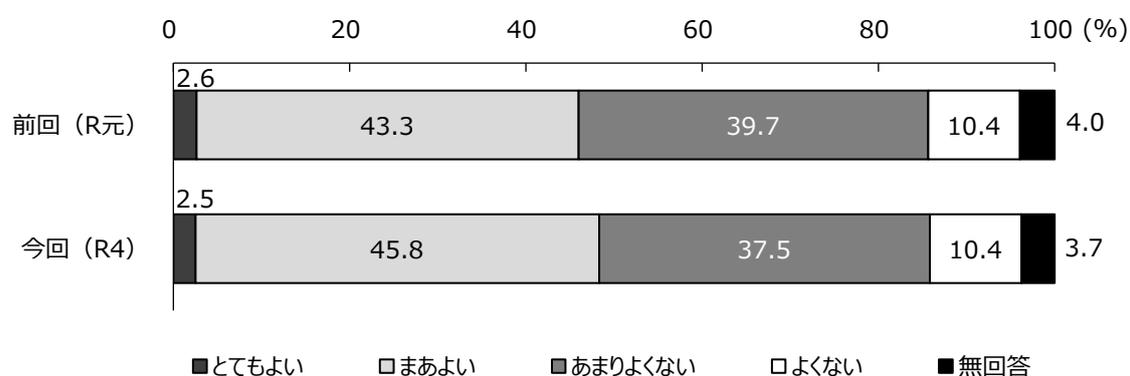
■ あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

n=1,362

「まあよい」(45.8%)、「あまりよくない」(37.5%)が高くなっています。

前回と比べて大きな変化はみられません。

認定等別でみると、事業対象者で「まあよい」の割合が他と比べて高くなっています。年齢別では、40～64歳・65～74歳で「まあよい」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
認定等	事業対象者	160	5.0	57.5	29.4	6.3	1.9
	要支援1	518	2.7	48.8	34.6	10.2	3.7
	要支援2	523	1.5	38.8	44.0	11.9	3.8
年齢	40～64歳	22	9.1	63.6	22.7	4.5	0.0
	65～74歳	182	2.2	53.8	35.2	6.6	2.2
	75～84歳	604	3.0	42.1	38.7	12.6	3.6
	85歳以上	516	1.9	46.3	37.8	9.5	4.5
性別	男性	641	3.1	42.3	39.5	11.5	3.6
	女性	676	2.1	49.0	35.8	9.5	3.7

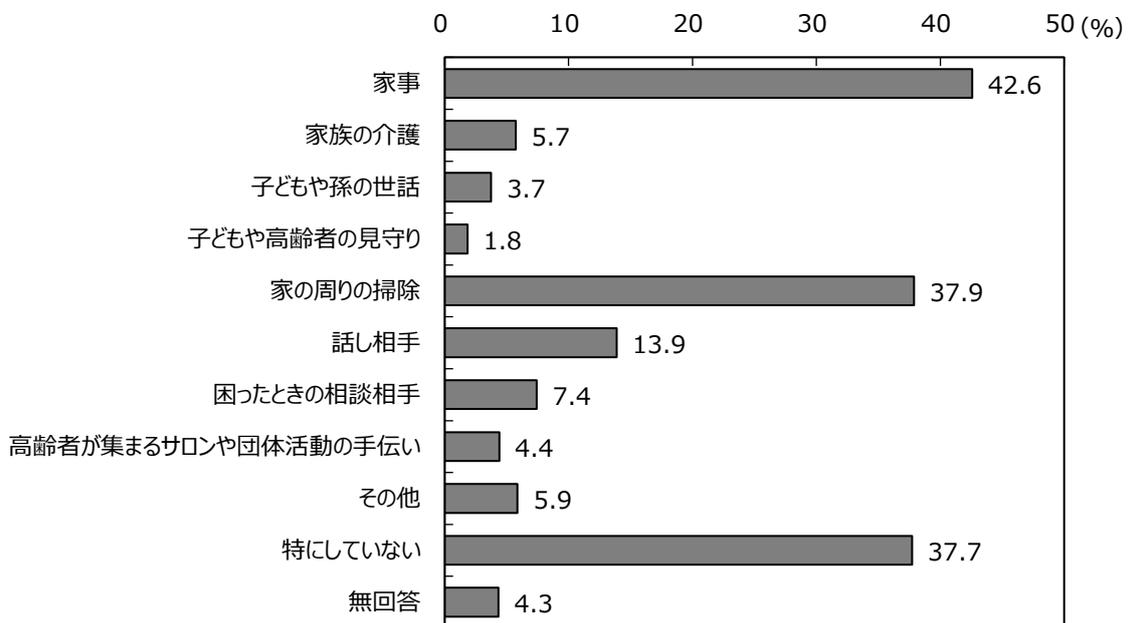
(3) 家族や地域のためにしていること

■ あなたは、家族や地域のために、どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1,362

「家事」(42.6%)、「家の周りの掃除」(37.9%)が高くなっています。「特にしていない」は37.7%です。

認定等別・年齢別・性別で「特にしていない」の割合をみると、要支援2、40～64歳・65～74歳、男性で他と比べて高くなっています。



単位：％

		n	家事	家族の 介護	子どもや 孫の世 話	子どもや 高齢者 の見守り	家の周り の掃除	話し相 手	困ったと きの相談 相手	高齢者 が集まる サロンや 団体活 動の手 伝い	その他
認 定 等	事業対象者	160	54.4	5.0	4.4	3.8	53.1	18.8	10.6	8.8	8.1
	要支援1	518	48.5	6.6	4.1	1.9	41.1	12.2	5.4	4.1	6.9
	要支援2	523	34.8	5.4	4.0	1.1	27.7	15.1	8.8	3.8	5.2
年 齢	40～64歳	22	31.8	9.1	9.1	4.5	13.6	13.6	9.1	4.5	13.6
	65～74歳	182	42.3	6.6	8.8	2.2	25.8	13.2	8.8	3.8	8.2
	75～84歳	604	46.2	6.3	3.5	2.5	40.7	14.2	7.1	5.3	5.1
	85歳以上	516	39.9	4.8	2.3	0.8	40.1	14.3	7.0	3.7	6.0
性 別	男性	641	32.1	6.6	3.3	3.0	35.6	14.8	8.4	4.8	7.3
	女性	676	53.7	5.3	4.4	0.7	40.4	13.8	6.4	4.1	4.9

単位：％

		n	特にして いない	無回答
認 定 等	事業対象者	160	26.3	1.9
	要支援1	518	34.7	3.5
	要支援2	523	44.7	5.0
年 齢	40～64歳	22	50.0	0.0
	65～74歳	182	46.2	2.2
	75～84歳	604	34.4	4.6
	85歳以上	516	37.8	4.8
性 別	男性	641	42.6	3.9
	女性	676	32.8	4.4

3 社会参加について

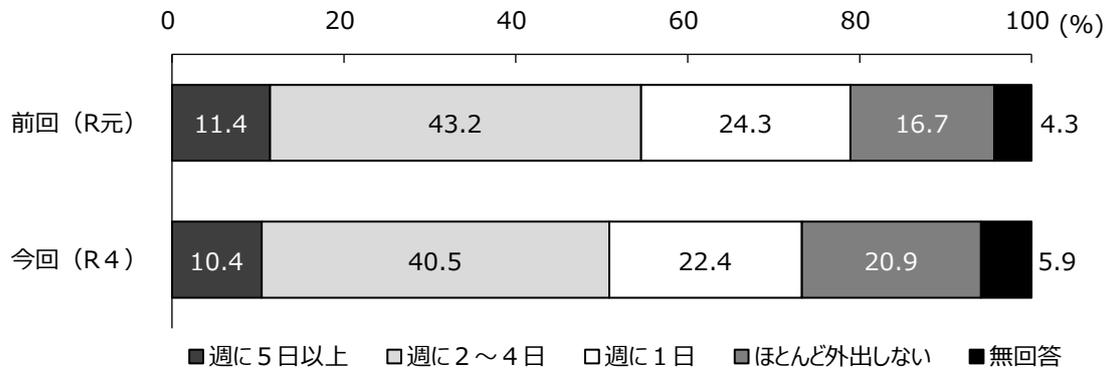
(1) 1週間のうち外出する頻度

■ 1週間に何日、外出していますか。(○は1つ)

n=1,362

「ほとんど外出しない」が20.9%と、前回と比べて増加しています。

認定等別・年齢別等で「ほとんど外出しない」をみると、要支援2、85歳以上で他と比べて高くなっています。日常生活圏域別では、高岡、藤岡・小原で「ほとんど外出しない」の割合が他と比べてやや高くなっています。



単位: %

		n	週に5日以上	週に2~4日	週に1日	ほとんど外出しない	無回答
認定等	事業対象者	160	18.1	43.1	20.6	12.5	5.6
	要支援1	518	10.4	42.3	23.4	18.7	5.2
	要支援2	523	8.0	40.9	21.8	24.7	4.6
年齢	40~64歳	22	36.4	22.7	13.6	22.7	4.5
	65~74歳	182	17.0	49.5	17.0	13.2	3.3
	75~84歳	604	9.6	43.2	23.5	16.9	6.8
	85歳以上	516	7.9	36.2	22.3	28.1	5.4
性別	男性	641	14.8	41.2	16.7	22.2	5.1
	女性	676	6.2	40.7	27.2	19.8	6.1
日常生活圏域	拳母	400	11.5	46.5	19.0	18.0	5.0
	高橋	186	14.0	44.6	18.8	19.4	3.2
	上郷	105	12.4	39.0	20.0	21.0	7.6
	高岡	192	8.9	35.4	24.5	26.6	4.7
	猿投	166	10.8	43.4	20.5	19.9	5.4
	松平・下山	71	5.6	35.2	33.8	21.1	4.2
	藤岡・小原	72	8.3	26.4	29.2	27.8	8.3
	足助・旭・稲武	111	6.3	36.9	27.0	22.5	7.2

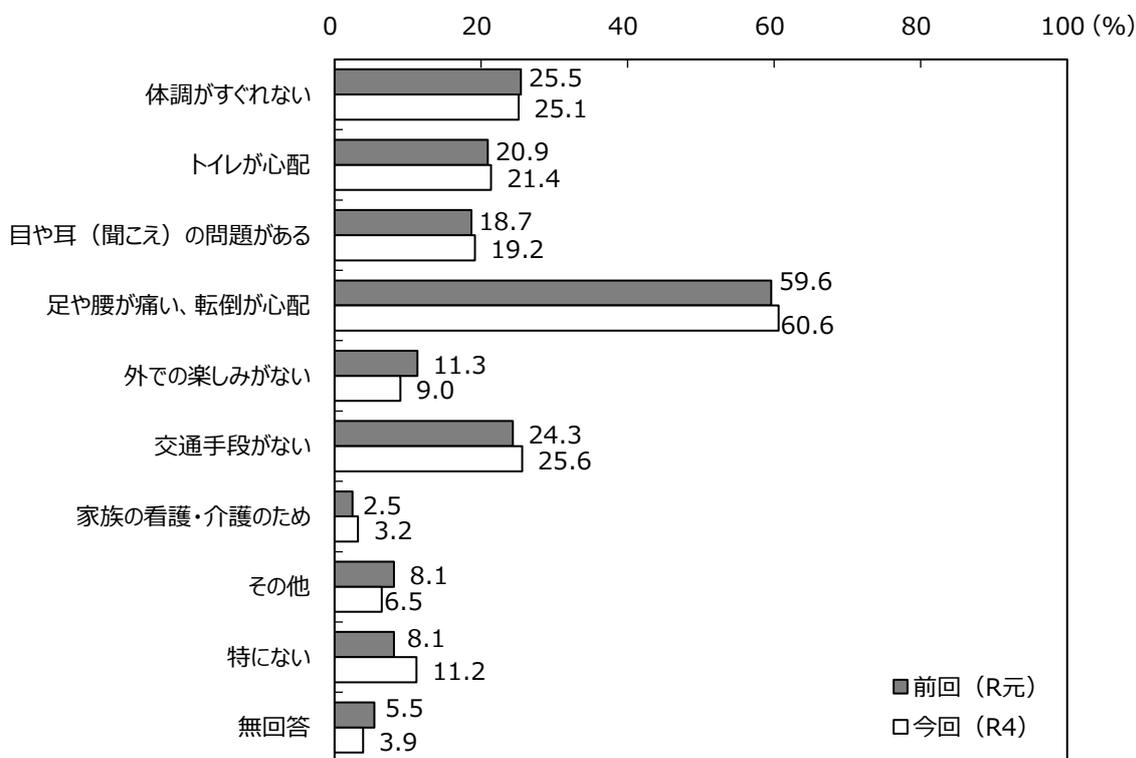
(2) 外出を控えている理由

【外出頻度を「週に1回」「ほとんど外出しない」と回答した方対象】
 ■ 外出を控えている理由がありますか。(○は3つまで)

「週1回」「ほとんど外出しない」と答えた方のみ n=589

「足や腰が痛い、転倒が心配」が 60.6%と最も高く、次いで「交通手段がない」が 25.6%、「体調がすぐれない」が 25.1%、「トイレが心配」が 21.4%、「目や耳（聞こえ）の問題がある」が 19.2%となっています。前回と比べて大きな変化はみられません。

認定等別でみると、要支援2で「体調がすぐれない」「足や腰が痛い、転倒が心配」、事業対象者で「特にない」の割合が他と比べて高くなっています。年齢別でみると、すべての年代で「足や腰が痛い、転倒が心配」の割合が最も高くなっています。



単位：%

		n	体調がすぐれない	トイレが心配	目や耳（聞こえ）の問題がある	足や腰が痛い、転倒が心配	外での楽しみがない	交通手段がない	家族の看護・介護のため	その他	特にない	無回答
認定等	事業対象者	53	18.9	15.1	18.9	50.9	17.0	28.3	0.0	7.5	24.5	1.9
	要支援1	218	21.1	23.9	19.7	56.0	7.3	26.1	4.1	6.4	11.9	4.6
	要支援2	243	31.7	20.6	17.7	69.1	9.5	25.5	4.1	7.4	8.6	2.5
年齢	40～64歳	8	25.0	25.0	0.0	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
	65～74歳	55	23.6	23.6	5.5	52.7	9.1	23.6	5.5	10.9	18.2	5.5
	75～84歳	244	30.7	22.5	13.5	61.1	10.7	25.8	3.7	6.6	10.2	2.9
	85歳以上	260	20.8	19.2	27.7	61.9	7.7	26.2	2.7	6.2	10.8	4.6

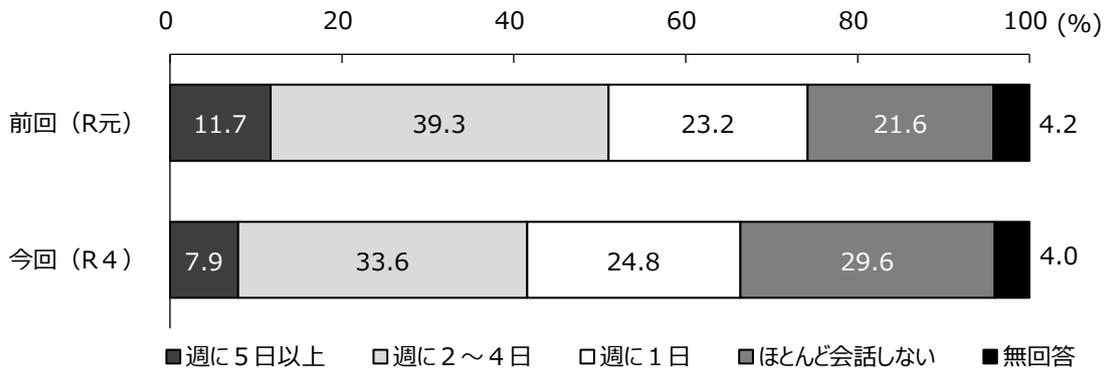
(3) 知人・友人・近所の人と話す頻度

■ 1週間に、知人・友人・近所の人（家族以外）とどのくらい話しますか。
（○は1つ）

n=1,362

「ほとんど会話しなない」が29.6%と、前回と比べて増加しています。

年齢別・性別で見ると、65～74歳、男性で「ほとんど会話しなない」の割合が他と比べてやや高くなっています。



単位：%

		n	週に5日以上	週に2～4日	週に1日	ほとんど会話しなない	無回答
認定等	事業対象者	160	10.6	41.3	25.6	16.9	5.6
	要支援1	518	8.3	31.1	27.0	30.3	3.3
	要支援2	523	5.2	34.4	24.5	32.5	3.4
年齢	40～64歳	22	27.3	27.3	18.2	22.7	4.5
	65～74歳	182	7.1	34.1	19.2	36.3	3.3
	75～84歳	604	7.6	34.4	25.2	28.1	4.6
	85歳以上	516	7.8	33.1	26.6	29.8	2.7
性別	男性	641	8.1	29.0	22.6	36.5	3.7
	女性	676	7.8	38.0	26.9	23.7	3.6
日常生活圏	拳母	400	7.3	32.0	25.8	31.0	4.0
	高橋	186	7.0	38.2	28.5	24.7	1.6
	上郷	105	4.8	37.1	18.1	32.4	7.6
	高岡	192	7.3	30.7	25.0	34.9	2.1
	猿投	166	10.8	33.7	22.3	30.7	2.4
	松平・下山	71	5.6	36.6	21.1	33.8	2.8
	藤岡・小原	72	13.9	30.6	20.8	30.6	4.2
	足助・旭・稲武	111	5.4	37.8	27.0	23.4	6.3

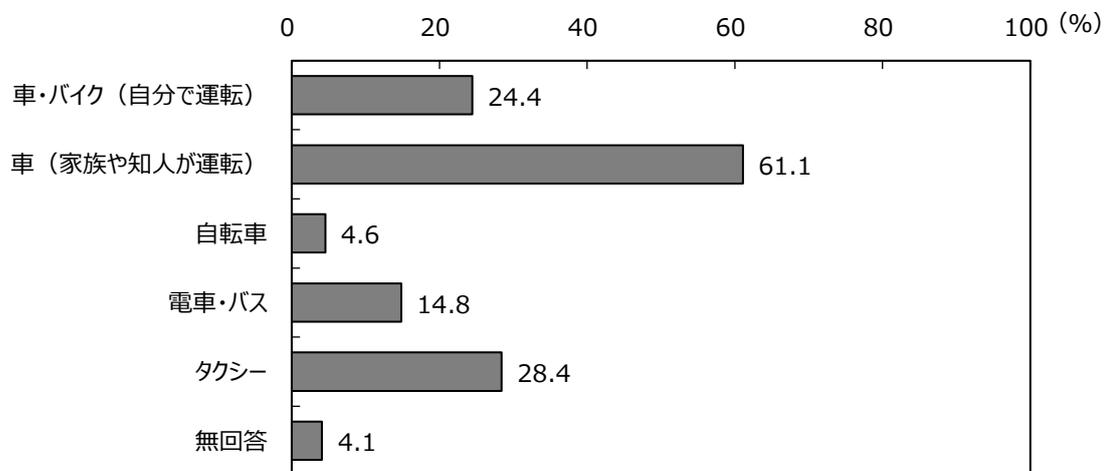
(4) 自宅から歩いて行けない場所への移動方法

■ 自宅から歩いていけない場所に、どのような方法で行きますか。(○は3つまで)

n=1,362

「車（家族や知人が運転）」が 61.1%と最も高く、次いで「タクシー」が 28.4%、「車・バイク（自分で運転）」が 24.4%となっています。

認定等別・年齢別・性別でみると、要支援2、85歳以上、女性で「車（家族や知人が運転）」の割合が特に高くなっています。



単位：%

認定等	年齢	性別	n	車・バイク（自分で運転）	車（家族や知人が運転）	自転車	電車・バス	タクシー	無回答
認定等	事業対象者		160	39.4	46.3	7.5	18.1	15.6	5.6
	要支援1		518	25.3	61.0	4.8	16.8	32.2	2.9
	要支援2		523	18.9	69.4	2.5	11.7	30.0	3.8
年齢	40～64歳		22	50.0	40.9	4.5	18.2	18.2	4.5
	65～74歳		182	39.6	53.3	3.8	13.2	21.4	2.7
	75～84歳		604	27.5	58.4	6.3	16.7	30.5	4.3
	85歳以上		516	15.3	68.8	2.7	12.8	28.9	3.7
性別	男性		641	33.5	52.4	6.2	14.5	25.1	3.7
	女性		676	16.6	70.6	2.8	15.1	31.7	3.8

(5) 会・グループ等への参加状況

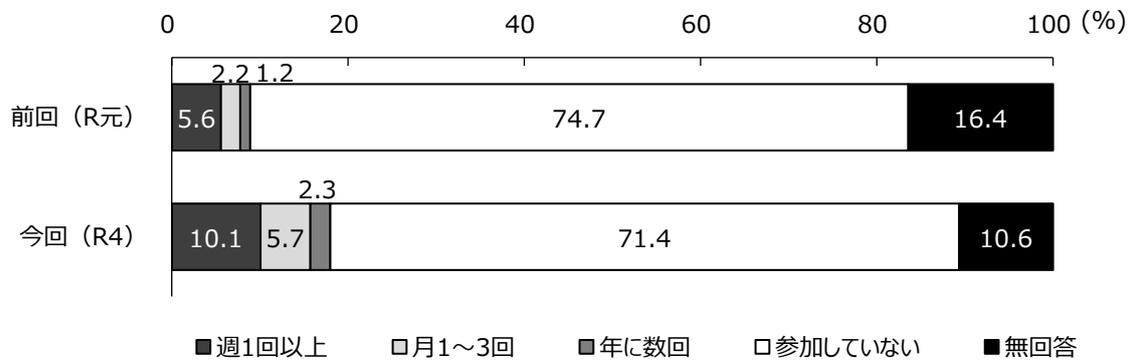
■ 以下の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ最も近いものに1つずつ○)

n=1,362

スポーツ関係のグループやクラブは、「週1回以上」「月1～3回」が、前回と比べて増加しています。一方、高齢者クラブは、「週1回以上」が減少しています。

サロン・健康体操などは、大きな変化がみられません。

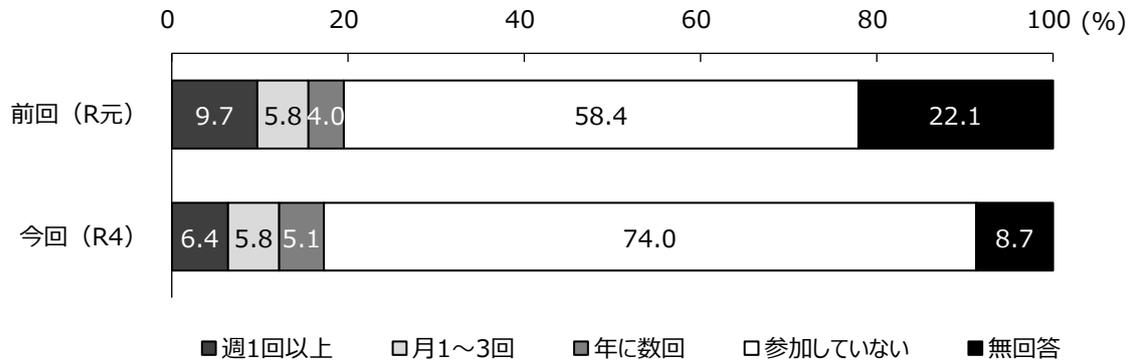
○スポーツ関係のグループやクラブ



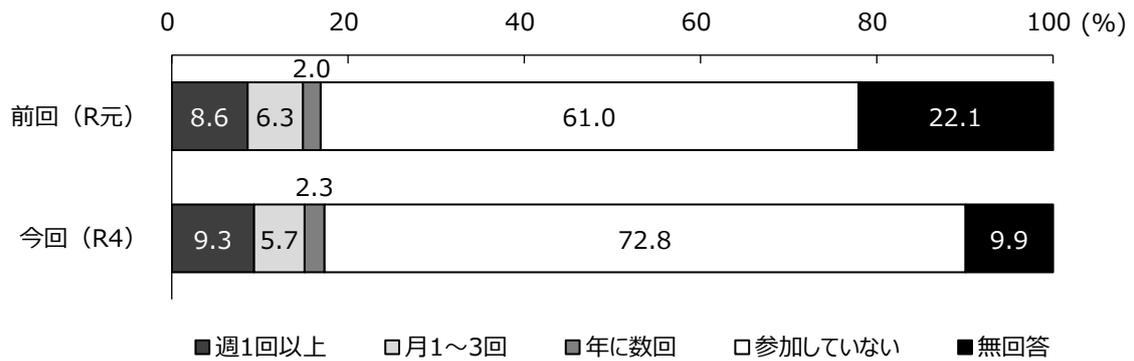
○趣味・文化活動関係のグループ



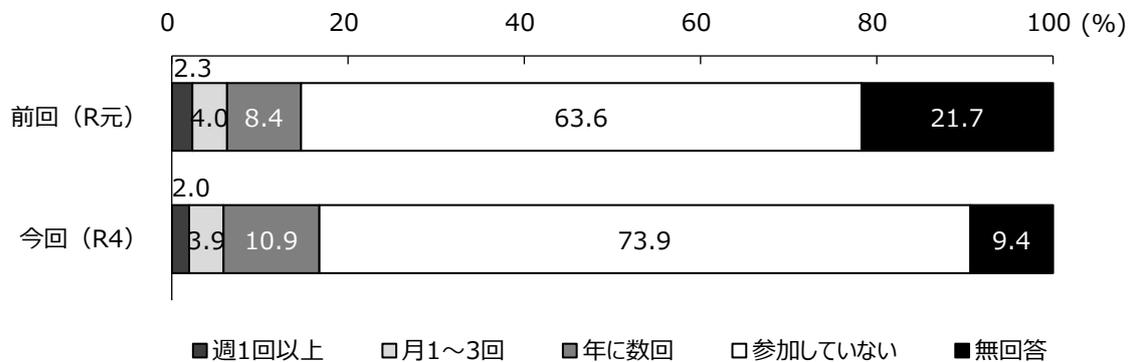
○高齢者クラブ



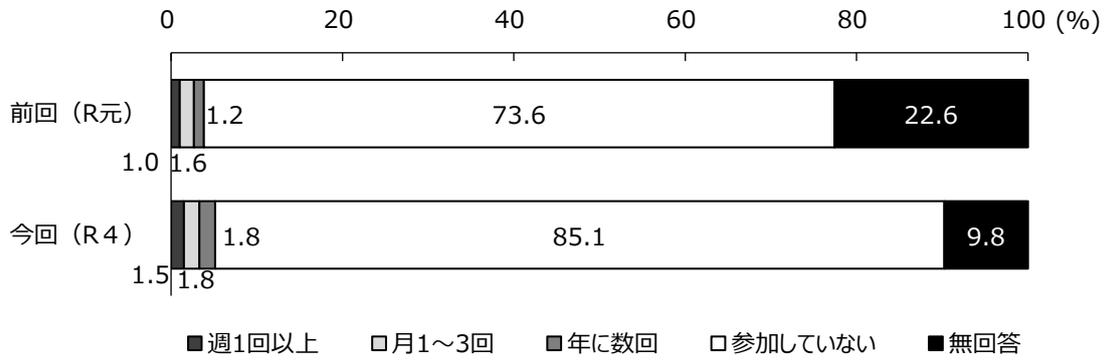
○サロン・健康体操



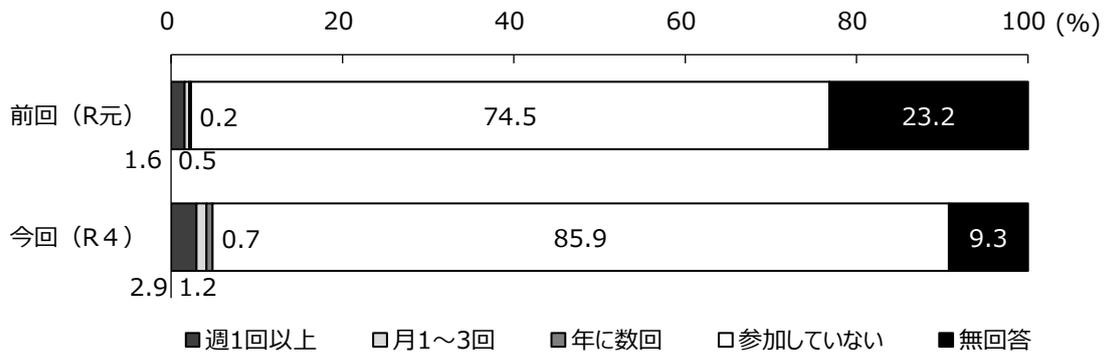
○自治区・町内会



○ボランティアのグループ



○収入のある仕事



「月1回以上」の割合をみると、認定等別では総じて要支援2は他と比べて低くなっています。年齢別でみると、40～64歳で「収入のある仕事」が他と比べて高くなっています。性別では、女性は「スポーツ関係のグループやクラブ」「サロン・健康体操」をはじめ総じて割合が高くなっています。日常生活圏域別で「趣味・文化活動関係のグループ」「サロン・健康体操」など総じて、藤岡・小原で高く、高岡で低い傾向がみられます。

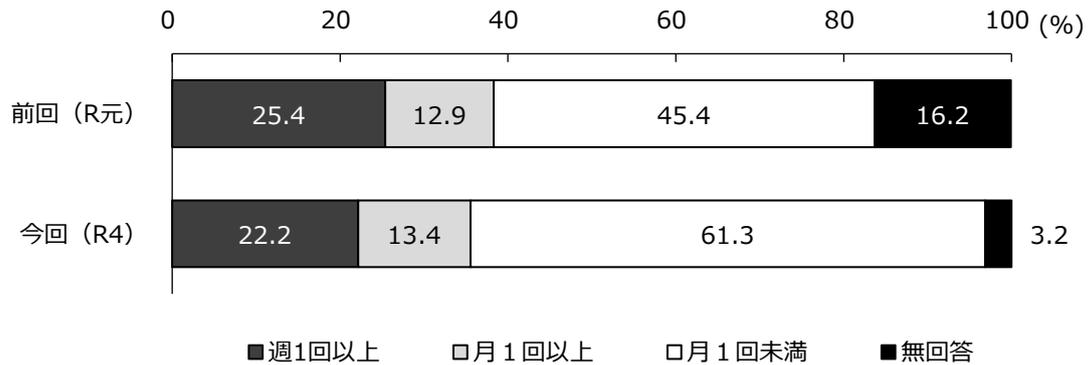
○「月1回以上」の割合

単位：%

		n	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味・文化活動関係のグループ	高齢者クラブ	サロン・健康体操（地域ふれあいサロン・元気アップ教室を含む）	自治区・町内会	ボランティアのグループ	収入のある仕事
認定等	事業対象者	160	20.6	16.3	21.9	26.9	8.1	4.4	6.3
	要支援1	518	17.6	14.5	12.2	16.6	7.3	3.7	4.2
	要支援2	523	12.2	10.9	8.6	10.7	3.3	2.5	3.8
年齢	40～64歳	22	4.5	18.2	9.1	13.6	0.0	4.5	36.4
	65～74歳	182	16.5	10.4	4.9	12.1	6.6	2.7	8.8
	75～84歳	604	16.9	14.2	12.7	15.6	7.0	4.1	4.5
	85歳以上	516	14.9	13.4	14.3	15.9	5.0	2.5	0.8
性別	男性	641	12.3	10.9	9.0	10.9	5.6	2.7	6.1
	女性	676	19.4	15.8	15.2	19.5	6.5	4.0	4.9
日常生活圏域	拳母	400	18.0	12.3	10.5	16.8	3.3	1.8	3.8
	高橋	186	18.3	17.2	12.9	12.9	7.0	6.5	3.2
	上郷	105	10.5	15.2	9.5	11.4	6.7	6.7	5.7
	高岡	192	13.0	8.3	7.8	8.9	4.2	2.6	4.7
	猿投	166	16.3	16.3	12.7	12.7	8.4	2.4	4.2
	松平・下山	71	12.7	12.7	22.5	21.1	7.0	2.8	4.2
	藤岡・小原	72	25.0	26.4	18.1	29.2	11.1	4.2	5.6
足助・旭・稲武	111	13.5	8.1	18.9	22.5	8.1	2.7	3.6	

「スポーツ関係のグループやクラブ」から「収入のある仕事」の7つの社会参加の項目の統合指標を作成し、集計したところ、前回と比べて、「週1回以上（参加する項目がある）」（22.2%）が減少しています。

年齢別でみると、40～64歳で「週1回以上」の割合が他と比べて高くなっています。性別では「女性」で「週1回以上」の割合が男性と比べて高くなっています。



単位：%

		n	週1回以上	月1回以上	月1回未満	無回答
年齢	40～64歳	22	50.0	4.5	45.5	0.0
	65～74歳	182	22.5	12.6	62.6	2.2
	75～84歳	604	23.3	14.4	59.8	2.5
	85歳以上	516	19.4	13.6	63.2	3.9
性別	男性	641	18.3	13.4	66.0	2.3
	女性	676	26.2	13.6	56.7	3.6

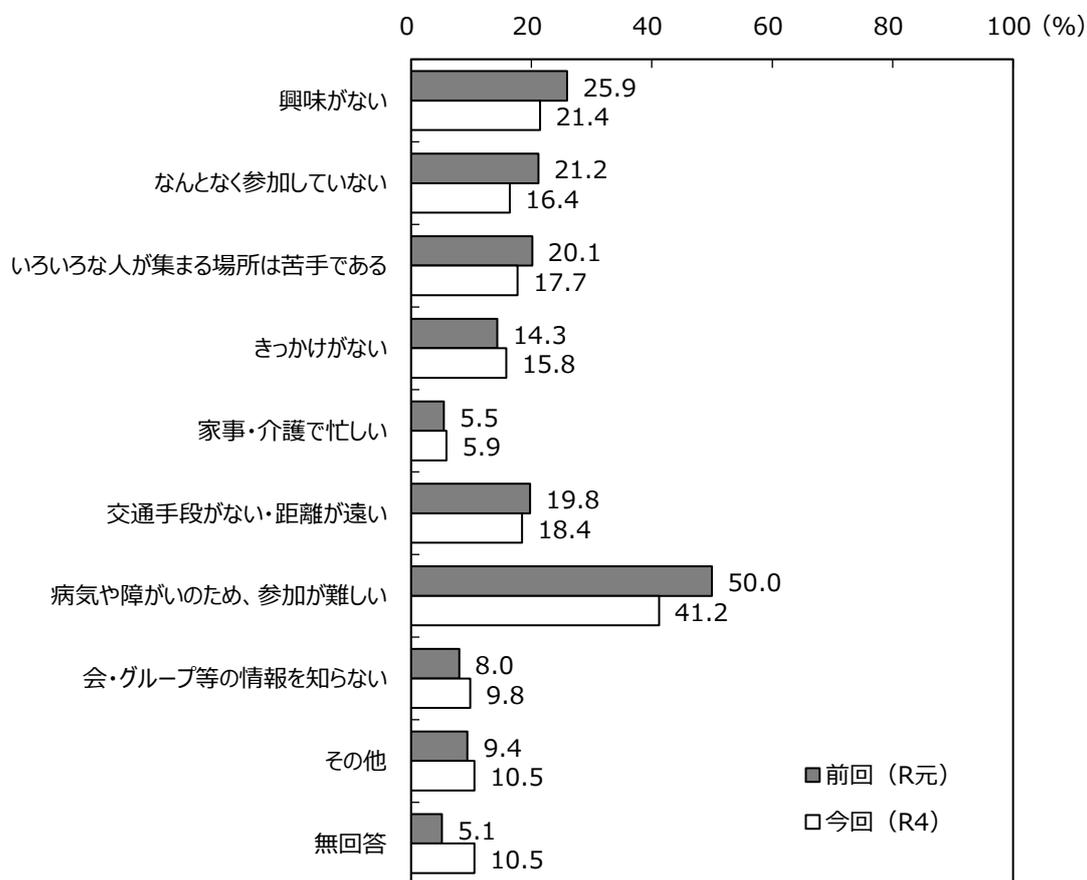
(6) 会・グループ等に参加しない理由

【会・グループ参加について「週1回以上」「月1～3回」に「○が1つもない」方対象】

■ 会・グループ等に、あまり参加していない理由をお聞かせください。(○は3つまで)

「週に1回以上」「月に1～3回」に○が1つもない方のみ n=835

「病気や障がいのため、参加が難しい」が41.2%と最も高くなっていますが、前回と比べて減少しています。この他、「興味がない」(21.4%)、「交通手段がない・距離が遠い」(18.4%)、「いろいろな人が集まる場所は苦手である」(17.7%)、「なんとなく参加していない」(16.4%)、「きっかけがない」(15.8%)等の回答がみられます。



認定等別でみると、事業対象者で「興味がない」「なんとなく参加していない」の割合が他と比べて高くなっています。性別では、男性で「興味がない」、女性で「交通手段がない・距離が遠い」の割合が他と比べてやや高くなっています。

単位：%

		n	興味がない	なんとなく参加していない	いろいろな人が集まる場所は苦手である	きっかけがない	家事・介護で忙しい	交通手段がない・距離が遠い	病気や障がいのため、参加が難しい	会・グループ等の情報を知らない	その他	無回答
認定等	事業対象者	70	30.0	34.3	12.9	21.4	8.6	17.1	20.0	7.1	8.6	8.6
	要支援1	308	23.7	14.9	21.4	18.5	7.5	21.8	37.0	10.7	9.4	10.4
	要支援2	358	20.4	13.7	17.3	12.0	3.6	15.6	51.4	8.1	11.2	9.5
年齢	40～64歳	10	40.0	10.0	10.0	30.0	10.0	30.0	50.0	10.0	10.0	10.0
	65～74歳	114	26.3	13.2	22.8	18.4	8.8	12.3	47.4	13.2	5.3	11.4
	75～84歳	361	22.7	20.8	16.3	16.1	6.1	21.3	41.0	8.9	6.9	10.0
	85歳以上	326	18.4	13.2	18.4	14.1	4.9	16.3	39.0	9.8	16.0	10.7
性別	男性	423	25.1	18.2	16.3	14.7	6.9	15.1	41.1	9.9	9.0	10.2
	女性	383	18.0	14.6	19.6	17.0	5.2	21.1	40.7	9.9	12.0	11.0

(7) 外出回数の変化

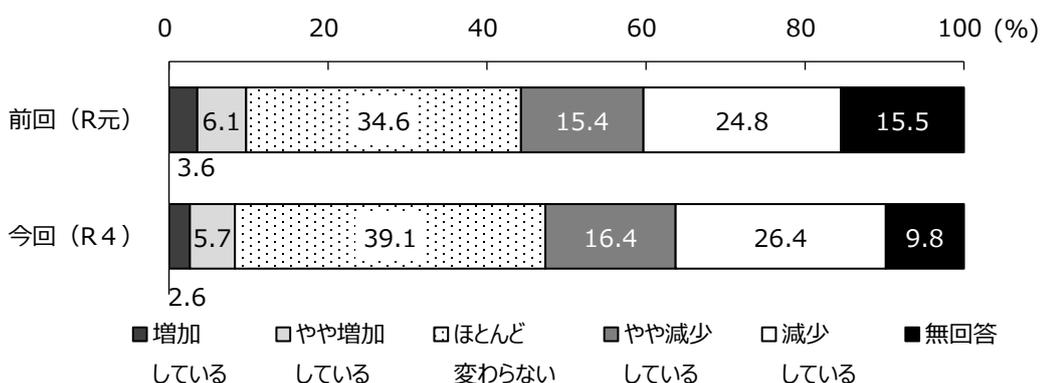
■ 外出などの回数について、この1年間でどのように変化していますか（それぞれ1つずつ○）

n=1,362

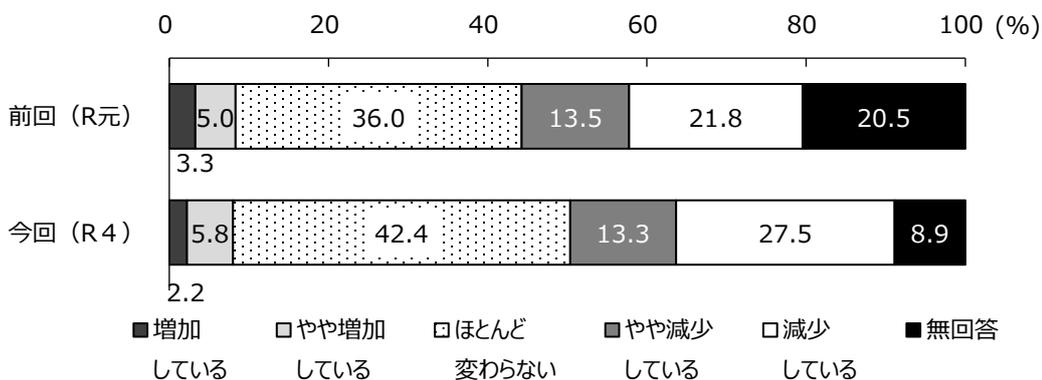
「減少している」の割合をみると、外出で 26.4%、家族以外の知人・友人等との会話で 27.5%、会・グループ等への参加状況について 33.4%となっています。

認定等別でみると、要支援2、要支援1、事業対象者の順に「減少している」の割合が高くなる傾向がみられます。年齢別でみると、外出、家族以外の知人・友人等との会話で、概ね年齢が上がるにつれて「減少している」の割合が高くなる傾向がみられます。性別では男性で「減少している」の割合が高くなる傾向がみられます。

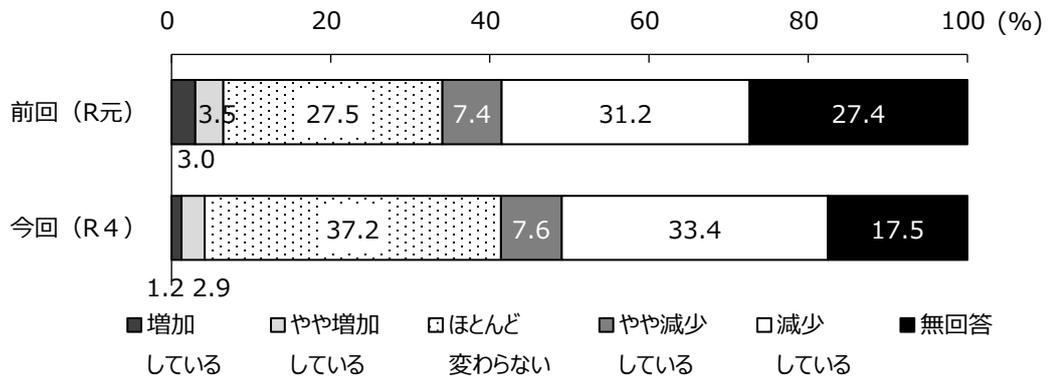
○外出



○家族以外の知人・友人等の会話



○会・グループ等への参加



○「減少している」の割合

単位：%

		n	外出	家族以外の知人・友人等との会話	会・グループ等への参加
認定等	事業対象者	160	14.4	9.4	20.6
	要支援1	518	25.1	27.8	34.6
	要支援2	523	31.7	32.1	36.9
年齢	40～64歳	22	22.7	18.2	36.4
	65～74歳	182	17.6	20.9	25.8
	75～84歳	604	25.5	26.3	36.1
	85歳以上	516	30.2	31.0	32.8
性別	男性	641	27.1	30.6	37.0
	女性	676	25.3	24.0	29.7

4 生きがいや楽しみについて

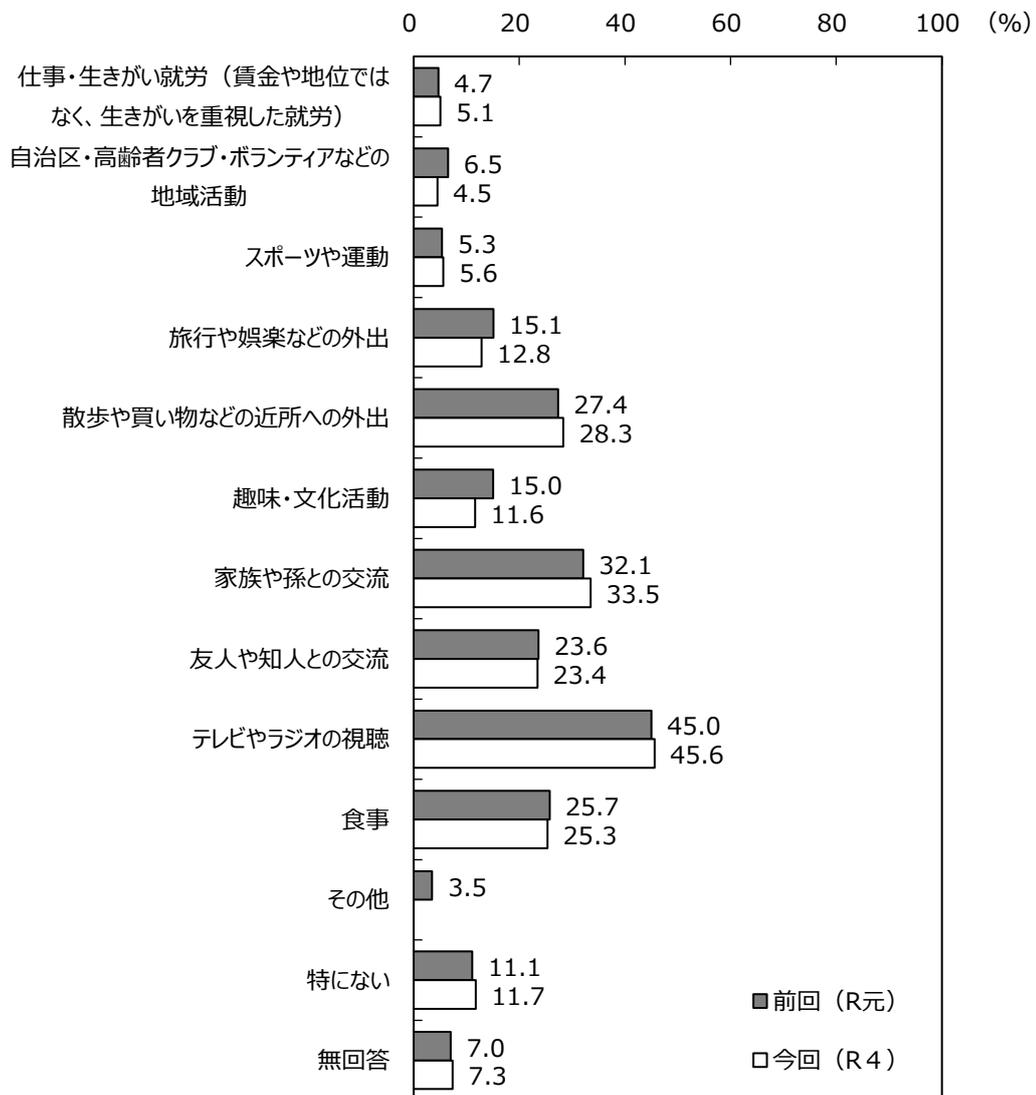
(1) 生きがいや楽しみ

■ あなたが、生きがいや楽しみを感じるのはどんなことですか。(〇は3つまで)

n=1,362

「テレビやラジオの視聴」が 45.6%と最も高く、次いで「家族や孫との交流」が 33.5%、「散歩や買い物などの近所への外出」が 28.3%、「食事」が 25.3%、「友人や知人との交流」が 23.4%となっています。前回と比べて大きな変化はみられませんが、「趣味・文化活動」が 11.6%とやや減少しています。

年齢別でみると、40～64 歳で「旅行や娯楽などの外出」の割合が他と比べて高くなっています。性別では女性で「友人や知人との交流」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：％

		n	仕事・生 きが就 労（賃 金や地 位では なく、 生き がいを 重視 した 就 労）	自治区・ 高齢者 クラブ・ ボラン ティア などの 地域 活動	スポー ツや 運動	旅行や 娯楽 など の外出	散歩 や 買物 など の近 所へ の 外 出	趣味・ 文 化活 動	家族 や 孫と の交 流	友人 や 知 人 と の 交 流	テレビ や ラジ オの 視聴
認 定 等	事業対象者	160	10.0	8.1	7.5	13.1	36.3	11.3	36.9	28.8	40.6
	要支援1	518	5.0	4.8	6.2	13.7	30.5	13.3	34.6	24.1	46.3
	要支援2	523	3.8	3.3	4.2	13.0	24.1	11.3	33.8	21.6	46.8
年 齢	40～64歳	22	22.7	4.5	4.5	40.9	27.3	13.6	18.2	4.5	50.0
	65～74歳	182	6.0	2.7	6.0	17.6	25.8	13.2	24.7	22.5	40.1
	75～84歳	604	4.8	5.6	6.3	14.1	30.1	11.9	35.1	24.0	46.7
	85歳以上	516	4.3	3.7	4.8	8.7	27.3	11.0	35.9	24.6	46.3
性 別	男性	641	5.9	5.1	6.9	13.6	25.1	11.4	30.6	16.5	47.6
	女性	676	4.3	3.7	4.6	12.6	31.5	12.1	36.8	30.8	44.4

単位：％

		n	食事	特 に な い	無 回 答
認 定 等	事業対象者	160	18.1	10.6	8.1
	要支援1	518	25.3	10.0	5.6
	要支援2	523	27.9	12.6	7.5
年 齢	40～64歳	22	36.4	4.5	9.1
	65～74歳	182	25.3	14.3	7.7
	75～84歳	604	23.0	9.9	7.0
	85歳以上	516	27.1	13.0	7.2
性 別	男性	641	24.6	12.9	8.3
	女性	676	25.3	10.4	6.2

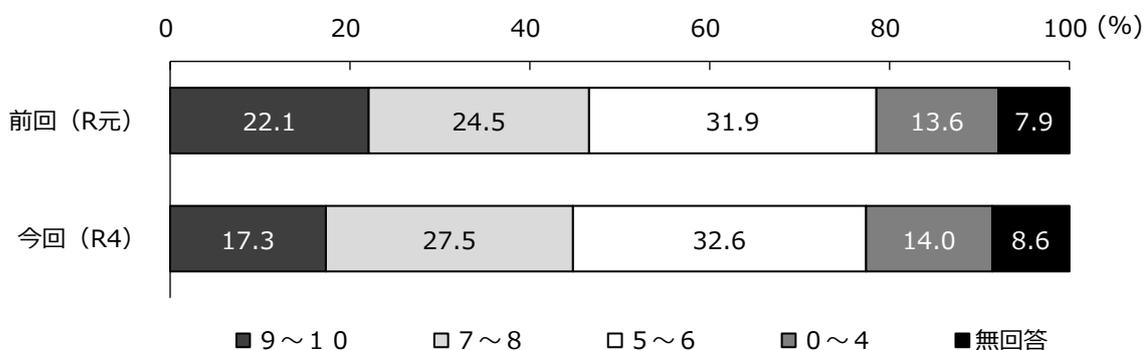
(2) 現在の幸せ感

■ あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)
 ※とても幸せを10点、とても不幸を0点として、ご記入ください。

n=1,362

「5～6」が32.6%と最も高く、次いで「7～8」が27.5%となっています。前回と比べると「9～10」が減少しています。

年齢などで「0～4」の割合をみると、40～64歳、ほとんど外出しない人、ほとんど会話しない人で他と比べて高くなっています。一方、「9～10」は、85歳以上、女性、外出頻度が週に5日以上、社会参加が週1回以上で他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	9～10	7～8	5～6	0～4	無回答
認定等	事業対象者	160	19.4	30.6	34.4	8.1	7.5
	要支援1	518	17.4	28.0	32.2	14.5	7.9
	要支援2	523	14.9	28.9	33.5	14.3	8.4
年齢	40～64歳	22	4.5	31.8	31.8	27.3	4.5
	65～74歳	182	12.6	20.3	37.4	22.5	7.1
	75～84歳	604	13.9	26.5	34.9	15.4	9.3
	85歳以上	516	22.9	31.8	28.1	8.9	8.3
性別	男性	641	11.7	23.7	36.8	17.9	9.8
	女性	676	22.3	31.8	28.4	10.1	7.4
外出頻度	ほとんど外出しない	284	18.0	19.7	30.3	22.9	9.2
	週に1日	305	17.4	31.5	30.8	12.5	7.9
	週に2～4日	551	15.8	29.2	35.4	11.4	8.2
	週に5日以上	142	18.3	28.9	33.8	11.3	7.7
会話頻度	ほとんど会話しない	403	14.1	22.3	32.3	22.1	9.2
	週に1日	338	15.4	29.3	32.8	12.7	9.8
	週に2～4日	458	19.2	30.8	36.2	8.1	5.7
	週に5日以上	108	25.9	31.5	20.4	12.0	10.2
参加	月1回未満	835	15.8	25.0	33.5	17.1	8.5
	週1回以上	302	22.5	34.4	29.8	8.3	5.0
	月1回以上	182	17.6	29.1	35.7	11.0	6.6

5 高齢者福祉等について

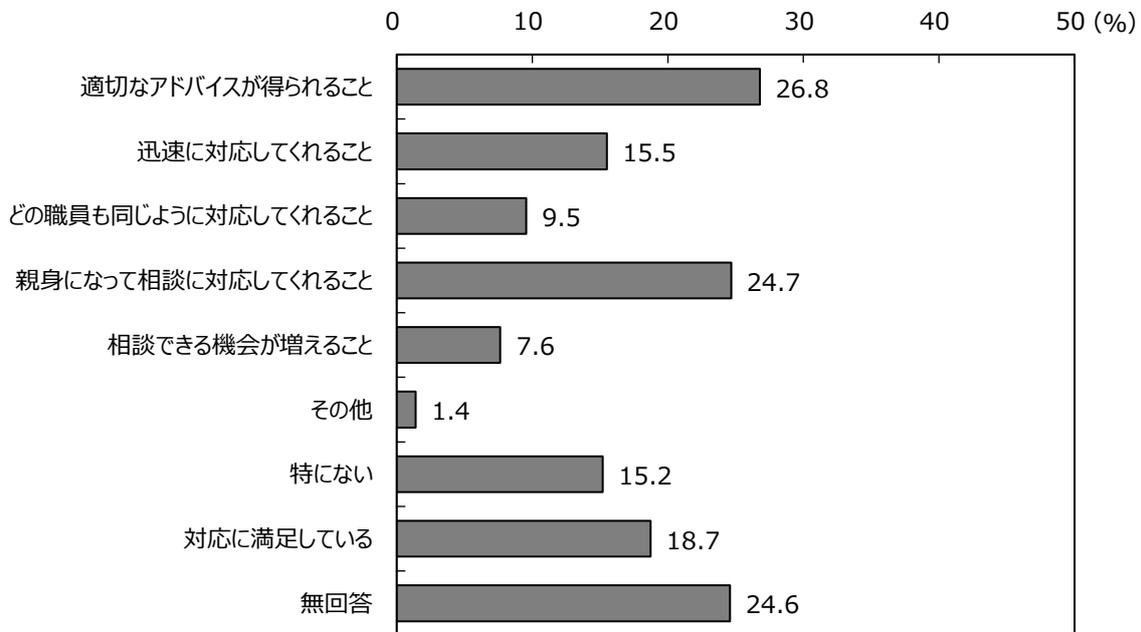
(1) 地域包括支援センターに希望する対応

■ 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの対応として、望むことは何ですか。(〇は2つまで)

n=1,362

「適切なアドバイスが得られること」(26.8%)、「親身になって相談に対応してくれること」(24.7%)、「対応に満足している」(18.7%)、「迅速に対応してくれること」(15.5%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、40～64歳で「迅速に対応してくれること」「親身になって相談に対応してくれること」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	適切なアドバイスが得られること	迅速に対応してくれること	どの職員も同じように対応してくれること	親身になって相談に対応してくれること	相談できる機会が増えること	その他	特にない	対応に満足している	無回答
認定等	事業対象者	160	25.6	14.4	11.9	21.3	8.8	2.5	18.8	13.8	25.0
	要支援1	518	28.8	16.8	5.4	24.9	8.3	1.4	12.7	21.2	25.1
	要支援2	523	28.7	16.1	10.3	27.5	6.7	1.0	15.7	19.5	21.0
年齢	40～64歳	22	36.4	40.9	4.5	45.5	4.5	0.0	13.6	22.7	9.1
	65～74歳	182	28.0	16.5	5.5	24.2	6.0	0.5	22.0	22.0	19.8
	75～84歳	604	28.1	17.4	9.9	24.2	8.1	2.2	14.2	15.1	25.7
	85歳以上	516	25.0	12.2	10.3	25.2	7.8	1.0	14.1	21.5	24.8

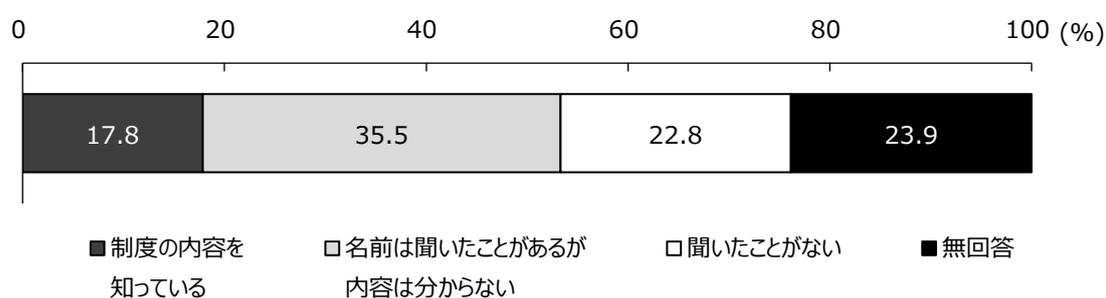
(2) 成年後見制度の認知度

■ あなたは、成年後見制度をご存知ですか。(○は1つ)

n=1,362

「名前は聞いたことがあるが内容は分からない」が 35.5%と最も高く、次いで「聞いたことがない」が 22.8%です。

認定等別・年齢別でみると、「制度の内容を知っている」の割合に大きな違いはみられません。



■ 制度の内容を知っている □ 名前は聞いたことがあるが内容は分からない □ 聞いたことがない ■ 無回答

単位：%

		n	制度の内容を知っている	名前は聞いたことがあるが内容は分からない	聞いたことがない	無回答
認定等	事業対象者	160	18.1	34.4	23.8	23.8
	要支援1	518	19.5	34.4	22.0	24.1
	要支援2	523	18.0	39.2	22.8	20.1
年齢	40～64歳	22	22.7	31.8	31.8	13.6
	65～74歳	182	19.2	42.3	20.3	18.1
	75～84歳	604	18.9	34.8	21.9	24.5
	85歳以上	516	16.9	34.9	24.2	24.0

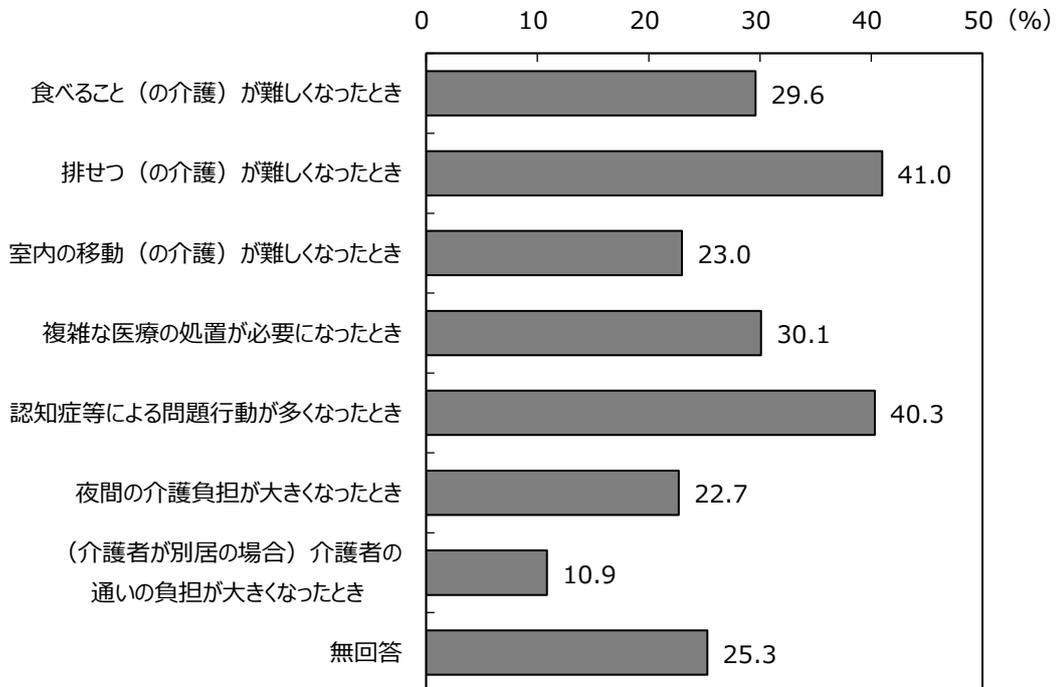
(3) 在宅での介護を断念し施設等へ入所する理由

■ ご本人や家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し、施設等へ入所を考えることになるとお思いますか。(○は3つまで)

n=1,362

「排せつ（の介護）が難しくなったとき」（41.0%）、「認知症等による問題行動が多くなったとき」（40.3%）、「複雑な医療の処置が必要になったとき」（30.1%）、「食べること（の介護）が難しくなったとき」（29.6%）の順に高くなっています。

認定等別でみると、事業対象者で「食べること（の介護）が難しくなったとき」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	食べるこ と（の介 護）が 難しく なったと き	排せつ （の介 護）が 難しく なったと き	室内の 移動 （の介 護）が 難しく なったと き	複雑な 医療の 処置が 必要に なったと き	認知症 等による 問題行 動が多く なったと き	夜間の 介護負 担が大き くなったと き	（介護 者が別 居の場 合）介 護者の 通いの負 担が大き くなったと き	無回答
認 定 等	事業対象者	160	38.1	43.1	23.8	25.0	39.4	20.0	11.9	25.6
	要支援1	518	29.9	42.9	21.2	28.6	41.1	22.6	12.2	24.9
	要支援2	523	27.2	41.9	25.4	34.4	41.3	25.4	9.8	23.1
年 齢	40～64歳	22	31.8	68.2	31.8	22.7	54.5	27.3	0.0	9.1
	65～74歳	182	31.3	42.9	24.7	34.1	42.9	25.3	9.3	19.2
	75～84歳	604	26.8	40.2	22.0	28.5	41.7	22.7	11.9	27.2
	85歳以上	516	32.2	40.3	23.4	31.8	37.8	22.1	10.5	25.2

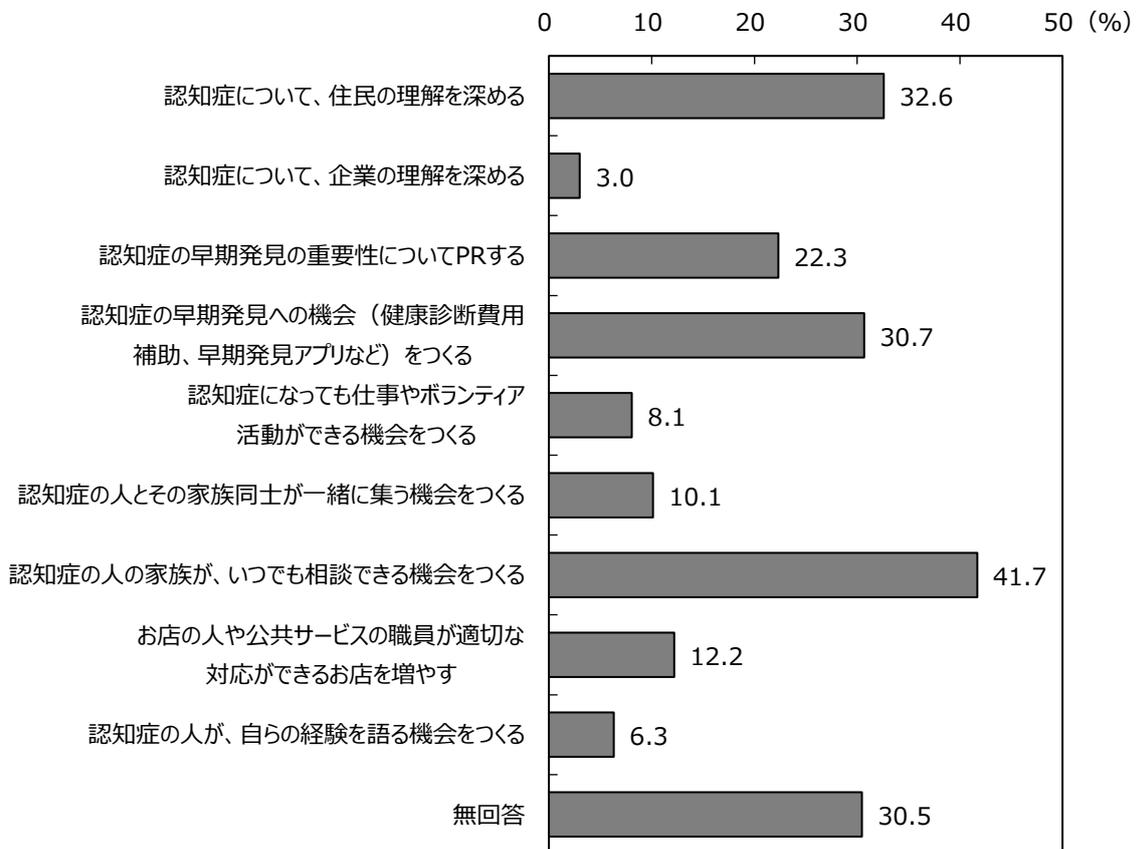
(4) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(○は3つまで)

n=1,362

「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」が 41.7%と最も高く、次いで「認知症について、住民の理解を深める」が 32.6%、「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が 30.7%となっています。

年齢別でみると、40～64歳で「認知症について、住民の理解を深める」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	認知症について、住民の理解を深める	認知症について、企業の理解を深める	認知症の早期発見の重要性についてPRする	認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる	認知症になってからも仕事やボランティア活動ができる機会をつくる	認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる	認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる	お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店（認証店など）を増やす	認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる	無回答
認定等	事業対象者	160	28.8	4.4	24.4	33.1	10.0	9.4	43.8	15.0	9.4	29.4
	要支援1	518	33.4	2.7	24.1	30.7	7.7	9.7	40.3	12.5	5.4	30.7
	要支援2	523	33.8	3.1	20.7	32.3	7.5	12.4	46.1	12.2	5.4	26.6
年齢	40～64歳	22	54.5	13.6	18.2	36.4	22.7	13.6	40.9	9.1	0.0	18.2
	65～74歳	182	31.3	3.8	23.6	34.1	8.8	8.8	50.5	14.3	5.5	23.1
	75～84歳	604	31.6	2.3	23.3	32.0	7.3	11.3	41.4	12.7	6.5	30.8
	85歳以上	516	33.5	3.3	21.3	29.1	7.6	9.7	39.9	11.6	6.4	31.8

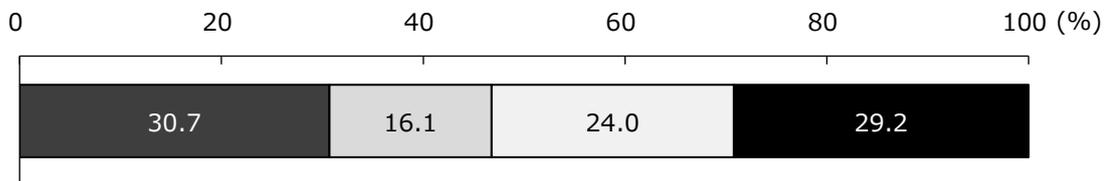
(5) 今後の介護保険料について

■ 介護保険料は、全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか。(○は1つ)

n=1,362

①「高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない」が30.7%と最も高く、次いで「③施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい」が24.0%となっています。

年齢別でみると、65～74歳で「③施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい」の割合がやや高くなっています。



- ① 高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
- ② ①に加え、保険料が高くなっていいので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい
- ③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい

■ ④ 無回答

単位：%

		n	① 高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない	② ①に加え、保険料が高くなっていいので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい	③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい	④ 無回答
認定等	事業対象者	160	25.0	16.9	26.9	31.3
	要支援1	518	32.8	15.1	21.4	30.7
	要支援2	523	34.0	16.8	24.7	24.5
年齢	40～64歳	22	36.4	18.2	22.7	22.7
	65～74歳	182	30.8	15.9	30.8	22.5
	75～84歳	604	29.6	16.1	23.8	30.5
	85歳以上	516	32.8	16.3	21.9	29.1

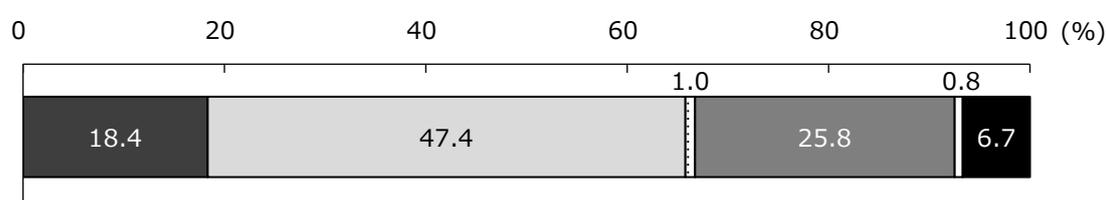
第4章 要介護認定者アンケート

1 回答者の属性

(1) アンケート記入者

n=1,242

「ご本人の意思を確認して家族等が記入」が47.4%、「ご本人の意思が確認できないので家族等が代理で記入」が25.8%、「ご本人（このアンケートの封筒の宛名の方）」が18.4%となっています。

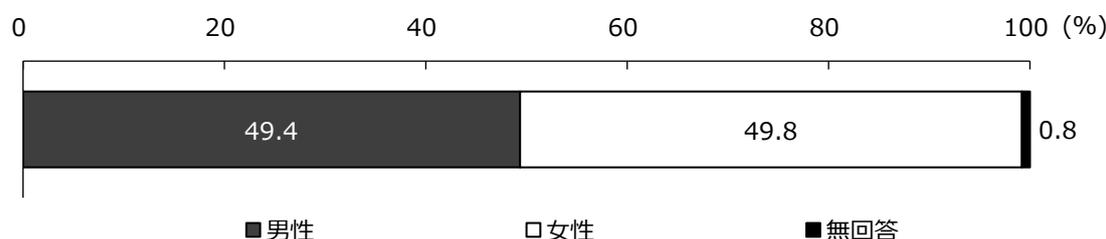


- ご本人（このアンケートの封筒の宛名の方）
- ご本人の意思を確認して家族等が記入
- ご本人の意思を確認してケアマネージャーや施設職員が記入
- ご本人の意思が確認できないので家族等が代理で記入
- ご本人の意思が確認できないのでケアマネージャーや施設職員が代理で記入
- 無回答

(2) 認定者の性別

n=1,242

「女性」が49.8%、「男性」が49.4%となっています。

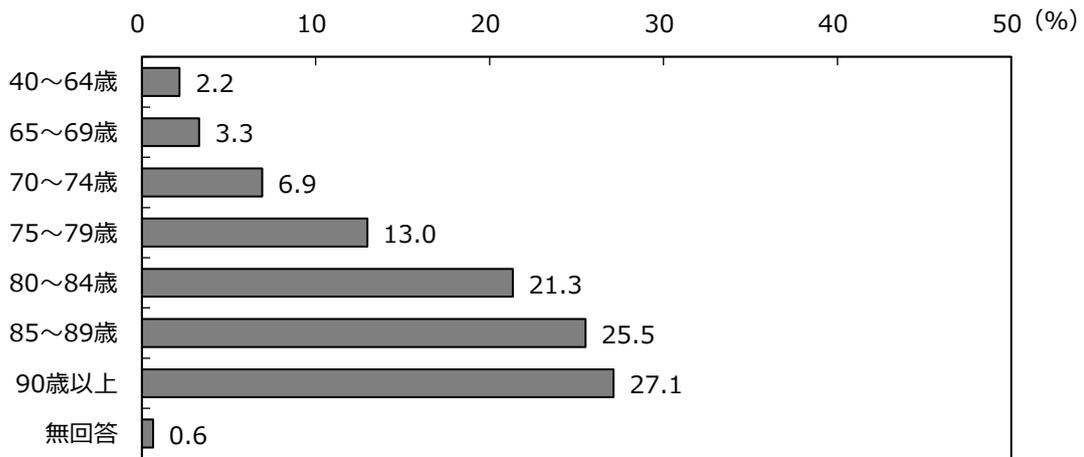


(3) 認定者の年齢

n=1,242

「90歳以上」(27.1%)、「85～89歳」(25.5%)、「80～84歳」(21.3%)の順に高くなっています。

日常生活圏域別でみると、松平・下山、足助・旭・稲武で85歳以上の割合が高くなっています。



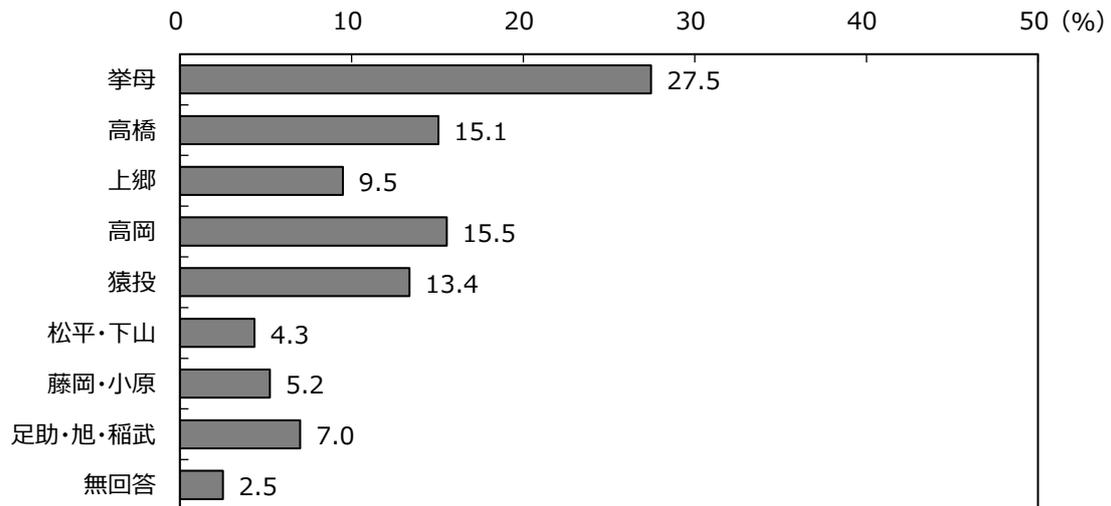
単位：%

		n	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
日常生活圏域	挙母	341	2.1	12.0	39.0	46.9	0.0
	高橋	187	3.2	11.2	39.0	46.0	0.5
	上郷	118	2.5	8.5	30.5	58.5	0.0
	高岡	193	4.7	9.3	36.8	49.2	0.0
	猿投	166	0.6	10.2	32.5	56.6	0.0
	松平・下山	54	0.0	7.4	24.1	68.5	0.0
	藤岡・小原	65	0.0	9.2	32.3	58.5	0.0
	足助・旭・稲武	87	1.1	10.3	19.5	69.0	0.0

(4) 認定者の居住地

n=1,242

「拳母」が 27.5%と最も高く、次いで「高岡」が 15.5%、「高橋」が 15.1%、「猿投」が 13.4%となっています。

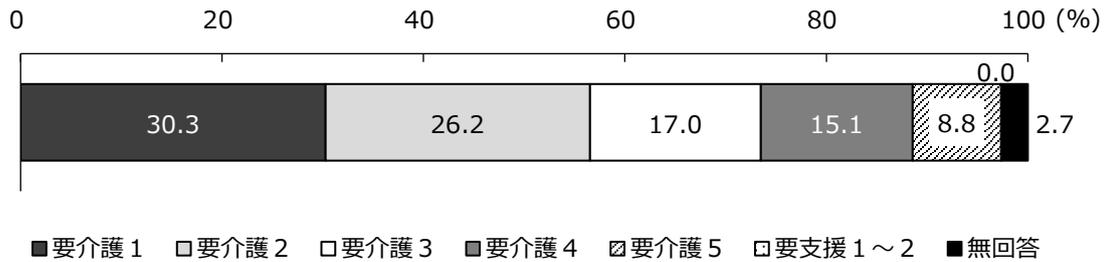


(5) 要介護度

n=1,242

「要介護1」が30.3%と最も高く、次いで「要介護2」が26.2%となっています。

年齢別でみると、75～84歳、85歳以上で「要介護1」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
年齢	40～64歳	27	22.2	22.2	33.3	18.5	3.7	0.0
	65～74歳	127	19.7	30.7	17.3	19.7	10.2	2.4
	75～84歳	426	32.9	25.6	14.6	12.9	11.5	2.6
	85歳以上	654	31.2	26.3	18.0	15.6	7.0	1.8
日常生活圏域	拳母	341	31.7	25.5	18.8	13.5	7.9	2.6
	高橋	187	36.9	18.7	15.0	18.2	10.2	1.1
	上郷	118	28.8	28.8	15.3	15.3	11.0	0.8
	高岡	193	30.6	31.1	14.5	15.0	7.3	1.6
	猿投	166	26.5	27.7	16.3	17.5	9.6	2.4
	松平・下山	54	35.2	24.1	16.7	11.1	9.3	3.7
	藤岡・小原	65	30.8	24.6	23.1	15.4	6.2	0.0
	足助・旭・稲武	87	21.8	29.9	20.7	12.6	10.3	4.6

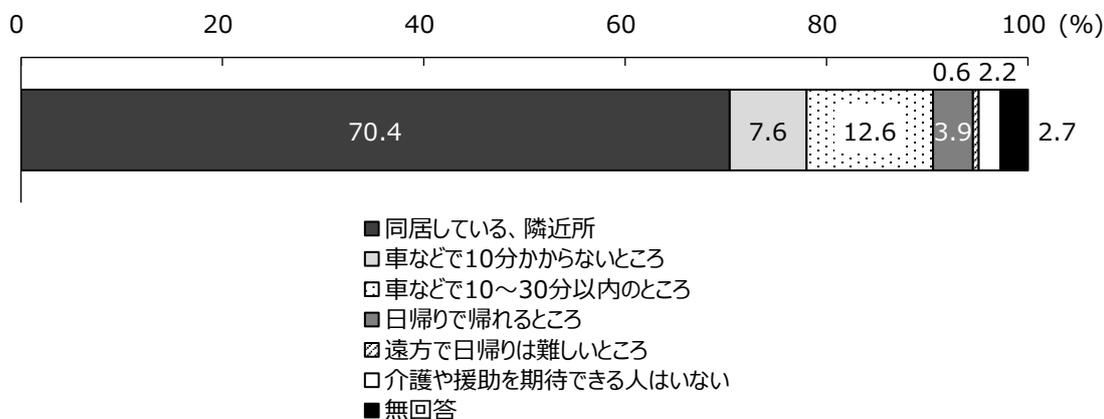
(6) 介護や援助をしてくれる家族等の居住地

■ 主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。(○は1つ)

n=1,242

「同居している、隣近所」が70.4%と最も高くなっています。なお、「介護や援助を期待できる人はいない」は2.2%です。

世帯別でみると、ひとり暮らしは「同居している、隣近所」から「介護や援助を期待できる人はいない」まで回答が分散しています。日常生活圏域では、松平・下山、藤岡・小原で「同居している、隣近所」の割合が特に高くなっています。



単位：%

		n	同居している、隣近所	車で10分以内	車で10~30分以内	日帰り	遠方で日帰りは難しい	介護や援助を期待できる人はいない	無回答
要介護度	要介護1	376	75.3	6.6	9.0	5.6	0.5	1.3	1.6
	要介護2	326	77.0	7.1	9.8	2.1	0.6	1.8	1.5
	要介護3	211	70.1	8.1	13.7	3.8	0.5	2.8	0.9
	要介護4	187	61.0	9.6	19.3	2.7	0.5	3.7	3.2
	要介護5	109	59.6	10.1	18.3	5.5	0.0	2.8	3.7
世帯	ひとり暮らし	95	36.8	16.8	17.9	12.6	2.1	9.5	4.2
	高齢者のみの世帯	364	79.4	5.2	9.1	3.6	0.5	0.8	1.4
	その他の世帯	514	94.2	1.9	1.4	1.0	0.0	1.4	0.2
	施設やサ高住等	254	25.2	19.3	39.0	7.5	1.2	3.1	4.7
日常生活圏域	挙母	341	69.2	9.1	15.0	2.1	0.6	2.3	1.8
	高橋	187	65.8	9.1	11.8	5.9	1.1	3.2	3.2
	上郷	118	72.0	8.5	13.6	2.5	0.0	2.5	0.8
	高岡	193	72.0	9.8	13.0	2.6	0.0	2.1	0.5
	猿投	166	72.3	7.2	10.2	4.8	0.0	1.8	3.6
	松平・下山	54	85.2	0.0	7.4	5.6	0.0	0.0	1.9
	藤岡・小原	65	81.5	1.5	9.2	6.2	0.0	1.5	0.0
足助・旭・稲武	87	67.8	3.4	11.5	6.9	2.3	2.3	5.7	

(7) 介護が必要となった主な原因

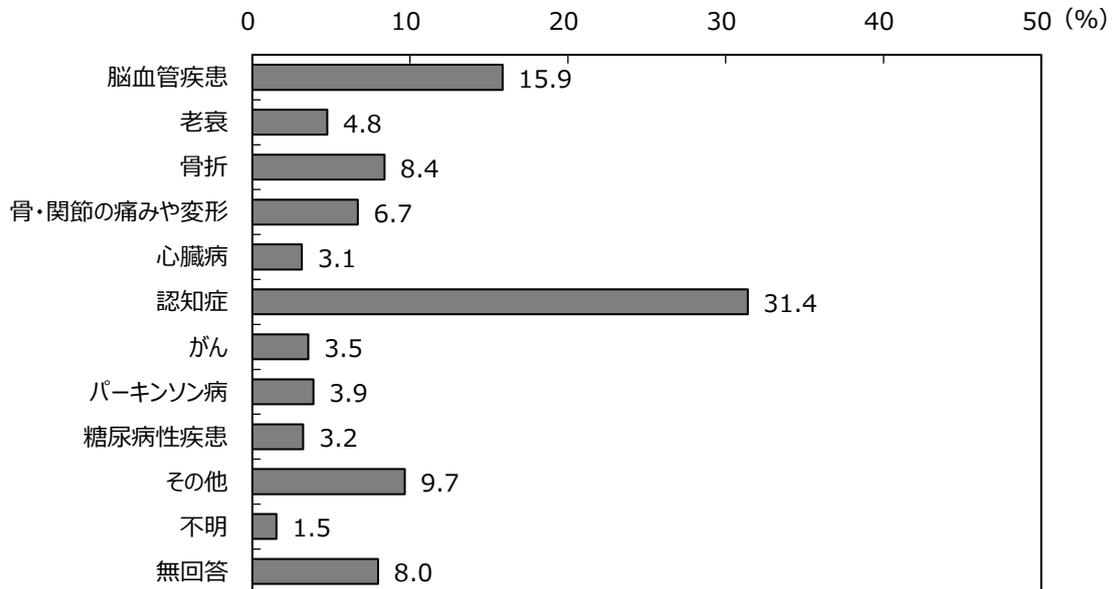
n=1,242

「認知症」が31.4%と最も高く、次いで「脳血管疾患」15.9%となっています。

要介護度別でみると、要介護1は「認知症」の割合が他と比べて高くなっています。要介護度が上がるにつれて「脳血管疾患」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、40～64歳・65～74歳は「脳血管疾患」「がん」、75～84歳・85歳以上は「認知症」の割合が高くなっています。

性別では、男性は「脳血管疾患」、女性は「認知症」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	脳血管疾患	老衰	骨折	骨・関節の痛みや変形	心臓病	認知症	がん	パーキンソン病	糖尿病性疾患
要介護度	要介護1	376	9.3	6.1	6.6	7.2	3.7	42.0	4.3	1.6	2.4
	要介護2	326	15.3	3.1	8.3	9.8	4.9	29.4	3.7	3.1	3.4
	要介護3	211	19.9	4.7	10.0	4.7	1.4	32.2	2.8	6.6	1.9
	要介護4	187	20.3	5.3	11.2	4.3	2.1	21.4	2.7	5.9	3.7
	要介護5	109	27.5	4.6	7.3	4.6	0.9	22.9	2.8	5.5	6.4
年齢	40～64歳	27	40.7	0.0	3.7	7.4	0.0	3.7	14.8	7.4	3.7
	65～74歳	127	27.6	1.6	4.7	5.5	0.8	15.7	10.2	7.9	2.4
	75～84歳	426	19.7	0.5	5.6	5.9	1.9	30.8	4.0	6.1	5.2
	85歳以上	654	10.2	8.4	11.0	7.5	4.6	36.4	1.5	1.5	2.1
性別	男性	613	21.7	3.9	6.0	4.6	4.4	25.3	5.2	4.9	4.9
	女性	619	10.3	5.7	10.8	8.9	1.9	37.6	1.9	2.9	1.6

単位：%

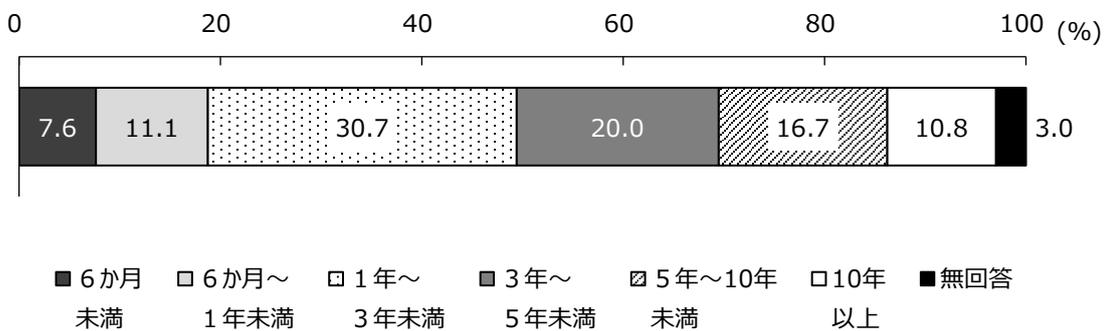
		n	その他	不明	無回答
要介護度	要介護1	376	8.8	1.6	6.4
	要介護2	326	9.5	1.5	8.0
	要介護3	211	7.6	0.9	7.1
	要介護4	187	12.8	2.1	8.0
	要介護5	109	12.8	0.9	3.7
年齢	40～64歳	27	11.1	0.0	7.4
	65～74歳	127	15.0	0.8	7.9
	75～84歳	426	10.1	2.3	8.0
	85歳以上	654	8.4	1.2	7.0
性別	男性	613	9.1	1.8	8.2
	女性	619	10.2	1.3	6.8

(8) 介護が必要となつてからの期間

n=1,242

「1年～3年未満」が30.7%と最も高く、次いで「3年～5年未満」が20.0%、「5年～10年未満」が16.7%となっています。なお、「10年以上」は10.8%となっています。

要介護度別で見ると、要介護度が上がるにつれて「10年以上」など期間が長くなる傾向がみられます。年齢別で見ると、40～64歳・65～74歳で「10年以上」の割合が他と比べて高くなっています。性別では女性で「3年～5年未満」「5～10年未満」の割合が他と比べてやや高くなっています。



単位：%

		n	6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
要介護度	要介護1	376	7.7	14.9	39.9	19.1	10.6	5.3	2.4
	要介護2	326	7.1	9.5	30.7	23.0	18.4	9.5	1.8
	要介護3	211	8.1	11.8	24.6	19.0	23.7	11.8	0.9
	要介護4	187	7.5	9.6	26.2	20.9	18.7	16.6	0.5
	要介護5	109	9.2	4.6	24.8	18.3	20.2	22.0	0.9
年齢	40～64歳	27	7.4	11.1	29.6	11.1	14.8	25.9	0.0
	65～74歳	127	8.7	14.2	25.2	17.3	16.5	17.3	0.8
	75～84歳	426	8.5	13.1	31.0	20.2	13.8	9.6	3.8
	85歳以上	654	7.0	9.3	31.8	21.1	19.0	9.8	2.0
性別	男性	613	9.1	13.2	32.8	17.9	14.4	10.0	2.6
	女性	619	6.3	9.2	28.9	22.1	19.4	11.8	2.3

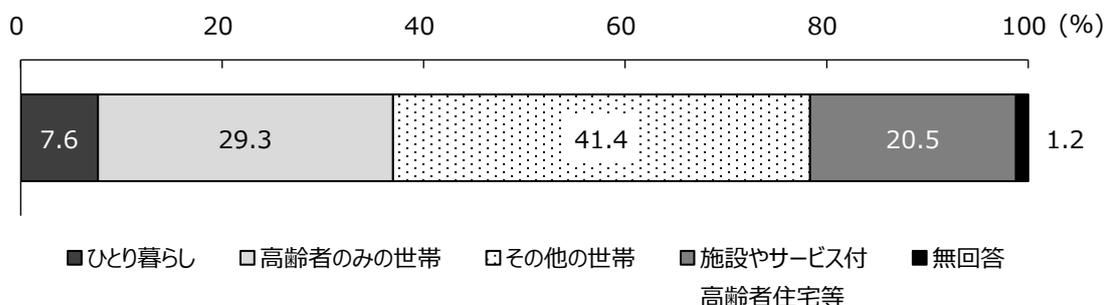
(9) 認定者の世帯

■ ご本人の世帯等は、次のうちどれですか。(○は1つ)

n=1,242

「その他の世帯（子どもなどの同居世帯）」が 41.4%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯（65 歳以上の方のみの世帯）」が 29.3%、「施設やサービス付高齢者住宅等」が 20.5%となっています。

要介護度別でみると、要介護 1・2 で「高齢者のみの世帯（65 歳以上の方のみの世帯）」、要介護 4・5 で「施設やサービス付高齢者住宅等」の割合が他と比べて高くなっています。性別では、男性で「高齢者のみの世帯（65 歳以上の方のみの世帯）」、女性で「施設やサービス付高齢者住宅等」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	ひとり暮らし (本人のみの 単身世帯)	高齢者の みの世帯 (65 歳以上 の方の みの世 帯)	その他の 世帯 (子ども などの 同居世 帯)	施設や サービス 付高齢 者住宅 等	無回答
要 介 護 度	要介護 1	376	12.2	32.4	46.5	8.0	0.8
	要介護 2	326	9.5	38.3	43.6	8.6	0.0
	要介護 3	211	3.3	23.7	42.7	29.4	0.9
	要介護 4	187	2.7	19.8	31.6	45.5	0.5
	要介護 5	109	4.6	21.1	31.2	43.1	0.0
年 齢	40～64歳	27	11.1	14.8	44.4	29.6	0.0
	65～74歳	127	4.7	33.9	46.5	15.0	0.0
	75～84歳	426	6.8	31.7	46.2	14.6	0.7
	85歳以上	654	8.6	27.8	37.6	25.2	0.8
性 別	男性	613	5.4	36.7	41.1	15.8	1.0
	女性	619	10.0	22.1	42.3	25.2	0.3

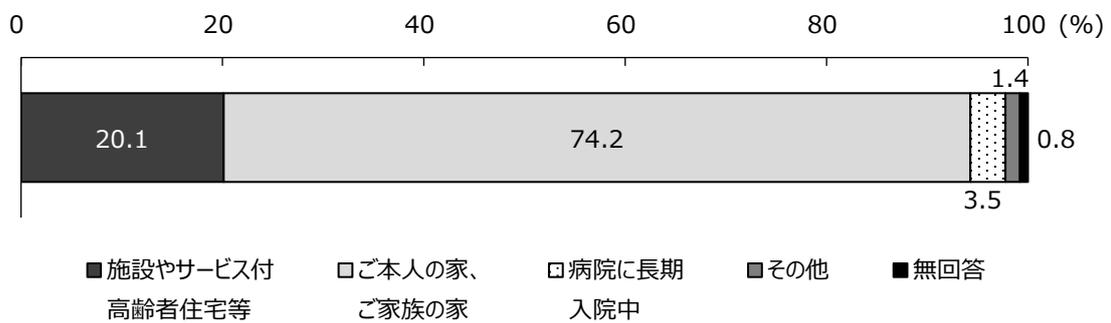
(10) 認定者の住まい

■ ご本人のお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つ)

n=1,242

「ご本人の家、ご家族の家」が 74.2%と最も高く、次いで「施設やサービス付高齢者住宅等」が 20.1%です。

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「ご本人の家、ご家族の家」の割合が減少し、要介護5では「施設やサービス付高齢者住宅等」とほぼ同じ割合になっています。



単位：%

		n	施設やサービス付高齢者住宅等	ご本人の家、ご家族の家	病院に長期入院中	その他	無回答
要介護度	要介護1	376	8.0	86.2	1.9	2.9	1.1
	要介護2	326	8.6	88.7	1.2	1.2	0.3
	要介護3	211	29.4	68.2	1.4	0.5	0.5
	要介護4	187	44.4	48.1	7.5	0.0	0.0
	要介護5	109	41.3	44.0	12.8	1.8	0.0

2 施設での生活について

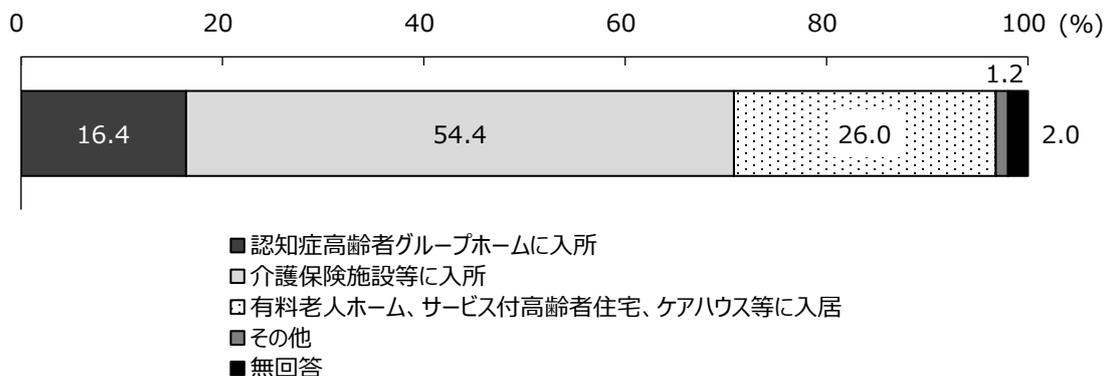
(1) 施設やサービス付高齢者住宅等の種類

【住まいを「施設やサービス付高齢者住宅等」と回答した方対象】
 ■ ご本人のお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つ)

住まいを「施設やサービス付高齢者住宅等」と答えた方のみ n=250

「介護保険施設等（特養、老健、介護医療院、療養病床）に入所」が 54.4%、「有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅、ケアハウス等に入居」が 26.0%、「認知症高齢者グループホームに入所」が 16.4%となっています。

要介護度別で見ると、要介護1・2は、「有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅、ケアハウス等に入居」、要介護3～5は「介護保険施設等に入所」の割合が最も高くなっています。



単位：%

		n	認知症 高齢者 グループ ホームに 入所	介護保 険施設 (特 養、老 健、介 護医療 院、療 養病 床) 等 に入所	有料老 人ホー ム、サー ビス付高 齢者住 宅、ケア ハウス等 に入居	その他	無回答
要 介 護 度	要介護1	30	26.7	16.7	53.3	3.3	0.0
	要介護2	28	32.1	21.4	39.3	3.6	3.6
	要介護3	62	22.6	56.5	21.0	0.0	0.0
	要介護4	83	9.6	67.5	19.3	0.0	3.6
	要介護5	45	4.4	73.3	17.8	2.2	2.2

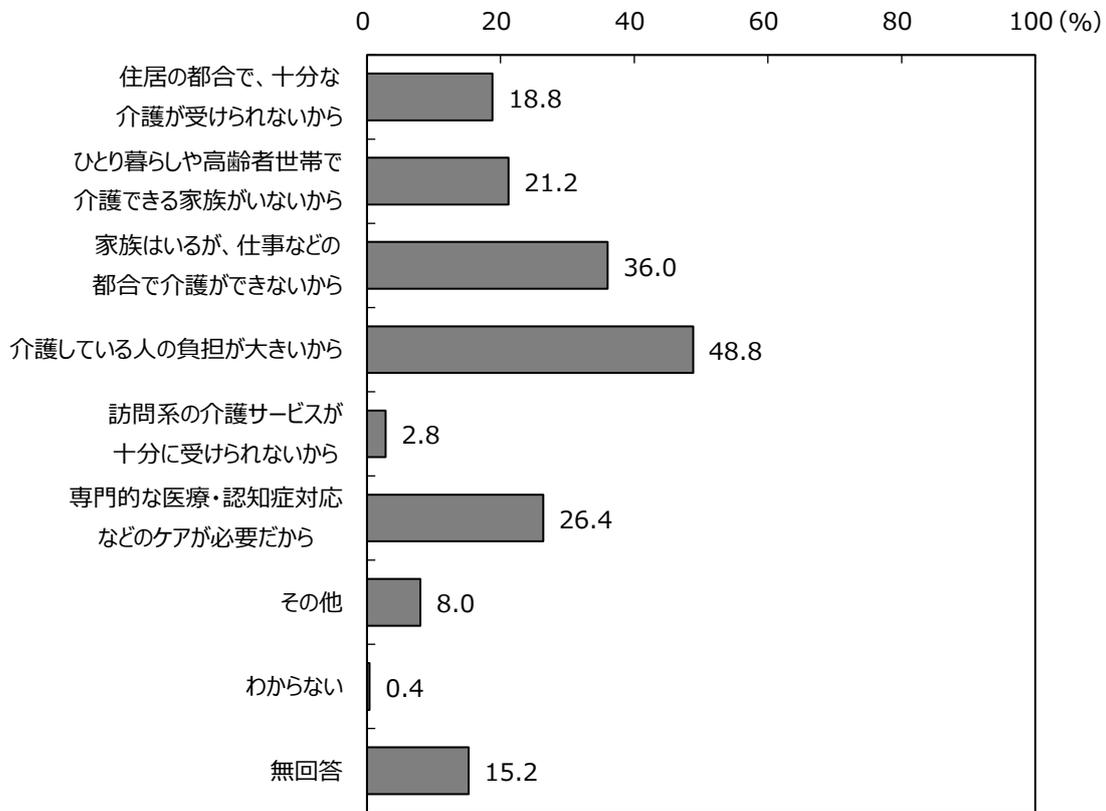
(2) 施設等の入居・入所を希望した理由

【住まいを「施設やサービス付高齢者住宅等」と回答した方対象】
 ■ 施設等への入居・入所を希望された理由は何ですか。(○は3つまで)

住まいを「施設やサービス付高齢者住宅等」と答えた方のみ n=250

「介護している人の負担が大きいから」が 48.8%と最も高く、次いで「家族はいるが、仕事などの都合で介護ができないから」が 36.0%、「専門的な医療・認知症対応などのケアが必要だから」が 26.4%となっています。

要介護度別でも、「介護している人の負担が大きいから」「家族はいるが、仕事などの都合で介護ができないから」の割合が総じて高くなっています。



単位：%

		n	住居の都合で、十分な介護が受けられないから	ひとり暮らしや高齢者世帯で介護できる家族がいないから	家族はいるが、仕事などの都合で介護ができないから	介護している人の負担が大きいか	訪問系の介護サービスが十分に受けられないから	専門的な医療・認知症対応などのケアが必要だから	その他	わからない	無回答
要介護度	要介護1	30	26.7	30.0	40.0	40.0	0.0	20.0	23.3	0.0	10.0
	要介護2	28	21.4	21.4	32.1	50.0	3.6	17.9	0.0	0.0	17.9
	要介護3	62	11.3	22.6	41.9	50.0	3.2	29.0	4.8	0.0	11.3
	要介護4	83	26.5	18.1	34.9	48.2	4.8	26.5	6.0	0.0	12.0
	要介護5	45	8.9	20.0	31.1	55.6	0.0	33.3	11.1	2.2	24.4
日常生活圏域	拳母	66	16.7	22.7	34.8	56.1	1.5	30.3	6.1	0.0	13.6
	高橋	44	18.2	18.2	34.1	43.2	4.5	22.7	11.4	0.0	22.7
	上郷	22	9.1	13.6	31.8	27.3	0.0	27.3	9.1	0.0	22.7
	高岡	34	20.6	20.6	35.3	41.2	0.0	29.4	11.8	0.0	11.8
	猿投	42	19.0	26.2	38.1	57.1	4.8	26.2	2.4	0.0	9.5
	松平・下山	6	16.7	0.0	66.7	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	藤岡・小原	10	30.0	40.0	20.0	70.0	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0
足助・旭・稲武	16	31.3	25.0	50.0	25.0	12.5	18.8	6.3	6.3	18.8	

3 在宅での生活について

(1) 日中の独居状況

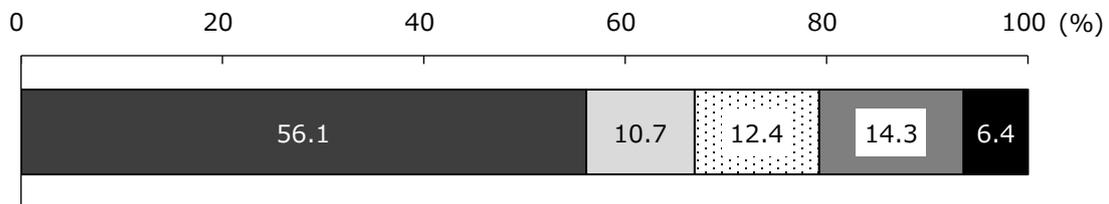
【住まいを「ご本人の家、ご家族の家」と回答した方対象】

■ 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）が、そばにいないことが、どのくらいありますか。（○は1つ）

住まいを「ご本人の家、ご家族の家」と答えた方のみ n=921

「日中おおむねそばにいる」が 56.1%と最も高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「日中おおむねそばにいる」の割合が高くなる傾向がみられます。性別では、女性で「日中おおむねそばにいる」の割合が他と比べて低くなっています。



- 日中おおむねそばにいる
- 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1～2日ある
- ▨ 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある
- 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある
- 無回答

単位：%

		n	日中おおむねそばにいる	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1～2日ある	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある	無回答
要介護度	要介護1	324	47.2	12.0	15.7	18.5	6.5
	要介護2	289	57.4	11.1	11.4	16.6	3.5
	要介護3	144	67.4	7.6	10.4	8.3	6.3
	要介護4	90	62.2	11.1	10.0	8.9	7.8
	要介護5	48	72.9	8.3	6.3	2.1	10.4
性別	男性	483	64.2	8.7	10.8	9.3	7.0
	女性	432	47.2	13.2	14.1	19.9	5.6

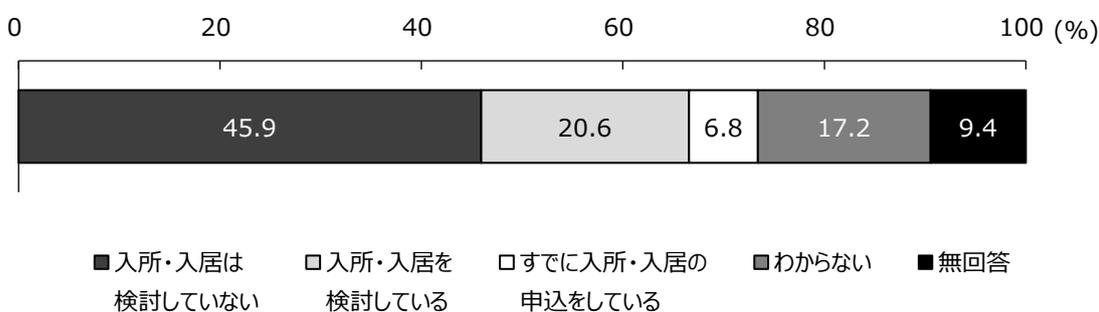
(2) 施設等の入所・入居の検討状況

【住まいを「ご本人の家、ご家族の家」と回答した方対象】
 ■ 施設入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

住まいを「ご本人の家、ご家族の家」と答えた方のみ n=921

「入所・入居は検討していない」が 45.9%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 20.6%、「わからない」が 17.2%となっています。

年齢別でみると、40～64歳は「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。認知症の有無別では、ある（重い）人で「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっています。



単位：%

		n	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居の申込をしている	わからない	無回答
要介護度	要介護1	324	42.9	24.7	4.3	18.8	9.3
	要介護2	289	50.2	18.7	4.2	20.1	6.9
	要介護3	144	45.1	18.8	16.0	9.0	11.1
	要介護4	90	46.7	20.0	10.0	17.8	5.6
	要介護5	48	41.7	18.8	8.3	16.7	14.6
年齢	40～64歳	18	72.2	11.1	5.6	5.6	5.6
	65～74歳	100	48.0	10.0	8.0	27.0	7.0
	75～84歳	334	50.6	16.2	6.0	16.2	11.1
	85歳以上	465	41.3	26.7	7.1	16.3	8.6
性別	男性	483	50.1	17.0	5.0	17.4	10.6
	女性	432	41.4	25.0	8.8	17.1	7.6
認知症	ある（重い）	141	29.8	33.3	18.4	14.2	4.3
	ある（軽い）	354	47.7	26.0	3.7	16.9	5.6
	ない	358	53.4	11.5	5.9	16.8	12.6

4 主な介護者について

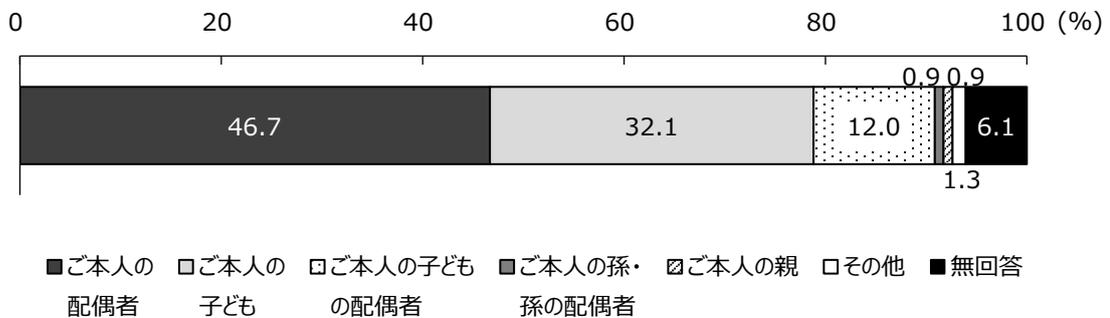
(1) 主な介護者

【ご本人を介護している方（家族等）対象】
 ■ ご家族の中で、主にご本人を介護している方はどなたですか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「ご本人の配偶者」が 46.7%、「ご本人の子ども」が 32.1%となっています。

要介護度別で見ると、要介護度が上がるにつれて、「ご本人の配偶者」の割合が高くなっています。年齢別では、84 歳以下で「ご本人の配偶者」、85 歳以上で「ご本人の子ども」の割合が高くなっています。性別では、男性は「ご本人の配偶者」、女性は「ご本人の子ども」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	ご本人の配偶者	ご本人の子ども	ご本人の子どもの配偶者	ご本人の孫・孫の配偶者	ご本人の親	その他	無回答
要介護度	要介護1	320	41.3	37.5	13.8	0.9	0.3	0.6	5.6
	要介護2	285	47.7	33.0	11.2	0.7	0.4	1.8	5.3
	要介護3	143	49.0	26.6	14.7	0.0	2.1	1.4	6.3
	要介護4	88	53.4	29.5	10.2	1.1	1.1	2.3	2.3
	要介護5	48	62.5	22.9	2.1	2.1	4.2	2.1	4.2
年齢	40～64歳	17	52.9	5.9	0.0	0.0	17.6	5.9	17.6
	65～74歳	100	83.0	7.0	3.0	1.0	1.0	2.0	3.0
	75～84歳	328	62.8	21.0	7.9	0.3	0.3	1.2	6.4
	85歳以上	457	26.7	46.8	17.3	1.3	0.7	1.1	6.1
性別	男性	473	68.3	17.3	5.7	0.4	0.8	1.9	5.5
	女性	427	22.5	48.9	18.7	1.4	0.9	0.7	6.8

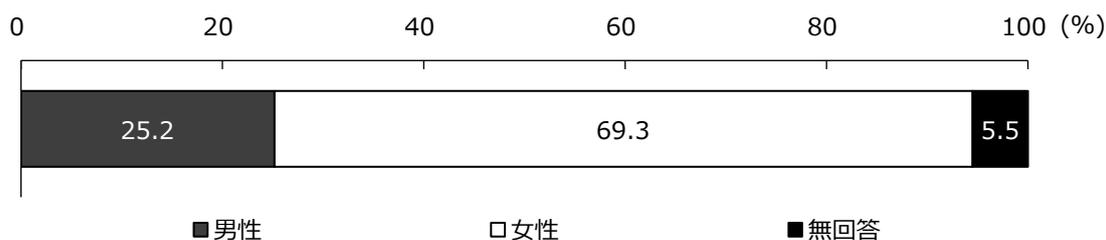
(2) 主な介護者の性別

【ご本人を介護している方（家族等）対象】

■ 主にご本人を介護している方の性別はどちらですか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「女性」が 69.3%、「男性」が 25.2%となっています。



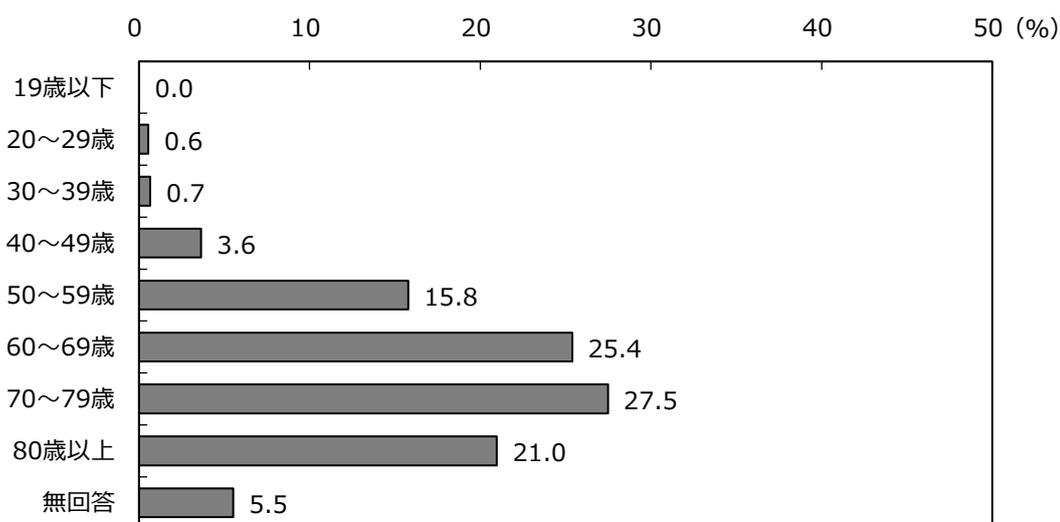
(3) 主な介護者の年齢

【ご本人を介護している方（家族等）対象】

■ 主にご本人を介護している方の年齢は、おいくつですか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「70～79 歳」（27.5%）、「60～69 歳」（25.4%）、「80 歳以上」（21.0%）の順に高くなっています。

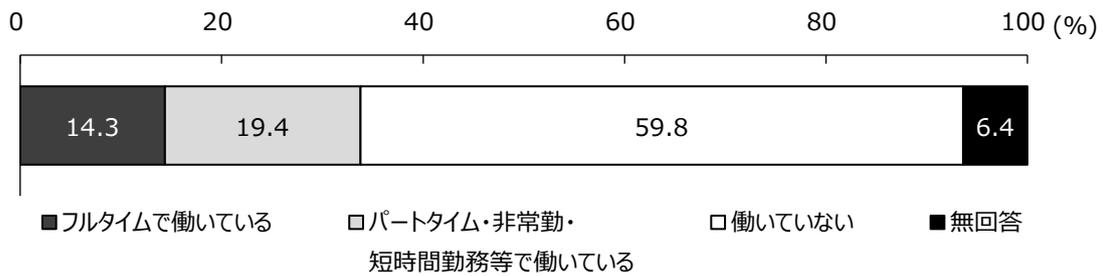


(4) 主な介護者の就労状況

【ご本人を介護している方（家族等）対象】
 ■ 主にご本人を介護している方は、就労していますか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「働いていない」が 59.8%と最も高く、次いで「パートタイム・非常勤・短時間勤務等で働いている」が 19.4%、「フルタイムで働いている」が 14.3%となっています。

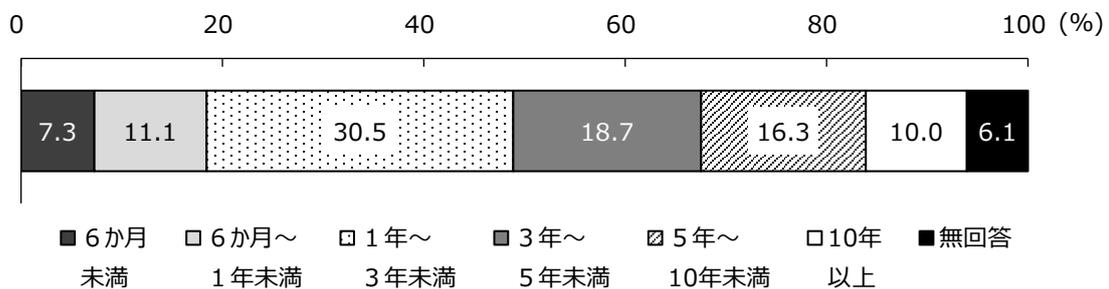


(5) 主な介護者が介護している期間

【ご本人を介護している方（家族等）対象】
 ■ 主にご本人を介護している方は、どのくらい介護を続けていますか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「1年～3年未満」が 30.5%と最も高く、次いで「3年～5年未満」が 18.7%、「5年～10年未満」が 16.3%となっています。



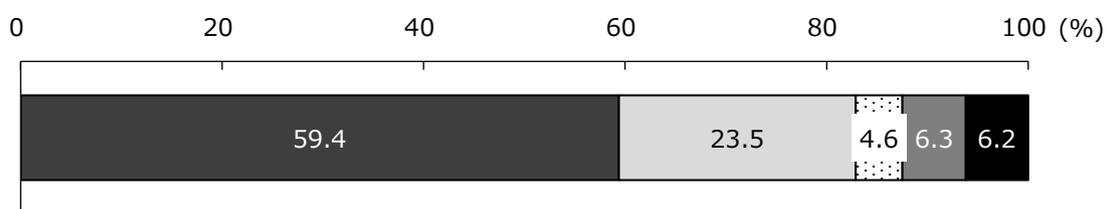
(6) 主な介護者の健康状態

【ご本人を介護している方（家族等）対象】
 ■ 主にご本人を介護している方の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「おおむね健康」が 59.4%と最も高く、次いで「要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている」が 23.5%となっています。

主な介護者の年齢別でみると、70～79 歳、80 歳以上で「要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている」の割合が高くなっています。



- おおむね健康
- 要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている
- ▨ 要支援の認定を受けている
- 要介護の認定を受けている
- 無回答

単位：%

		n	おおむね健康	要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている	要支援の認定を受けている	要介護の認定を受けている	無回答
要介護度	要介護 1	320	60.3	22.5	3.4	7.8	5.9
	要介護 2	285	62.1	21.4	4.6	6.3	5.6
	要介護 3	143	49.0	28.0	9.1	7.7	6.3
	要介護 4	88	68.2	26.1	2.3	2.3	1.1
	要介護 5	48	64.6	25.0	2.1	2.1	6.3
年齢	49歳以下	44	75.0	13.6	2.3	4.5	4.5
	50～59歳	143	74.1	16.8	1.4	7.7	0.0
	60～69歳	230	73.0	19.1	1.3	6.1	0.4
	70～79歳	249	57.4	30.1	4.4	6.8	1.2
	80歳以上	190	44.7	33.7	13.2	6.8	1.6

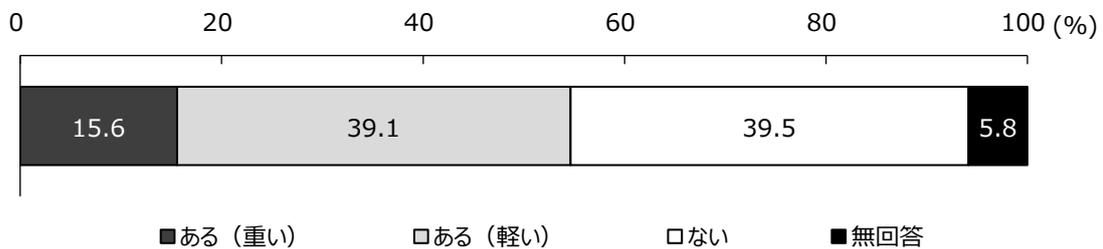
(7) 認定者の認知症の有無

【ご本人を介護している方（家族等）対象】
 ■ ご本人には、認知症の症状がありますか。（○は1つ）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「ある（重い）」が 15.6%、「ある（軽い）」が 39.1%となっています。

要介護度別で見ると、要介護1・2で「ある（軽い）」の割合が他と比べて高くなっています。年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて、「ある（軽い）」の割合が高くなっています。性別では、女性は「ある（重い）」「ある（軽い）」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	ある（重い）	ある（軽い）	ない	無回答
要介護度	要介護1	320	12.8	54.1	26.6	6.6
	要介護2	285	14.0	39.3	42.1	4.6
	要介護3	143	22.4	25.2	46.9	5.6
	要介護4	88	15.9	25.0	56.8	2.3
	要介護5	48	25.0	16.7	54.2	4.2
年齢	40～64歳	17	0.0	11.8	70.6	17.6
	65～74歳	100	10.0	24.0	62.0	4.0
	75～84歳	328	15.5	33.8	43.6	7.0
	85歳以上	457	17.3	47.5	30.2	5.0
性別	男性	473	13.3	35.5	46.1	5.1
	女性	427	18.0	43.1	32.1	6.8

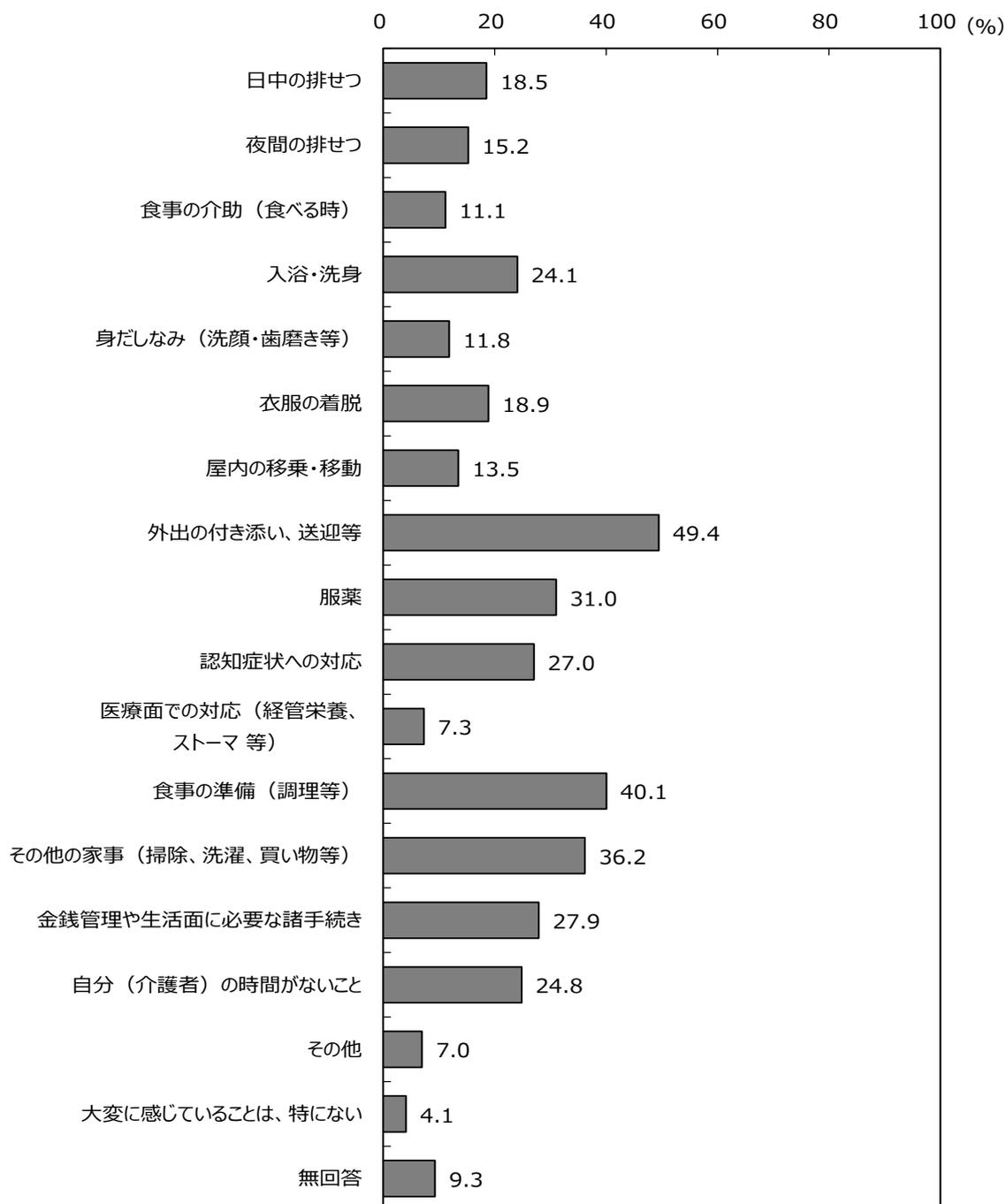
(8) 特に大変な介護内容

【ご本人を介護している方（家族等）対象】

- 主な介護者が行っている介護の中で、どのようなことが特に大変ですか。
（○は5つまで）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「外出の付き添い、送迎等」（49.4%）、「食事の準備（調理等）」（40.1%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（36.2%）、「服薬」（31.0%）の順に高くなっています。



要介護度別でみると、要介護1・2は「服薬」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」など生活援助関連、要介護3・4・5は「日中の排せつ」「夜間の排せつ」「屋内の移乗・移動」など身体介護関連の割合が高くなっています。認知症の症状別では、ある（重い）で「認知症状への対応」「自分（介護者）の時間がないこと」の割合が他と比べて高くなっています。また、ある（軽い）で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：％

		n	日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要介護度	要介護1	320	6.9	5.6	7.8	15.0	8.8	9.4	5.0	49.4	40.0
	要介護2	285	15.8	11.9	7.7	30.2	12.3	19.6	8.4	55.8	32.3
	要介護3	143	28.0	25.2	9.8	36.4	15.4	28.7	22.4	49.0	23.1
	要介護4	88	42.0	35.2	25.0	22.7	13.6	28.4	36.4	45.5	22.7
	要介護5	48	39.6	29.2	27.1	8.3	16.7	29.2	27.1	27.1	10.4
認知症	ある（重い）	141	30.5	24.8	17.0	26.2	18.4	26.2	14.9	48.2	40.4
	ある（軽い）	354	14.1	11.3	7.1	21.5	11.3	14.7	11.9	52.5	42.1
	ない	358	20.9	17.0	14.0	28.8	11.5	22.1	16.2	52.8	19.6

単位：％

		n	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	自分（介護者）の時間がないこと	その他	大変に感じていることは、特にない	無回答
要介護度	要介護1	320	41.6	7.2	41.6	40.0	39.4	19.4	7.5	5.6	9.4
	要介護2	285	24.2	7.4	46.7	42.1	31.6	22.8	7.7	2.8	7.4
	要介護3	143	18.2	4.9	32.2	28.7	13.3	33.6	4.2	1.4	11.9
	要介護4	88	10.2	9.1	37.5	27.3	9.1	34.1	9.1	4.5	4.5
	要介護5	48	14.6	12.5	29.2	27.1	16.7	35.4	6.3	10.4	10.4
認知症	ある（重い）	141	56.0	5.7	34.0	32.6	27.0	38.3	5.7	0.0	7.1
	ある（軽い）	354	34.7	7.1	43.2	40.1	37.9	25.7	5.9	4.5	4.2
	ない	358	11.7	8.9	44.4	38.8	22.6	22.3	9.5	5.6	3.6

(9) 在宅での介護を断念し施設等へ入所する理由

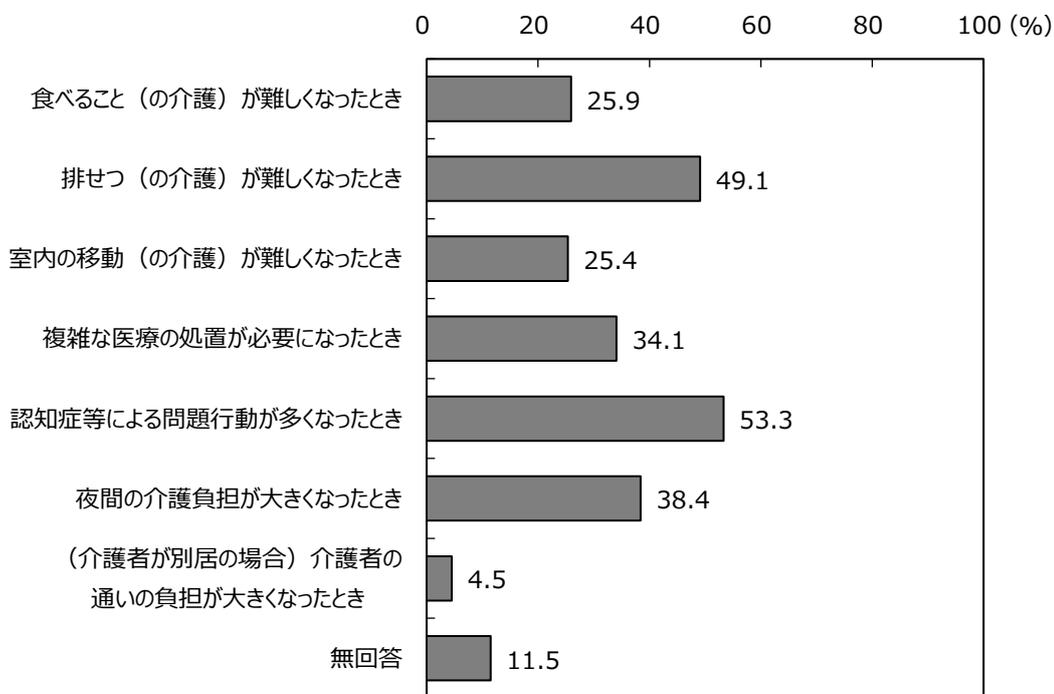
【ご本人を介護している方（家族等）対象】

■ ご本人やご家族等が特に、どのようなことで在宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。（○は3つまで）

ご本人を介護している方（家族等）のみ n=906

「認知症等による問題行動が多くなったとき」（53.3%）、「排せつ（の介護）が難しくなったとき」（49.1%）が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護1・2は「認知症等による問題行動が多くなったとき」「排せつ（の介護）が難しくなったとき」、要介護4は「複雑な医療の処置が必要になったとき」、要介護5は「食べること（の介護）が難しくなったとき」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	食べること（の介護）が難しくなったとき	排せつ（の介護）が難しくなったとき	室内の移動（の介護）が難しくなったとき	複雑な医療の処置が必要になったとき	認知症等による問題行動が多くなったとき	夜間の介護負担が大きくなったとき	(介護者が別居の場合) 介護者の通いの負担が大きくなったとき	無回答
要介護度	要介護1	320	22.2	54.7	24.1	25.9	62.8	35.9	4.4	10.6
	要介護2	285	26.3	51.9	24.9	34.4	58.9	41.1	6.3	8.8
	要介護3	143	22.4	43.4	30.8	37.1	44.8	43.4	2.1	15.4
	要介護4	88	33.0	38.6	25.0	52.3	35.2	45.5	5.7	8.0
	要介護5	48	41.7	33.3	22.9	41.7	31.3	27.1	0.0	18.8

5 高齢者福祉等について

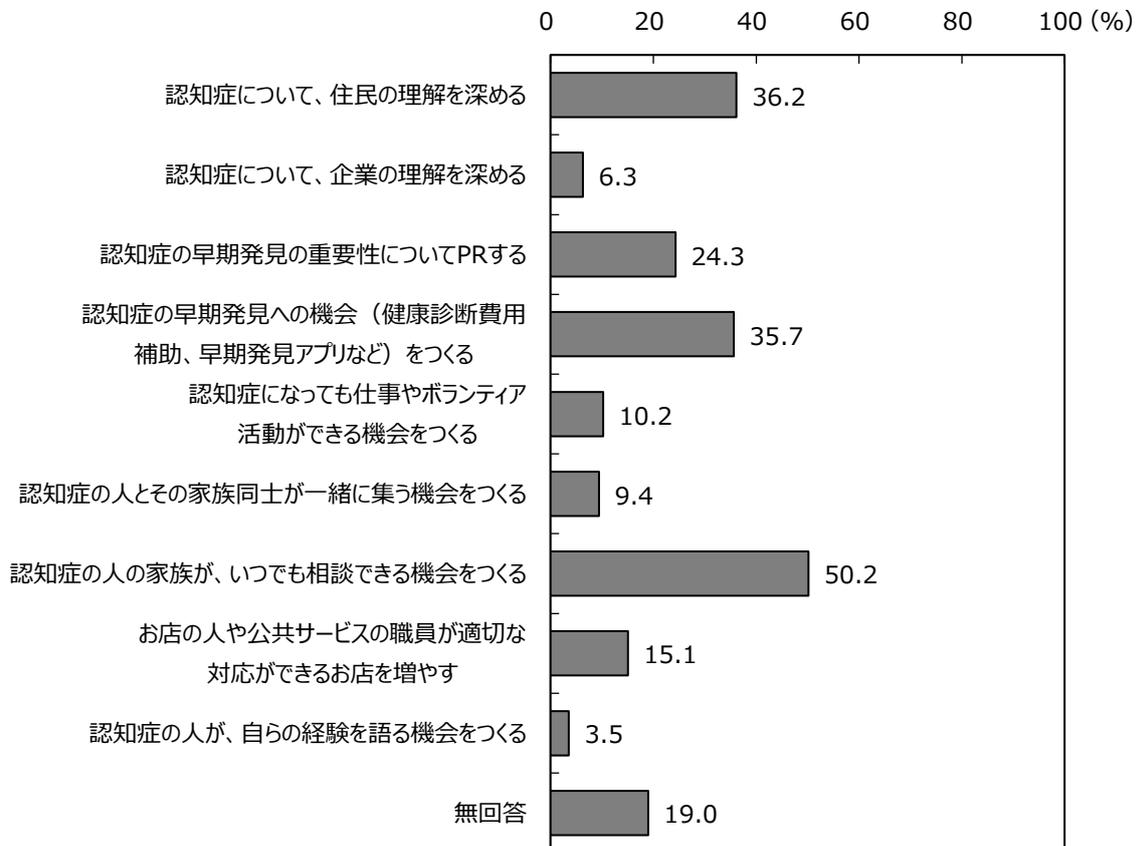
(1) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために

- 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(○は3つまで)

n=1,242

「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」が 50.2%と最も高く、次いで「認知症について、住民の理解を深める」が 36.2%、「認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる」が 35.7%となっています。

認知症の症状別にみても、大きな違いはみられません。



単位：%

		n	認知症について、住民の理解を深める	認知症について、企業の理解を深める	認知症の早期発見の重要性についてPRする	認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる	認知症になって仕事やボランティア活動ができる機会をつくる	認知症の人と家族同士が集う機会をつくる	認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる	お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店（認証店など）を増やす	認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる	無回答
認知症	ある（重い）	141	40.4	5.0	19.1	33.3	7.1	5.0	52.5	12.1	1.4	21.3
	ある（軽い）	354	39.0	7.3	23.7	32.5	11.9	8.2	51.7	20.1	3.1	15.3
	ない	358	39.4	5.9	22.9	39.9	10.6	9.8	48.0	13.4	4.2	18.7

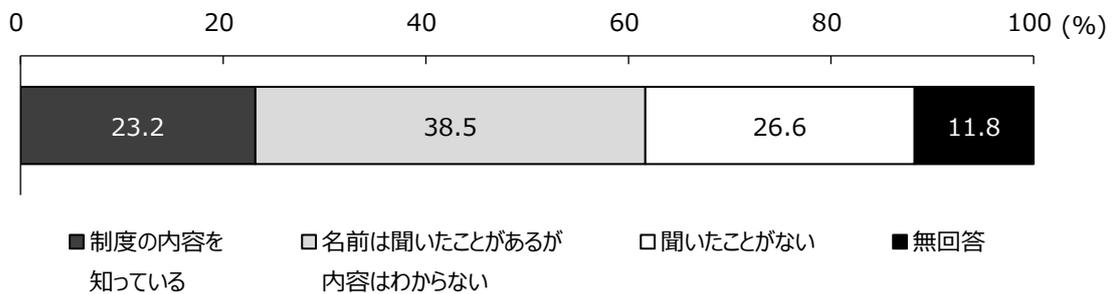
(2) 成年後見制度の認知度

■ あなたは、成年後見制度をご存知ですか。(○は1つ)

n=1,242

「名前は聞いたことがあるが内容はわからない」が 38.5%と最も高く、次いで「聞いたことがない」が 26.6%となっています。

認知症の症状別でみると、ある（重い）人で「名前は聞いたことがあるが内容はわからない」「聞いたことがない」の合計が過半数を占めています。



単位：%

		n	認知度			
			制度の内容を知っている	名前は聞いたことがあるが内容はわからない	聞いたことがない	無回答
要介護度	要介護1	376	19.9	41.8	30.6	7.7
	要介護2	326	28.2	37.7	25.2	8.9
	要介護3	211	21.3	34.1	28.9	15.6
	要介護4	187	22.5	36.9	25.1	15.5
	要介護5	109	27.5	44.0	13.8	14.7
認知症	ある（重い）	141	33.3	31.2	22.7	12.8
	ある（軽い）	354	19.2	41.0	31.6	8.2
	ない	358	21.2	41.6	27.1	10.1

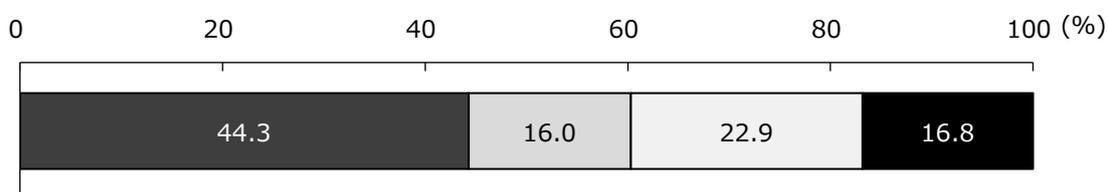
(3) 今後の介護保険料について

■ 介護保険料は、全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか。(○は1つ)

n=1,242

「①高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない」が44.3%と最も高く、次いで「③施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい」が22.9%、「②1に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい」が16.0%となっています。

要介護度別でも、大きな違いはみられません。



- ① 高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
- ② 1に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい
- ③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい
- ④ 無回答

単位：%

		n	① 高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない	② 1に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい	③ 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい	④ 無回答
要介護度	要介護1	376	45.2	17.6	23.1	14.1
	要介護2	326	42.3	17.8	25.8	14.1
	要介護3	211	45.0	12.8	21.3	20.9
	要介護4	187	46.0	15.5	19.8	18.7
	要介護5	109	45.9	16.5	17.4	20.2

第5章 事業者アンケート

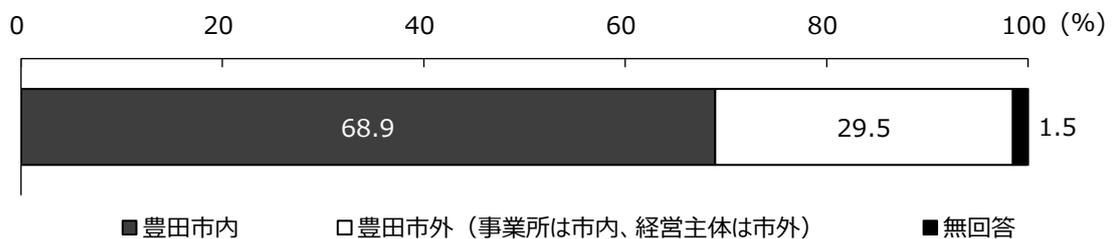
1 法人について

(1) 本部・本社の所在地

■ 経営主体の本部・本社の所在地は、どちらですか。(○は1つ)

n=132

「豊田市内」が68.9%、「豊田市外」が29.5%となっています。

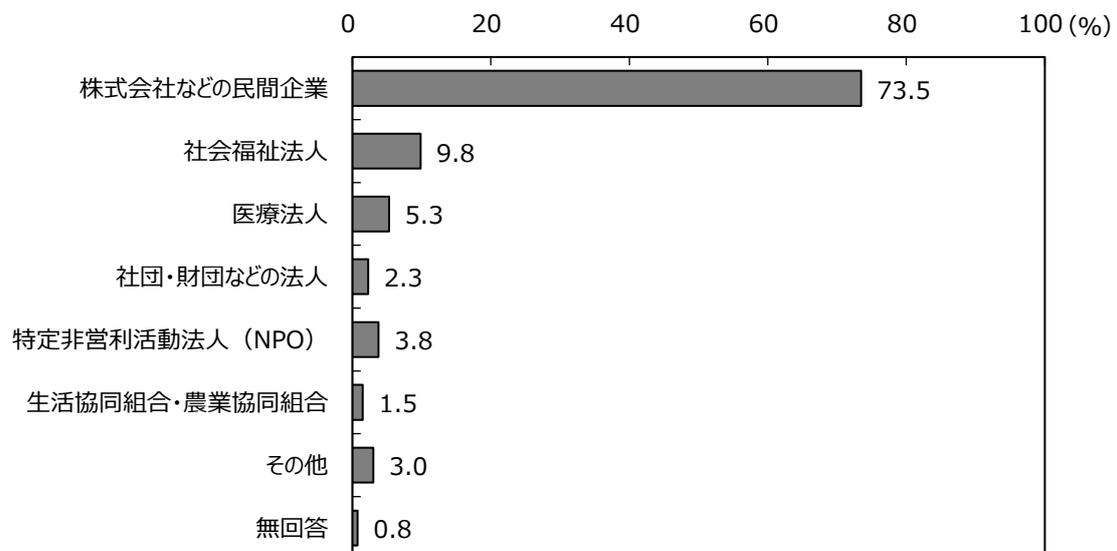


(2) 組織形態

■ 経営主体の組織形態として、あてはまるものはどれですか。(○は1つ)

n=132

「株式会社などの民間企業」が73.5%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が9.8%、「医療法人」が5.3%となっています。



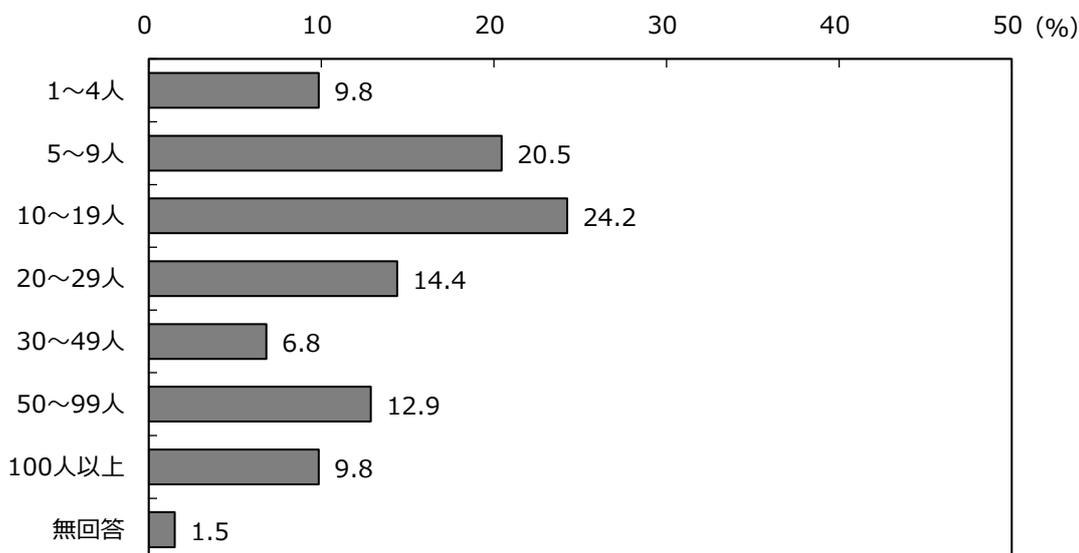
(3) 豊田市内で、介護保険サービスに従事する従業員数

- 貴法人において豊田市内で、介護保険サービスに従事する従業員数の合計は何人ですか。(○は1つ)
 ※事務職員等を含めてすべての従業員数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。

n=132

「10～19人」(24.2%)、「5～9人」(20.5%)、「20～29人」(14.4%)の順に高くなっています。

事業別でみると、通所系および訪問系は「5～9人」「10～19人」の割合が他と比べて高くなっています。一方で施設居住系は「20～29人」「50～59人」「100人以上」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	無回答
事業	通所系	43	2.3	20.9	37.2	11.6	7.0	14.0	4.7	2.3
	施設居住系	29	0.0	0.0	0.0	27.6	10.3	27.6	34.5	0.0
	訪問系	58	20.7	31.0	24.1	10.3	5.2	5.2	1.7	1.7

通所系：豊田市内で通所系サービスを提供し、施設居住系サービスを提供していない事業者

施設居住系：豊田市内で施設居住系サービスを提供している事業者

訪問系：豊田市内で、訪問系もしくは居宅介護支援もしくは福祉用具等のサービスを提供し、施設居住系サービス・通所サービスを提供していない事業者

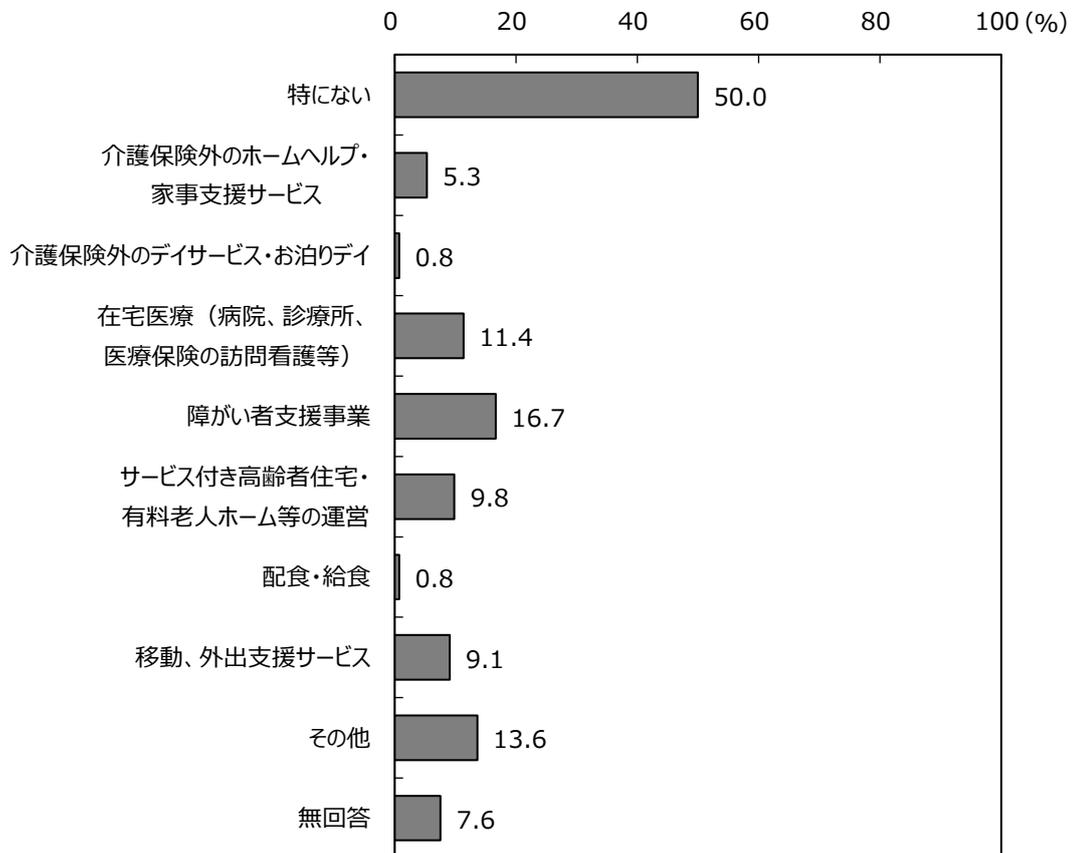
(4) 豊田市内での、介護保険サービス以外の事業実施状況

■ 「豊田市内」で介護保険サービス以外にどのような事業を実施していますか。また、拡大等の意向がありますか。A Bそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

n=132

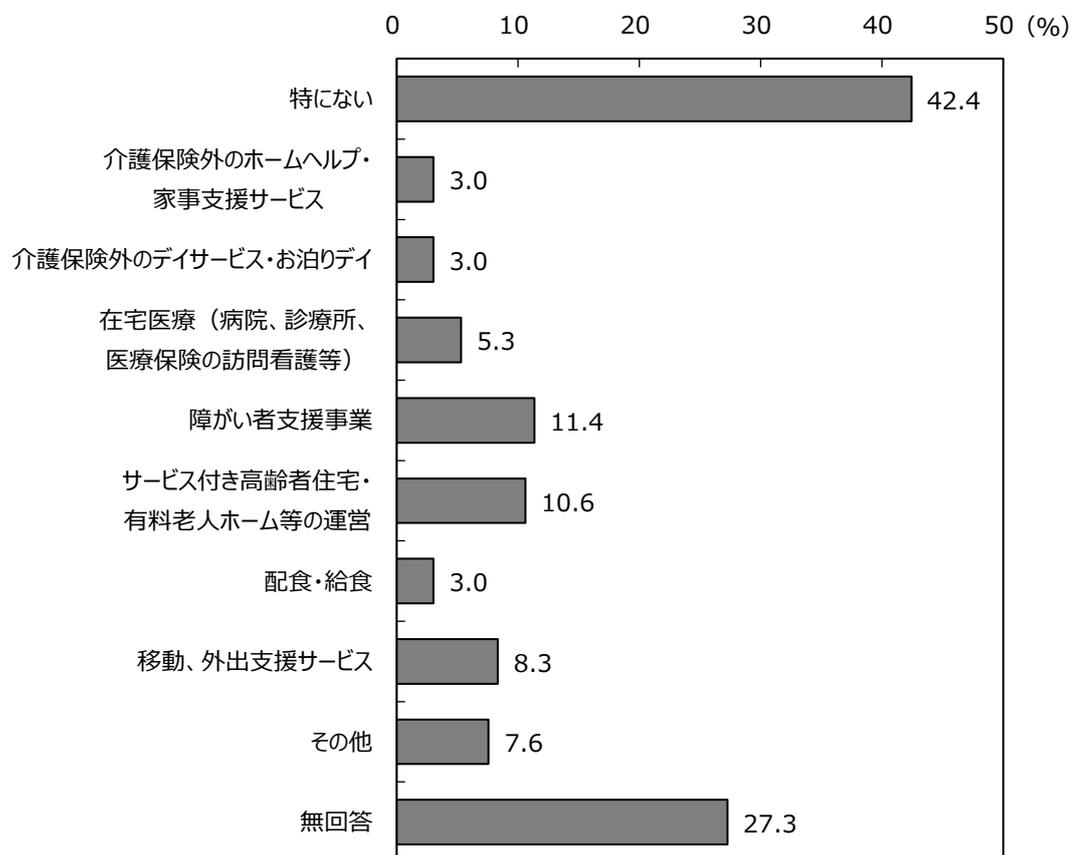
①豊田市内で介護保険サービス以外に提供しているサービス

「特にない」が 50.0%と最も高く、次いで「障がい者支援事業」が 16.7%、「その他」が 13.6%、「在宅医療（病院、診療所、医療保険の訪問看護等）」が 11.4%となっています。



②豊田市内で介護保険サービス以外に拡大・新たに実施したいサービス

「障がい者支援事業」が 11.4%、「サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム等の運営」が 10.6%、「移動、外出支援サービス」が 8.3%となっています。



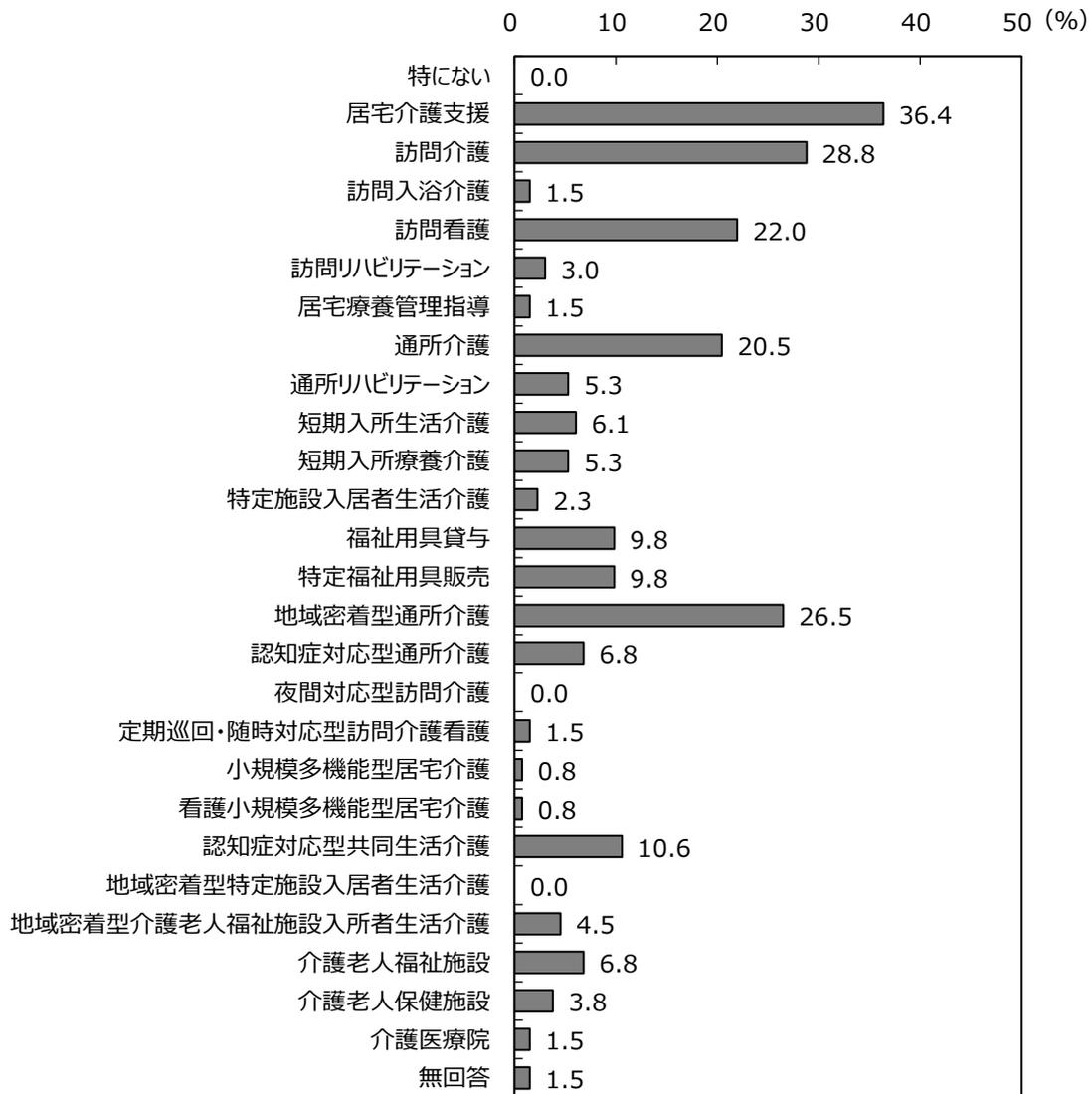
(5) 豊田市内でのサービス提供状況

■ 次のサービス（予防サービス・総合事業を含む）について、貴法人による豊田市内での、提供状況、今後の意向について、A Bそれぞれお答えください。（あてはまるものすべてに○）

n=132

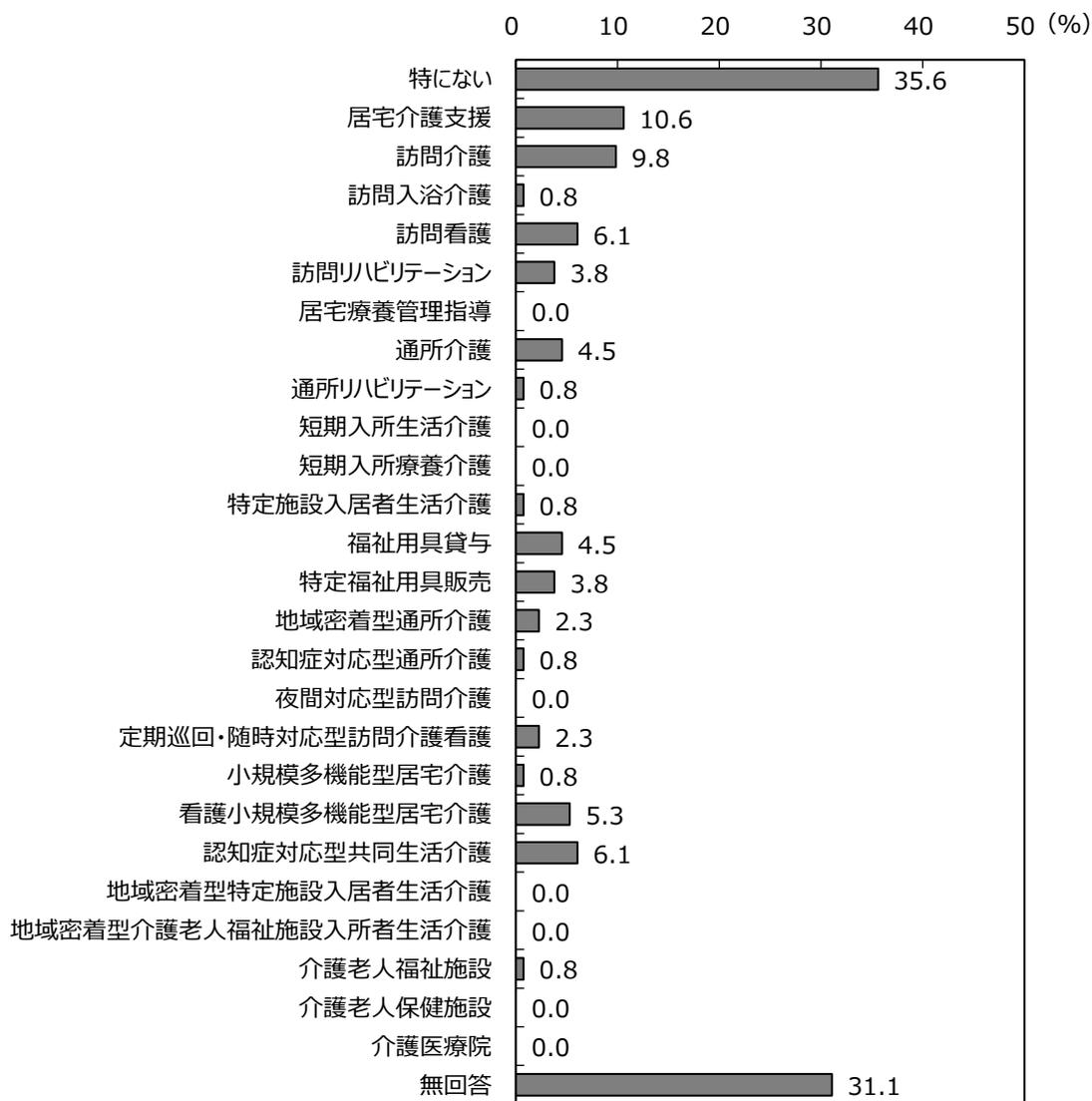
①豊田市内で提供しているサービス

「居宅介護支援」が 36.4%と最も高く、次いで「訪問介護」が 28.8%、「地域密着型通所介護」が 26.5%、「訪問看護」が 22.0%、「通所介護」が 20.5%となっています。



②豊田市内で拡大・新たに実施したいサービス

「居宅介護支援」が10.6%、「訪問介護」が9.8%となっています。



2 運営について

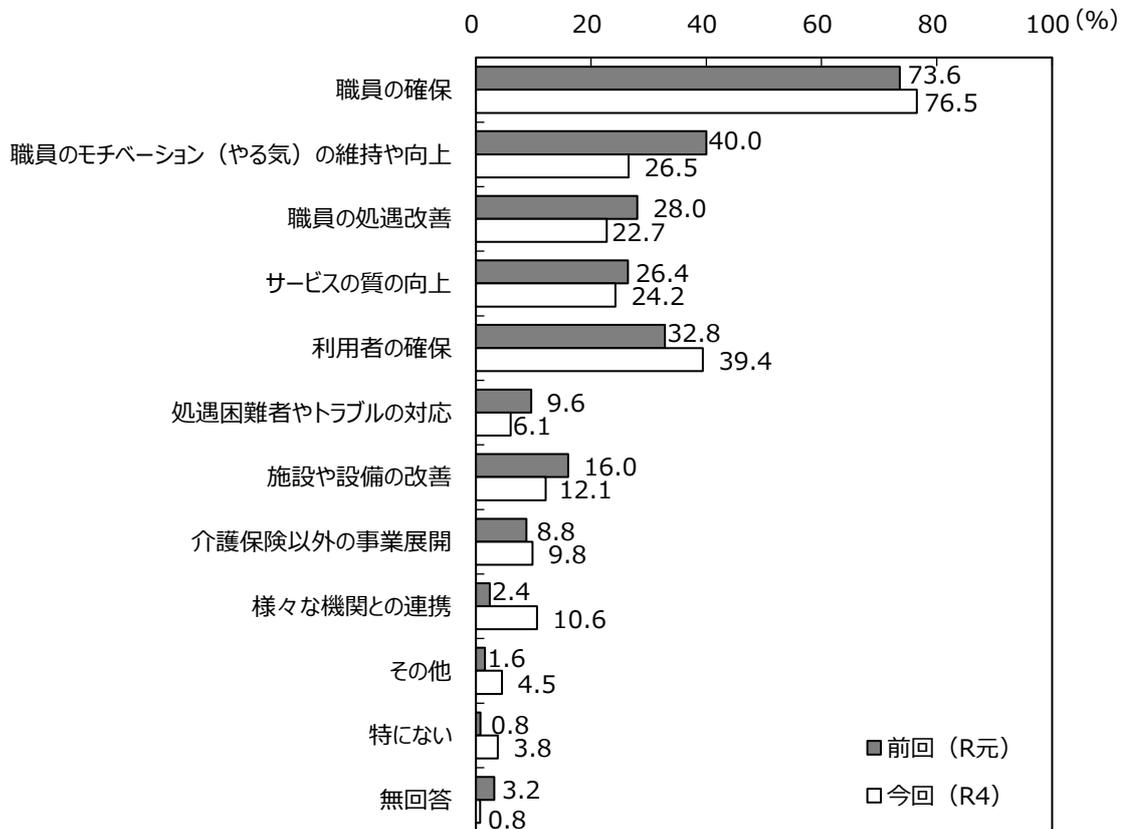
(1) 運営上の課題

■ 貴法人において豊田市内の事業所での運営にあたり、特にどのようなことが課題となっていますか。(〇は3つまで)

n=132

「職員の確保」が 76.5%と最も高く、次いで「利用者の確保」が 39.4%、「職員のモチベーション（やる気）の維持や向上」が26.5%、「サービスの質の向上」が24.2%、「職員の処遇改善」が 22.7%となっています。前回と比べると、「職員のモチベーション（やる気）の維持や向上」「職員の処遇改善」が減少し、「利用者の確保」が増加しています。

従業員数別・事業・退職率別でも、総じて「職員の確保」の割合が高くなっています。



単位：％

		n	職員の確保	職員のモチベーション(やる気)の維持や向上	職員の処遇改善	サービスの質の向上	利用者の確保	処遇困難者やトラブルの対応	施設や設備の改善	介護保険以外の事業展開	様々な機関との連携
従業員数	9人以下	40	60.0	27.5	25.0	22.5	42.5	10.0	2.5	7.5	12.5
	10～19人	32	65.6	18.8	28.1	25.0	46.9	6.3	12.5	12.5	12.5
	20～49人	28	100.0	32.1	17.9	28.6	35.7	0.0	10.7	10.7	0.0
	50人以上	30	86.7	30.0	16.7	20.0	30.0	6.7	26.7	10.0	13.3
事業	通所系	43	72.1	9.3	37.2	16.3	46.5	0.0	11.6	11.6	9.3
	施設居住系	29	93.1	31.0	13.8	24.1	37.9	6.9	31.0	6.9	6.9
	訪問系	58	74.1	37.9	17.2	29.3	34.5	10.3	3.4	10.3	12.1
退職率	1割未満	40	67.5	17.5	32.5	20.0	50.0	5.0	12.5	10.0	15.0
	1割以上2割未満	29	89.7	31.0	20.7	20.7	27.6	3.4	17.2	6.9	6.9
	2割以上	30	93.3	26.7	23.3	20.0	33.3	0.0	6.7	10.0	3.3

単位：％

		n	その他	特にない	無回答
従業員数	9人以下	40	2.5	12.5	0.0
	10～19人	32	6.3	0.0	3.1
	20～49人	28	0.0	0.0	0.0
	50人以上	30	10.0	0.0	0.0
事業	通所系	43	9.3	2.3	0.0
	施設居住系	29	3.4	0.0	0.0
	訪問系	58	1.7	6.9	0.0
退職率	1割未満	40	5.0	7.5	0.0
	1割以上2割未満	29	6.9	0.0	0.0
	2割以上	30	6.7	0.0	3.3

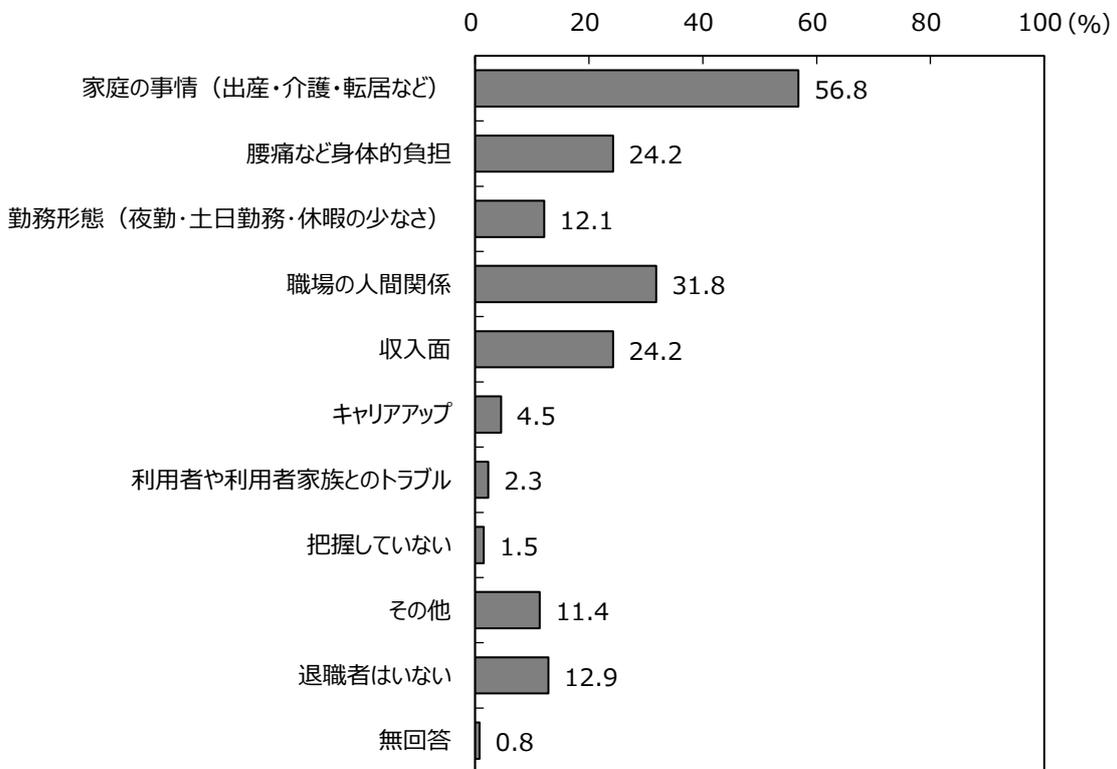
(2) 特に多い離職事由

■ 貴法人において豊田市内の事業所での職員の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。(〇は3つまで)

n=132

「家庭の事情（出産・介護・転居など）」が 56.8%と最も高く、次いで「職場の人間関係」が 31.8%、「腰痛など身体的負担」と「収入面」が 24.2%となっています。

事業別でみると、施設居住系で「家庭の事情（出産・介護・転居など）」「腰痛など身体的負担」「職場の人間関係」の割合が他と比べて高くなっています。退職率別では、2割以上で「職場の人間関係」「収入面」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：％

		n	家庭の事情 (出産・ 介護・転居など)	腰痛など 身体的負担	勤務形態 (夜勤・土日 勤務・休暇の 少なさ)	職場の 人間関係	収入面	キャリア アップ	利用者 や利用者 家族との トラブル	把握して いない	その他
従業員数	9人以下	40	40.0	2.5	12.5	15.0	12.5	2.5	5.0	2.5	10.0
	10～19人	32	53.1	34.4	9.4	25.0	28.1	6.3	3.1	0.0	18.8
	20～49人	28	60.7	25.0	17.9	53.6	14.3	10.7	0.0	0.0	14.3
	50人以上	30	76.7	40.0	10.0	43.3	40.0	0.0	0.0	3.3	3.3
事業	通所系	43	51.2	27.9	9.3	27.9	30.2	0.0	4.7	2.3	20.9
	施設居住系	29	75.9	48.3	10.3	55.2	27.6	6.9	0.0	0.0	6.9
	訪問系	58	51.7	10.3	15.5	24.1	17.2	6.9	1.7	1.7	6.9
退職率	1割未満	40	57.5	22.5	5.0	30.0	15.0	5.0	2.5	2.5	20.0
	1割以上2割未満	29	62.1	34.5	24.1	27.6	31.0	3.4	0.0	0.0	6.9
	2割以上	30	73.3	33.3	20.0	46.7	40.0	0.0	3.3	0.0	3.3

単位：％

		n	退職者 はいない	無回答
従業員数	9人以下	40	35.0	0.0
	10～19人	32	6.3	3.1
	20～49人	28	0.0	0.0
	50人以上	30	3.3	0.0
事業	通所系	43	9.3	0.0
	施設居住系	29	0.0	0.0
	訪問系	58	22.4	0.0
退職率	1割未満	40	17.5	0.0
	1割以上2割未満	29	3.4	0.0
	2割以上	30	0.0	3.3

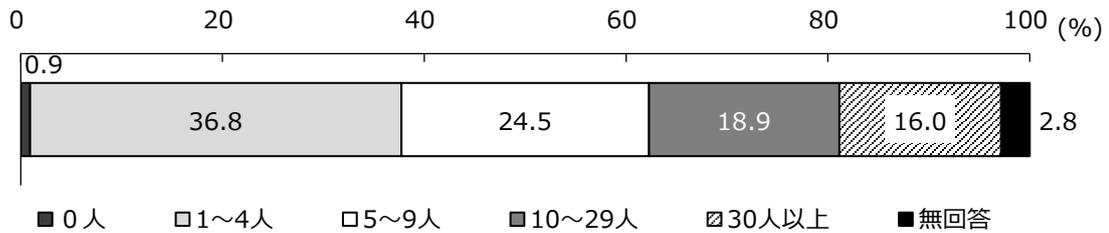
3 介護職員の人材について

(1) 常勤の介護職員数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「1～4人」が36.8%と最も高くなっています。

事業別でみると、通所系および訪問系は「1～4人」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

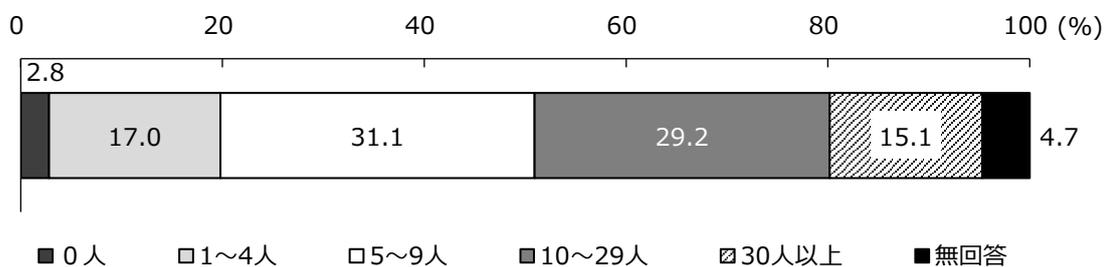
		n	0人	1~4人	5~9人	10~29人	30人以上	無回答
事業	通所系	42	2.4	47.6	21.4	16.7	7.1	4.8
	施設居住系	29	0.0	0.0	20.7	31.0	48.3	0.0
	訪問系	33	0.0	51.5	33.3	12.1	0.0	3.0

(2) 非常勤の介護職員数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「5～9人」が31.1%と最も高くなっています。

事業別でみると、通所系および訪問系は「1～4人」「5～9人」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

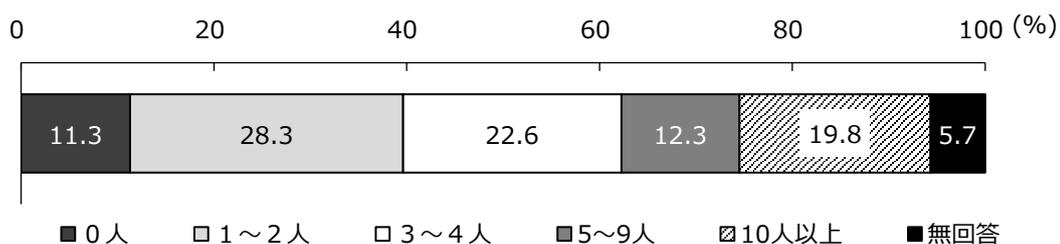
		n	0人	1~4人	5~9人	10~29人	30人以上	無回答
事業	通所系	42	2.4	21.4	38.1	23.8	9.5	4.8
	施設居住系	29	3.4	3.4	10.3	51.7	31.0	0.0
	訪問系	33	3.0	24.2	36.4	18.2	9.1	9.1

(3) 1年間の介護職員の採用者数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「1～2人」が28.3%と最も高く、次いで「3～4人」が22.6%、「10人以上」が19.8%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「10人以上」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	0人	1～2人	3～4人	5～9人	10人以上	無回答
従業員数	9人以下	24	25.0	37.5	16.7	8.3	0.0	12.5
	10～19人	26	23.1	30.8	34.6	3.8	3.8	3.8
	20～49人	25	0.0	32.0	28.0	16.0	16.0	8.0
	50人以上	30	0.0	13.3	13.3	20.0	53.3	0.0
事業	通所系	42	16.7	28.6	21.4	14.3	14.3	4.8
	施設居住系	29	0.0	24.1	24.1	6.9	37.9	6.9
	訪問系	33	15.2	30.3	21.2	15.2	12.1	6.1

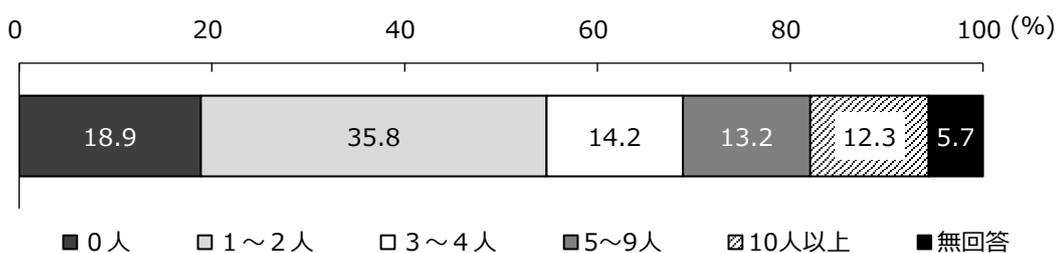
(4) 1年間の介護職員の退職者数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

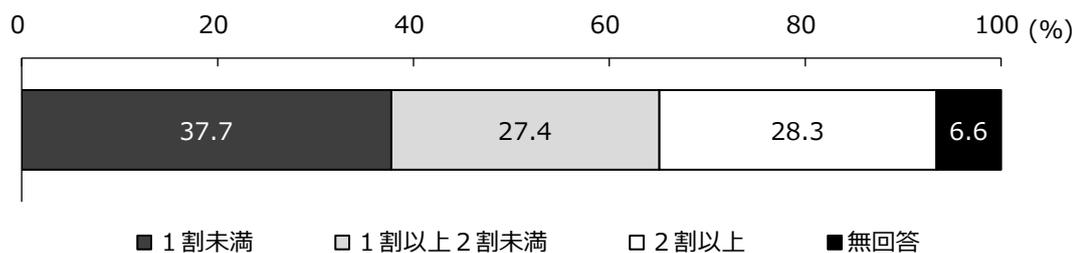
「1～2人」が35.8%と最も高くなっています。「0人」が18.9%です。退職者の割合については、「2割以上」が28.3%となっています。

従業員数別、事業別でも、大きな違いはみられません。

○退職者数



○介護職員数（常勤・非常勤の合計）に占める退職者の割合



単位：%

		n	1割未満	1割以上2割未満	2割以上	無回答
従業員数	9人以下	24	45.8	16.7	20.8	16.7
	10～19人	26	34.6	26.9	34.6	3.8
	20～49人	25	28.0	28.0	36.0	8.0
	50人以上	30	43.3	36.7	20.0	0.0
事業	通所系	42	38.1	26.2	31.0	4.8
	施設居住系	29	44.8	24.1	24.1	6.9
	訪問系	33	30.3	33.3	27.3	9.1

(5) 介護職員について、採用したい人

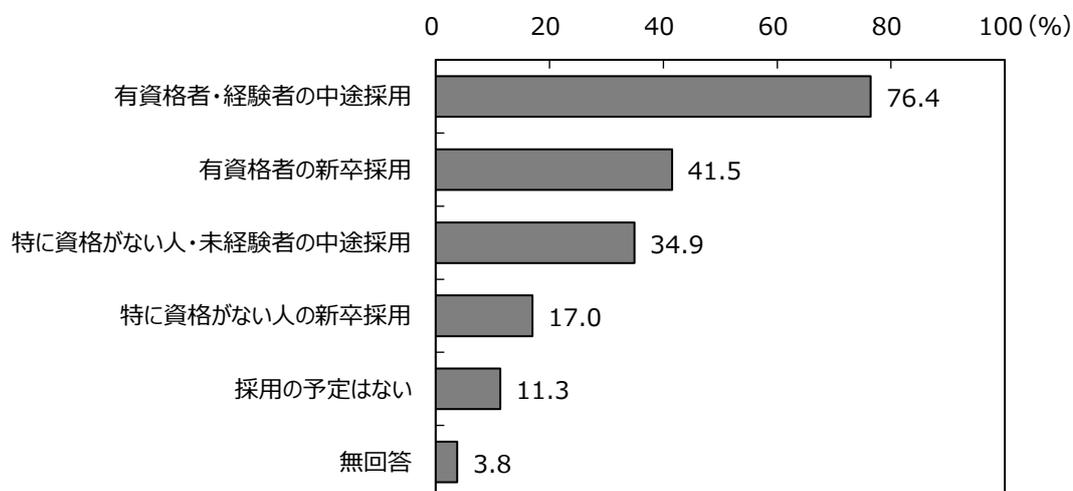
■ 介護職員について、どのような人を採用したいですか。(○は3つまで)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

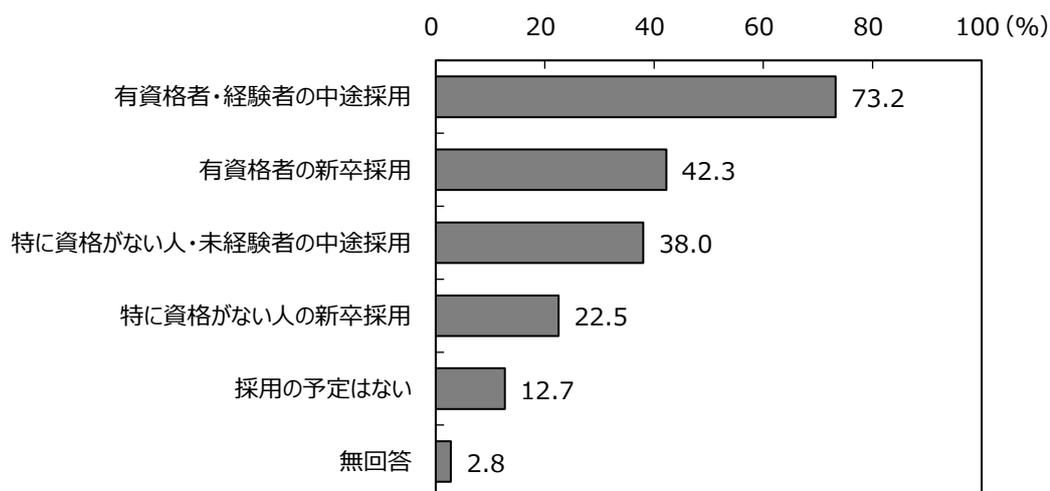
(参考) 介護職員が配置されている通所・施設の事業者 n=71

「有資格者・経験者の中途採用」が 76.4%と最も高く、次いで「有資格者の新卒採用」が 41.5%、「特に資格がない人・未経験者の中途採用」が 34.9%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「有資格者・経験者の中途採用」「有資格者の新卒採用」の割合が他と比べて高くなっています。



参考：介護職員が配置されている通所・施設の事業者



単位：%

		n	有資格者・経験者の中 途採用	有資格者の新 卒採用	特に資 格がない 人・未経 験者の 中途採 用	特に資 格がない 人の新 卒採用	採用の 予定は ない	無回答
従 業 員 数	9人以下	24	54.2	16.7	12.5	12.5	33.3	12.5
	10～19人	26	76.9	50.0	53.8	7.7	7.7	3.8
	20～49人	25	92.0	36.0	44.0	8.0	4.0	0.0
	50人以上	30	83.3	56.7	30.0	33.3	3.3	0.0
事 業	通所系	42	59.5	35.7	38.1	21.4	19.0	4.8
	施設居住系	29	93.1	51.7	37.9	24.1	3.4	0.0
	訪問系	33	81.8	39.4	24.2	6.1	9.1	6.1

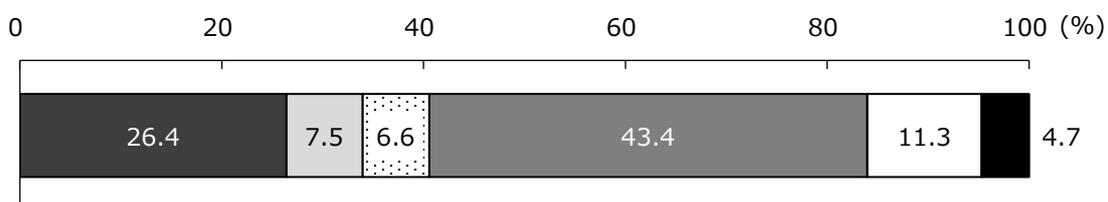
(6) 介護職員の採用活動で最も良くあるケース

■ 介護職員の採用活動の結果について、以下の中で最も良くあるケースについて教えてください。(○は1つ)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「求人を出しても、応募がない、または足りない」が 43.4%と最も高く、次いで「求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する」が 26.4%です。

事業別でみると、施設居住系は「求人を出しても、応募がない、または足りない」の割合が他と比べて高くなっています。



- 求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する
- 求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないが採用する
- 求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないので採用しない
- 求人を出しても、応募がない、または足りない
- 近年、採用活動を行っていない
- 無回答

単位：%

	n	求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する	求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないが採用する	求人を出すと応募があり、採用基準を満たさない	求人を出しても、応募がない、または足りない	近年、採用活動を行っていない	無回答	
従業員数	9人以下	24	16.7	4.2	0.0	41.7	25.0	12.5
	10～19人	26	38.5	3.8	11.5	19.2	23.1	3.8
	20～49人	25	28.0	8.0	4.0	56.0	0.0	4.0
	50人以上	30	23.3	13.3	10.0	53.3	0.0	0.0
事業	通所系	42	35.7	4.8	4.8	31.0	19.0	4.8
	施設居住系	29	13.8	13.8	6.9	62.1	0.0	3.4
	訪問系	33	24.2	6.1	9.1	42.4	12.1	6.1

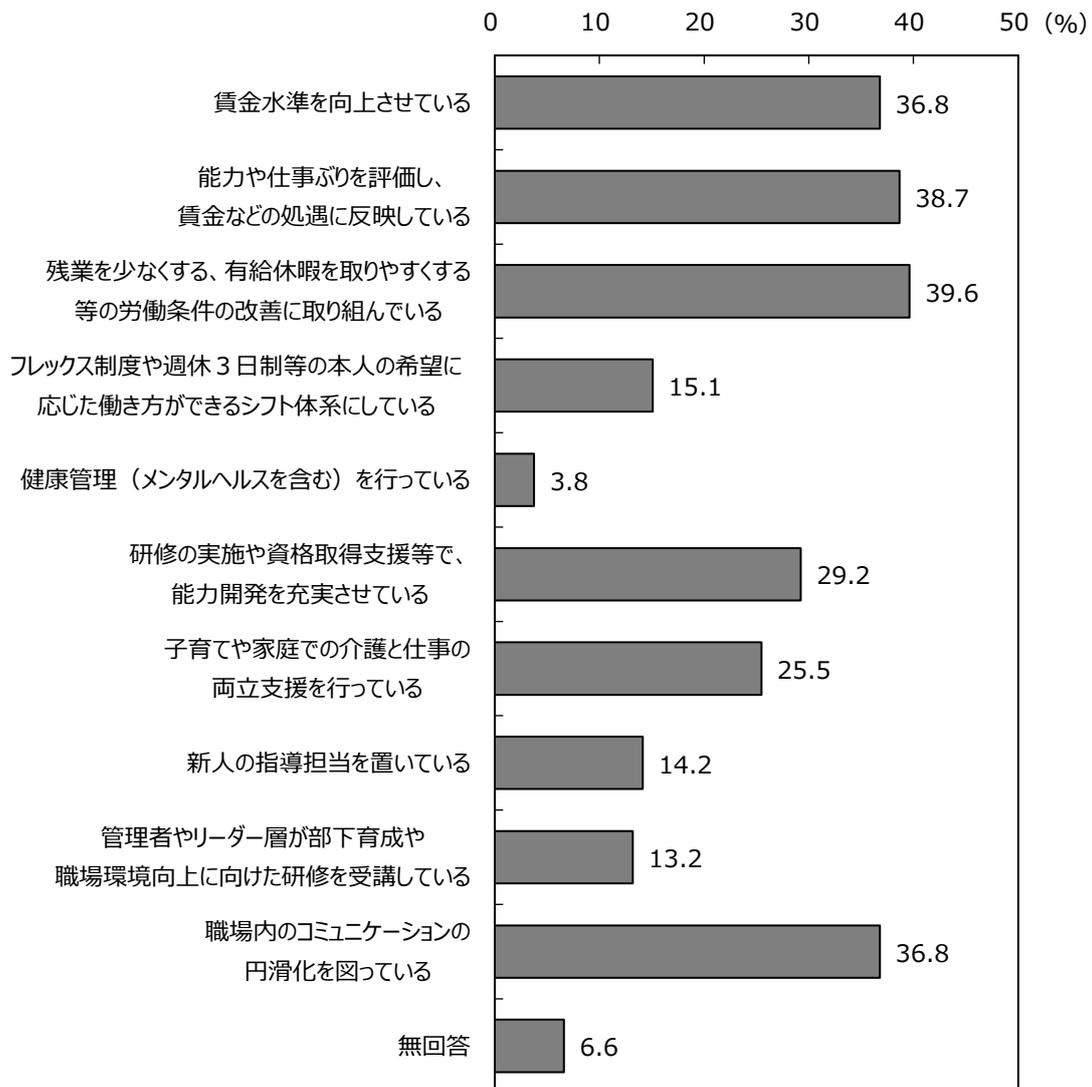
(7) 介護職員の採用、育成、定着のために力を入れている方策

■ 介護職員の採用や育成、定着のためにどのような方策に力を入れていますか。(〇は3つまで)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」(39.6%)、「能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している」(38.7%)、「賃金水準を向上させている」(36.8%)、「職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている」(36.8%)が高くなっています。

事業別でみると、施設居住系は「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」「研修の実施や資格取得支援等で、能力開発を充実させている」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくなる等の労働条件の改善に取り組んでいる	フレックス制度や週休3日制等の本人の希望に応じた働き方ができるシフト体系にしている	健康管理（メンタルヘルスを含む）を行っている	研修の実施や資格取得支援等で、能力開発を充実させている	子育てや家庭での介護と仕事の両立支援を行っている	新人の指導担当を置いている	管理者やリーダー層が部下育成や職場環境向上に向けた研修を受講している
従業員数	9人以下	24	25.0	20.8	20.8	29.2	4.2	8.3	25.0	0.0	0.0
	10～19人	26	42.3	53.8	30.8	3.8	7.7	19.2	30.8	7.7	3.8
	20～49人	25	44.0	44.0	56.0	16.0	0.0	44.0	12.0	20.0	16.0
	50人以上	30	33.3	33.3	46.7	13.3	3.3	43.3	33.3	26.7	30.0
事業	通所系	42	31.0	35.7	35.7	16.7	4.8	16.7	28.6	19.0	16.7
	施設居住系	29	44.8	41.4	58.6	6.9	0.0	44.8	27.6	17.2	20.7
	訪問系	33	36.4	36.4	30.3	21.2	6.1	30.3	18.2	6.1	3.0

単位：%

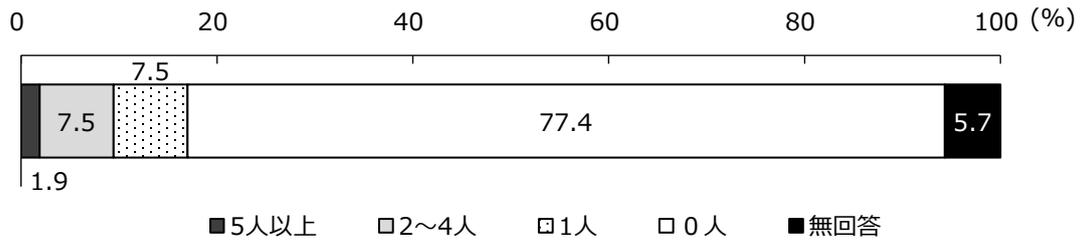
		n	職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている	無回答
従業員数	9人以下	24	41.7	25.0
	10～19人	26	42.3	3.8
	20～49人	25	40.0	0.0
	50人以上	30	26.7	0.0
事業	通所系	42	45.2	4.8
	施設居住系	29	31.0	0.0
	訪問系	33	30.3	15.2

(8) 外国人人材の雇用状況

■ 現在、以下の就労項目で介護の仕事をしている外国人人材の人数を記入してください。(該当者がいない場合は0(ゼロ)を記入)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「2～4人」と「1人」がともに7.5%です。



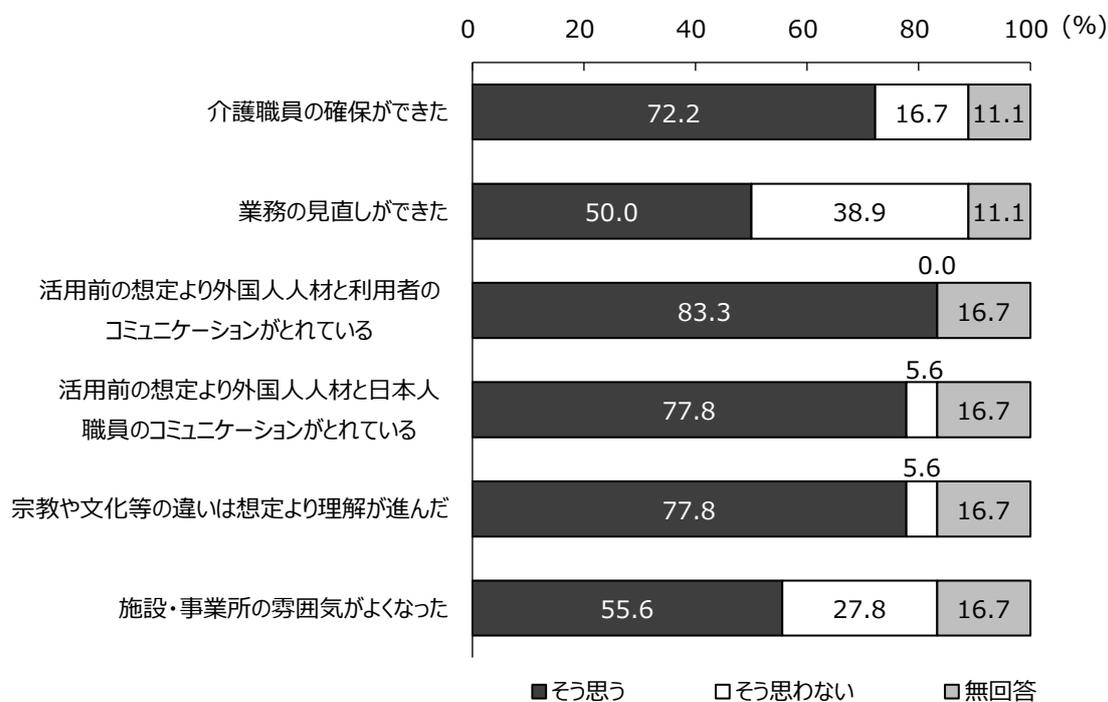
(9) 外国人人材の活用による変化

【外国人人材を雇用している事業者対象】
 ■ 外国人人材の活用によって、活用前と比べての変化や現在の状況を教えてください。(それぞれ1つずつ○)

該当の通所・施設の事業者 n=18

「活用前の想定より外国人人材と利用者のコミュニケーションがとれている」「活用前の想定より外国人人材と日本人職員のコミュニケーションがとれている」「宗教や文化等の違いは想定より理解が進んだ」で「そう思う」が高くなっています。

一方、「業務の見直しができた」「施設・事業所の雰囲気よかった」は「そう思う」「そう思わない」に回答が分かれています。



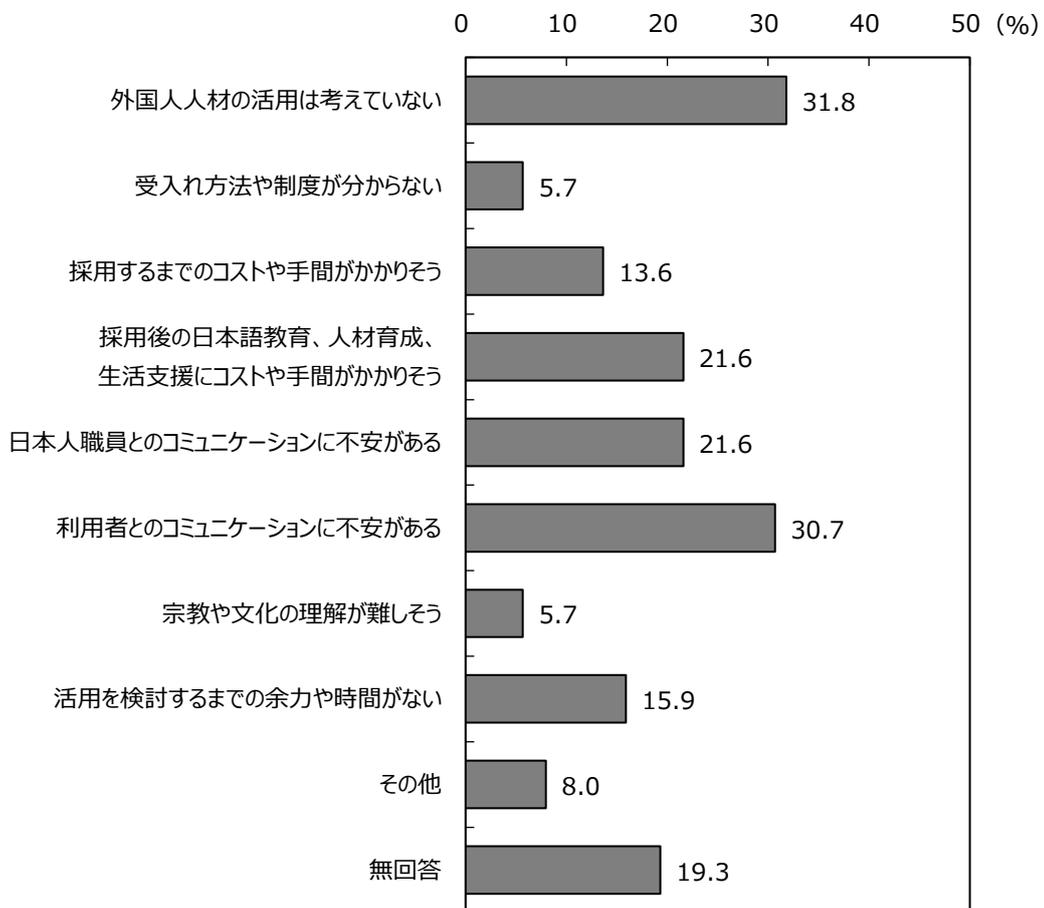
(10) 外国人人材の活用に当たって特に不安に思うこと

■ 外国人人材の活用に当たって特に不安に思うことを教えてください。(〇は3つまで)

外国人人材の介護職員がいない事業者 n=88

「外国人人材の活用は考えていない」(31.8%)、「利用者とのコミュニケーションに不安がある」(30.7%)が高くなっています。

事業別でみると、通所系は「外国人人材の活用は考えていない」、施設居住系は「採用後の日本語教育、人材育成、生活支援にコストや手間がかかりそう」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	外国人 人材の 活用は 考えてい ない	受入れ 方法や 制度が 分からな い	採用する までのコ ストや手 間がかか りそう	採用後 の日本 語教育、 人材育 成、生活 支援にコ ストや手 間がかか りそう	日本人 職員との コミュニ ケーション に不安が ある	利用者との コミュニ ケーション に不安が ある	宗教や 文化の 理解が 難しそう	活用を 検討する までの余 力や時 間がない	その他
事業	通所系	38	44.7	5.3	15.8	10.5	21.1	34.2	5.3	21.1	5.3
	施設居住系	18	22.2	0.0	27.8	55.6	27.8	22.2	11.1	11.1	11.1
	訪問系	29	24.1	10.3	3.4	17.2	20.7	31.0	3.4	10.3	10.3

単位：%

		n	無回答
事業	通所系	38	10.5
	施設居住系	18	16.7
	訪問系	29	27.6

4 業務の効率化・生産性向上について

(1) 業務の効率化や生産性向上に向けた法人の取組状況

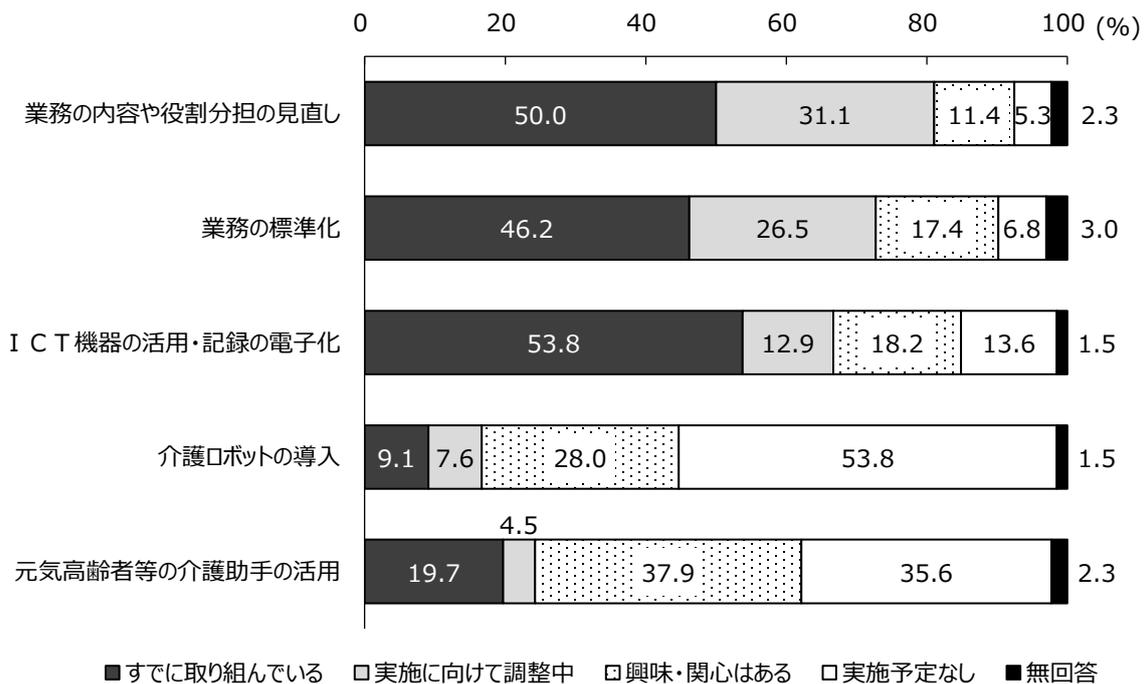
■ 業務の効率化や生産性向上に向けた法人の取組状況を教えてください。
(各項目1つずつ○)

n=132

「すでに取り組んでいる」について、「業務の内容や役割分担の見直し」で 50.0%、「業務の標準化」で 46.2%、「I C T 機器の活用・記録の電子化」で 53.8%、「介護ロボットの導入」で 9.1%、「元気高齢者等の介護助手」について 19.7%です。

I C T 機器の活用・記録の電子化について、事業別でみると、通所系は「実施予定なし」の割合が他と比べて高くなっています。従業員数別でみると、概ね従業員数が増えるに従い「すでに取り組んでいる」の割合が高くなっています。

元気高齢者等の介護助手について、事業別でみると、施設居住系は「すでに取り組んでいる」の割合が他と比べて高くなっています。



○業務の内容や役割分担の見直し

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	37.5	37.5	10.0	12.5	2.5
	10～19人	32	43.8	34.4	15.6	3.1	3.1
	20～49人	28	67.9	17.9	14.3	0.0	0.0
	50人以上	30	60.0	26.7	6.7	3.3	3.3
事業	通所系	43	55.8	23.3	9.3	9.3	2.3
	施設居住系	29	55.2	27.6	13.8	3.4	0.0
	訪問系	58	41.4	39.7	12.1	3.4	3.4

○業務の標準化（マニュアル作成等）

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	25.0	32.5	22.5	17.5	2.5
	10～19人	32	50.0	18.8	25.0	3.1	3.1
	20～49人	28	60.7	21.4	14.3	0.0	3.6
	50人以上	30	56.7	30.0	6.7	3.3	3.3
事業	通所系	43	48.8	18.6	18.6	11.6	2.3
	施設居住系	29	51.7	31.0	10.3	3.4	3.4
	訪問系	58	39.7	31.0	20.7	5.2	3.4

○ICT機器の活用・記録の電子化

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	40.0	7.5	22.5	27.5	2.5
	10～19人	32	37.5	15.6	28.1	15.6	3.1
	20～49人	28	64.3	14.3	14.3	7.1	0.0
	50人以上	30	76.7	16.7	6.7	0.0	0.0
事業	通所系	43	48.8	11.6	9.3	30.2	0.0
	施設居住系	29	72.4	13.8	10.3	3.4	0.0
	訪問系	58	48.3	13.8	27.6	6.9	3.4

○介護ロボットの導入

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	0.0	0.0	12.5	85.0	2.5
	10～19人	32	0.0	3.1	43.8	50.0	3.1
	20～49人	28	10.7	10.7	28.6	50.0	0.0
	50人以上	30	30.0	20.0	33.3	16.7	0.0
事業	通所系	43	7.0	4.7	32.6	55.8	0.0
	施設居住系	29	27.6	20.7	31.0	20.7	0.0
	訪問系	58	1.7	3.4	22.4	69.0	3.4

○元気高齢者等の介護助手（専門性を必要としない業務を担当）の活用

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	10.0	0.0	30.0	57.5	2.5
	10～19人	32	6.3	15.6	43.8	31.3	3.1
	20～49人	28	28.6	3.6	39.3	28.6	0.0
	50人以上	30	40.0	0.0	40.0	16.7	3.3
事業	通所系	43	18.6	11.6	30.2	37.2	2.3
	施設居住系	29	41.4	0.0	48.3	10.3	0.0
	訪問系	58	10.3	1.7	36.2	48.3	3.4

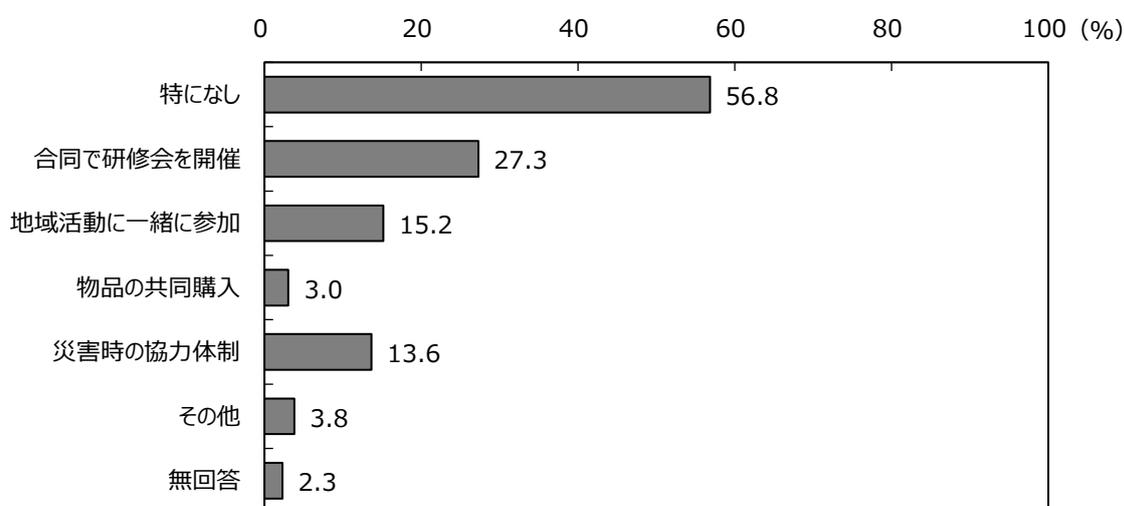
(2) 他の法人と一体的に取り組んでいる事業

■ 他の法人と一体的に取り組んでいる事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=132

「特になし」が 56.8%と最も高く、次いで「合同で研修会を開催」が 27.3%、「地域活動と一緒に参加」が 15.2%、「災害時の協力体制」が 13.6%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「災害時の協力体制」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	特になし	合同で 研修会 を開催	地域活 動に一 緒に参 加	物品の 共同購 入	災害時 の協力 体制	その他	無回答
従 業 員 数	9人以下	40	70.0	22.5	7.5	2.5	2.5	2.5	2.5
	10～19人	32	50.0	31.3	15.6	3.1	6.3	6.3	6.3
	20～49人	28	57.1	28.6	21.4	0.0	14.3	3.6	0.0
	50人以上	30	46.7	30.0	16.7	3.3	36.7	3.3	0.0
事 業	通所系	43	58.1	25.6	16.3	4.7	14.0	7.0	2.3
	施設居住系	29	48.3	24.1	17.2	0.0	27.6	3.4	0.0
	訪問系	58	60.3	29.3	13.8	3.4	6.9	1.7	3.4

5 地域での活動について

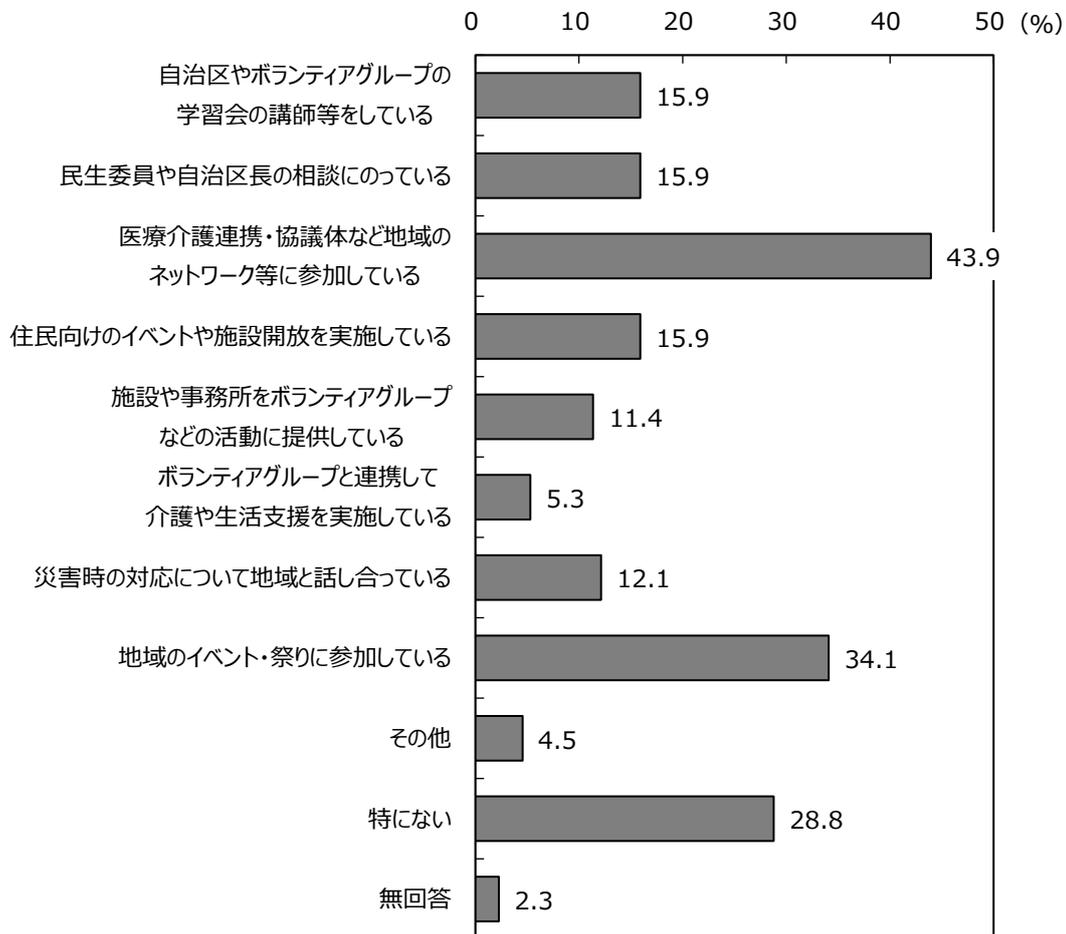
(1) 豊田市内で参加している地域活動

■ 豊田市内でどのような地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

n=132

「医療介護連携・協議体など地域のネットワーク等に参加している」が 43.9%と最も高く、次いで「地域のイベント・祭りに参加している」が 34.1%となっています。なお、「特にない」が 28.8%となっています。

従業員数別で見ると、50人以上は参加している活動の数が他と比べて多くなっています。



単位：%

		n	自治区 やボラン ティアグ グループの 学習会 の講師 等をして いる	民生委 員や自 治区長 の相談に のっている	医療介 護連携・ 協議体 など地域 のネット ワーク等 に参加し ている	住民向 けのイベ ントや施 設開放 を実施し ている	施設や 事務所 をボラン ティアグ グループな どの活動 に提供し ている	ボランティ アグルー プと連携 して介護 や生活 支援を 実施して いる	災害時 の対応に ついて地 域と話し 合っている	地域のイ ベント・ 祭りに参 加している	その他
従 業 員 数	9人以下	40	12.5	7.5	32.5	5.0	2.5	0.0	0.0	20.0	2.5
	10～19人	32	6.3	9.4	50.0	9.4	6.3	0.0	9.4	31.3	3.1
	20～49人	28	3.6	7.1	32.1	7.1	10.7	0.0	17.9	39.3	7.1
	50人以上	30	40.0	43.3	60.0	40.0	30.0	23.3	26.7	53.3	6.7
事 業	通所系	43	16.3	20.9	39.5	25.6	16.3	9.3	16.3	32.6	4.7
	施設居住系	29	27.6	34.5	48.3	27.6	24.1	10.3	31.0	62.1	6.9
	訪問系	58	10.3	3.4	44.8	3.4	1.7	0.0	0.0	20.7	3.4

単位：%

		n	特にない	無回答
従 業 員 数	9人以下	40	50.0	0.0
	10～19人	32	21.9	6.3
	20～49人	28	21.4	3.6
	50人以上	30	16.7	0.0
事 業	通所系	43	34.9	0.0
	施設居住系	29	10.3	3.4
	訪問系	58	34.5	3.4

(2) 若年層との交流状況

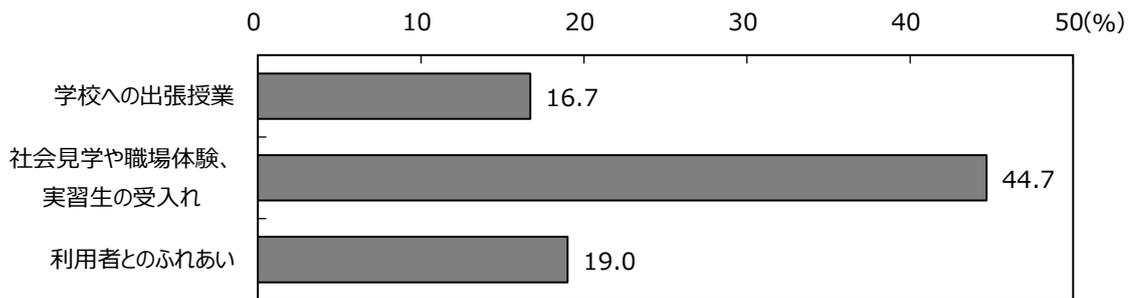
■ 令和元年度から現在までの、若年層（小学生・中学生・高校生・大学や専門学校生）との交流状況を教えてください。（それぞれ該当するものに○、その他は該当がある場合は記述）

n=132

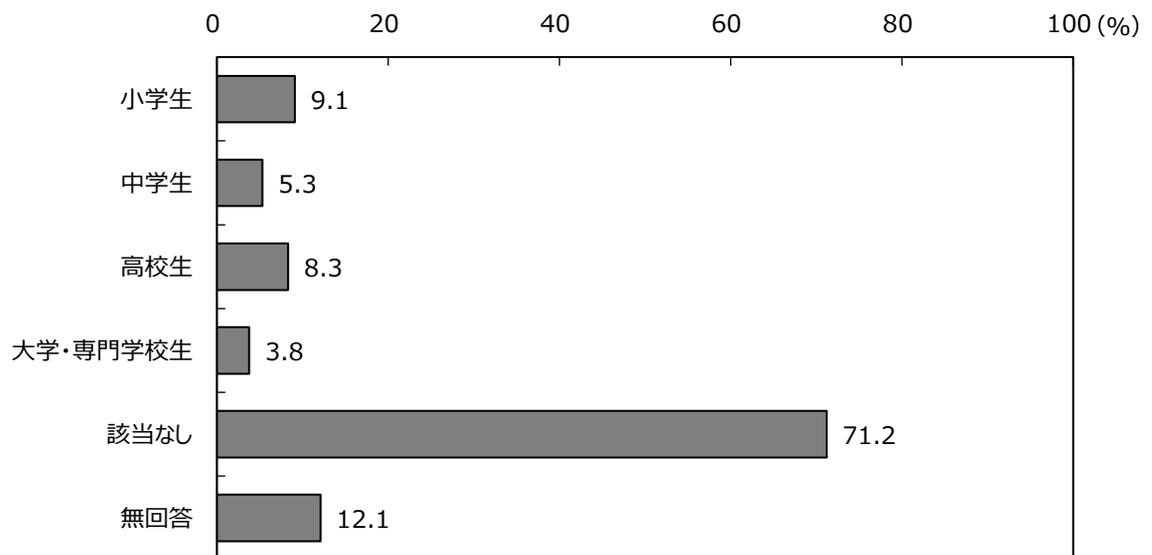
交流している割合（「全体」-「該当なし」-「無回答」）をみると、「学校への出張授業」が16.7%、「社会見学や職場体験、実習生の受入れ」が44.7%、「利用者とのふれあい」が19.0%となっています。「社会見学や職場体験、実習生の受入れ」については、「中学生」が26.5%、「大学・専門学校生」が25.0%となっています。

従業員数別でみると、50人以上はすべての項目で「実施している」の割合が他と比べて高くなっています。

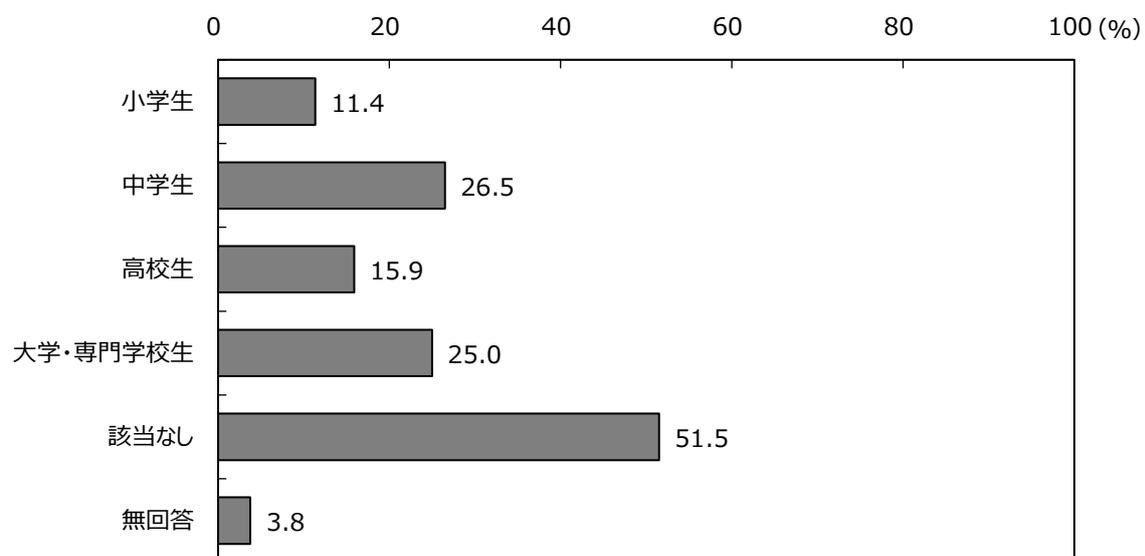
○交流している割合



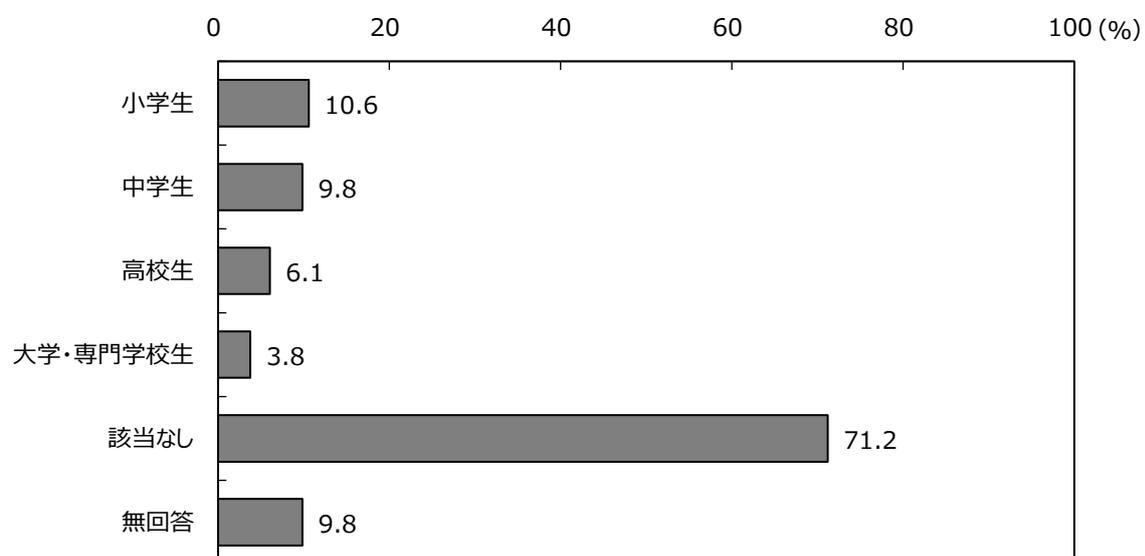
○学校への出張授業



○社会見学や職場体験、実習生の受入れ



○利用者とのふれあい（ボランティア、学生の発表見学、利用者の創作物を学校に提供等）



○「交流している」の割合

単位：%

		n	学校への出張授業	社会見学や職場体験、実習生の受入れ	利用者とのふれあい（ボランティア、学生の発表見学、利用者の創作物を学校に提供等）
従業員数	9人以下	40	7.5	22.5	5.0
	10～19人	32	9.4	43.8	21.9
	20～49人	28	10.7	35.7	21.4
	50人以上	30	43.3	83.3	33.3
事業	通所系	43	20.9	58.1	25.6
	施設居住系	29	31.0	72.4	34.5
	訪問系	58	6.9	20.7	5.2

6 高齢者福祉等について

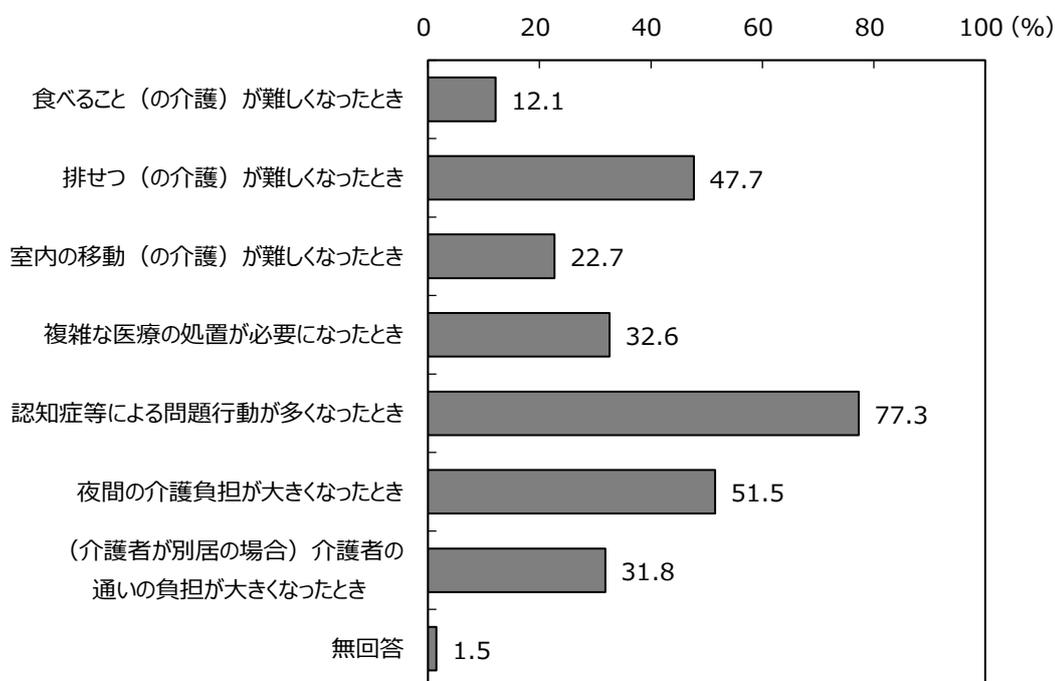
(1) 在宅での介護を断念し施設等へ入所する理由

- ご本人や家族等が特に、どのようなことで、自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

n=132

「認知症等による問題行動が多くなったとき」が 77.3%と最も高く、次いで「夜間の介護負担が大きくなったとき」が 51.5%、「排せつ（の介護）が難しくなったとき」が 47.7%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「認知症等による問題行動が多くなったとき」「夜間の介護負担が大きくなったとき」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

	n	食べること（の介護）が難しくなったとき	排せつ（の介護）が難しくなったとき	室内の移動（の介護）が難しくなったとき	複雑な医療の処置が必要になったとき	認知症等による問題行動が多くなったとき	夜間の介護負担が大きくなったとき	（介護者が別居の場合）介護者の通いの負担が大きくなったとき	無回答	
従業員数	9人以下	40	17.5	50.0	30.0	40.0	72.5	42.5	25.0	0.0
	10～19人	32	9.4	40.6	15.6	37.5	65.6	43.8	40.6	6.3
	20～49人	28	14.3	57.1	14.3	25.0	82.1	57.1	46.4	0.0
	50人以上	30	6.7	43.3	30.0	23.3	90.0	66.7	20.0	0.0
事業	通所系	43	20.9	46.5	30.2	32.6	76.7	39.5	23.3	0.0
	施設居住系	29	3.4	62.1	24.1	13.8	93.1	69.0	27.6	0.0
	訪問系	58	10.3	43.1	17.2	39.7	69.0	53.4	37.9	3.4

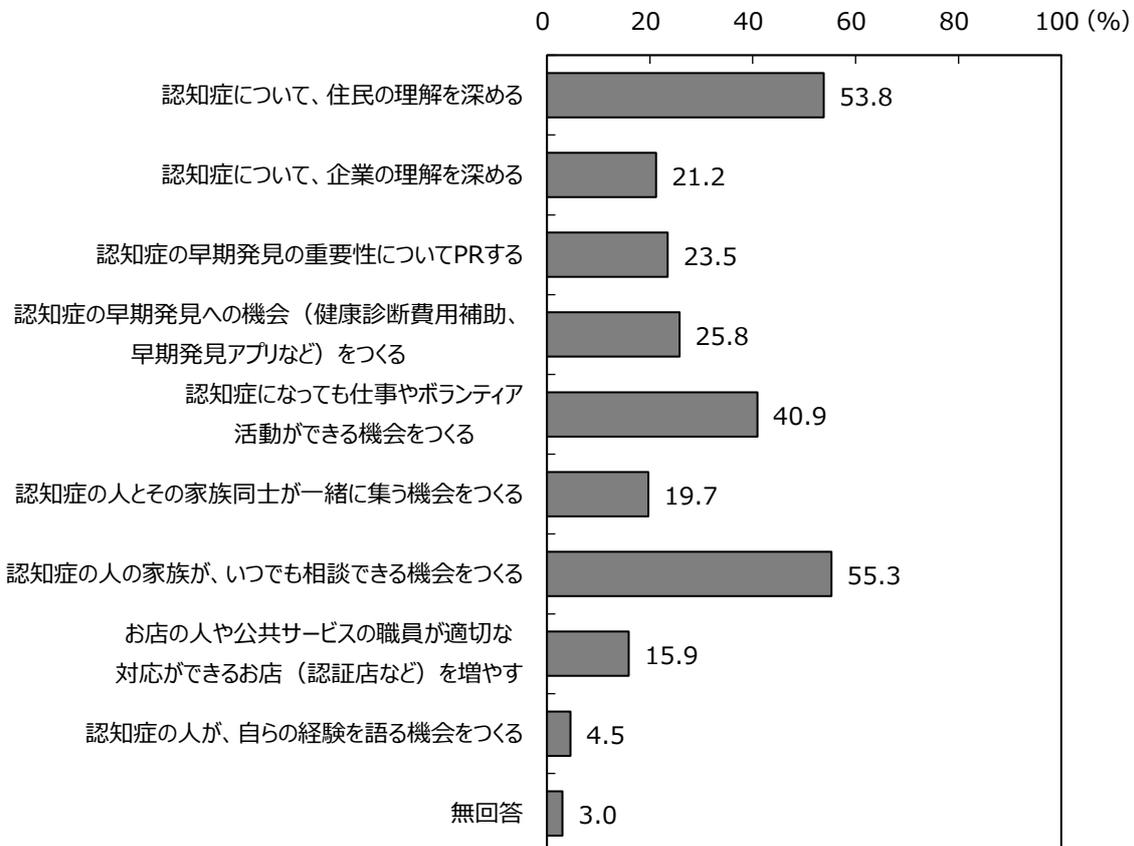
(2) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

n=132

「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」(55.3%)、「認知症について、住民の理解を深める」(53.8%)、「認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる」(40.9%)が高くなっています。

事業別でみると、施設居住系は「認知症について、住民の理解を深める」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	認知症について、住民の理解を深める	認知症について、企業の理解を深める	認知症の早期発見の重要性についてPRする	認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる	認知症になって仕事やボランティア活動ができる機会をつくる	認知症の人と家族同士が一緒に集う機会をつくる	認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる	お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店（認証店など）を増やす	認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる	無回答
従業員数	9人以下	40	40.0	17.5	15.0	20.0	45.0	22.5	62.5	20.0	7.5	2.5
	10～19人	32	50.0	28.1	28.1	25.0	37.5	15.6	53.1	3.1	3.1	9.4
	20～49人	28	64.3	25.0	28.6	25.0	39.3	25.0	53.6	7.1	3.6	0.0
	50人以上	30	66.7	16.7	23.3	33.3	43.3	16.7	50.0	26.7	3.3	0.0
事業	通所系	43	58.1	25.6	27.9	23.3	39.5	11.6	46.5	18.6	2.3	4.7
	施設居住系	29	75.9	10.3	24.1	31.0	41.4	24.1	55.2	20.7	3.4	0.0
	訪問系	58	39.7	24.1	19.0	25.9	39.7	24.1	62.1	12.1	6.9	3.4

第6章 ケアマネジャーアンケート

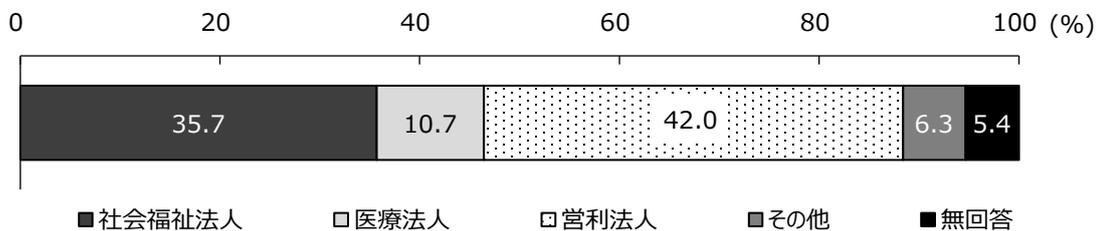
1 回答者の法人について

(1) 所属する法人等

■ 所属する法人等 (○は1つ)

n=112

「営利法人」が 42.0%、「社会福祉法人」が 35.7%、「医療法人」が 10.7%となっています。



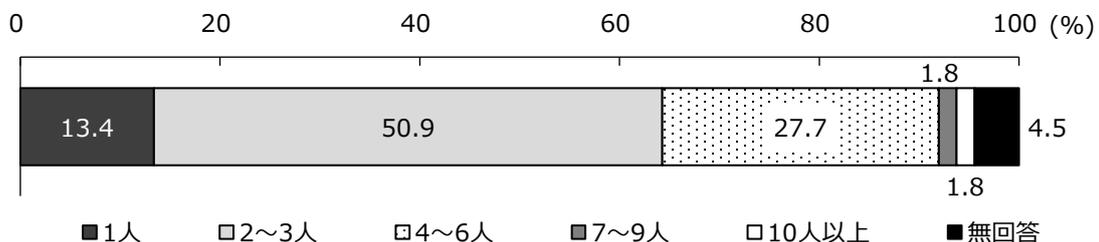
(2) 従事するケアマネジャーの人数

■ 豊田市内の貴事業所に従事するケアマネジャーは合計で何人ですか。(○は1つ)

※非常勤職員（兼務も含む）も、1人として換算してください。

n=112

「2～3人」が 50.9%と最も高く、次いで「4～6人」が 27.7%です。

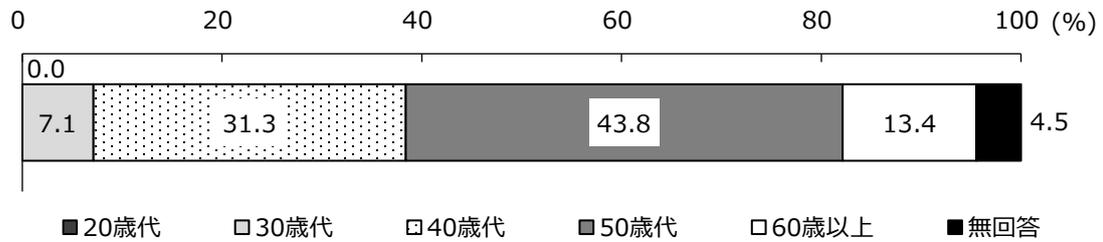


2 回答者の属性について

(1) 年齢

n=112

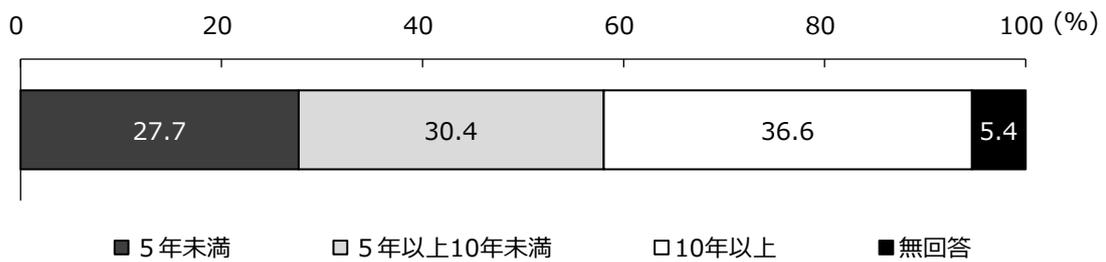
「50 歳代」が 43.8%と最も高く、次いで「40 歳代」が 31.3%です。



(2) 経験年数

n=112

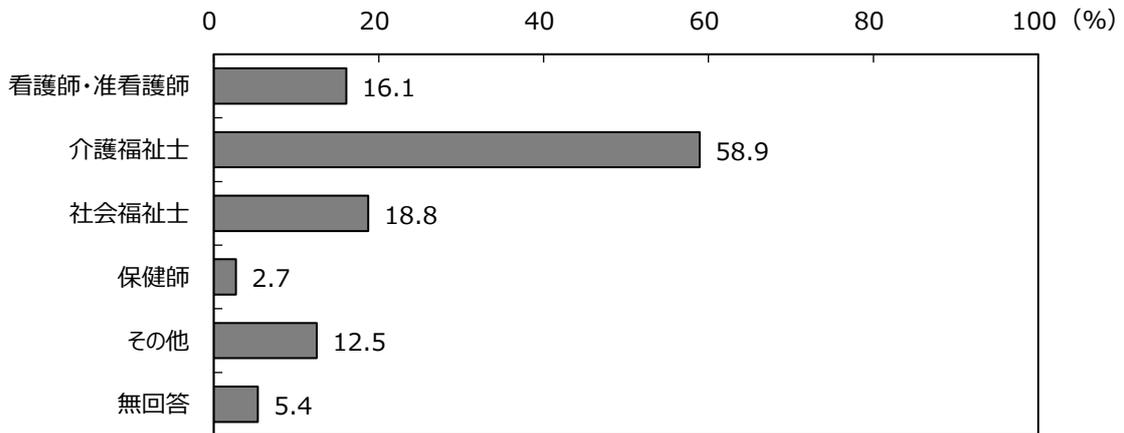
「10 年以上」が 36.6%、「5 年以上 10 年未満」が 30.4%となっています。



(3) 保有資格

n=112

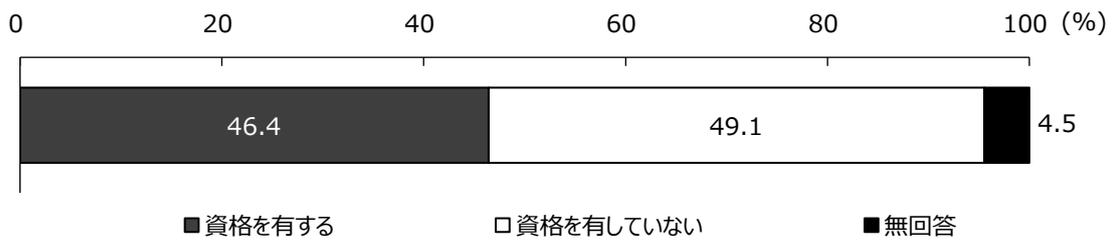
「介護福祉士」が 58.9%と最も高く、次いで「社会福祉士」が 18.8%、「看護師・准看護師」が 16.1%となっています。



(4) 主任ケアマネジャーの資格の有無

n=112

「資格を有していない」が 49.1%、「資格を有する」が 46.4%となっています。



3 業務やケアプランについて

(1) 仕事への満足度

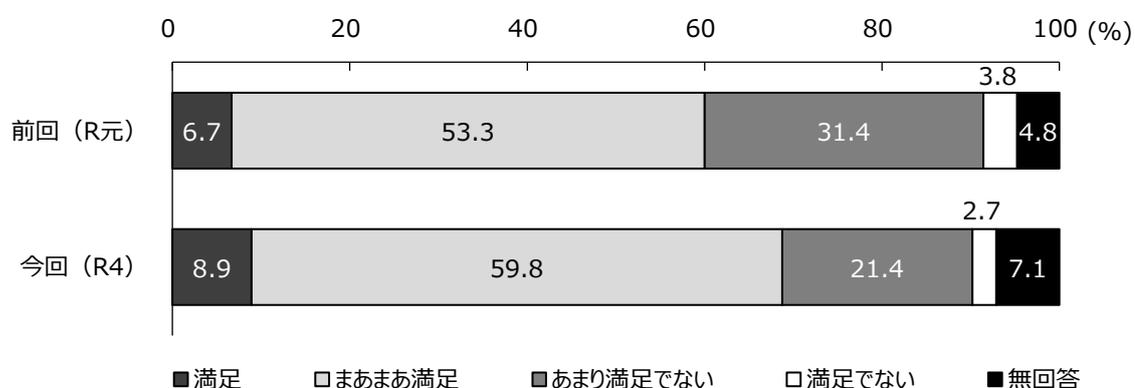
■ ケアマネジャーとして満足のいく仕事できていますか。(○は1つ)

n=112

「まあまあ満足」が 59.8%と最も高く、次いで「あまり満足でない」が 21.4%です。

前回と比べて「まあまあ満足」が増加し、「あまり満足でない」が減少しています。

経験年数別でみると、2年未満は「あまり満足でない」「満足でない」の割合が他と比べて高くなっています。



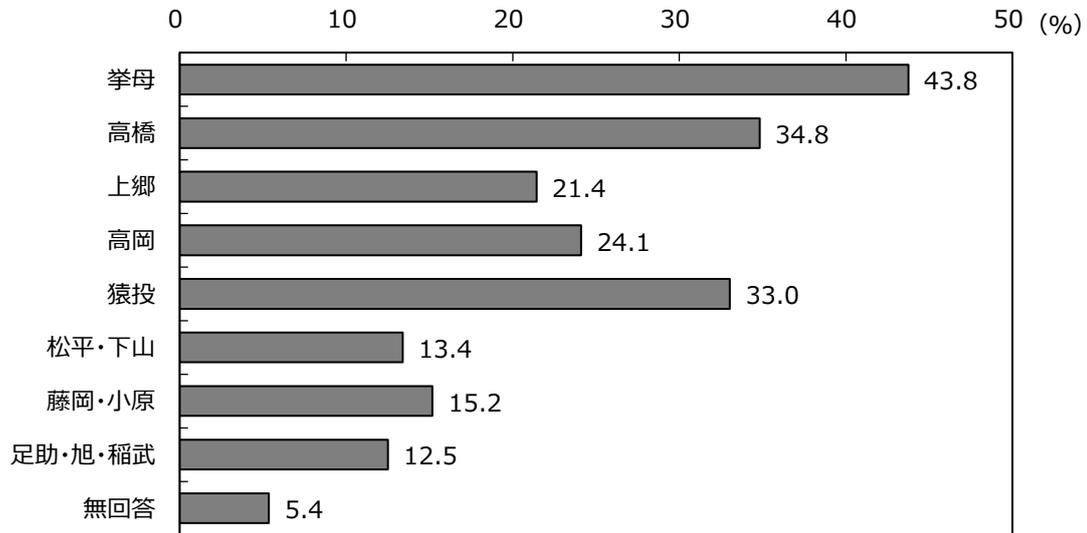
単位：%

		n	満足	まあまあ満足	あまり満足でない	満足でない	無回答
主任	資格有	52	11.5	63.5	23.1	0.0	1.9
	資格無	55	7.3	61.8	21.8	5.5	3.6
経験年数	2年未満	11	0.0	36.4	36.4	18.2	9.1
	2年以上5年未満	20	10.0	70.0	15.0	0.0	5.0
	5年以上10年未満	34	11.8	58.8	29.4	0.0	0.0
	10年以上	41	9.8	68.3	17.1	2.4	2.4

(2) 主な担当地区

n=112

「拳母」が 43.8%と最も高く、次いで「高橋」が 34.8%、「猿投」が 33.0%となっています。

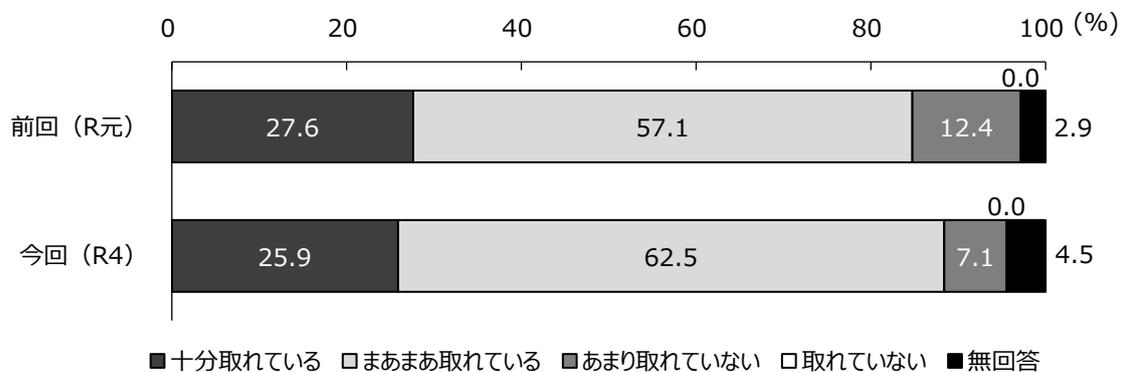


(3) 利用者宅への訪問時間

■ 利用者宅への訪問について、一人当たりの時間を十分に取れていますか。
(○は1つ)

n=112

「まあまあ取れている」が 62.5%と最も高く、次いで「十分取れている」が 25.9%です。前回と比べて、「まあまあ取れている」が増加し、「あまり取れていない」が減少しています。



(4) 担当している件数

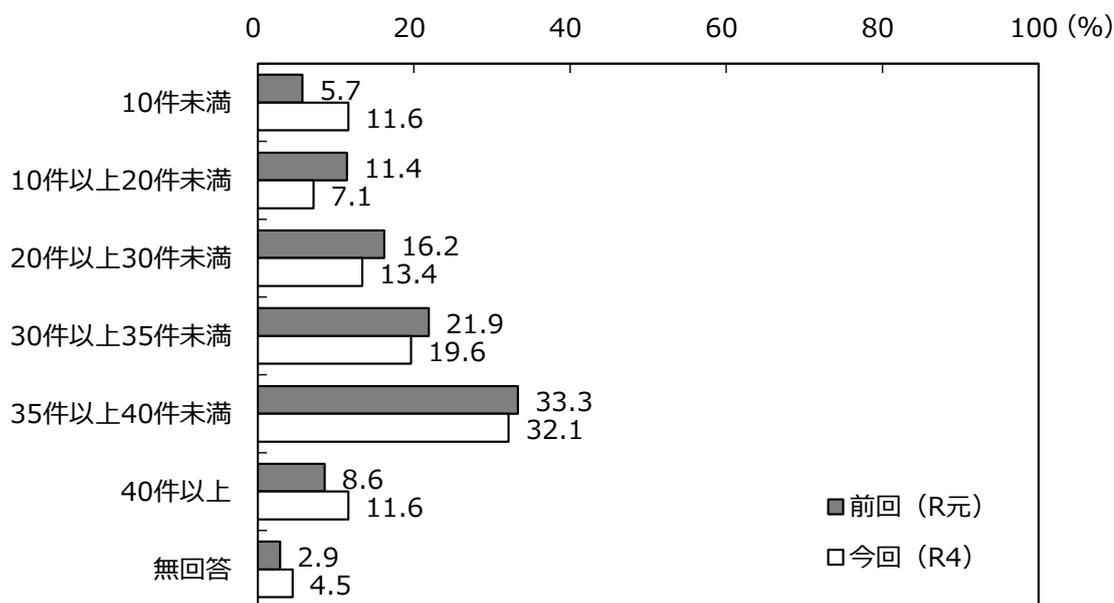
■ あなたが担当している件数 (○は1つ)

※地域包括支援センターからの委託分については「0.5」とカウントしてください。

n=112

「35件以上 40件未満」が32.1%と最も高く、次いで「30件以上 35件未満」が19.6%となっています。

前回と比べて、「10件未満」と「40件以上」がやや増加しています。



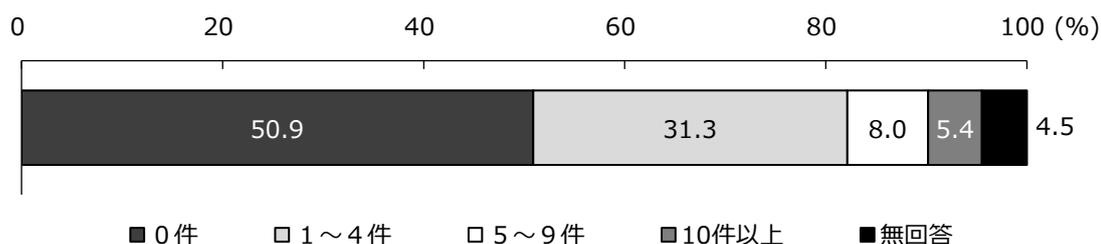
(5) 地域包括支援センターからの委託件数

■ あなたが担当している案件のうち地域包括支援センターから委託を受けている件数 (○は1つ)

※1件「1.0」とカウントしてください。

n=112

「0件」が50.9%と最も高く、次いで「1～4件」が31.3%です。

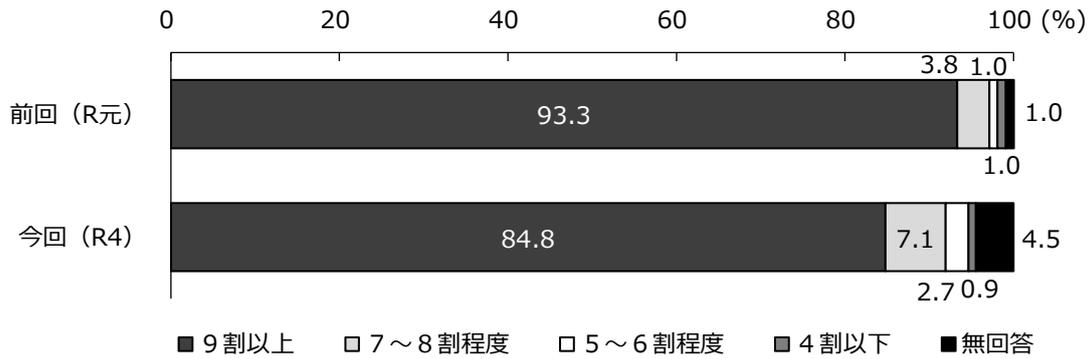


(6) 「ケアプラン」について

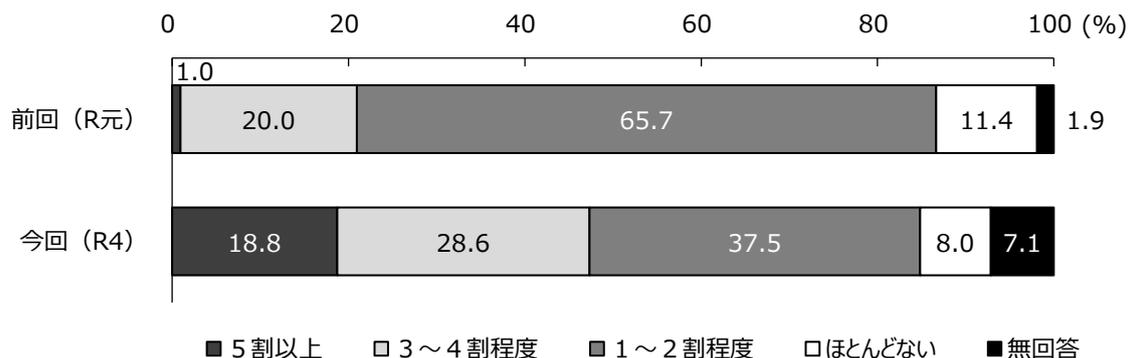
■ 「ケアプラン」について、次の①から④まで教えてください。(○はそれぞれ1つ)

n=112

①サービス担当者会議で利用者や家族が出席する割合
「9割以上」が84.8%で、前回と比べて減少しています。



②民間事業者（配食、生活支援）のサービスをケアプランに記載している割合
「1～2割程度」が37.5%と最も高く、次いで「3～4割程度」が28.6%です。
前回と比べて「5割以上」「3～4割程度」が増加しています。
主任資格別でみると、資格有は「5割以上」の割合が資格無と比べて高くなっています。



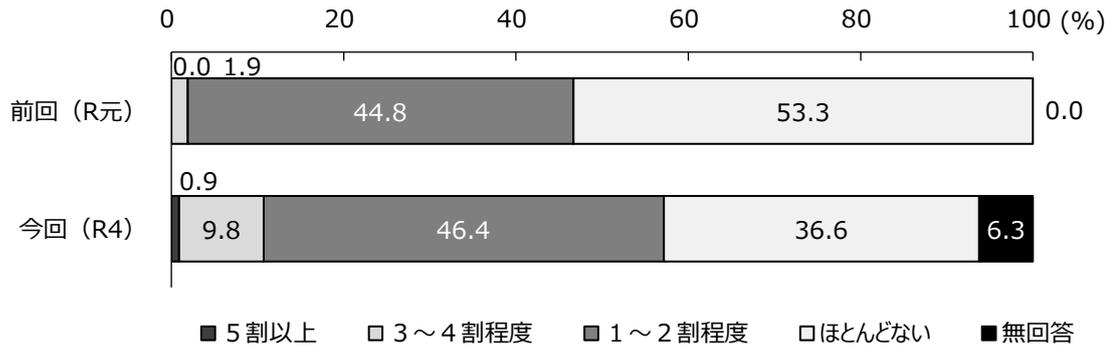
単位：%

		n	5割以上	3～4割程度	1～2割程度	ほとんどない	無回答
主任	資格有	52	23.1	30.8	34.6	1.9	9.6
	資格無	55	12.7	27.3	41.8	12.7	5.5
経 験 年 数	2年未満	11	18.2	27.3	54.5	0.0	0.0
	2年以上5年未満	20	15.0	40.0	35.0	10.0	0.0
	5年以上10年未満	34	20.6	23.5	38.2	11.8	5.9
	10年以上	41	17.1	26.8	36.6	4.9	14.6

③地域住民の助け合いや見守り、ボランティア団体などをケアプランに記載している割合

「1～2割程度」が46.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」が36.6%です。前回と比べて、「3～4割程度」が増加し、「ほとんどない」が減少しています。

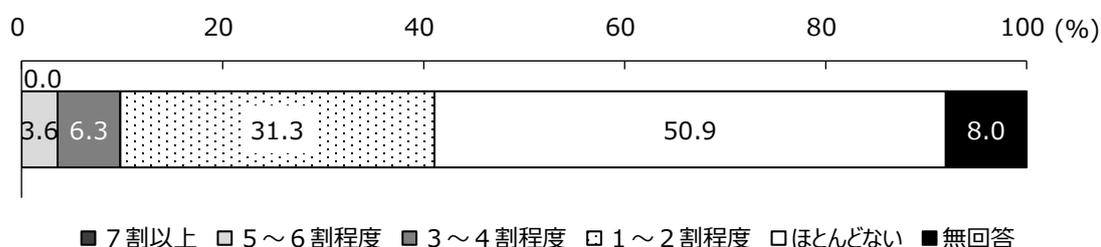
経験年数別でみると、2年未満は「ほとんどない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	5割以上	3～4割程度	1～2割程度	ほとんどない	無回答
主任	資格有	52	1.9	7.7	53.8	28.8	7.7
	資格無	55	0.0	9.1	40.0	45.5	5.5
経験年数	2年未満	11	0.0	0.0	36.4	63.6	0.0
	2年以上5年未満	20	0.0	15.0	45.0	40.0	0.0
	5年以上10年未満	34	0.0	5.9	61.8	26.5	5.9
	10年以上	41	2.4	9.8	39.0	36.6	12.2

④ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に取り組んでいる利用者の割合
「ほとんどない」が50.9%と最も高く、次いで「1～2割程度」が31.3%です。
経験年数別でみると、2年未満は「ほとんどない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	7割以上	5～6割程度	3～4割程度	1～2割程度	ほとんどない	無回答
主任	資格有	52	0.0	3.8	5.8	34.6	44.2	11.5
	資格無	55	0.0	3.6	5.5	27.3	58.2	5.5
経験年数	2年未満	11	0.0	0.0	9.1	18.2	72.7	0.0
	2年以上5年未満	20	0.0	5.0	0.0	45.0	50.0	0.0
	5年以上10年未満	34	0.0	2.9	5.9	29.4	55.9	5.9
	10年以上	41	0.0	4.9	4.9	29.3	43.9	17.1

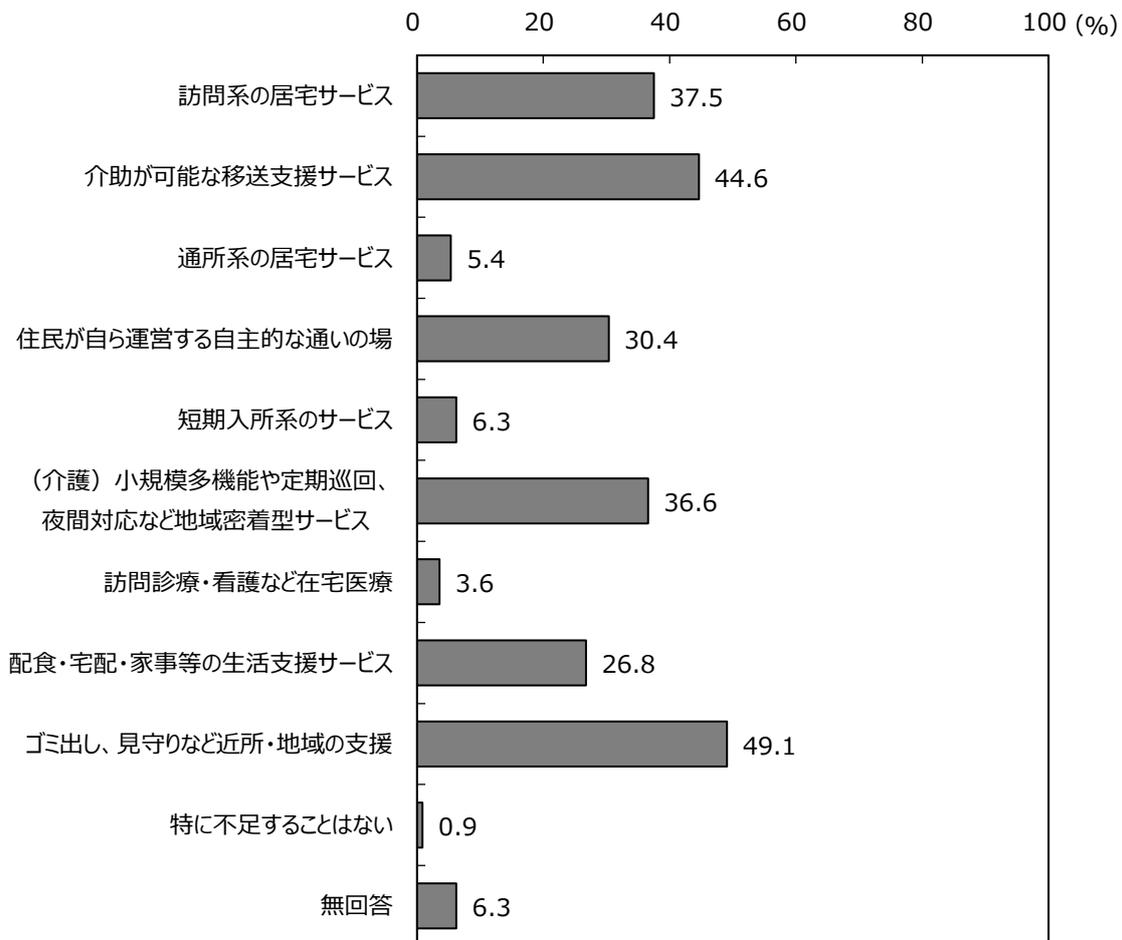
(7) 在宅介護において不足していると感じるサービスや支援

■ 在宅介護において、ケアプラン作成でどのようなサービスや支援が特に不足していると感じますか。(○は3つまで)

n=112

「ゴミ出し、見守りなど近所・地域の支援」が 49.1%と最も高く、次いで「介助が可能な移送支援サービス」が 44.6%、「訪問系の居宅サービス」が 37.5%、「(介護)小規模多機能や定期巡回、夜間対応など地域密着型サービス」が 36.6%、「住民が自ら運営する自主的な通いの場」が 30.4%となっています。

主任資格別で見ると、資格有は「(介護)小規模多機能や定期巡回、夜間対応など地域密着型サービス」の割合が資格無と比べて高くなっています。



単位：%

		n	訪問系の居宅サービス	介助が可能な移送支援サービス	通所系の居宅サービス	住民が自ら運営する自主的な通いの場	短期入所系のサービス	(介護)小規模多機能や定期巡回、夜間対応など地域密着型サービス	訪問診療・看護など在宅医療	配食・宅配・家事等の生活支援サービス	ゴミ出し、見守りなど近所・地域の支援
資格	資格有	52	38.5	50.0	3.8	21.2	3.8	44.2	1.9	19.2	48.1
	資格無	55	34.5	40.0	5.5	36.4	7.3	30.9	5.5	30.9	52.7
経験年数	2年未満	11	45.5	36.4	0.0	18.2	18.2	27.3	9.1	45.5	63.6
	2年以上5年未満	20	45.0	50.0	5.0	40.0	5.0	45.0	5.0	35.0	45.0
	5年以上10年未満	34	32.4	38.2	2.9	35.3	2.9	38.2	2.9	20.6	50.0
	10年以上	41	31.7	51.2	7.3	19.5	4.9	36.6	2.4	17.1	51.2

単位：%

		n	特に不足することはない	無回答
主任	資格有	52	1.9	7.7
	資格無	55	0.0	5.5
経験年数	2年未満	11	0.0	0.0
	2年以上5年未満	20	0.0	0.0
	5年以上10年未満	34	0.0	5.9
	10年以上	41	2.4	12.2

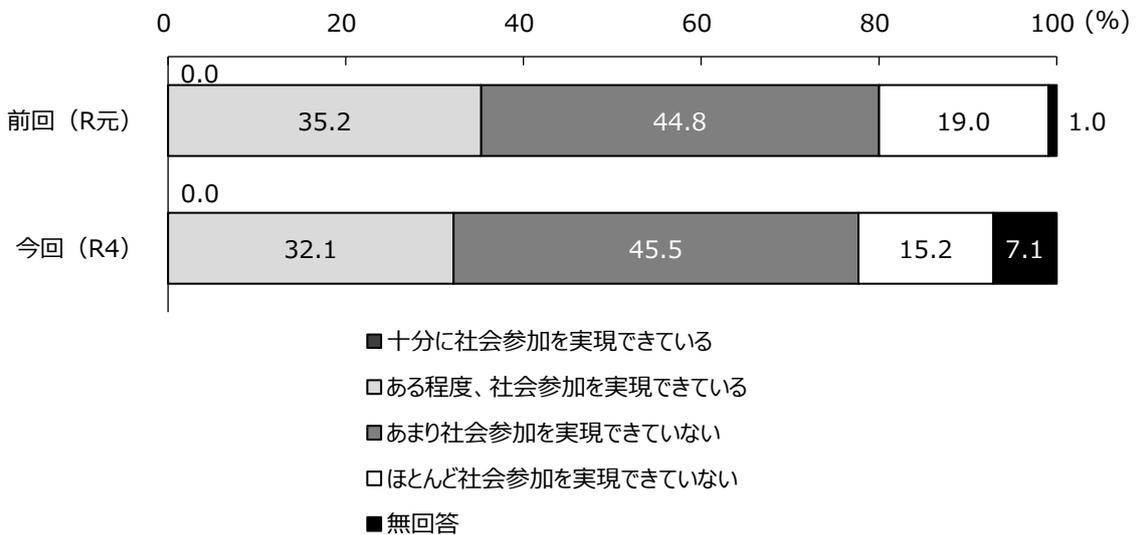
(8) 本人の社会参加の実現状況

■ ケアプランの PDCA をまわしていくことを通じて、本人の社会参加※を実現することができていますか。(○は1つ)
 ※ここでいう「社会参加」とは、介護保険サービスのみにかかわらず、高齢者が自宅の外で家族以外の人と接することと定義します。

n=112

「あまり社会参加を実現できていない」が 45.5%と最も高く、次いで「ある程度、社会参加を実現できている」が 32.1%です。

主任資格別で見ると、資格無は「あまり社会参加を実現できていない」の割合が資格有と比べて高くなっています。



単位：%

		n	十分に社会参加を実現できている	ある程度、社会参加を実現できている	あまり社会参加を実現できていない	ほとんど社会参加を実現できていない	無回答
主任	資格有	52	0.0	38.5	38.5	13.5	9.6
	資格無	55	0.0	27.3	49.1	18.2	5.5

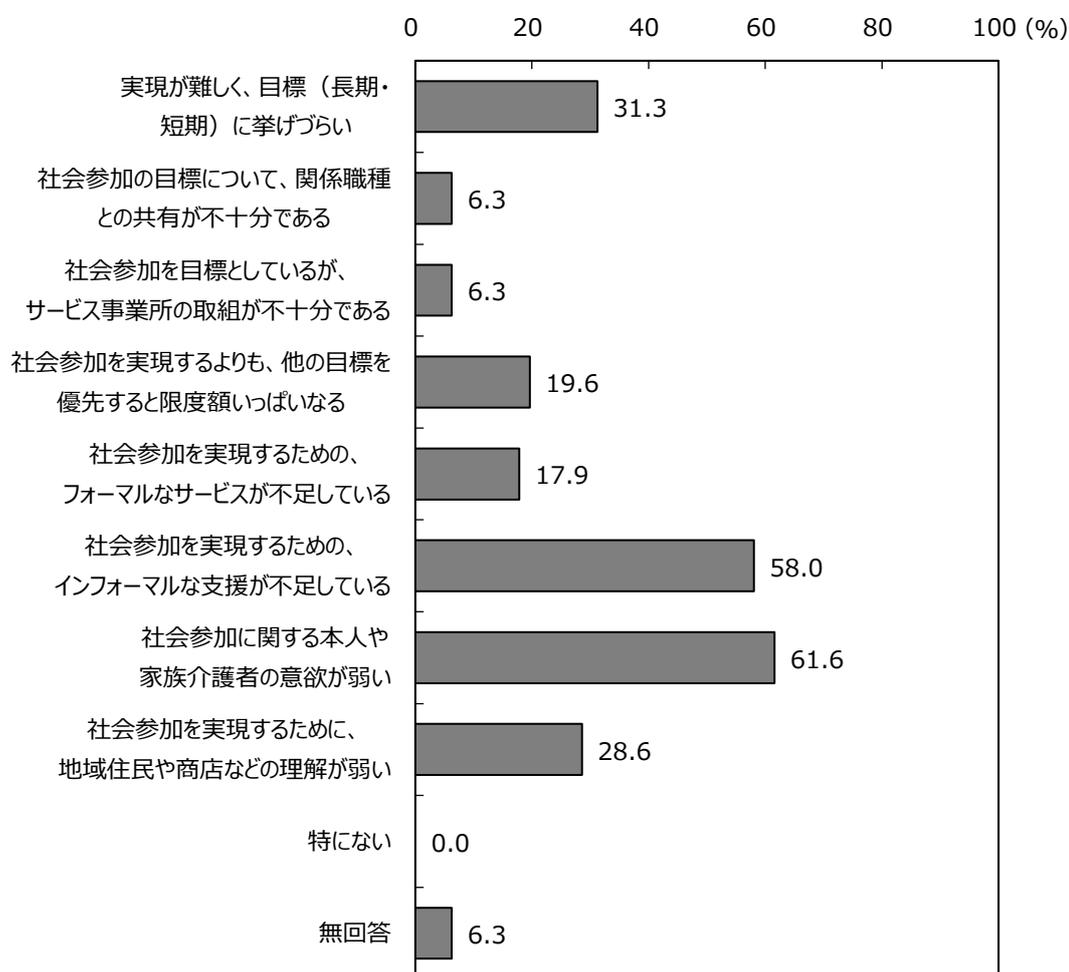
(9) 本人の社会参加の課題

■ ケアプランを作成するうえで、本人の社会参加について、特にどのような課題がありますか。(○は3つまで)

n=112

「社会参加に関する本人や家族介護者の意欲が弱い」(61.6%)、「社会参加を実現するための、インフォーマルな支援が不足している」(58.0%)が高くなっています。

主任資格別で見ると、資格有は「社会参加に関する本人や家族介護者の意欲が弱い」の割合が資格無と比べて高くなっています。



単位：%

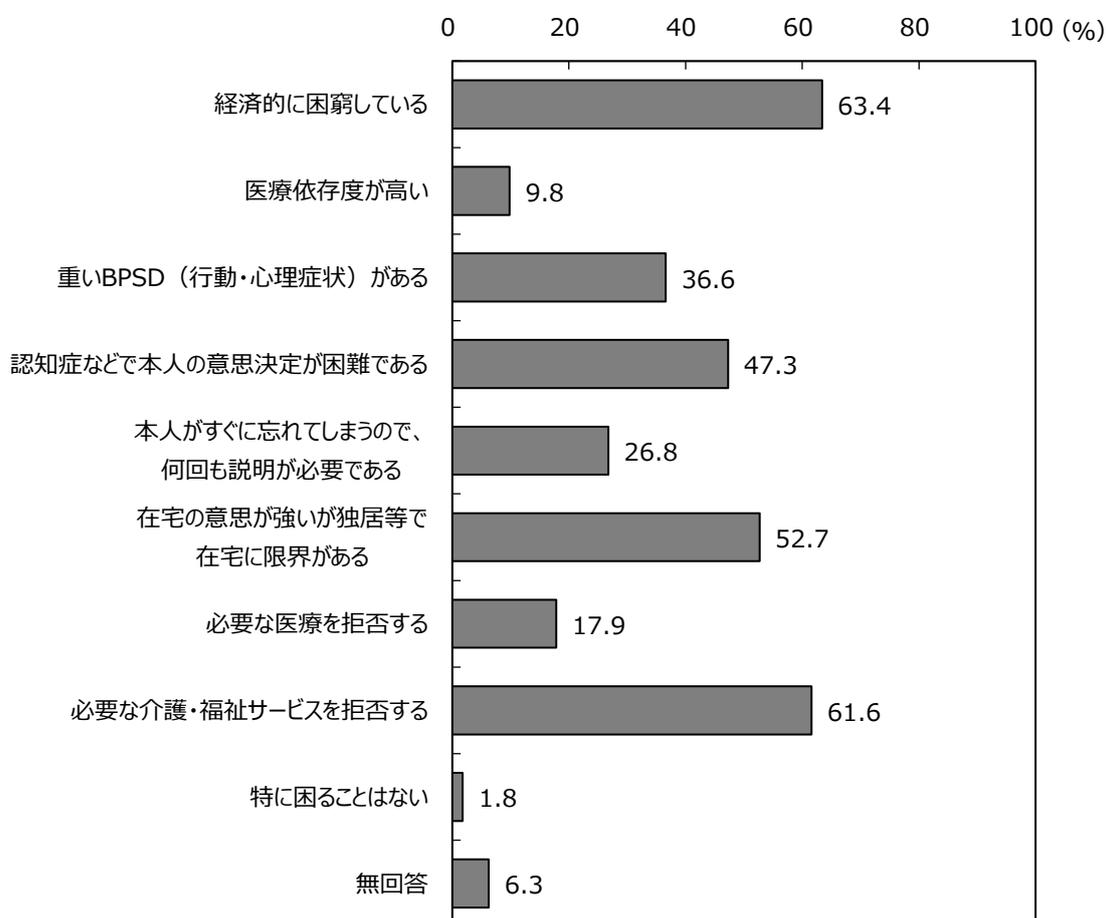
		n	実現が 難しく、 目標 (長期・ 短期)に 挙げづら い	社会参 加の目 標につい て、関係 職種との 共有が 不十分 である	社会参 加を目標 としている が、サー ビス事業 所の取 組が不 十分であ る	社会参 加を実現 するより も、他の 目標を優 先すると 限度額 いっぱい なる	社会参 加を実現 するため の、フォー マルな サービス が不足し ている	社会参 加を実現 するため の、イン フォーマル な支援が 不足して いる	社会参 加に関す る本人や 家族介 護者の 意欲が 弱い	社会参 加を実現 するため に、地域 住民や 商店など の理解が 弱い	特にな い	無回答
主 任	資格有	52	23.1	7.7	3.8	17.3	23.1	48.1	69.2	34.6	0.0	7.7
	資格無	55	38.2	5.5	7.3	21.8	10.9	63.6	56.4	25.5	0.0	5.5

(10) 「認定者本人」の各種相談やケアプラン作成などでの困難ケースの原因

- 「認定者本人」とのやり取りにおいて、各種相談やケアプラン作成などで「困った」と思うケースについて、主な原因はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

n=112

「経済的に困窮している」(63.4%)、「必要な介護・福祉サービスを拒否する」(61.6%)、「在宅の意思が強いが独居等で在宅に限界がある」(52.7%)、「認知症などで本人の意思決定が困難である」(47.3%)の順に高くなっています。

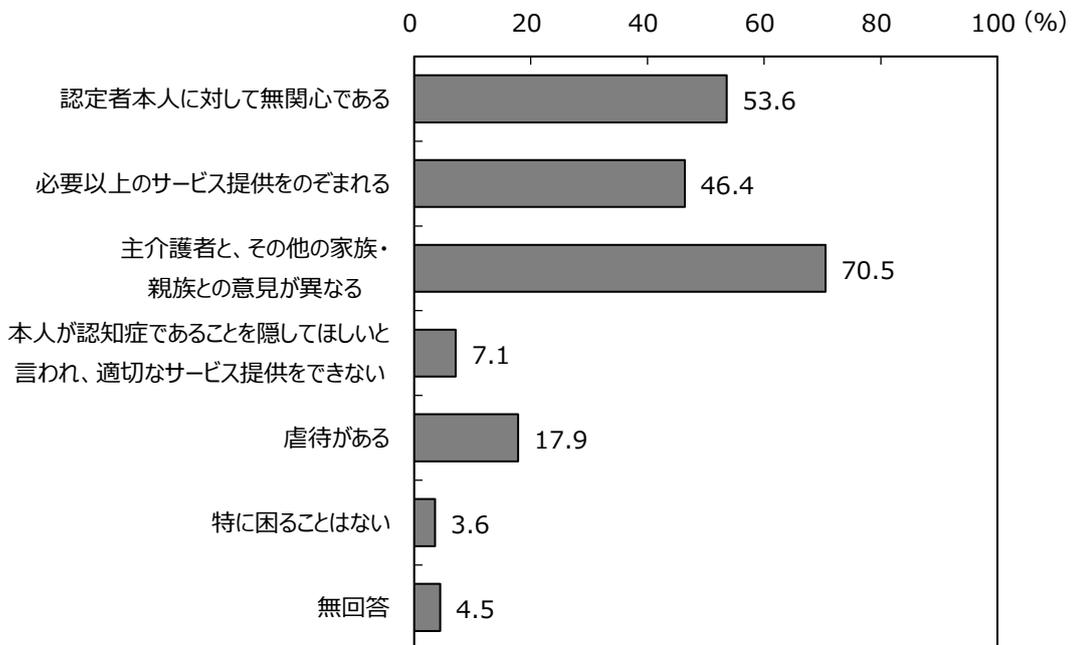


(11) 「認定者本人の家族」の各種相談やケアプラン作成などでの困難ケースの原因

■ 「認定者本人の家族」とのやり取りにおいて、各種相談やケアプラン作成などで「困った」と思うケースについて、主な原因はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

n=112

「主介護者と、その他の家族・親族との意見が異なる」が 70.5%と最も高く、次いで「認定者本人に対して無関心である」が 53.6%、「必要以上のサービス提供をのぞまれる」が 46.4%となっています。

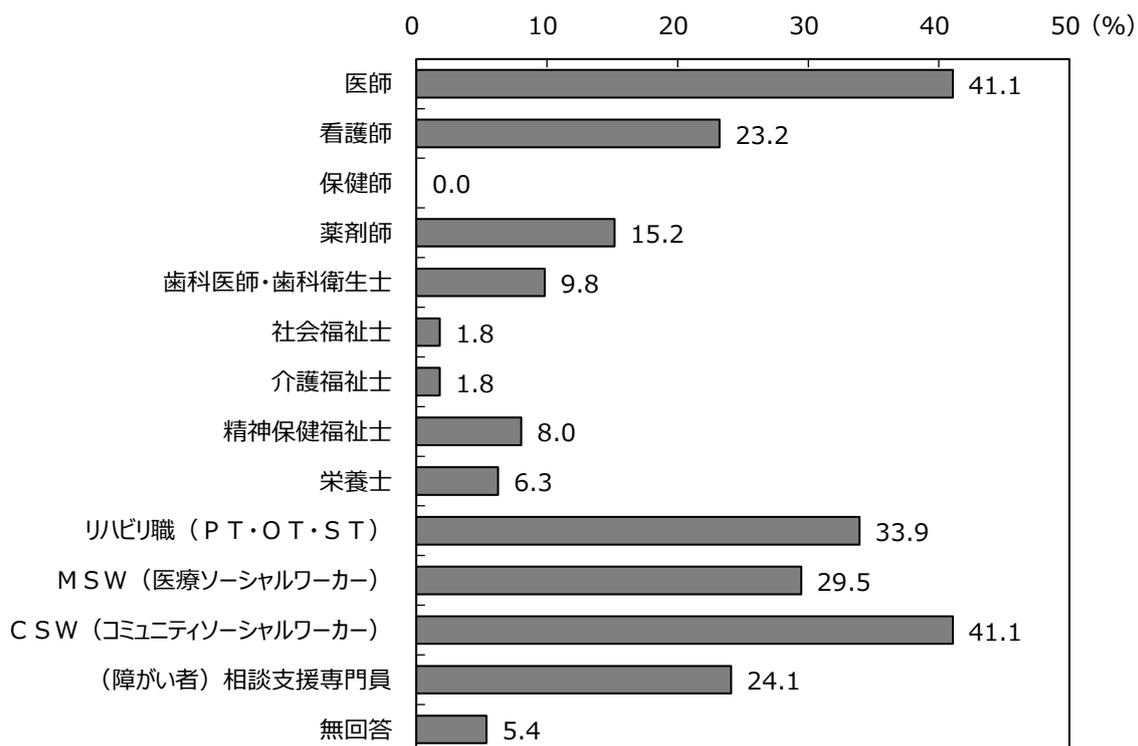


(12) 今後、連携を深めたい職種

■ 今後、連携を特に深めたい職種はありますか。(○は3つまで)

n=112

「医師」(41.1%)、「CSW」(41.1%)、「リハビリ職」(33.9%)、「MSW」(29.5%)の順に高くなっています。



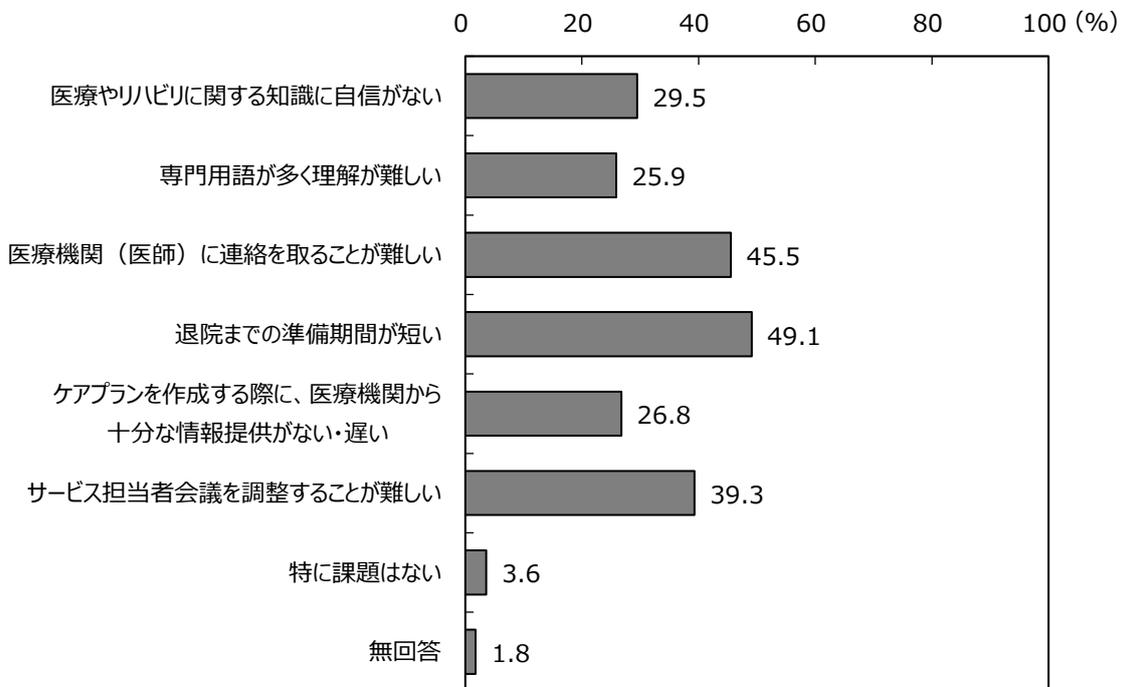
(13) 医療と連携する上での主な課題

■ 医療と連携する上で、主な課題はどのようなことですか。(○は3つまで)

n=112

「退院までの準備期間が短い」(49.1%)、「医療機関(医師)に連絡を取ることが難しい」(45.5%)、「サービス担当者会議を調整することが難しい」(39.3%)の順に高くなっています。

主任資格別で見ると、資格有は「退院までの準備期間が短い」の割合が資格無と比べて高くなっています。一方で資格無は「医療やリハビリに関する知識に自信がない」の割合が資格有と比べて高くなっています。



単位：%

	n	医療やリハビリに関する知識に自信がない	専門用語が多く理解が難しい	医療機関(医師)に連絡を取ることが難しい	退院までの準備期間が短い	ケアプランを作成する際に、医療機関から十分な情報提供がない・遅い	サービス担当者会議を調整することが難しい	特に課題はない	無回答
主任 資格有	52	19.2	23.1	46.2	57.7	28.8	32.7	3.8	3.8
主任 資格無	55	36.4	30.9	45.5	38.2	25.5	43.6	3.6	0.0

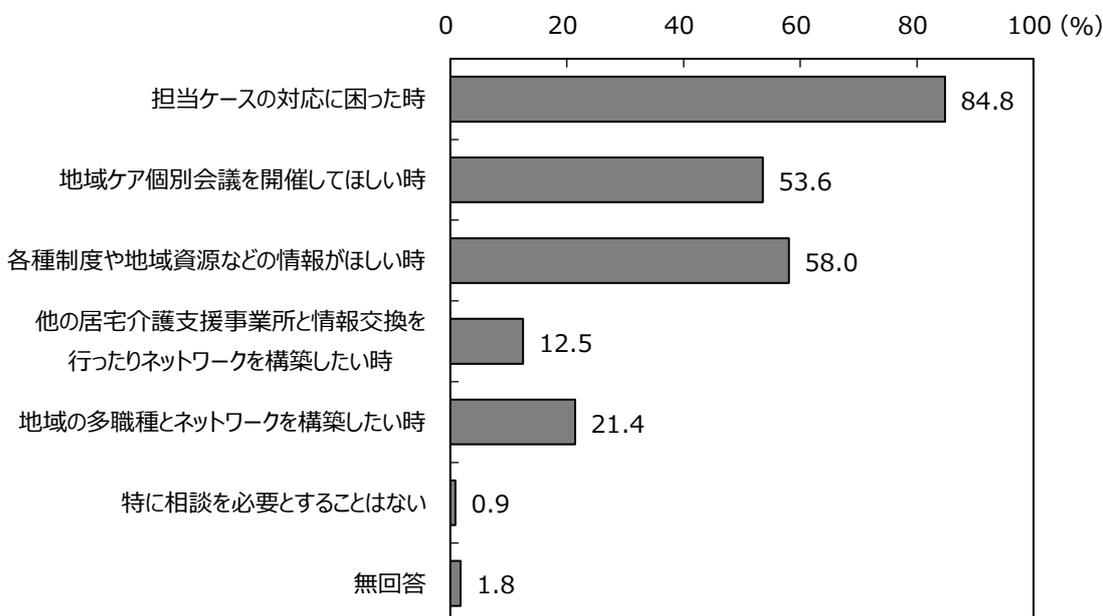
(14) 地域包括支援センターに相談したいとき

■ 地域包括支援センターにどのような時に相談したいと思いますか。(○は3つまで)

n=112

「担当ケースの対応に困った時」が 84.8%と最も高く、次いで「各種制度や地域資源などの情報がほしい時」が 58.0%、「地域ケア個別会議を開催してほしい時」が 53.6%となっています。

主任資格別でみると、資格有は「地域ケア個別会議を開催してほしい時」の割合が資格無と比べて高くなっています。



単位：%

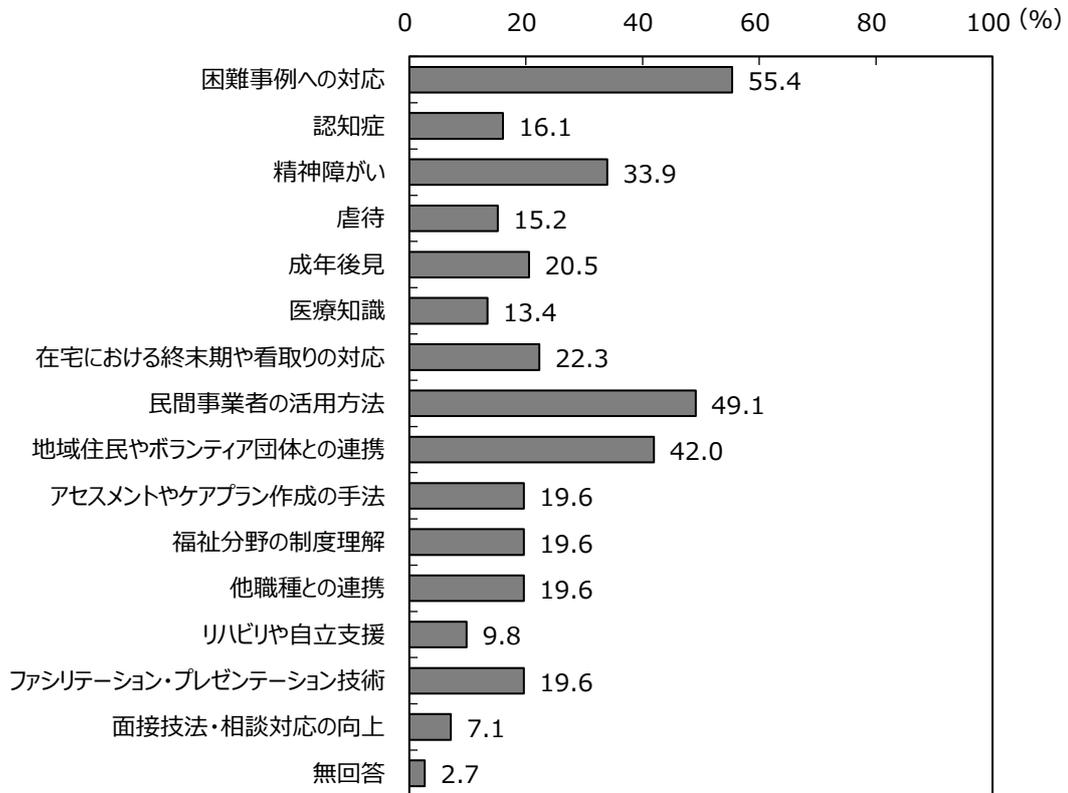
		n	担当ケースの対応に困った時	地域ケア個別会議を開催してほしい時	各種制度や地域資源などの情報がほしい時	他の居宅介護支援事業所と情報交換を行ったりネットワークを構築したい時	地域の多職種とネットワークを構築したい時	特に相談を必要とすることはない	無回答
主任	資格有	52	82.7	63.5	53.8	9.6	15.4	0.0	3.8
	資格無	55	85.5	41.8	61.8	16.4	27.3	1.8	0.0

(15) 豊田市でのケアマネジャー研修で充実すべきこと

■ 豊田市でケアマネジャーに対して、どのような研修を特に充実する必要がありますか。(〇は5つまで)

n=112

「困難事例への対応」(55.4%)、「民間事業者の活用方法」(49.1%)、「地域住民やボランティア団体との連携」(42.0%)、「精神障がい」(33.9%)の順に高くなっています。



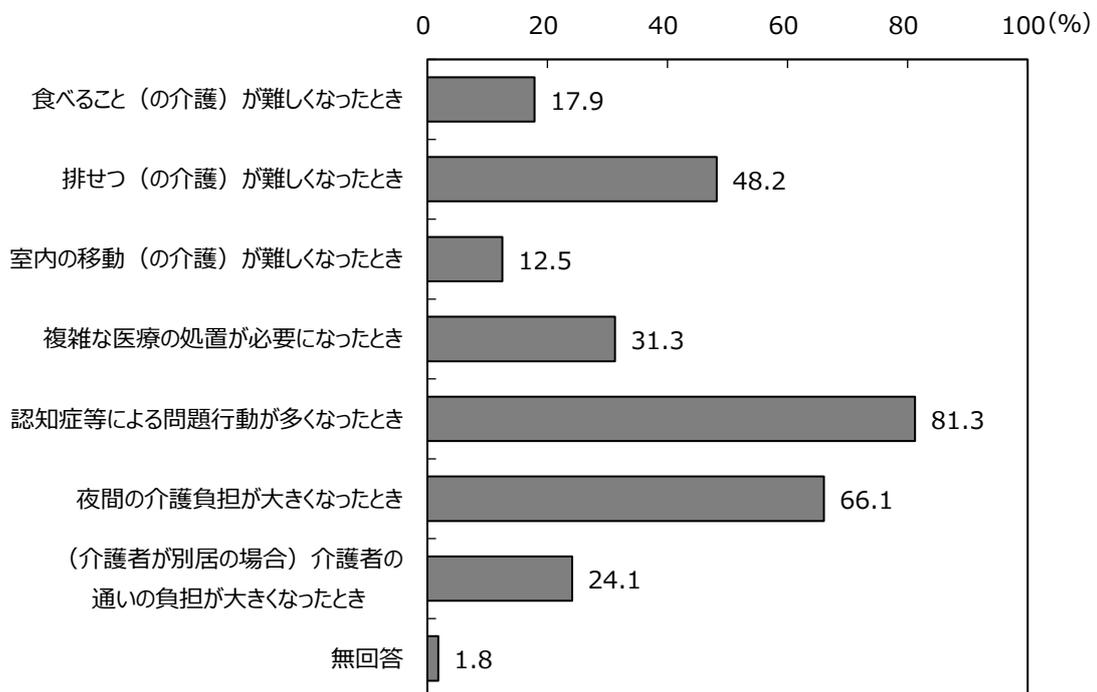
4 高齢者福祉等について

(1) 自宅での介護を断念し施設等へ入所する理由

- ご本人や家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

n=112

「認知症等による問題行動が多くなったとき」が 81.3%と最も高く、次いで「夜間の介護負担が大きくなったとき」が 66.1%、「排せつ（の介護）が難しくなったとき」が 48.2%となっています。

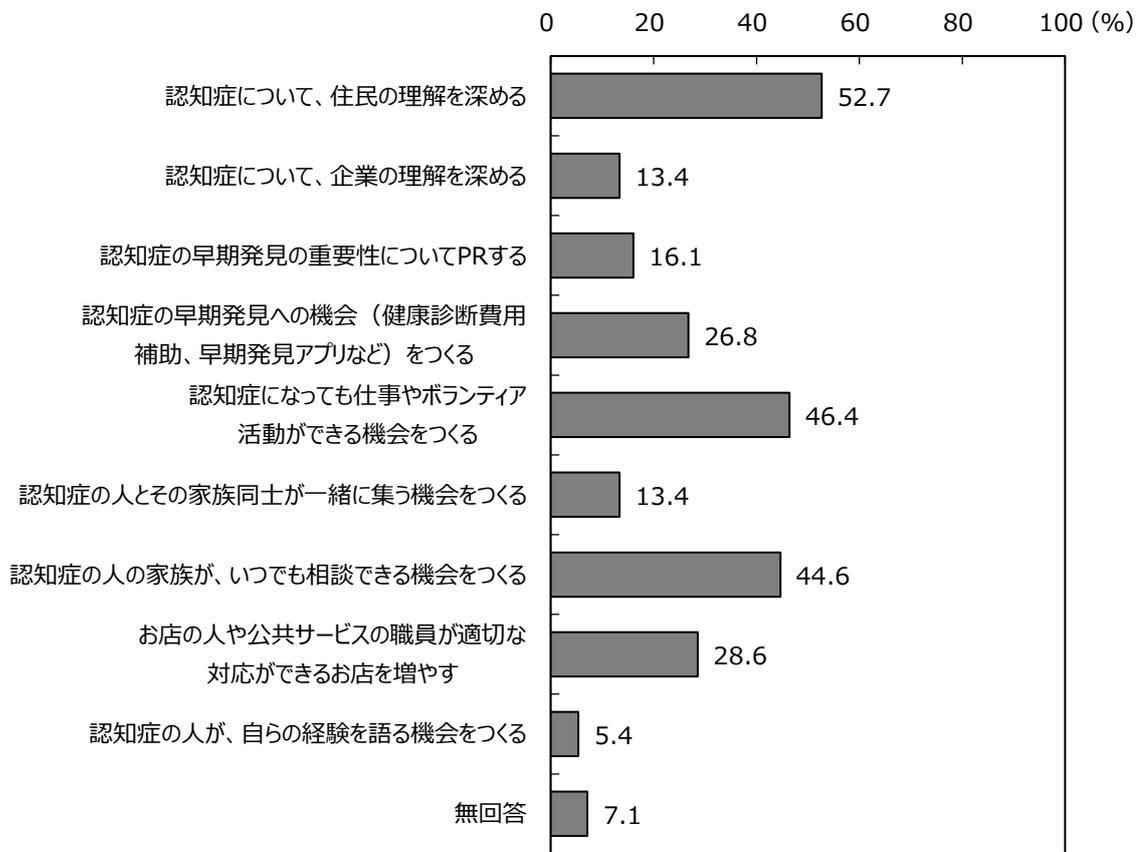


(2) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

n=112

「認知症について、住民の理解を深める」(52.7%)、「認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる」(46.4%)、「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」(44.6%)の順に高くなっています。



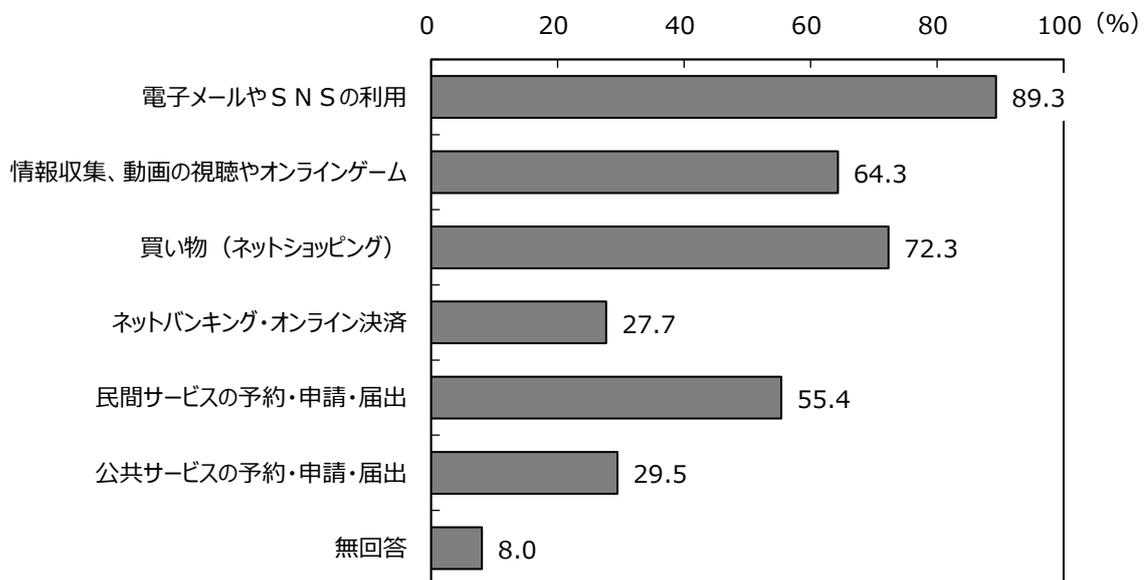
5 情報通信技術の活用について

(1) 普段利用しているインターネットサービス

- 業務かどうかに関わらず、あなたが利用しているインターネットサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

n=112

「電子メールやSNSの利用」が 89.3%、「買い物（ネットショッピング）」（72.3%）、「情報収集、動画の視聴やオンラインゲーム」（64.3%）、「民間サービスの予約・申請・届出」（55.4%）が特に高くなっています。

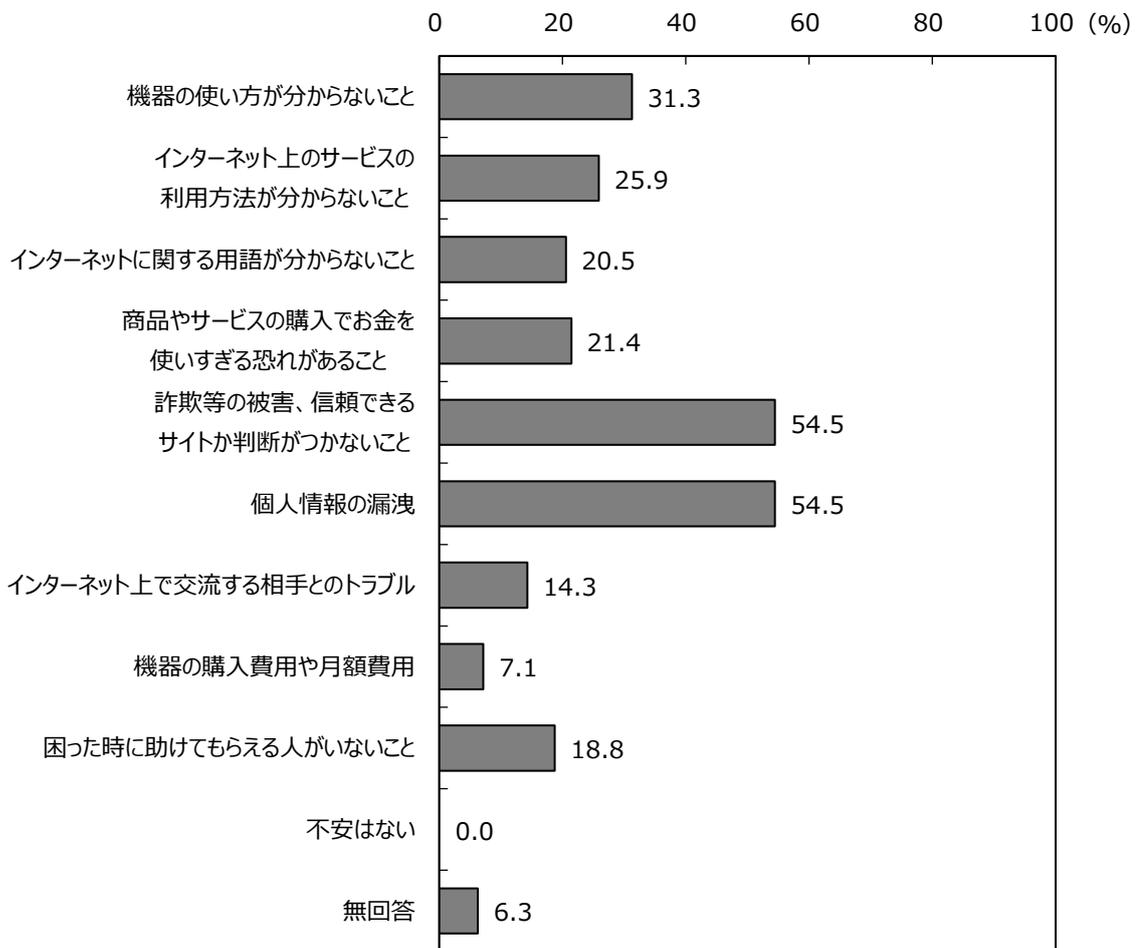


(2) インターネット利用の質問に対する不安や困ること

■ 業務かどうかに関わらず、あなたの身近な人や利用者からインターネット利用についての質問に答える時、あなたが不安なことや困ることは何ですか。(〇は3つまで)

n=112

「詐欺等の被害、信頼できるサイトか判断がつかないこと」(54.5%)、「個人情報の漏洩」(54.5%)が特に高くなっています。



第7章 統計データ・既存調査

1 人口と世帯

今後、本市の高齢者人口は増加します。中でも介護を必要とする人の割合が急増する85歳以上人口は、2020年から2040年にかけての20年間で2倍以上に増加する見込みです。

世帯については、2020年時点で、高齢者単独世帯が20.1%、高齢者夫婦世帯が27.0%となっており、合わせると高齢者を含む世帯の約半数となります。

将来推計人口（人）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
高齢者合計	98,149	103,275	107,349	112,542	119,903
65～74歳	52,151	44,176	43,104	47,827	54,819
75～84歳	33,379	42,861	42,871	36,679	36,214
85歳以上	12,619	16,238	21,374	28,036	28,870
高齢化率	23.1%	24.3%	25.4%	27.0%	29.3%

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（H30年推計）」

高齢者を含む世帯の状況

	高齢者単独世帯	高齢者夫婦世帯	高齢者同居世帯
世帯数	12,250	16,455	32,180
割合	20.1%	27.0%	52.9%

資料：総務省「国勢調査」（2020年）

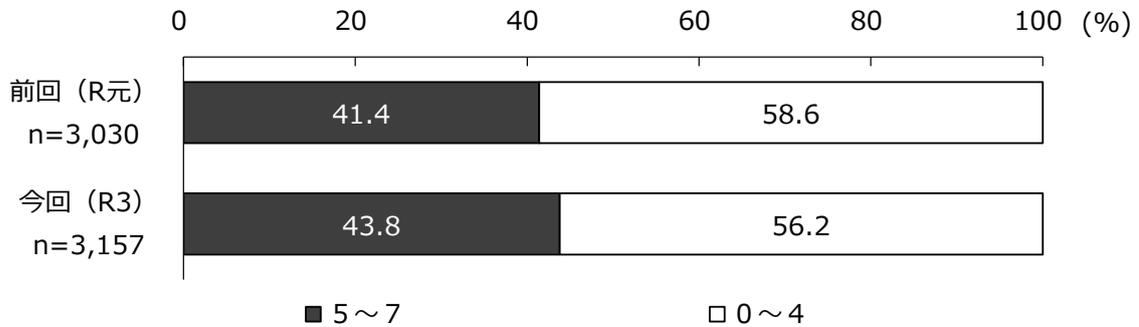
注：割合は「高齢者を含む世帯数」に占める各世帯の割合

2 関連アンケート調査

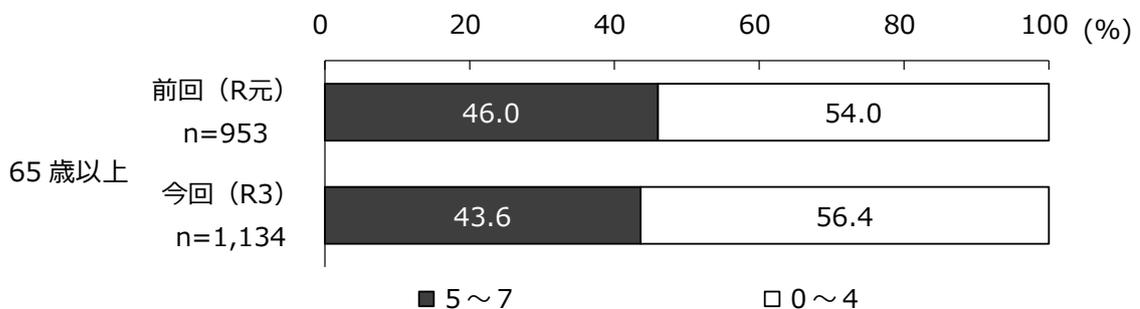
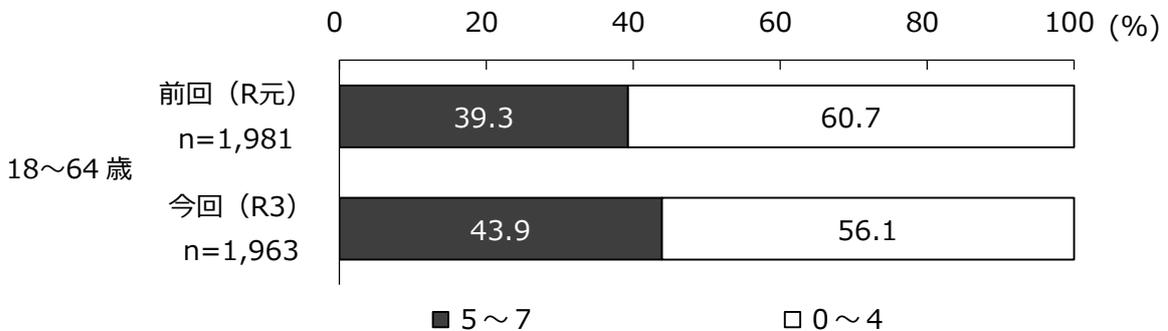
問 あなたは現状の豊田市のまちにどの程度満足していますか。満足度を7段階でお答えください。(各設問とも○はひとつ)

高齢者が安心して暮らすことのできるまちとしての満足度が「5～7」の割合がやや増加しています。世代別で比較すると、高齢者が前回とほぼ変わらないのに対して、現役世代が前回から上昇し、世代間で差がなくなっています。

・高齢者が安心して暮らすことのできるまちについて



【世代別】

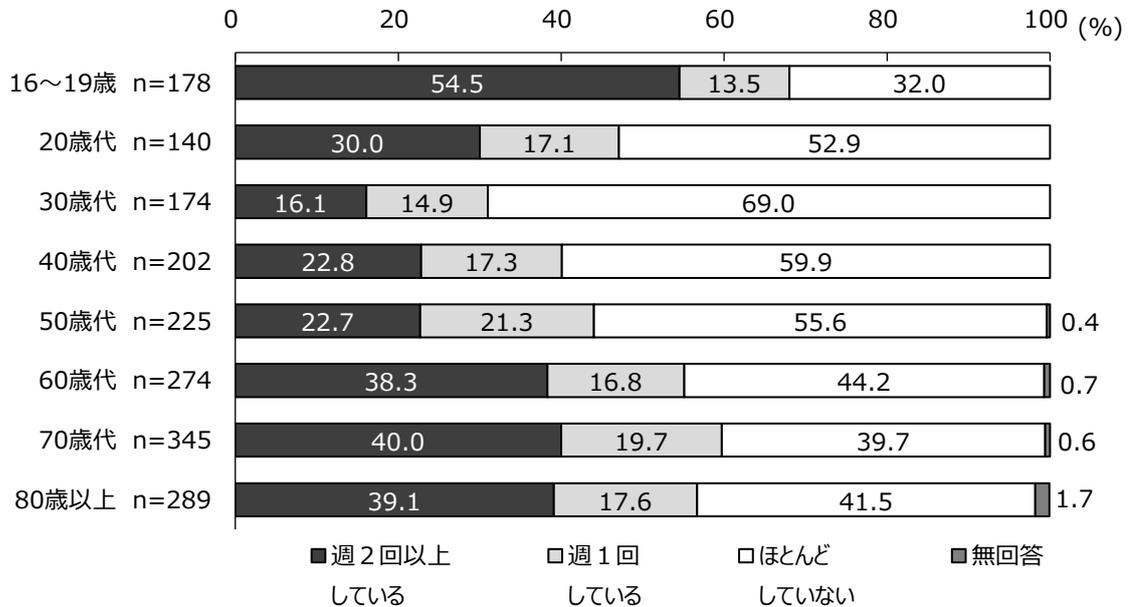


出典：「第22回市民意識調査結果（令和元年度）」（豊田市）

「第23回市民意識調査結果（令和3年度）」（豊田市）を加工して作成

問 あなたは、1年以上継続して、1日30分以上の運動をしていますか。
(○はひとつ)

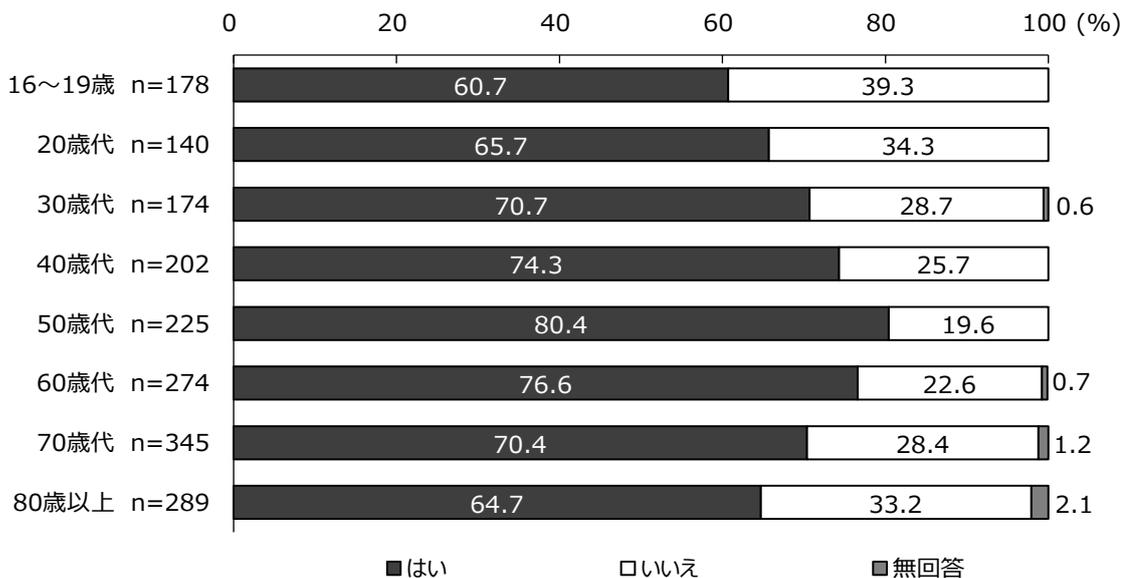
60歳代以上では、1日30分以上の運動を「週2回以上している」割合が、19歳以下を除いた他の年代より高くなっています。



出典：「豊田市健康に関する市民生活実態調査調査結果報告書」令和4年10月（豊田市）

問 あなたは、歯・口の健康と、全身の病気（糖尿病や心疾患、認知症など）が関連していることを知っていますか。(○はひとつ)

50歳代が一番割合が高く、年齢が上がるにつれて低くなっています。

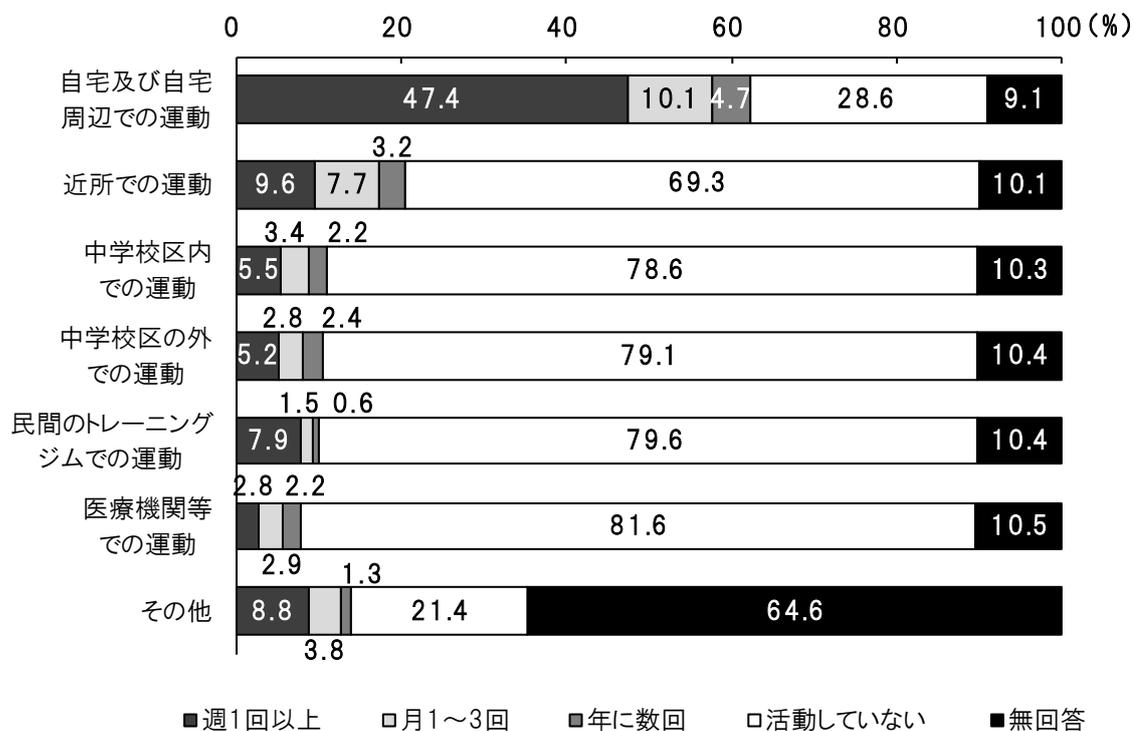


出典：「豊田市健康に関する市民生活実態調査調査結果報告書」令和4年10月（豊田市）

問 健康維持のための運動をどのような場所で、どのくらい活動していますか。

n = 2,158

週1回以上の割合をみると、「自宅及び自宅周辺での運動」の割合が高くなっています。

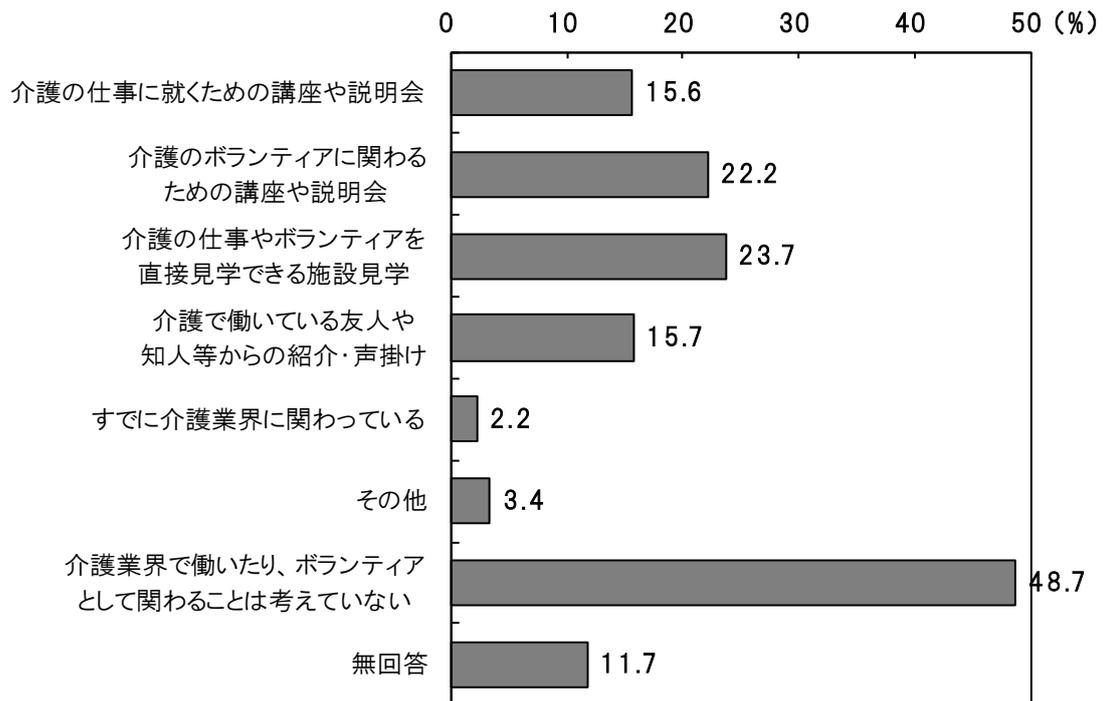


出典：「豊田市高齢者等実態調査結果報告書（令和元年度）」令和2年3月（豊田市）

問 あなたが働くことが可能な場合、どのようなきっかけがあれば、介護業界で働いたり、ボランティアとして関わることを検討しますか。（あてはまるものすべてに○）

n = 2,158

「介護の仕事やボランティアを直接見学できる施設見学」が 23.7%、「介護のボランティアに関わるための講座や説明会」が 22.2%となっています。なお、「介護業界で働いたり、ボランティアとして関わることは考えていない」が 48.7%となっています。



出典：「豊田市高齢者等実態調査結果報告書（令和元年度）」令和 2 年 3 月（豊田市）

問 あなたが、人とのコミュニケーションをする際にお使いの情報通信機器をお答えください。(〇はいくつでも)

すべての年代で「携帯番号・スマートフォン」の割合が一番高くなっています。ただし、年齢が上がるにつれて割合が低くなり、80歳以上では、「固定電話・FAX」とほぼ同じ割合になっています。

単位：％

	n	固定電話・FAX	携帯電話・スマートフォン	タブレット型端末	パソコン	その他の通信機器 (インターネットに接続できるゲーム機等)	使っていない	無回答
60歳代	274	31.8	90.9	3.6	17.5	0.4	5.8	0.0
70歳代	345	48.4	79.4	4.3	14.8	1.2	7.8	0.9
80歳以上	289	48.8	50.5	2.4	6.9	0.3	21.1	2.1

出典：「豊田市健康に関する市民生活実態調査調査結果報告書」令和4年10月（豊田市）

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市福祉部介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。豊田市では、令和6年度から8年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和5年度に行う予定です。

この計画の策定に当たり、市民の方々から生活の様子や介護に関する考えなどについてアンケートを実施させていただくこととしました。

ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、みなさまの率直な御意見を聞かせください。

大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

＜ご記入に当たってのお願い＞

- アンケートには、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご回答いただくようお願いいたします。
- お答えは、**選択肢のあてはまる番号に、指定の数だけ○**で囲んでください。なお、自由記述の欄は具体的に記入してください。ただし、答えにくい質問にはお答えいただかなくて構いません。
- このアンケートは、市内にお住まいの65歳以上の方の中から約3,000人を無作為に選ばせていただいております。回答は無記名で、すべて統計的に処理しますので、個人を特定するものではありません。
- ご記入後、**同封の返信用封筒に入れ 10月10日（月・祝）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）**。

【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画担当

電話：0565-34-6634

※このアンケートは、8月末時点で対象の方を無作為に選ばせていただいております。それに際し市外転居された方などにもアンケートが届く可能性がありますが、その場合は回答不要です。

あなたのことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つ)

1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳
4. 80～84歳 5. 85～89歳 6. 90歳以上

問3 あなたのお住まいは、どちらの中学校区ですか。わからない場合は、町名を書いてください。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|---------|--------|---------------|---------|
| 1. 逢妻 | 2. 旭 | 3. 朝日丘 | 4. 足助 | 5. 井郷 |
| 6. 石野 | 7. 稲武 | 8. 梅坪台 | 9. 小原 | 10. 上郷 |
| 11. 猿投 | 12. 猿投台 | 13. 下山 | 14. 浄水 | 15. 未野原 |
| 16. 崇化館 | 17. 高岡 | 18. 高橋 | 19. 藤岡 | 20. 藤岡南 |
| 21. 豊南 | 22. 保見 | 23. 前林 | 24. 益富 | 25. 松平 |
| 26. 美里 | 27. 竜神 | 28. 若園 | 29. わからない(町名) | |

問4 あなたの世帯は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. ひとり暮らし(本人のみの単身世帯)
2. 高齢者のみの世帯(65歳以上の方のみの世帯)
3. その他の世帯(子どもなどの同居世帯)

問5 あなたに介護が必要になった時に、主として介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。(○は1つ)

1. 同居している、隣近所
2. 車で10分以内
3. 車で10～30分以内
4. 車で30分以上
5. 車で1時間以上
6. 介護や援助を期待できる人はいない

日常生活について

問 6 日常生活や運動についてはいかがですか。(それぞれ1つずつ○)

① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

- 1. 手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている
- 2. 手すりや壁などを使わなくても、階段を昇ることはできるが、階段を昇る機会がない
- 3. 手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない

② 15分続けて歩いていきますか。

- 1. 15分続けて歩くことができる
- 2. 歩くことはできるが、15分続けて歩くことがない
- 3. 15分続けて歩くことができない

③ 過去1年間に転んだ経験がありますか。

- 1. 何度もある
- 2. 1度ある
- 3. ない

④ 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。
※自分の歯には、かぶせ物や詰め物も含まれます。

- 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

⑤ お茶や汁物等でむせることがありますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

⑥ 物忘れが多いと感じますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

⑦ バス・電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

- 1. 外出している
- 2. 外出できるがしていない
- 3. 外出できない

⑧ 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

- 1. 買物している
- 2. 買物できるがしていない
- 3. 買物できない

問 7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1. とてもよい
- 2. まあよい
- 3. あまりよくない
- 4. よくない

問 8 あなたは、生活上の悩みや不安を、主に誰(どこ)に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 家族や親戚
- 2. 友人・知人(職場の人、となり近所の人など)
- 3. 自治区の役員・民生委員児童委員
- 4. 市役所や社会福祉協議会等の窓口
- 5. 病院や診療所などの医療関係者
- 6. 福祉施設や地域包括支援センターなどの福祉関係者
- 7. ボランティアやNPO等
- 8. 相談相手がない
- 9. 相談はしない

問 9 近年、職場や家庭、地域で人々の関わり合い支え合う機会が減少してきており、孤独・孤立の問題が顕在化してきています。孤独・孤立対策としてどのような支援があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談先や居場所、交流の場の情報提供をする
2. 身近な場所に相談窓口を設ける
3. 身近な場所に居場所・交流の場を設ける
4. インターネット等を活用した交流ができるよう、デジタル機器の使い方の支援を行う
5. 地域やボランティアなどによる訪問、見守りを行う
6. 人と人が知り合う（つながる）機会を設ける
7. 支援は必要ない

問 10 - 1 あなたがインターネットを利用するために使用する情報通信機器は何ですか。

(○は3 つまで)

1. スマートフォン
2. 携帯電話（スマートフォンを除く）
3. タブレット
4. パソコン
5. ゲーム機
6. インターネットを利用していない

問 10 - 2 あなたはインターネットを何に利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・友人などの連絡（電話や電子メール）
2. SNS（LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど）の利用
3. 動画の視聴
4. 情報収集
5. 買い物（ネットショッピング）
6. オンラインゲーム
7. ネットバンキング・オンライン決済
8. 民間サービスの予約・申請・届出（飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込みなど）
9. 公共サービスの予約・申請・届出（公共施設の予約、証明書の交付申請など）
10. 利用していない

問 10 - 3 あなたが、インターネットを利用して、これからやりたいことは何ですか。(○は3 つまで)

1. 家族・友人などの連絡（電話や電子メール）
2. SNS（LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど）の利用
3. 動画の視聴
4. 情報収集
5. 買い物（ネットショッピング）
6. オンラインゲーム
7. ネットバンキング・オンライン決済
8. 民間サービスの予約・申請・届出（飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込みなど）
9. 公共サービスの予約・申請・届出（公共施設の予約、証明書の交付申請など）
10. やりたいことはない

問 10 - 4 あなたがインターネットの利用にあたって不安なことや困ることは何ですか。

(○は3 つまで)

1. 機器の使い方が分からないこと
2. インターネット上のサービスの利用方法が分からないこと（登録方法やパスワード設定など）
3. インターネットに関する用語が分からないこと
4. 商品やサービスの購入でお金を使いすぎる恐れがあること
5. 詐欺等の被害、信頼できるサイトか判断がつかないこと
6. 個人情報の漏洩
7. インターネット上で交流する相手とのトラブル
8. 機器の購入費用や月額費用
9. 困った時に助けてもらえる人がいないこと
10. 不安はない

社会参加について

問 1 1 1 1 週間に何日、外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | |
| 2. 週に1日 | ⇒ 問 12 へ |
| 3. 週に2～4日 | ⇒ 問 12 へ |
| 4. 週に5日以上 | ⇒ 問 12 へ |

→ 問 1 1 2 で「1. (ほとんど外出しない)」 「2. (週に1回)」と答えた方におたずねします。

問 1 1 1 - 1 外出を控えている理由がありますか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------|
| 1. 体調がすぐれない |
| 2. トイレが心配 |
| 3. 目や耳 (聞こえ) の問題がある |
| 4. 足や腰が痛い、転倒が心配 |
| 5. 外での楽しみがない |
| 6. 交通手段がない |
| 7. 家族の看護・介護のため |
| 8. その他 |
| 9. 特になし |

問 1 1 2 1 週間に、知人・友人・近所の人 (家族以外) とどのくらい話しますか。(○は1つ)

- | |
|--------------|
| 1. ほとんど会話しない |
| 2. 週に1日 |
| 3. 週に2～4日 |
| 4. 週に5日以上 |

問 1 3 自宅から歩いていけない場所に、どのような方法で行きますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 車・バイク (自分で運転) | 2. 車 (家族や知人が運転) |
| 3. 自転車 | 4. 電車・バス |
| 5. タクシー | |

問 1 4 以下の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(それぞれ最も近いものに1つずつ○)

① スポーツ関係のグループやクラブ

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

② 趣味・文化活動関係のグループ

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

③ 高齢者クラブ

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

④ サロン・健康体操 (地域ふれあいサロン・元氣アツク教室を含む)

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

⑤ 自治区・町内会

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

⑥ ボランティアのグループ

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

⑦ 収入のある仕事

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 参加していない |
|----------|----------|---------|------------|

問 1 4 の①～⑦で「1(週1回以上)」「2(月1～3回)」に「○が1つもない」方におたずねします。

問 1 4 - 1 会・グループ等にあまり参加していない理由をお聞かせください。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 興味がない 2. なんとなく参加していない 3. いろいろな人が集まる場所は苦手である 4. さっかげがない 5. 家事・介護で忙しい 6. 交通手段がない・距離が遠い 7. 病気や障がいのため、参加が難しい 8. 会・グループ等の情報を知らない 9. その他

問 1 5 外出などの回数について、この1年間でどのように変化していますか。

(それぞれ1つずつ○)

① 外出

<ol style="list-style-type: none"> 1. 増加している 2. やや増加している 3. ほとんど変わらない 4. やや減少している 5. 減少している
--

② 家族以外の知人・友人等との会話

<ol style="list-style-type: none"> 1. 増加している 2. やや増加している 3. ほとんど変わらない 4. やや減少している 5. 減少している
--

③ 会・グループ等への参加

<ol style="list-style-type: none"> 1. 増加している 2. やや増加している 3. ほとんど変わらない 4. やや減少している 5. 減少している
--

問 1 6 あなたにとって自宅以外で友人や知人と「身近に集える場所」は、どのような場所ですか。
(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の施設(区民会館や交流館等) 2. 友人・知人の家 3. 身近な公園等 4. 喫茶店等の飲食店 5. それ以外の場所 6. 特になし
--

問 1 7 身近な地域では、自治区をはじめとしたさまざまな地域活動があります。あなたは今後、地域活動に参加したい(続けたい)と思いませんか。(○は1つ)

※ここでは、「地域活動」を自治区の活動、高齢者クラブ、地域の行事の手伝い等の身近な地域での、主に地縁による活動とします。

<ol style="list-style-type: none"> 1. ぜひ、参加したい 2. 条件によっては参加したい 3. 身体的な都合で参加できない 4. 参加したくない
--

問 1 8 あなたは、今後、ボランティア・市民活動やNPO活動に参加したい(続けたい)と思いませんか。(○は1つ)

※ここでは、問17の「地域活動」以外の社会的な課題の解決等に向けた、自発的な活動を「ボランティア・市民活動やNPO活動」とします。

<ol style="list-style-type: none"> 1. ぜひ、参加したい 2. 条件によっては参加したい 3. 身体的な都合で参加できない 4. 参加したくない
--

生きがいや楽しさについて

問 1 9 あなたが、生きがいや楽しさを感じるのとはどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 仕事・生きがい就労（賃金や地位ではなく、生きがいを重視した就労）
2. 自治区・高齢者クラブ・ボランティアなどの地域活動
3. スポーツや運動
4. 旅行や娯楽などの外出
5. 散歩や買い物などの近所への外出
6. 趣味・文化活動
7. 家族や孫との交流
8. 友人や知人との交流
9. テレビやラジオの視聴
10. 食事
11. 特になし

問 2 0 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

住まいや医療・看護について

問 2 1 あなたは、在宅療養について知っていますか。(○は1つ)

※在宅療養とは、住み慣れた自宅等で、訪問診療や訪問看護、訪問介護などの様々な医療・介護サービスを受けながら日常生活を送ることです。

1. 在宅療養の内容をある程度知っている
2. 在宅療養の言葉だけは聞いたことがある
3. 知らない

問 2 2 あなたは、万一、病气（長期療養や看取り段階）などを抱えたことを想定して、今後の生活等について考えたり、子どもや家族等と話していますか。(○は1つ)

1. 話し合って記録に残している
2. 話し合っはしている
3. 考えているが話し合っはしていない
4. 考えていない

問 2 3 あなたは、万一、病气（長期療養や看取り段階）などを抱えたことを想定して、人生の最期はどこで迎えたいと考えますか。(○は1つ)

1. あなたの家、ご家族の家
2. 施設やサービス付高齢者住宅等
3. 病院

高齢者福祉等について

問 2.4 ご本人や家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し、施設等へ入所を考慮することになると思いますか。(○は3つまで)

1. 食べること(の介護)が難しくなったとき
2. 排せつ(の介護)が難しくなったとき
3. 室内の移動(の介護)が難しくなったとき
4. 複雑な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. (介護者が別居の場合)介護者の通いの負担が大きくなったとき

問 2.5 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組み必要があると思いますか。(○は3つまで)

1. 認知症について、住民の理解を深める
2. 認知症について、企業の理解を深める
3. 認知症の早期発見の重要性についてPRする
4. 認知症の早期発見への機会(健康診断費用補助、早期発見アプリなど)をつくる
5. 認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる
6. 認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる
7. 認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる
8. お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店(認証店など)を増やす
9. 認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる

問 2.6 あなたのお住まいの地域で、高齢者の介護や福祉の相談窓口(地域包括支援センター*)をご存知ですか。(○は1つ)

*地域包括支援センター：高齢者の生活や介護に関する各種相談や権利擁護の相談、要支援者等の介護予防ケアマネジメントなどを行っています。
(市内28か所)

1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている
3. 聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない
4. 知らない

問 2.7 あなたは、成年後見制度*をご存知ですか。(○は1つ)

*成年後見制度：認知症や知的・精神障がいにより判断能力が不十分となった方に対し、家庭裁判所から選任された人が、本人の意思決定支援や金銭管理を行う制度です。

1. 制度の内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は分からない
3. 聞いたことがない

問 2.8 介護保険料は、全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか。(○は1つ)

1. 高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
2. 1に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい
3. 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くないでほしい

【自由記述】

あなたがこれからの人生で実現したいこととその理由を教えてください。

(実現したいこと)	(理由)
-----------	------

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

令和4年10月10日（月・祝）までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市福祉部介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。豊田市では、令和6年度から8年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和5年度に行う予定です。

この計画の策定に当たり、市民の方々から生活の様子や介護に関する考えなどについてアンケートを実施させていただきましたこととしました。

ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、みなさまの率直な御意見をお聞かせください。

大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

<ご記入に当たってのお願い>

- アンケートには、**封筒のあて名**のご本人がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただき、ご本人の意思を尊重して代わってご回答いただようお願いいたします。
- お答えは、選択肢の**あてはまる番号**に、**指定の数だけ**○で囲んでください。なお、自由記述の欄は具体的に記入してください。ただし、答えにくい質問にはお答えいただかなくて構いません。
- このアンケートは、市内にお住まいの要支援認定を受けられた方や総合事業の対象者の方約2,000人を無作為に選ばせていただいております。回答は無記名で、すべて統計的に処理します。個人を特定するものではありません。
- ご記入後、**同封の返信用封筒に入れ 10月10日（月・祝）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。**

【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画担当
電話：0565-34-6634

※このアンケートは、8月末時点で対象の方を無作為に選ばせていただいております。それ以降に市外転居された方などにもアンケートが届く可能性がありますますが、その場合は回答不要です。

あなたのことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。（○は1つ）

1. 40～64歳 2. 65～69歳 3. 70～74歳 4. 75～79歳
5. 80～84歳 6. 85～89歳 7. 90歳以上

問3 あなたのお住まいは、どちらの中学校区ですか。わからない場合は、町名を書いてください。（○は1つ）

1. 逢妻 2. 旭 3. 朝日丘 4. 足助 5. 井郷
6. 石野 7. 稲武 8. 梅坪台 9. 小原 10. 上郷
11. 猿投 12. 猿投台 13. 下山 14. 浄水 15. 末野原
16. 崇化館 17. 高岡 18. 高橋 19. 藤岡 20. 藤岡南
21. 豊南 22. 保見 23. 前林 24. 益富 25. 松平
26. 美里 27. 竜神 28. 若園 29. わからない（町名）

問4 あなたの世帯は、次のうちどれですか。（○は1つ）

1. ひとり暮らし（本人のみの単身世帯）
2. 高齢者のみの世帯（65歳以上の方のみの世帯）
3. その他の世帯（子どもなどの同居世帯）

問5 あなたに（介護が必要になった時に）、主として介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。（○は1つ）

1. 同居している、隣近所
2. 車などで10分かかるらないところ
3. 車などで10～30分以内のところ
4. 日帰りで帰れるところ
5. 遠方で日帰りは難しいところ
6. 介護や援助を期待できる人はいない

問6 要支援・要介護認定の状況について、お教えてください。(○は1つ)

1. 要支援 1
2. 要支援 2
3. 特に認定は受けていない(総合事業対象者*) → 問9へ
4. 要介護 1～5

*総合事業対象者：日常生活の状況や足腰の状態など2・5項目のチェックリストにより事業の対象と判定された方

問6で「1(要支援1)」「2(要支援2)」「4(要介護1～5)」と答えた方におたずねします。

問7 初めて要支援・要介護認定を受けてから、どのくらいの期間になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～5年未満
4. 5年以上

問8 どのような介護保険サービス・事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険サービス・事業を利用していない
2. 自宅にホームヘルパーなど専門家が訪問するサービス(訪問介護、訪問看護など)
3. 日帰りで施設に通って介護の提供を受けるサービス(デイサービス、デイケアなど)
4. 短期間、施設に宿泊して介護の提供を受けるサービス(ショートステイ)
5. 介護保険で、福祉用具を借りたり、購入すること
6. 通い・泊まり・訪問サービスを組み合わせた定額のサービス
7. その他

日常生活について

問9 日常生活や運動についてはいかがですか。(それぞれ1つずつ○)

① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

1. 手すりや壁などを使わずに、階段を昇っている
2. 手すりや壁などを使わなくても、階段を昇ることはできるが、階段を昇る機会がない
3. 手すりや壁などを使わないと、階段を昇れない

② 15分位続けて歩いていきますか。

1. 15分続けて歩くことができる
2. 歩くことはできるが、15分続けて歩くことができない
3. 15分続けて歩くことができない

③ 過去1年間に転んだ経験がありますか。

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

④ 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

*成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。
*自分の歯には、かぶせ物や詰め物も含まれます。

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

⑤ お茶や汁物等でむせることがありますか。

1. はい
2. いいえ

⑥ 物忘れが多いと感じますか。

1. はい
2. いいえ

社会参加について

⑦ バス・電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

1. 外出している 2. 外出できるがしていない 3. 外出できない

⑧ 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

1. 買物している 2. 買物できるがしていない 3. 買物できない

問 1 0 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問 1 1 あなたは、家族や地域のために、どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家事
2. 家族の介護
3. 子どもや孫の世話
4. 子どもや高齢者の見守り
5. 家の周りの掃除
6. 話し相手
7. 困ったときの相談相手
8. 高齢者が集まるサロンや団体活動の手伝い
9. その他
10. 特にしていない

問 1 2 1 週間に何日、外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない
2. 週に1日
3. 週に2～4日
4. 週に5日以上
- ⇒問 1 3へ

問 1 2 で「1(ほとんど外出しない)」「2(週に1回)」と答えた方におたずねします。

問 1 2 - 1 外出を控えている理由がありますか。(○は3つまで)

1. 体調がすぐれない
2. トイレが心配
3. 目や耳(聞こえ)の問題がある
4. 足や腰が痛い、転倒が心配
5. 外での楽しみがない
6. 交通手段がない
7. 家族の看護・介護のため
8. その他
9. 特になし

問 1 3 1 週間に、知人・友人・近所の人(家族以外)とどのくらい話しますか。(○は1つ)

1. ほとんど会話しな
2. 週に1日
3. 週に2～4日
4. 週に5日以上

問 1 4 自宅から歩いていけない場所に、どのような方法で行きますか。(○は3つまで)

1. 車・バイク(自分で運転)
2. 車(家族や知人が運転)
3. 自転車
4. 電車・バス
5. タクシー

問 1 5 以下の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ最も近いものに1つずつ○)

① スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

② 趣味・文化活動関係のグループ

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

③ 高齢者クラブ

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

④ サロン・健康体操（地域ふれあいサロン・元気アップ教室を含む）

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

⑤ 自治区・町内会

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

⑥ ボランティアのグループ

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

⑦ 収入のある仕事

1. 週1回以上	2. 月1～3回	3. 年に数回	4. 参加していない
----------	----------	---------	------------

問 1 5 の①～⑦で「1(週1回以上)」「2(月1～3回)」「3(週1回以上)」に「○が1つもない」方におたずねします。

問 1 5 - 1 会・グループ等に、あまり参加していない理由をお聞かせください。
(○は3つまで)

1. 興味が ない 2. なんと なく参加 して ない 3. いろ いろな 人が集 まる場 所は苦 手であ る 4. ぎっ かけが ない 5. 家事 ・介護 で忙し い 6. 交通 手段が ない・ 距離が 遠い 7. 病気 や障が いのた め、参 加が難 しい 8. 会・ グルー プ等の 情報を 知らない 9. その他
--

問 1 6 外出などの回数について、この1年間どのように変化していますか。(それぞれ1つずつ○)

① 外出

1. 増加している	2. やや増加している	3. ほとんど変わらない
4. やや減少している	5. 減少している	

② 家族以外の知人・友人等との会話

1. 増加している	2. やや増加している	3. ほとんど変わらない
4. やや減少している	5. 減少している	

③ 会・グループ等への参加

1. 増加している	2. やや増加している	3. ほとんど変わらない
4. やや減少している	5. 減少している	

生きがいや楽しみについて

問 1 7 あなたが、生きがいや楽しみを感じるのとはどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 仕事・生きがい就労(賃金や地位ではなく、生きがいを重視した就労)
2. 自治区・高齢者クラブ・ボランティアなどの地域活動
3. スポーツや運動
4. 旅行や娯楽などの外出
5. 散歩や買い物などの近所への外出
6. 趣味・文化活動
7. 家族や孫との交流
8. 友人や知人との交流
9. テレビやラジオの視聴
10. 食事
11. 特になし

問 1 8 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)

*「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

高齢者福祉等について

問 1 9 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの対応として、望むことは何ですか。(○は2つまで)

1. 適切なアドバイスが得られること
2. 迅速に対応してくれること
3. どの職員も同じように対応してくれること
4. 親身になって相談に対応してくれること
5. 相談できる機会が増えること
6. その他
7. 特になし
8. 対応に満足している

問 2 0 あなたは、成年後見制度*をご存知ですか。(○は1つ)

*成年後見制度：認知症や知的・精神障がいにより判断能力が不十分となった方に対し、家庭裁判所から選任された人が、本人の意思決定支援や金銭管理を行う制度です。

1. 制度の内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は分らない
3. 聞いたことがない

問 2 1 ご本人や家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し、施設等へ入所を考えることになると思いますか。(○は3つまで)

1. 食べること(の介護)が難しくなったとき
2. 排せつ(の介護)が難しくなったとき
3. 室内の移動(の介護)が難しくなったとき
4. 複雑な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. (介護者が別居の場合)介護者の通いの負担が大きくなったとき

問 2.2 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症について、住民の理解を深める 2. 認知症について、企業の理解を深める 3. 認知症の早期発見の重要性についてPRする 4. 認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる 5. 認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる 6. 認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる 7. 認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる 8. お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店（認証店など）を増やす 9. 認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる

問 2.3 介護保険料は、全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。

あなたの考えは次のどれに近いですか。(〇は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない 2. 1に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい 3. 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい
--

【自由記述】

あなたがこれからの人生で実現したいこととその理由を教えてください。

(実現したいこと)
(理由)

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

令和4年10月10日（月・祝）までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市福祉部介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
豊田市では、令和6年度から8年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第9期豊田市長保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和5年度に行う予定です。

この計画の策定に当たり、市民の方々から生活の様子や介護に関する考えなどについてアンケートを実施させていただきました。

ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、みなさまの率直な御意見をお聞かせください。

大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

あなたのことについて

※アンケート文の「ご本人」とは、このアンケートの封筒の宛名の方（要介護と認定された方）を言います。

問1 このアンケートは、どなたが記入されますか。（○は1つ）

1. ご本人（このアンケートの封筒の宛名の方）
2. ご本人の意思を確認して家族等が記入
3. ご本人の意思を確認してケアマネジャーや施設職員が記入
4. ご本人の意思を確認できないので家族等が代理で記入
5. ご本人の意思を確認できないのでケアマネジャーや施設職員が代理で記入

問2 ご本人の性別はどちらですか。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問3 ご本人の年齢は、おいくつですか。（○は1つ）

1. 40～64歳
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80～84歳
6. 85～89歳
7. 90歳以上

問4 ご本人のお住まいは、どちらの中学校校区ですか。わからない場合は、町名を書いてください。（○は1つ）

1. 逢妻
2. 旭
3. 朝日丘
4. 足助
5. 井郷
6. 石野
7. 稲武
8. 梅坪台
9. 小原
10. 上郷
11. 猿投
12. 猿投台
13. 下山
14. 浄水
15. 末野原
16. 崇化館
17. 高岡
18. 高橋
19. 藤岡
20. 藤岡南
21. 豊南
22. 保見
23. 前林
24. 益富
25. 松平
26. 美里
27. 竜神
28. 若園
29. わからない（町名）

問5 ご本人の要介護度は次のどれに該当しますか。（○は1つ）

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護5
6. 要支援1～2

○ アンケートには、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。**ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご回答いただくようお願いいたします。**

○ お答えは、**選択肢のあてはまる番号に、指定の数だけ○で囲んでください。**なお、自由記述の欄は具体的に記入してください。ただし、答えにくい質問にはお答えいただくことなく構いません。

○ このアンケートは、市内にお住まいの要介護認定を受けられた方約2,000人を無作為に選ばせていただいております。回答は無記名で、すべて統計的に処理しますので、個人を特定するものではありません。

○ **ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、10月10日（月・祝）までに郵便ポストに投入してください（切手は不要です）。**

【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画担当

電話：0565-34-6634

※このアンケートは、8月末時点で対象の方を無作為に選ばせていただいております。それ以降に市外転居された方などにもアンケートが届く可能性があります。その場合は回答不要です。

問 6 主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。
(○は1つ)

1. 同居している、隣近所
2. 車などで10分以内のところ
3. 車などで10～30分以内のところ
4. 日帰りで帰れるところ
5. 遠方で日帰りは難しいところ
6. 介護や援助を期待できる人はいない

問 7 介護が必要となった主な原因は何ですか。(○は1つ)

1. 脳血管疾患	2. 老衰	3. 骨折	4. 骨・関節の痛みや変形
5. 心臓病	6. 認知症	7. がん	8. パーキンソン病
9. 糖尿病性疾患	10. その他	11. 不明	

問 8 介護が必要となつてくれぐらいちますか。(○は1つ)

1. 6か月未満	2. 6か月～1年未満	3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満	5. 5年～10年未満	6. 10年以上

問 9 ご本人の世帯等は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. ひとり暮らし (本人のみの単身世帯)
2. 高齢者のみの世帯 (65歳以上の方のみの世帯)
3. その他の世帯 (子どもなどの同居世帯)
4. 施設やサービス付高齢者住宅等

問 10 ご本人のお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 施設やサービス付高齢者住宅等	→ 問11 へ
2. ご本人の家、ご家族の家	→ 問13 へ
3. 病院に長期入院中	→ 問24 へ
4. その他	→ 問24 へ

施設での生活について

※アンケート文の「ご本人」とは、このアンケートの封筒の宛名の方 (要介護と認定された方) を言います。

問 10 で「1 (施設やサービス付高齢者住宅等)」と答えた方におたずねします。

問 11 ご本人のお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 認知症高齢者グループホームに入所
2. 介護保険施設 (特養、老健、介護医療院、療養病床) 等に入所
3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅、ケアハウス等に入居
4. その他

問 10 で「1 (施設やサービス付高齢者住宅等)」と答えた方におたずねします。

問 12 施設等への入居・入所を希望された理由は何か。(○は3つまで)

1. 住居の都合で、十分な介護が受けられないから
2. ひとり暮らしや高齢者世帯で介護できる家族がないから
3. 家族はいるが、仕事などの都合で介護ができないから
4. 介護している人の負担が大きいため
5. 訪問系の介護サービスが十分に受けられないから
6. 専門的な医療・認知症対応などのケアが必要だから
7. その他
8. わからない

在宅での生活について

問 13 から問 14 までは、問 10 で「2 (ご本人の家、ご家族の家)」と答えた方におたずねします。

問 10 で「1・3・4」を選択した方は、問 24 にお進みください。

問 13 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）が、そばにいないことが、どのくらいありますか。（○は1つ）

* 同居者がいる場合でも、介護を行うことができない場合は、そばにいないとは考えません。

1. 日中おむねそばにいる
2. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1～2日ある
3. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある
4. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある

問 14 施設入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（○は1つ）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居の申込をしている
4. わからない

介護している方について

※アンケート文の「ご本人」とは、このアンケートの封筒の宛名の方（要介護と認定された方）を言います。

問 15 から問 23 までは、ご本人を介護している方（家族等）におたずねします。

※ご本人を介護している方（家族等）がいない場合は、問 24 にお進みください。

問 15 ご家族の中で、主にご本人を介護している方はどなたですか。（○は1つ）

1. ご本人の配偶者
2. ご本人の子ども
3. ご本人の子どもの配偶者
4. ご本人の孫・孫の配偶者
5. ご本人の親
6. その他

問 16 主にご本人を介護している方の性別はどちらですか。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問 17 主にご本人を介護している方の年齢は、おいくつですか。（○は1つ）

1. 19歳以下
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～69歳
7. 70～79歳
8. 80歳以上

問 18 主にご本人を介護している方は、就労していますか。（○は1つ）

1. フルタイムで働いている
2. パートタイム・非常勤・短時間勤務等で働いている
3. 働いていない

問 19 主にご本人を介護している方は、どのくらい介護を続けていますか。（○は1つ）

1. 6か月未満
2. 6か月～1年未満
3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満
5. 5年～10年未満
6. 10年以上

問 2 0 主にご本人を介護している方の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. おおむね健康
2. 要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている
3. 要支援の認定を受けている
4. 要介護の認定を受けている

問 2 1 ご本人には、認知症の症状がありますか。(○は1つ)

1. ある (重い) *症状があり、常時の見守りや何らかの介護が必要
2. ある (軽い) *症状はあるが、常時の見守りや何らかの介護は不要
3. ない

問 2 2 主な介護者が行っている介護の中で、どのようなことが特に大変ですか。
(○は5つまで)

- 【身体介護】
1. 日中の排せつ
 2. 夜間の排せつ
 3. 食事の介助 (食べる時)
 4. 入浴・洗身
 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
 6. 衣服の着脱
 7. 屋内の移乗・移動
 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 服薬
 10. 認知症への対応
 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)
- 【生活援助】
12. 食事の準備 (調理等)
 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. 自分 (介護者) の時間がないこと
 16. その他
 17. 大変に感じていることは、特にない

問 2 3 ご本人やご家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

1. 食べること (の介護) が難しくなったとき
2. 排せつ (の介護) が難しくなったとき
3. 室内の移動 (の介護) が難しくなったとき
4. 複雑な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. (介護者が別居の場合) 介護者の通いの負担が大きくなったとき

高齢者福祉等について

問 24 からは、ご本人（このアンケートの封筒の宛名の方）におたずねします。

問 2 4 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組みが必要かと思えますか。（○は3つまで）

1. 認知症について、住民の理解を深める
2. 認知症について、企業の理解を深める
3. 認知症の早期発見の重要性についてPRする
4. 認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる
5. 認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる
6. 認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる
7. 認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる
8. お店の人や公共サービスの職員が適切に対応ができるお店（認証店など）を増やす
9. 認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる

問 2 5 あなたは、成年後見制度*をご存知ですか。（○は1つ）

* 成年後見制度：認知症や知的・精神障がいにより判断能力が不十分となった方に対し、家庭裁判所から選任された人が、本人の意思決定支援や金銭管理を行う制度です。

1. 制度の内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容はわからない
3. 聞いたことがない

問 2 6 介護保険料は、全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか。（○は1つ）

1. 高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
2. 1に加え、保険料が高くなっても良いので、現在のサービス水準を上げるために施設やサービスを増やしてほしい
3. 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい

【自由記述】

ご本人（このアンケートの封筒の宛名の方）がこれからの人生で実現したいこととその理由を教えてください。

(実現したいこと)	
(理由)	

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

令和4年10月10日（月・祝）までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市福祉部介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
 豊田市では、令和6年度から8年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和5年度に行う予定です。
 この計画の策定に当たり、介護サービス事業所を展開する法人の皆さまから、サービス提供の実態や課題についてアンケートを実施させていただくこととしました。
 大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月 豊田市長 太田 稔彦

<ご回答に当たってのお願い>

- このアンケートは、豊田市で介護サービス事業所を展開する法人又は事業所にお送りしています。
- **令和4年10月1日現在**の内容で、**法人単位**でご回答ください。
- ご回答方法は、次の2つのどちらかを選び、**10月17日（月）までにご回答ください**。

方法1 同封の調査票に記入し、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函する。
 （切手は不要です）

方法2 URL (<https://questant.jp/q/jigyotoyo>) にアクセスし、回答する。



（裏面に続きます）

- 各質問で選択していただく数を指定しています。回答が「その他」にあてはまる場合や、自由記述の欄は具体的に記入してください。
- お預かりした個人情報、本アンケートの調査・分析及び、本アンケートへのお問い合わせへの対応や、ご回答内容確認のご連絡のために利用し、厳重に管理いたします。
- 本アンケート調査に係る統計的な処理は、豊田市が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託して実施しておりますので、返信用封筒のあて先は同社になります。ご回答いただいた内容は、本市と同社で締結した契約、並びに、同社の「個人情報保護方針」及び「個人情報の取り扱いについて」に従って適切に取り扱います<<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>>。ご不明な点は次のお問合せ先までご連絡ください。なお、ご回答いただいた内容の入力は、適切な情報管理ができるデータ入力専門の会社に委託する予定です。

【お問合せ先】

豊田市 福祉部 介護保険課 計画担当
 電話：0565-34-6634
 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究開発第2部（名古屋） 岩室
 e-mail：hiddenori.iwamuro@murc.jp

貴法人について

問1 貴法人名をご回答者名をご記入ください。

貴法人名	
ご回答者名	

問2 経営主体の本部・本社の所在地は、どちらですか。(○は1つ)

1. 豊田市内	2. 豊田市外 (事業所は市内、経営主体は市外)
---------	--------------------------

問3 経営主体の組織形態として、あてはまるものはどれですか。(○は1つ)

1. 株式会社などの民間企業	2. 社会福祉法人
3. 医療法人	4. 社団・財団などの法人
5. 特定非営利活動法人 (NPO)	6. 生活協同組合・農業協同組合
7. その他	

問4 貴法人において豊田市内の事業所で、介護保険サービスに従事する従業員数の合計は何人ですか。(○は1つ)

* 事務職員等を含めてすべての従業員数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。
なお、令和4年10月1日時点の状況をお答えください。

1. 1~4人	2. 5~9人	3. 10~19人	4. 20~29人
5. 30~49人	6. 50~99人	7. 100人以上	

問5 「豊田市内」で介護保険サービス以外にどのような事業を実施していますか。また、拡大等の意向がありますか。A Bそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	A. 提供しているサービス	B. 拡大・新たに実施したいサービス
① 特にない	1	1
② 介護保険外のホームヘルプ・家事支援サービス	2	2
③ 介護保険外のデイサービス・お泊りデイ	3	3
④ 在宅医療 (病院、診療所、医療保険の訪問看護等)	4	4
⑤ 障がい者支援事業	5	5
⑥ サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム等の運営	6	6
⑦ 配食・給食	7	7
⑧ 移動、外出支援サービス	8	8
⑨ その他	9	9

問6 次のサービス (予防サービス・総合事業を含む) について、貴法人による豊田市内での、提供状況、今後の意向について、A Bそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	A. 提供しているサービス	B. 拡大・新たに実施したいサービス
① 特にない	1	1
② 居宅介護支援	2	2
③ 訪問介護	3	3
④ 訪問入浴介護	4	4
⑤ 訪問看護	5	5
⑥ 訪問リハビリテーション	6	6
⑦ 居宅療養管理指導	7	7
⑧ 通所介護	8	8
⑨ 通所リハビリテーション	9	9
⑩ 短期入所生活介護	10	10
⑪ 短期入所療養介護	11	11
⑫ 特定施設入居者生活介護	12	12
⑬ 福祉用具貸与	13	13
⑭ 特定福祉用具販売	14	14
⑮ 地域密着型通所介護	15	15
⑯ 認知症対応型通所介護	16	16
⑰ 夜間対応型訪問介護	17	17
⑱ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18	18
⑲ 小規模多機能型居宅介護	19	19
⑳ 看護小規模多機能型居宅介護	20	20
㉑ 認知症対応型共同生活介護	21	21
㉒ 地域密着型特定施設入居者生活介護	22	22
㉓ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	23	23
㉔ 介護老人福祉施設	24	24
㉕ 介護老人保健施設	25	25
㉖ 介護医療院	26	26

運営について

問7 貴法人において豊田市内の事業所での運営にあたり、特にどのようなことが課題となっておりますか。
(〇は3つまで)

1. 職員の確保 3. 職員の処遇改善 5. 利用者の確保 7. 施設や設備の改善 9. 様々な機関との連携 10. その他 () 11. 特になし	2. 職員のモチベーション (やる気) の維持や向上 4. サービスの質の向上 6. 処遇困難者やトラブルの対応 8. 介護保険以外の事業展開
---	--

問8 貴法人において豊田市内の事業所での職員の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。

(〇は3つまで)

1. 家庭の事情 (出産・介護・転居など) 3. 勤務形態 (夜勤・土日勤務・休暇の少なさ) 5. 収入面 7. 利用者や利用者家族とのトラブル 9. その他	2. 腰痛など身体的負担 4. 職場の人間関係 6. キャリアアップ 8. 把握していない 10. 退職者はいない
---	---

介護職員の人材について

※問9から問14-2は介護職員が配置されていない場合、回答不要です。(ただし、看護職員が介護職員の業務を兼務している場合はご回答ください。)

問9 貴法人における豊田市内の事業所の介護職員の人数 (令和4年10月1日時点) を教えてください。

※介護職員の配置基準に入れるすべての職員の実人数をカウントしてください。なお、非常勤職員も、1人として換算してください。

①常勤の介護職員の数	人
②非常勤の介護職員の数	人

問10 貴法人における豊田市内の事業所の介護職員のこの1年間 (*令和3年10月1日~令和4年9月30日) の採用者数と退職者数を教えてください。

①この1年間*の介護職員の採用者数	人
②この1年間*の介護職員の退職者数	人

問11 介護職員について、どのような人を採用したいですか。(〇は3つまで)

*有資格者は介護初任者研修を含みます。

1. 有資格者*・経験者の中途採用 2. 有資格者*の新卒採用 3. 特に資格がない人・未経験者の中途採用 4. 特に資格がない人の新卒採用 5. 採用の予定はない
--

問12 介護職員の採用活動の結果について、以下の中で最も良くあるケースについて教えてください。
(〇は1つ)

1. 求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する 2. 求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないが採用する 3. 求人を出すと応募があり、採用基準を満たないので採用しない 4. 求人を出しても、応募がない、または足りない 5. 近年、採用活動を行っていない

問 1 3 介護職員の採用や育成、定着のためにどのような方策に力をいれていますか。
(〇は3つまで)

1. 賃金水準を向上させている 2. 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している 3. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる 4. フレックス制度や週休3日制等の本人の希望に応じた働き方ができるシフト体系にしている 5. 健康管理（メンタルヘルスを含む）を行っている 6. 研修の実施や資格取得支援等で、能力開発を充実させている 7. 子育てや家庭での介護と仕事の両立支援を行っている 8. 新人の指導担当を置いている 9. 管理者やリーダー層が部下育成や職場環境向上に向けた研修を受講している 10. 職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている

問 1 4 現在、以下の就労項目で介護の仕事をしている外国人人材の人数を記入してください。
(該当者がいない場合は0（ゼロ）を記入)

就労項目	人数 ※豊田市内の事業所の外国人人材に限る
1. EPA(経済連携協定)による受入れ ※平成20年7月施行	人
2. 在留資格「介護」 ※平成29年9月施行	人
3. 技能実習生 ※平成29年11月施行	人
4. 在留資格「特定技能1号」 ※平成31年4月施行	人
5. 留学生	人

問 1 4の回答がすべて「0人」と答えた方以外におたずねします。

問 1 4-1 外国人人材の活用によって、活用前と比べての変化や現在の状況を教えてください。
(それぞれ1つずつ〇)

	A. そう思う	B. そう思わない
① 介護職員の確保ができた【変化】	1	2
② 業務の見直しできた【変化】	1	2
③ 活用前の想定より外国人人材と利用者のコミュニケーションがとれている【状況】	1	2
④ 活用前の想定より外国人人材と日本人職員のコミュニケーションがとれている【状況】	1	2
⑤ 宗教や文化等の違いは想定より理解が進んだ【変化】	1	2
⑥ 施設・事業所の雰囲気がよくなった【変化】	1	2
⑦ その他 ()		

問 1 4の回答がすべて「0人」と答えた方におたずねします。

問 1 4-2 外国人人材の活用に当たって特に不安に思うことを教えてください。
(〇は3つまで)

1. 外国人人材の活用は考えていない 2. 受入れ方法や制度が分からない 3. 採用するまでのコストや手間がかかりそう 4. 採用後の日本語教育、人材育成、生活支援にコストや手間がかかりそう 5. 日本人職員とのコミュニケーションに不安がある 6. 利用者とのコミュニケーションに不安がある 7. 宗教や文化の理解が難しそう 8. 活用を検討するまでの余力や時間がない 9. その他 ()

業務の効率化・生産性向上

問15 業務の効率化や生産性向上に向けた法人の取組状況を教えてください。(あてはまるものすべてに○)
(それぞれ1つずつ○)

	A.すでに取り組んでいる	B.実施に向けて調整中	C.興味・関心はある	D.実施予定なし
① 業務の内容や役割分担の見直し	1	2	3	4
② 業務の標準化(マニュアル作成等)	1	2	3	4
③ ICT機器の活用・記録の電子化	1	2	3	4
④ 介護ロボットの導入	1	2	3	4
⑤ 元気高齢者等の介護助手(専門性を必要としない業務を担当)の活用	1	2	3	4

問16 他の法人と一体的に取り組んでいる事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特になし
2. 合同で研修会を開催
3. 地域活動と一緒に参加
4. 物品の共同購入
5. 災害時の協力体制
6. その他

地域での活動について

問17 豊田市内でどのような地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治区やボランティアグループの学習会の講師等をしている
2. 民生委員や自治区長の相談にのっている
3. 医療介護連携・協議体など地域のネットワーク等に参加している
4. 住民向けのイベントや施設開放を実施している
5. 施設や事務所をボランティアグループなどの活動に提供している
6. ボランティアグループと連携して介護や生活支援を実施している
7. 災害時の対応について地域と話し合っている
8. 地域のイベント・祭りに参加している
9. その他
10. 特になし

問18 令和元年度から現在までの、若年層(小学生・中学生・高校生・大学生や専門学校生)との交流状況を教えてください。(それぞれ該当するものに○、その他は該当がある場合は記述)

	A.小学生	B.中学生	C.高校生	D.大学・専門学校生	E.該当なし
① 学校へ出張授業	1	2	3	4	5
② 社会見学や職場体験、実習生の受入れ	1	2	3	4	5
③ 利用者とのふれあい(ボランティア、学生の発表見学、利用者の創作物を学校に提供等)	1	2	3	4	5
④ その他	1	2	3	4	5
↓具体的に()					

高齢者福祉等について

問19 ご本人や家族等が特に、どのようなことで、自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(〇は3つまで)

1. 食べること(の介護)が難しくなったとき
2. 排せつ(の介護)が難しくなったとき
3. 室内の移動(の介護)が難しくなったとき
4. 複雑な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. (介護者が別居の場合)介護者の通いの負担が大きくなったとき

問20 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組み必要があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 認知症について、住民の理解を深める
2. 認知症について、企業の理解を深める
3. 認知症の早期発見の重要性についてPRする
4. 認知症の早期発見への機会(健康診断費用補助、早期発見アプリなど)をつくる
5. 認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる
6. 認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる
7. 認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる
8. お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店(認証店など)を増やす
9. 認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる

【自由記述】

豊田市では高齢者の幸せ感を上げることが重要だと考えています。高齢者本人や周りの人が実践していることで、高齢者の幸せ感を高めることにつながっていると思うものはありますか。

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございます。

同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、

令和4年10月17日(月)までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市福祉部介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
 豊田市では、令和6年度から8年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和5年度に行う予定です。

この計画の策定に当たり、ケアマネジャーの皆さまから、業務の状況や課題についてアンケートを実施させていただくこととしました。

ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、みなさまの率直な御意見をお聞かせください。

大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

＜ご回答に当たってのお願い＞

- このアンケートは、市内の居宅介護支援事業所にお送りしています。「各事業所2名」の方（ケアマネジャーが複数名在籍していない場合は1名）からご回答をお願いします。
- **令和4年10月1日現在**の内容でご回答ください。
- ご回答方法は、次の2つのどちらかを選び、**10月17日（月）までにご回答ください**。

方法1 同封の調査票に記入し、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函する。
 （切手は不要です）

方法2 URL (<https://questant.jp/q/caretoyo>) にアクセスし、回答する。
 宛名ラベルに記載の「4桁の数字」を最初に入力してください。



- 各質問で選択していただく数を指定しています。自由記述の欄は具体的に記入してください。
- 回答は無記名で、すべて統計的に処理しますので、個人を特定するものではありません。

○ なお、統計的な処理は、豊田市が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託して実施しておりますので、返信用封筒のあて先は同社になります。

【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画担当
 電話：0565-34-6634

ケアネ-1

ご回答者の法人について

問1 所属する法人等（○は1つ）

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 社会福祉法人（社協を含む） | 2. 医療法人 |
| 3. 営利法人（株式会社・有限会社等） | 4. その他 |

問2 豊田市内の貴事業所に従事するケアマネジャーは合計で何人ですか。（○は1つ）

* 非常勤職員（兼務も含む）も、1人として換算してください。
 なお、令和4年10月1日時点の状況をお答えください。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2～3人 | 3. 4～6人 |
| 4. 7～9人 | 5. 10人以上 | |

ご回答者の属性について

問3 年齢（○は1つ）

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳以上 | |

問4 ケアマネジャーの経験年数（○は1つ）

- | | | |
|----------|-------------|--------------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上 | | |

問5 保有資格（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. 看護師・准看護師 | 2. 介護福祉士 | 3. 社会福祉士 |
| 4. 保健師 | 5. その他 | |

問6 主任ケアマネジャー（○は1つ）

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 資格を有する | 2. 資格を有していない |
|-----------|--------------|

ケアネ-2

ご回答者の業務について

問7 ケアマネジャーとして満足している仕事ができますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1. 満足 | 2. まあまあ満足 | 3. あまり満足でない |
| 4. 満足でない | | |

問8 主な担当地区 (あてはまるものをすべてに○)

- | | | | | |
|----------|----------|------------|-------|-------|
| 1. 拳母 | 2. 高橋 | 3. 上郷 | 4. 高岡 | 5. 猿投 |
| 6. 松平・下山 | 7. 藤岡・小原 | 8. 足助・旭・稲武 | | |

問9 利用者宅への訪問について、一人当たりの時間を十分に取れていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 十分取れている | 2. まあまあ取れている |
| 3. あまり取れていない | 4. 取れていない |

問10 あなたが担当している件数 (○は1つ)

※地域包括支援センターからの委託分については「0.5」とカウントしてください。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 10件未満 | 2. 10件以上20件未満 | 3. 20件以上25件未満 |
| 4. 25件以上30件未満 | 5. 30件以上35件未満 | 6. 35件以上40件未満 |
| 7. 40件以上 | | |

問11 あなたが担当している案件のうち地域包括支援センターから委託を受けている件数

(○は1つ)

※1件につき「1.0」とカウントしてください。

- | |
|----------|
| 1. 0件 |
| 2. 1～4件 |
| 3. 5～9件 |
| 4. 10件以上 |

問12 「ケアプラン」について、次の①から④まで教えてください。(それぞれ○は1つ)

① サービス担当者会議で利用者や家族が出席する割合

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 9割以上 | 2. 7～8割程度 | 3. 5～6割程度 |
| 4. 4割以下 | | |

② 民間事業者 (配食、生活支援) のサービスをケアプランに記載している割合

(延長ダイヤや限度額以上の利用などは除きます。)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5割以上 | 2. 3～4割程度 | 3. 1～2割程度 |
| 4. ほとんどない | | |

③ 地域住民の助け合いや見守り、ボランティア団体などをケアプランに記載している割合

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5割以上 | 2. 3～4割程度 | 3. 1～2割程度 |
| 4. ほとんどない | | |

④ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) *に取り組んでいる利用者の割合

* 将来の変化に備え、本人の希望する将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、「繰り返し話し合う取組

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 7割以上 | 2. 5～6割程度 | 3. 3～4割程度 |
| 4. 1～2割程度 | 5. ほとんどない | |

問13 在宅介護において、ケアプラン作成でどのようなサービスや支援が特に不足していると感じますか。

(○は3つまで)

※ 選択肢のサービスが不足していると感じていても、他のサービス等で代替できる場合は、不足していないとお考えください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 訪問系の居宅サービス |
| 2. 介助が可能な移送支援サービス |
| 3. 通所系の居宅サービス |
| 4. 住民が自ら運営する自主的な通いの場 |
| 5. 短期入所系のサービス |
| 6. (介護) 小規模多機能や定期巡回、夜間対応など地域密着型サービス |
| 7. 訪問診療・看護など在宅医療 |
| 8. 配食・宅配・家事等の生活支援サービス |
| 9. ゴミ出し、見守りなど近所・地域の支援 |
| 10. 特に不足することはない |

問14 ケアプランのPDCAをまわっていくことを通じて、本人の社会参加※を実現することができていますか。
 (○は1つ)

※ここから「社会参加」とは、介護保険サービスのみにかわらず、高齢者が自宅の外で家族以外の人と接することと定義します。

1. 十分に社会参加を実現できている
2. ある程度、社会参加を実現できている
3. あまり社会参加を実現できていない
4. ほとんど社会参加を実現できていない

問15 ケアプランを作成するうえで、本人の社会参加について、特にどのような課題がありますか。
 (○は3つまで)

1. 実現が難しく、目標(長期・短期)に挙げづらい
2. 社会参加の目標について、関係職種との共有が不十分である
3. 社会参加を目標としているが、サービス事業所の取組が不十分である
4. 社会参加を実現するよりも、他の目標を優先すると限度額いっぱいになる
5. 社会参加を実現するための、フォーマルなサービスが不足している
6. 社会参加を実現するための、インフォーマルな支援が不足している
7. 社会参加に関する本人や家族介護者の意欲が弱い
8. 社会参加を実現するために、地域住民や商店などの理解が弱い
9. 特にない

問16 「認定者本人」とのやり取りにおいて、各種相談やケアプラン作成などで「困った」と思うケースについて、主な原因はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 経済的に困窮している
2. 医療依存度が高い
3. 重いBPSD(行動・心理症状)がある
4. 認知症などで本人の意思決定が困難である
5. 本人がすぐに忘れてしまうので、何回も説明が必要である
6. 在宅の意思が強いが同居等で在宅に限界がある
7. 必要な医療を拒否する
8. 必要な介護・福祉サービスを拒否する
9. 特に困ることはない

ケア7-5

問17 「認定者本人の家族」とのやり取りにおいて、各種相談やケアプラン作成などで「困った」と思うケースについて、主な原因はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認定者本人に対して無関心である
2. 必要以上のサービス提供を求められる
3. 主介護者と、その他の家族・親族との意見が異なる
4. 本人が認知症であることを隠してほしいと言われ、適切なサービス提供をできない
5. 虐待がある
6. 特に困ることはない

問18 今後、連携を特に深めたい職種はありますか。(○は3つまで)

1. 医師
2. 看護師
3. 保健師
4. 薬剤師
5. 歯科医師・歯科衛生士
6. 社会福祉士
7. 介護福祉士
8. 精神保健福祉士
9. 栄養士
10. リハビリ職(P.T・O.T・S.T)
11. MSW(医療ソーシャルワーカー)
12. CSW*(コミュニティソーシャルワーカー)
13. (障がい者)相談支援専門員

*CSW：様々な課題を抱える世帯等の相談を受けため、必要な支援をコーディネートし、あわせて支え合いの地域づくりの推進を行う職員(豊田市社会福祉協議会)

問19 医療と連携する上で、主な課題はどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 医療やリハビリに関する知識に自信がない
2. 専門用語が多く理解が難しい
3. 医療機関(医師)に連絡を取ることが難しい
4. 退院までの準備期間が短い
5. ケアプランを作成する際に、医療機関から十分な情報提供がない・遅い
6. サービス担当者会議を調整することが難しい
7. 特に課題はない

ケア7-6

問 2 0 地域包括支援センターにどのような時に相談したいと思いますか。(○は3つまで)

1. 担当ケースの対応に困った時
2. 地域ケア個別会議を開催してほしい時
3. 各種制度や地域資源などの情報がほしい時
4. 他の居宅介護支援事業所と情報交換を行ったりネットワークを構築したい時
5. 地域の多職種とネットワークを構築したい時
6. 特に相談を必要とすることはない

問 2 1 豊田でケアマネジャーに対して、どのような研修を特に充実する必要があると思いますか。

(○は5つまで)

1. 困難事例への対応
2. 認知症
3. 精神障がい
4. 虐待
5. 成年後見
6. 医療知識
7. 在宅における終末期や看取りの対応
8. 民間事業者の活用方法
9. 地域住民やボランティア団体との連携
10. アセスメントやケアプラン作成の手法
11. 福祉分野の制度理解
12. 他職種との連携
13. リハビリや自立支援
14. ファシリテーション・プレゼンテーション技術
15. 面接技法・相談対応の向上

高齢者福祉等について

問 2 2 ご本人や家族等が時に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

1. 食べること(の介護)が難しくなったとき
2. 排せつ(の介護)が難しくなったとき
3. 室内の移動(の介護)が難しくなったとき
4. 複雑な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. (介護者が別居の場合)介護者の通いの負担が大きくなったとき

問 2 3 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(○は3つまで)

1. 認知症について、住民の理解を深める
2. 認知症について、企業の理解を深める
3. 認知症の早期発見の重要性についてPRする
4. 認知症の早期発見への機会(健康診断費用補助、早期発見アプリなど)をつくる
5. 認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる
6. 認知症の人とその家族同士が一緒に集う機会をつくる
7. 認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる
8. お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店(認証店など)を増やす
9. 認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる

情報通信技術の活用について

問2-4 業務かどうかに関わらず、あなたが利用しているインターネットサービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 電子メールやSNS (LINE, Facebook, Twitter, Instagram など) の利用
2. 情報収集、動画の視聴やオンラインゲーム
3. 買い物 (ネットショッピング)
4. ネットバンキング・オンライン決済
5. 民間サービスの予約・申請・届出 (飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込みなど)
6. 公共サービスの予約・申請・届出 (公共施設の予約、証明書の交付申請など)

問2-5 業務かどうかに関わらず、あなたの身近な人や利用者からインターネット利用についての質問に答える時、あなたが不安なことや困ることは何ですか。(○は3つまで)

1. 機器の使い方が分からないこと
2. インターネット上のサービスの利用方法が分からないこと (登録方法やパスワード設定など)
3. インターネットに関する用語が分からないこと
4. 商品やサービスの購入でお金を使いすぎる恐れがあること
5. 詐欺等の被害、信頼できるサイトか判断がつかないこと
6. 個人情報漏洩
7. インターネット上で交流する相手とのトラブル
8. 機器の購入費用や月額費用
9. 困った時に助けってもらえない人がいないこと
10. 不安はない

【自由記述】

豊田市では高齢者の幸せ感を上げることが重要だと考えています。高齢者本人や周りの人が実践していることで、高齢者の幸せ感を高めることにつながっていると思うものはありますか。

これでアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございます。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、

令和4年10月17日(月)までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市高齢者等実態調査結果報告書

発行年月 令和5年3月

編集・発行 豊田市 介護保険課

〒471-8501 豊田市西町三丁目 60 番地

電話 0565-34-6634 (直通)
